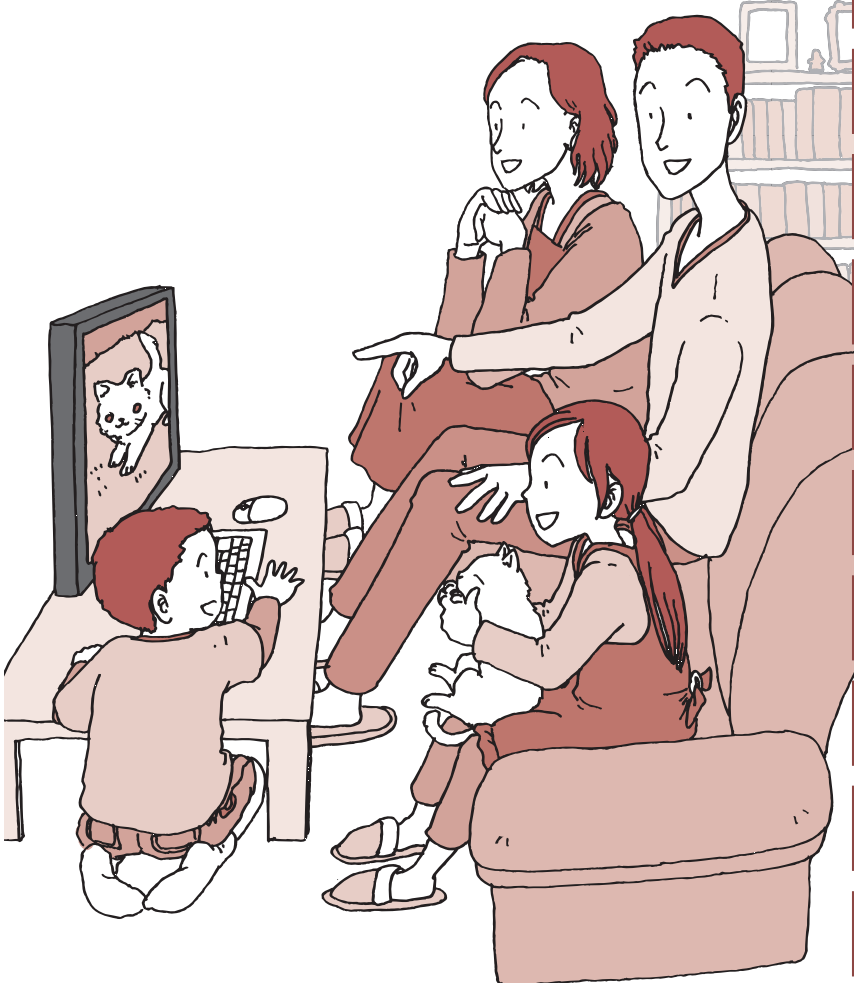
NEC

VALUESTAR

パソコンだから一歩進んだテレビの楽しみ方を

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

このパソコンの使い方

『ユーザーズマニュアル』

パソコンの接続やセットアップ／基本機能／おすすめ機能／バックアップ／トラブル解決／再セットアップ／NECのサービス＆サポート　など

※トラブル予防・解決編の5章に、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)や各種サービス＆サポート情報を記載しています。

この本

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作／ひかりTVについて　など

デスクトップのタスク バーにある をクリック

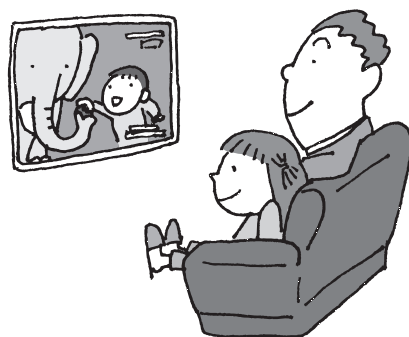
パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集　など

853-811064-237-A

SmartVision ラクラク操作ガイド

「ラクラク操作ガイド」では、このパソコンでぱっと観テレビ（ぱっと観テレビモデルのみ）やSmartVisionでテレビを楽しむための基本的な操作について説明しています。
また、SmartVisionの便利な機能や高度な使い方については、「こんなときには」でちょっとだけご紹介しています。
「ラクラク操作ガイド」で基本的な操作に慣れたら、ぜひこのマニュアルをひととおりお読みになってください。きっとテレビをより便利に使いこなしていただくことができるでしょう。

設定はお済みですか？

パソコンでテレビを見るには次の準備が必要です。「ラクラク操作ガイド」を読む前に、テレビ機能を使えるようにしましょう。

パソコンを使う準備をする

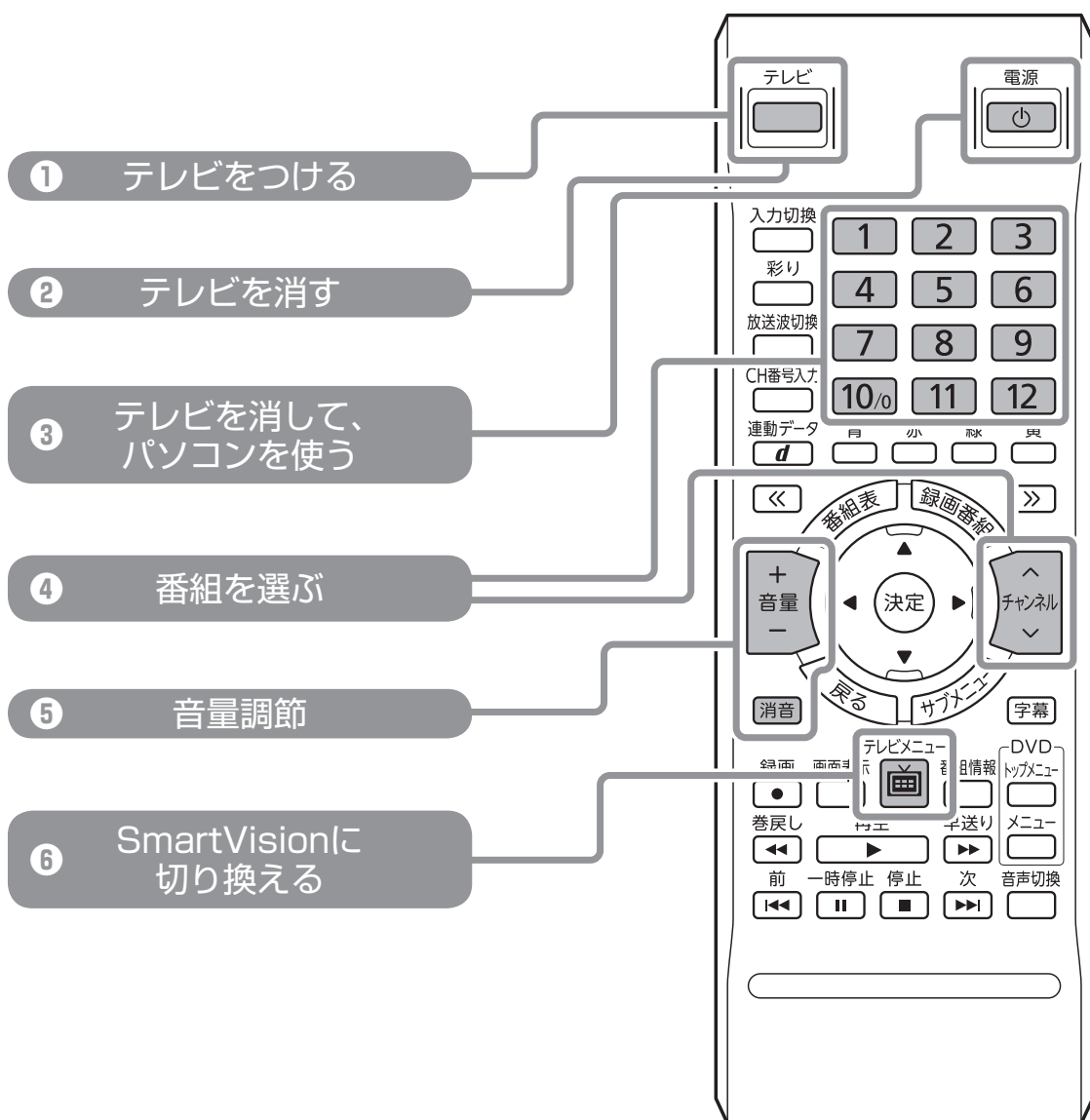
→『ユーザーズマニュアル』をご覧ください

テレビの初期設定をする

→このマニュアルのPART1「テレビを見るための準備」(p.1)をご覧ください

853-811064-237-A　2012年10月 初版

テレビを見る

❶ テレビをつける
❷ テレビを消す
❸ テレビを消して、パソコンを使う
❹ 番組を選ぶ
❺ 音量調節
❻ SmartVisionに切り換える
テレビ
電源
入力切換
彩り
放送波切換
CH番号入力
連動データ
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
番組表
録画番組
音量
決定
チャンネル
消音
戻る
サブメニュー
字幕
テレビメニュー
番組情報
DVD
トップメニュー
巻戻し
早送り
メニュー
前
一時停止
停止
次
音声切換

ぱっと観テレビを見る

テレビをつける ➡ ❶

【テレビ】を押します

外部入力の映像が表示されたときは、【入力切換】を何度か押してください

番組を選ぶ ➡ ❹

【チャンネル】または数字ボタンを押します

放送波(BS/110度CS/地上デジタル放送)を切り換えるときは、【放送波切換】を押してください

詳しくは ぱっと観テレビをつける ➡ p.16

ぱっと観テレビを消す

テレビを消す ➡ ❷、❸

・テレビを消す　:【テレビ】を押す
パソコンの電源が入っているときは、パソコンの画面に切り換わります

・テレビを消して、パソコンを使う:【電源】を押す
パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、パソコンの画面に切り換わります

詳しくは ぱっと観テレビを消す ➡ p.19

音量調節 ➡ ❺

【+】【−】で、音量を調節します。【消音】を押すと消音(ミュート)します

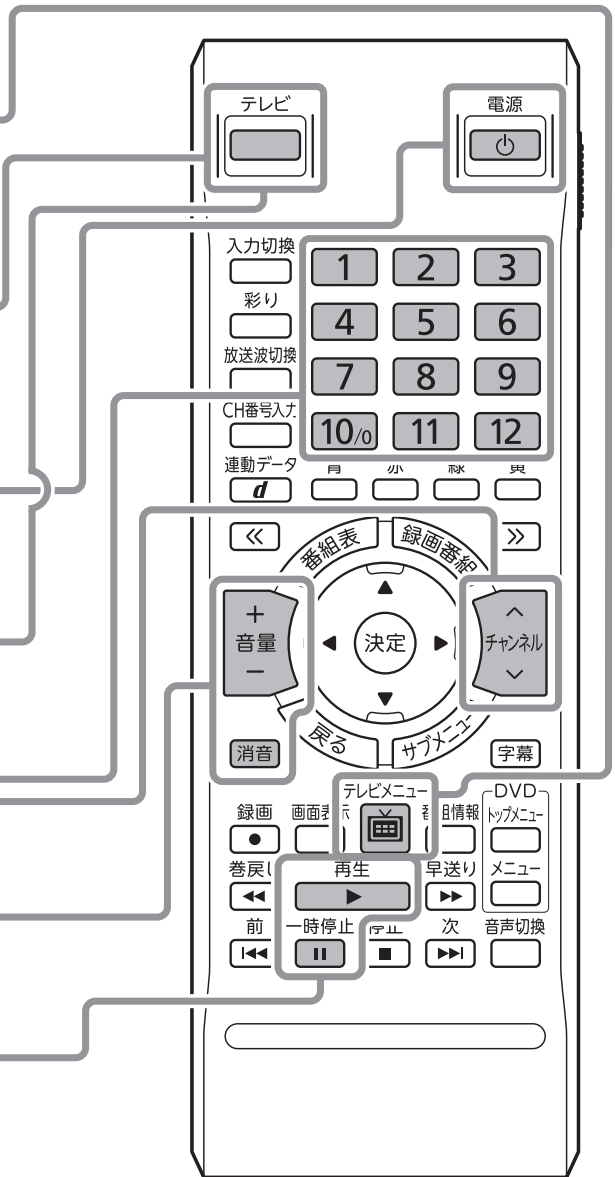
詳しくは 音量を調節する ➡ p.18

SmartVisionに切り換える ➡ ❻

【テレビメニュー】を押します
「準備中です」と表示された後、SmartVisionのテレビメニューが表示されます
パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、続けて自動的にSmartVisionが起動します

詳しくは SmartVisionに切り換える ➡ p.20

テレビを見る

❶ テレビをつける（ぱっと観テレビモデル）
❶ テレビをつける（ぱっと観テレビモデル以外のモデル）
❷ テレビを消して、パソコンも終了する
❸ テレビを消して、パソコンを使う
❹ 番組を選ぶ
❺ 音量調節
❻ 一時停止、再生（タイムシフト機能）
テレビ
電源
入力切換
彩り
放送波切換
CH番号入力
連動データ
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
番組表
録画番組
決定
音量
チャンネル
消音
戻る
サブメニュー
字幕
テレビメニュー
DVD
録画
番組情報
トップメニュー
巻戻し
再生
早送り
メニュー
前
一時停止
次
音声切換

SmartVisionでテレビを見る

テレビをつける ➡ ❶

・【テレビメニュー】を押します
テレビ(SmartVision)が起動してテレビメニューが表示された後、もう一度【テレビメニュー】を押してください
・ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合:【テレビ】を押します

テレビ(SmartVision)が起動するまでに時間がかかることがあります。
ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとぱっと観テレビ(p.16)が起動します。

番組を選ぶ ➡ ❹

【チャンネル】または数字ボタンを押します

詳しくは テレビをつける ➡ p.36

SmartVisionを終了する(テレビを消す)

テレビを消す ➡ ❷、❸

・テレビを消して、パソコンも終了する:【電源】を押します
・テレビを消して、パソコンを使う　　:【テレビ】を押します

ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとぱっと観テレビ(p.16)が起動します。
パソコンを使うときはもう一度【テレビ】を押してください。

詳しくは テレビを消す ➡ p.40

音量調節 ➡ ❺

【+】【−】で、音量を調節します。【消音】を押すと消音(ミュート)します

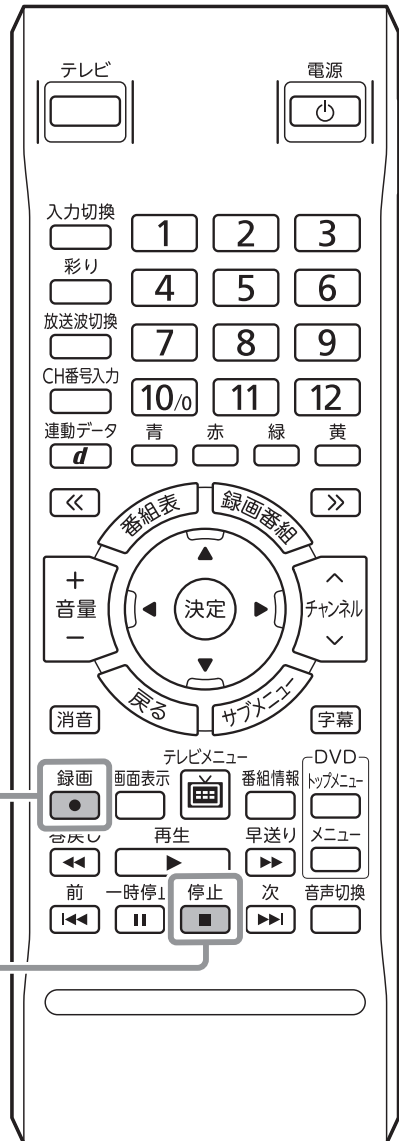
詳しくは 音量を調節する ➡ p.39

タイムシフト機能 ➡ ❻

視聴中にちょっと席を外したいときは【一時停止】。見ている番組を一時停止できます
【再生】を押せば、続きから見られます

詳しくは タイムシフトモードで見る ➡ p.48

録画する

❶ 今見ている番組を録画する
❷ 録画を停止する
テレビ
電源
入力切換
彩り
放送波切換
CH番号入力
連動データ
青
赤
緑
黄
番組表
録画番組
音量
決定
チャンネル
戻る
サブメニュー
消音
字幕
テレビメニュー
DVD
録画
画面表示
番組情報
トップメニュー
再生
早送り
メニュー
前
一時停止
停止
次
音声切換

今見ている番組を録画する

録画を開始する ➡ ❶

【録画】を押します

▼

録画を停止する ➡ ❷

録画をやめたいところで【停止】を押します

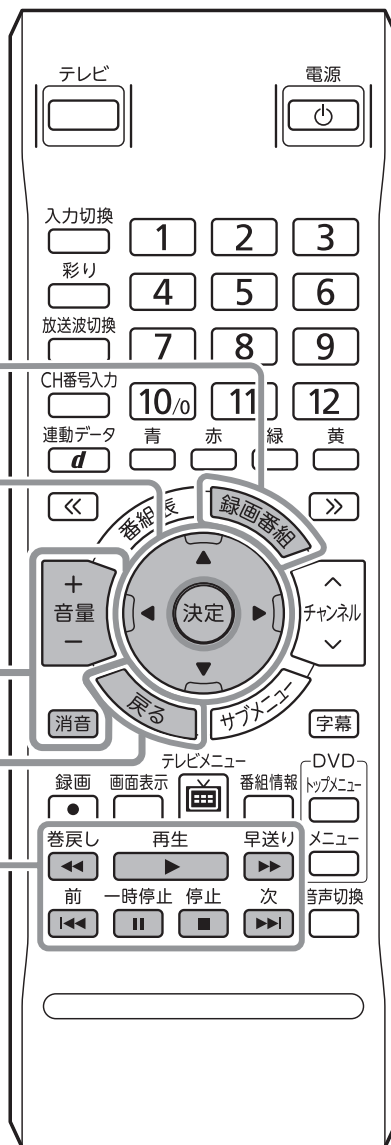
詳しくは **視聴中の番組を録画する ➡ p.72**

もっと便利な録画方法

このパソコンでは、画面でテレビの番組表を見ることができます。また、この番組表を使って予約録画をすることができます

詳しくは **おてがる予約をする(番組表で予約する) ➡ p.77**

再生する

❶ 録画番組一覧を表示する
❷ 番組を選んで、再生する
❸ テレビ画面に戻る
❹ 音量調節
❺ 番組を操作する
テレビ
電源
入力切換
彩り
放送波切換
CH番号入力
連動データ
青
赤
緑
黄
番組表
録画番組
音量
決定
チャンネル
消音
戻る
サブメニュー
字幕
テレビメニュー
DVD
録画
画面表示
番組情報
トップメニュー
巻戻し
再生
早送り
メニュー
前
一時停止
停止
次
音声切換

再生する ※テレビをつけた状態で操作してください

録画した番組を選ぶ ➡ ❶、❷

【録画番組】を押して、録画番組一覧を表示します
録画番組一覧画面から見たい番組を矢印ボタンで選びます

番組を再生する ➡ ❷、❺

【決定】を押すと、再生が始まります
再生中は以下のボタンで操作ができます

【巻戻し】 【早送り】 【再生】 【一時停止】 【停止】

詳しくは 録画した番組を再生する ➡ p.102

テレビ画面に戻る ➡ ❸

テレビを見る画面に戻るには、【戻る】を押します
見たい放送波とチャンネルを選ぶこともできます

詳しくは テレビを見る画面に戻る ➡ p.103

音量調節 ➡ ❹

【＋】【－】で、音量を調節します
【消音】を押すと、消音（ミュート）します

詳しくは 音量を調節する ➡ p.39

ラクラク操作ガイド

こんなときには

ここでは、このパソコンのテレビに搭載された「こんなときに使いたい機能」をご紹介しています。これらの機能を使って、テレビをより便利に楽しんでください。

新番組や興味のある番組を自動で録画したい

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それに合った番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。また、「新番組おまかせ録画」では新番組を自動で録画できます。

詳しくはこちら

PART4の「おまかせ録画をする」(p.87)
PART4の「新番組おまかせ録画をする」(p.93)

録画した番組を別の部屋のテレビで見たい

DLNA/DTCP-IPに対応したテレビなどの映像機器に、録画した番組を配信することができます。

詳しくはこちら

PART8の「映像をホームネットワークで配信する」(p.191)

録画した番組を外でも楽しみたい

録画した番組を携帯電話やスマートフォンなどの機器に転送して視聴することができます。

詳しくはこちら

PART8の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.162)

ツイートを読みながら番組を楽しみたい

視聴している番組に関連したツイートを表示させることができます。また、外出先からツイートすることで録画予約をすることができます。

詳しくはこちら

PART8の「つぶやきプラスを活用する」(p.194)

ハードディスクを増設する

ハードディスクの残り容量が少なくなってきた。こんなときには、外付けハードディスクを増設することができます。増設したハードディスクに録画したり、録画した番組を移動することもできます。

詳しくはこちら

PART8の「外付けハードディスクを利用する」(p.142)

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
ポイント	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

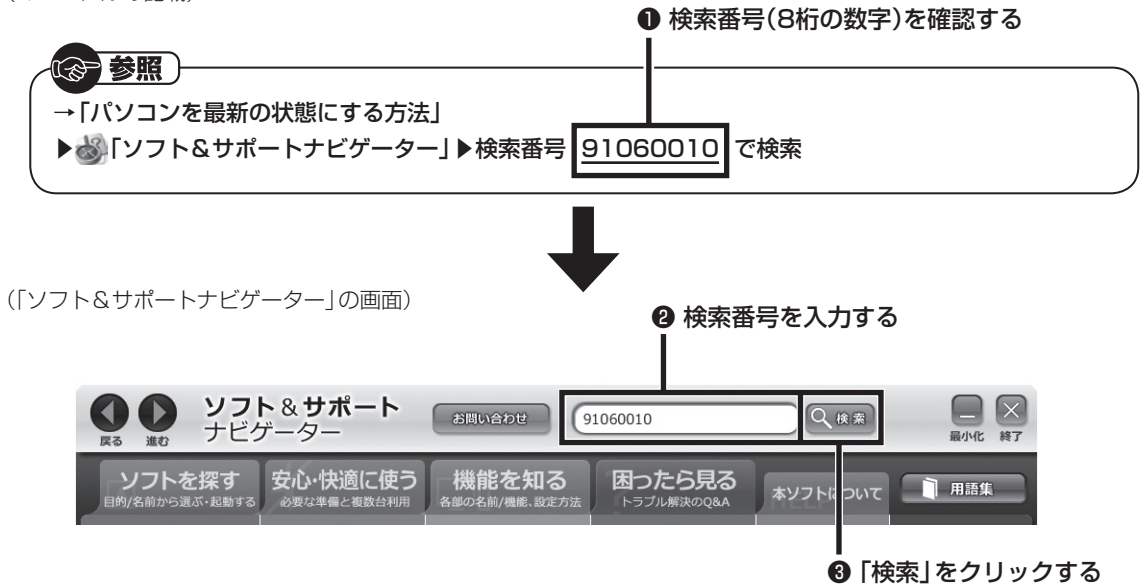
【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
『　』	『　』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにある (ソフト＆サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

◆利用方法

例)検索番号が「91060010」の場合

(マニュアルの記載)

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
3D対応モデル	3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を2つ内蔵しているモデルのことです。2つのチューナー(レコーダー)によって同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画できます。
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を1つ内蔵しているモデルのことです。
ぱっと観テレビモデル	パソコンを起動しなくてもテレビを楽しむことができる「ぱっと観テレビ」機能を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、 Windows 8	Windows® 8 Windows® 8 Pro
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 10
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows
ウイルスバスター	ウイルスバスター クラウド™

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 8、Windows® 8 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
(10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
(11) 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
SmartVisionは、NECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。
デジオン、DiXiMは デジオンの登録商標です。
ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
ディーガはパナソニック株式会社の商標です。
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
G-GUIDE for Windows は、米国Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国Rovi Corporation およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報･機器･サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
本製品には、NECのフォント「FontAvenue®」を使用しています。
Twitterという名称、Twitter バードは、Twitter, Inc.の登録商標です。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
インテル、Intel、Pentium、Celeron、Intel Core、Thunderbolt、Thunderboltロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
ぱっと観テレビを実現するソフトウェアの使用条件や権利等については下記URLを参照ください。
http://121ware.com/product/pc/support/tvlinux/index.html

目　次　CONTENTS

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

PART 1
テレビを見るための準備

このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

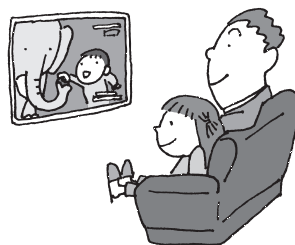
このパソコンで楽しめるテレビ放送

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送

●BS・110度CSデジタル放送
デジタルで放送されている衛星放送です。BSデジタル放送と「スカパー！」の番組が見られます。

■ 3D放送について

3D対応モデルでは、3D放送(サイドバイサイド方式)をお楽しみいただけます。
3D放送の表示方法などについては『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

モデルによって異なる機能について

モデルによって、機能や画面の表示が一部異なります。また、操作も一部異なることがあります。このマニュアルでは、各モデルで大きな差異のない画面や操作については、まとめて説明しています。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルについて

2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画することができます。

チェック

2つの番組の録画を同時におこなう場合は、動作の一部に制限があります。詳しくは、PART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)をご覧ください。

ポイント

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルに搭載されているレコーダー(チューナー)は1つです。複数の番組を同時に録画することはできません。

■ ぱっと観テレビモデルについて

「ぱっと観テレビ」は、テレビを見るためのソフト「SmartVision」とは異なる、独立したテレビの機能です。
「ぱっと観テレビ」機能を搭載したモデル(ぱっと観テレビモデル)では、パソコンの起動を待たずに手軽にテレビを見たり、録画予約を入れたりすることができます。

ポイント

パソコンならではのテレビ機能を活用するときは「SmartVision」をお使いください。

■ CPUによる画質変換対応モデル／非対応モデルについて

CPUによる画質変換に対応したモデルと対応していないモデルでは一部の動作が異なります。また、画面に表示されるメッセージなどが一部異なります。
CPUによる画質変換に対応したモデル／非対応のモデルは以下のとおりです。

・ CPUによる画質変換対応モデル
  次のCPUを搭載したモデル
  インテル® Core™ i7、インテル® Core™ i5
・ CPUによる画質変換非対応モデル
  上記以外のモデル

■ 3D対応モデルについて

サブメニューに表示される項目や、画面に表示されるアイコンなどが、マニュアルに記載されているものと一部異なります。

ポイント

●著作権保護の機能を持つアプリケーションを使っているときは、光ディスクへの保存ができないことがあります。必要に応じて該当するアプリケーションを終了してください。
●パソコンに搭載されたCPUなどについては、『ユーザーズマニュアル』の「仕様一覧」をご覧ください。

PART 1
テレビを見るための準備

こんな準備が必要です

アンテナケーブルの接続とテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにテレビを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

接続と設定は済んでいますか？

テレビを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。まだ終わっていないかたは、『ユーザーズマニュアル』をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

●CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。

●CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。

●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

テレビを見るまでの流れ

このパソコンでテレビを見るには、パソコンを使う準備と、テレビの初期設定の2つの準備が必要です。
テレビを見るまでの流れは次のとおりです。

パソコンを使う準備をする

テレビを見る前に、まずはパソコンを使えるようにします。『ユーザーズマニュアル』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。
接続の途中で、テレビの視聴に必要なアンテナケーブルとB-CASカードの準備も同時におこないます。続けてリモコンを準備します。

『ユーザーズマニュアル』
- パソコンの設置
- パソコンの接続
- アンテナケーブルの接続
- B-CASカードのセット
- Windowsのセットアップ
- リモコンの準備

テレビ初期設定（チャンネルや番組表の設定）をする

『テレビを楽しむ本』（この本）
- テレビ初期設定（p.6）

モデルによって、テレビの初期設定の流れが異なります。
- ぱっと観テレビモデル
  ぱっと観テレビの設定とSmartVisionの設定をおこないます。
- ぱっと観テレビモデル以外のモデル
  SmartVisionの設定をおこないます。

次ページからの内容をよく読んで、テレビの初期設定をしてください。

準備完了
さぁ、テレビを楽しみましょう！

テレビ初期設定をする

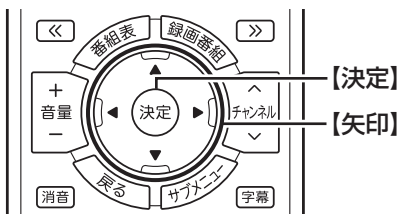
テレビ初期設定の操作は、リモコン、マウス、キーボードを使っておこないます。

- 操作画面上に「？」が表示されているときは、「？」をクリックすると、その項目についての簡単な説明が表示されます。
- SmartVisionのテレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- パソコンの内蔵ドライブアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。
- リモコンのボタンを使うときは、リモコン右側面のモード切換スイッチをボタン操作側（下側）にあわせてください。

参 照

パソコン本体のボタンやランプについて→『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」

ポイント

SmartVisionのテレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。

モデルによって操作の流れが異なります。それぞれ次の説明をご覧ください。

- ぱっと観テレビモデル
  次の「ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定」
- ぱっと観テレビモデル以外のモデル
  「ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定」（p.9）

■ ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定

ぱっと観テレビモデルでは、ぱっと観テレビの設定とSmartVisionの設定が必要です。

1 パソコン本体上部のテレビボタンを押す

ぱっと観テレビの「はじめての設定」が表示されます。

2 「進む」を選んで【決定】を押す

「B-CASカード確認」が表示されます。

3 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「進む」を選んで【決定】を押してください。

「問題あり」と表示されたときは

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」を選んで【決定】を押す

② 「正常」と表示されたら、「進む」を選んで【決定】を押す

4 チャンネルを設定する

①「受信地域」を選び、【矢印】の左右ボタンでお住まいの都道府県を選ぶ

②「スキャン実行」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャンが始まります。完了すると「チャンネルスキャンの結果を確認します。」と表示されます。

> **ポイント**
>
> 表示されないチャンネルがある場合でもそのまま設定を進め、SmartVisionの設定も含めてテレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

5 「進む」を選んで【決定】を押す

BSデジタル放送の「アンテナレベル」が表示されます。

> **ポイント**
>
> ●「放送波」や「受信周波数」を選んで各チャンネルのアンテナレベル(受信レベル)を確認することができます。
>
> ●チャンネルのアンテナレベルが0の場合など電波の受信状態が悪いときもそのまま設定を進め、SmartVisionの設定も含めてテレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

6 「進む」を選んで【決定】を押す

「「はじめての設定」が完了しました。」と表示されます。

7 「はい」を選んで【決定】を押す

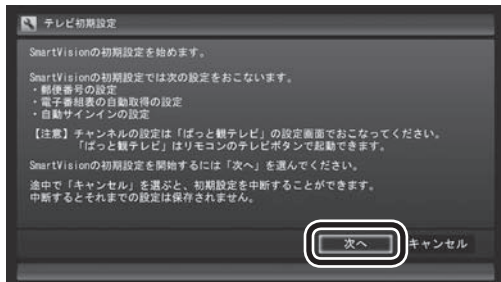
ぱっと観テレビの映像が表示されます。続けてSmartVisionの設定をおこなってください。

> **ポイント**
>
> ●録画などのテレビの機能を使うためには、SmartVisionの設定が必要です。
>
> ●ぱっと観テレビの初期設定が終了すると、ぱっと観テレビの起動モードが「クイック」に設定されます。起動モードは待機電力を抑える「省電力」に変更できます。詳しくは「ぱっと観テレビを省電力モードに設定する」(p.26)をご覧ください。

8 【テレビメニュー】を押す

「準備中です」と表示された後、「SmartVisionの初期設定を始めます。」と表示されます。

> 数分間待っても画面が切り換わらないときは、パソコン本体上部のテレビボタンを押してパソコンの画面を確認してください。

9 「次へ」をクリック

10 「郵便番号」をクリックし、キーボードで数字を入力して【Enter】を押す

11 「次へ」をクリック

Windowsパスワード(サインインパスワード)を設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、手順13に進んでください。

12 パスワードを入力する(設定している場合)

① サインインしているユーザー名が表示されていることを確認する

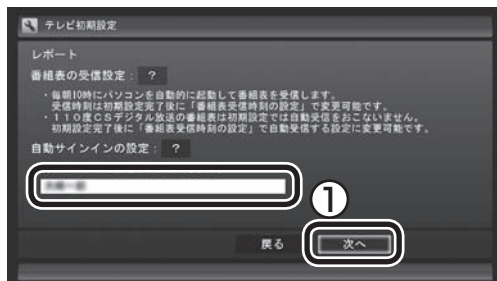
② クリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す

③「次へ」をクリック

チェック

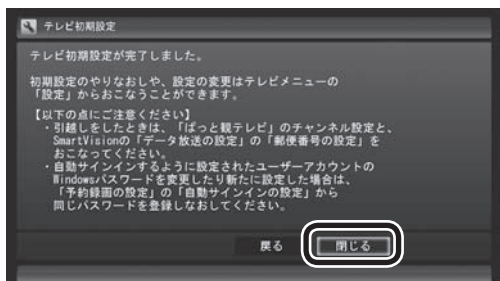
- この画面は、Windowsパスワードを設定していない場合は表示されません。
- この画面の設定をおこなうと、Windowsが省電力状態から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。
- 新たにパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoftアカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。変更する手順については、PART10の「自動サインインの設定をする」(p.272)をご覧ください。

13 番組表と自動サインインの確認

番組表の受信についてと自動サインインするユーザー名が表示されます。

① 自動サインインのユーザー名を確認して「次へ」をクリック

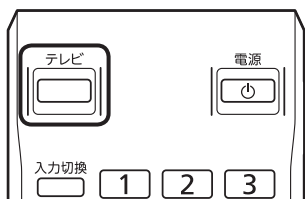
テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときに、ここで表示したユーザー名で自動サインインします。
自動サインインのユーザー名の変更手順はPART10の「自動サインインの設定をする」(p.272)をご覧ください。

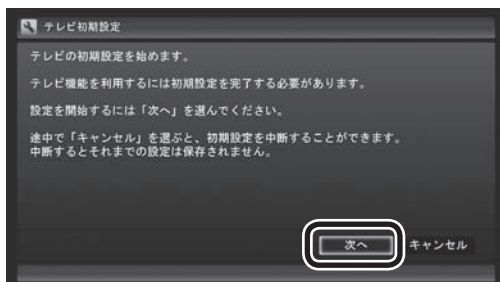
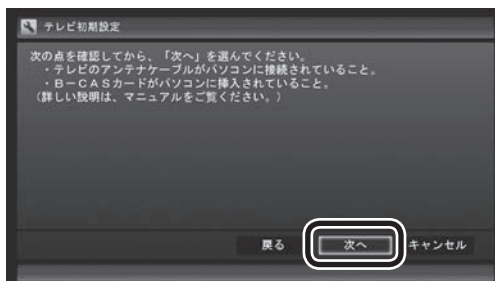
初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、「パソコンの自動起動について」(p.12)をご覧ください。

14 「閉じる」をクリック

テレビ画面が表示されます。

これで、テレビの初期設定は完了です。
テレビを楽しむ前に知っておいていただきたい項目が「テレビを見る前に」(p.11)にまとめられています。ご確認ください。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

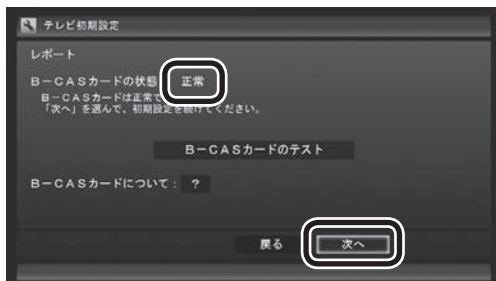
■ ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定

1 リモコンの【テレビ】を押す

「テレビ初期設定」が表示されます。

2 「次へ」をクリック

3 画面の内容を確認して、「次へ」をクリック

> **参照**
> アンテナケーブルの接続について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」

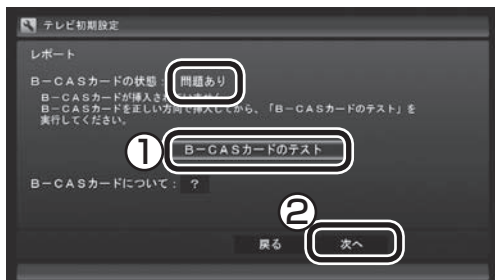
4 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「問題あり」と表示されたときは

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

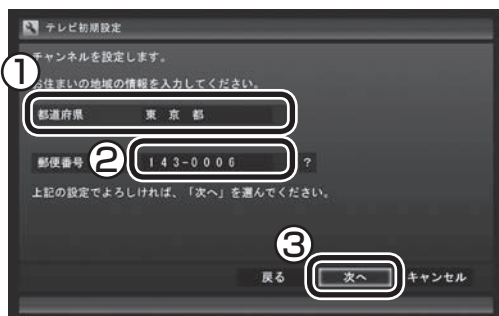
① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリックしてください。

② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「B-CASカードの情報を読み取れません。」と表示されたときは、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

5 チャンネル設定をする

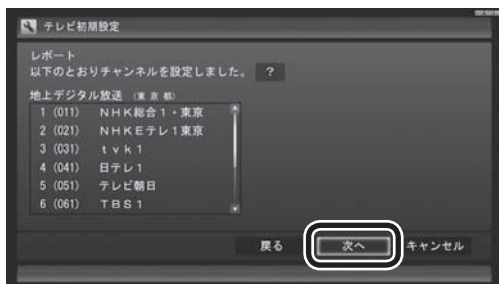
① クリックし、お住まいの都道府県をクリック

② クリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す

③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリック

自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、レポート画面が表示されます。

ポイント

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

6 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリック

Windowsパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、手順8に進んで、設定結果について確認してください。

ポイント

受信できていないチャンネルがあった場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

7 パスワードを入力する(設定している場合)

① サインインしているユーザー名が表示されていることを確認する

② クリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す

③「次へ」をクリック

チェック

- この画面は、Windowsパスワードを設定していない場合は表示されません。
- この画面の設定をおこなうと、Windowsが省電力状態(スリープ、休止状態)から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。
- 新たにパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoftアカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。変更する手順については、PART10の「自動サインインの設定をする」(p.272)をご覧ください。

続けて、設定結果について確認してください。

8 BSデジタル放送の受信状態を確認

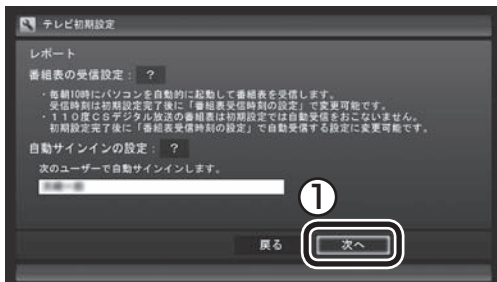
BSデジタル放送の受信状態が表示されます。

①「次へ」をクリック

●受信レベルで「問題あり」と表示された場合、テレビ初期設定が終わってから、「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

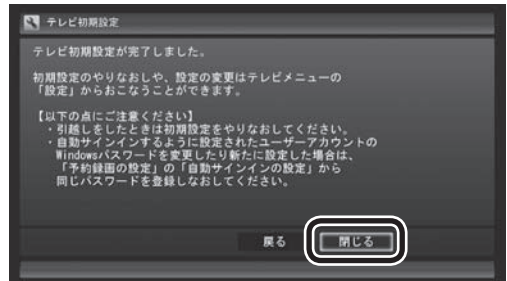
●「受信レベルの確認」をクリックすると、受信レベルの確認の画面が表示されます。

9 番組表と自動サインインの確認

番組表の受信についてと自動サインインするユーザー名が表示されます。

① 自動サインインのユーザー名を確認して「次へ」をクリック

テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときに、ここで表示したユーザー名で自動サインインします。
自動サインインのユーザー名の変更手順はPART10の「自動サインインの設定をする」(p.272)をご覧ください。

初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、次の「番組表の自動受信について」をご覧ください。

10 「閉じる」をクリック

テレビ画面が表示されます。
これで、テレビの初期設定は完了です。
テレビを楽しむ前に知っておいていただきたい項目が次の「テレビを見る前に」にまとめられています。ご確認ください。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

テレビを見る前に

■ 番組表の自動受信について

SmartVisionの初期設定が終了すると、1日に1回、朝10時に番組表を受信するためにパソコンが自動的に起動します。また、番組表の受信が完了した後は、ご購入時の設定ではクイックモードで終了します。
番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信はおこなわれません。受信できなかった場合は、次の時刻に再度自動起動して番組表を受信します。

10・12・14・16時

なお、これらの設定は、初期設定後にいつでも変更することができます。
番組表の受信時刻を変更する場合は、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、PART10の「予約実行前後の動作を設定する」(p.267)をご覧ください。

■ パソコンの自動起動について

次のテレビの機能を実行するために、パソコンの電源が自動的に入ることがあります。

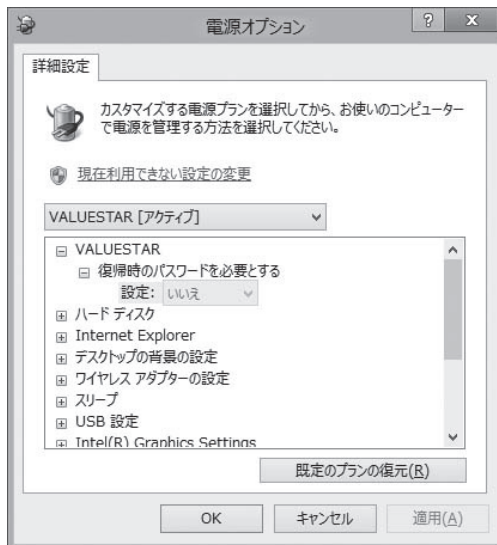
・番組の予約録画や予約視聴
・番組表の自動受信
・外でもVIDEOの自動転送(p.174)
・リモート録画予約の受け付け(p.218)

予約録画や予約視聴は番組の放送前に、ほかの機能についてはそれぞれの設定にしたがって、パソコンが自動的に起動します。

ポイント

パソコンの自動起動や終了について詳しくは、PART10の「予約実行前後の動作を設定する」(p.267)をご覧ください。

■ Windows復帰時のパスワード入力画面について

パソコンが省電力状態などから復帰するとき、サインインの画面(復帰時のパスワードを入力する画面)が表示される設定にしている場合、テレビ初期設定をすると、この画面が表示されないよう設定が変更されます。
テレビの予約視聴や予約録画をおこなうために、省電力状態などからパソコンを自動復帰させる際、この画面でWindowsの動作が停止(パスワードの入力待ち状態)してしまうことを防ぐためです。
この設定は、スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「電源オプション」で対象の電源プランの「プラン設定の変更」を選んで変更できますが、サインイン画面が表示される設定(「復帰時のパスワードを必要とする」を「はい」に設定)にすると、省電力状態などからの予約録画ができなくなります。ご注意ください。

※: モデルによって、一部画面が異なる場合があります。

参照

電源プランについて
→「省電力機能の設定を変更する」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160030 で検索

■ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる

テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるよう設定をしておくと、テレビを視聴していないときでも、録画や光ディスク書き込みの状態などがわかります。

1 デスクトップの通知領域の をクリック

2 「カスタマイズ」をクリック

「タスク バーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

3 SmartVision Schedulerの右の をクリックして、表示されたメニューから「アイコンと通知を表示」を選んでクリック

4 「OK」をクリック

これで、テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるようになりました。

テレビ初期設定で困ったら

テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

■ 問題点を確認する

次の手順で、設定の問題点を確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

現在の状態の確認結果が表示されます。

この画面で、問題点を確認します。

■ 地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か

・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

ポイント

受信レベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「受信レベルの確認」でも確認できます。

チェック

●チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、PART9の「テレビが映らない」(p.241)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.243)をご覧ください。

■ BSデジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「BS」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合
アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。なお、パソコンからはアンテナに給電することができません。別の機器から給電していただく必要があります。詳しくは、121ware.com(http://121ware.com/catalog/dtv/)の「衛星デジタル放送アンテナ用電源供給器について」をご覧ください。

チェック

●受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●正常に視聴できない場合は、PART9の「テレビが映らない」(p.241)をご覧ください。

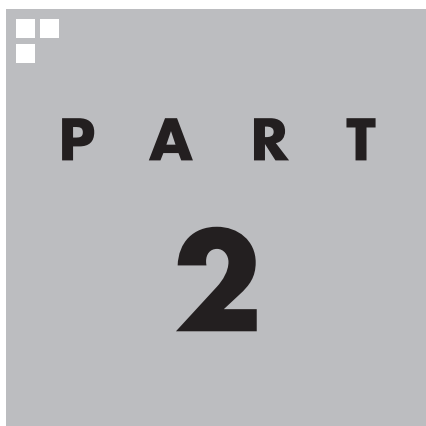
■ 次の作業をおこなってみてください

今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

●「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、次の操作をおこなってください。

ぱっと観テレビモデルの場合:
ぱっと観テレビでチャンネルスキャンをやりなおします。詳しくは、PART10の「テレビの初期設定をやりなおす場合は」(p.285)をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合:
テレビ初期設定をやりなおします。リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

●設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、PART3の「テレビをつける」(p.36)の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境では受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

ぱっと観テレビを使う

「ぱっと観テレビ」を使えば、パソコンを起動しなくてもテレビを楽しむことができます(ぱっと観テレビモデルのみ)。

※「ぱっと観テレビ」は、テレビを見るためのソフト「SmartVision」とは異なるテレビ機能です。パソコンの起動を待たずに手軽にテレビを見たり、録画予約を入れたりすることができます。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠ 注意

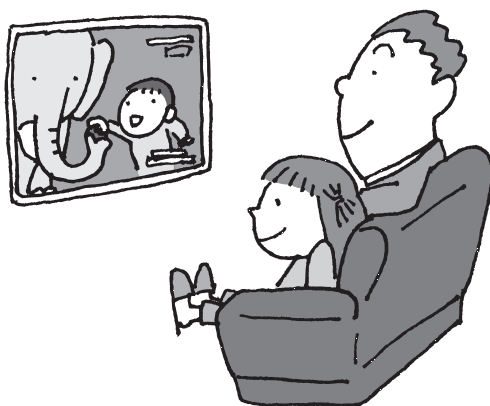
- **映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

PART 2
ぱっと観テレビを使う

ぱっと観テレビの基本的な使い方

ぱっと観テレビをつける

1 パソコン本体上部のテレビボタンを押す

ぱっと観テレビまたは外部入力の映像が表示されます。
外部入力の映像が表示されたときは、手順2に進んでください。

ポイント

- パソコン本体のボタンについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。
- リモコンのボタンについては、このPARTの「リモコンのボタンについて(ぱっと観テレビ)」(p.21)をご覧ください。なお、「SmartVision」とはボタンの機能が一部異なります。
- ご購入時の状態では、パソコンの電源が切れているとき、ぱっと観テレビをつけると、同時にパソコンが起動します。パソコンが起動しないように設定することもできます(p.26)。
- パソコンが起動した状態でぱっと観テレビを見ているとき、パソコンの操作をしない状態が続いても省電力状態にはなりません。
- ぱっと観テレビで番組を見ているときも、SmartVisionの予約録画(p.77)や番組表の取得(p.53)は自動的におこなわれます。

ポイント

- ぱっと観テレビが表示されないときは、外部入力端子から入力された映像が表示されます。外部入力端子に信号が入力されていないときは、画面に「NO SIGNAL」と表示されます。
- SmartVisionでテレビを見ているときにパソコンのテレビボタンを押すと、SmartVisionは終了します。

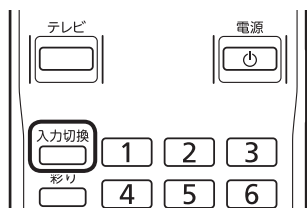
2 リモコンの【入力切換】を何度か押して、ぱっと観テレビの映像を表示させる

押すごとに、次のように切り換わります。

VALUESTAR Wの場合

ぱっと観テレビ→HDMI1→HDMI2→D端子→ぱっと観テレビ→…（以降繰り返し）

VALUESTAR Nの場合

ぱっと観テレビ→HDMI→ぱっと観テレビ→…（以降繰り返し）

ポイント

- パソコン本体左側面の外部入力切換ボタンを押して、ぱっと観テレビや外部入力を切り換えることもできます。
- ぱっと観テレビでは、データ放送を見ることができません。データ放送を楽しむときは、SmartVisionに切り換えてください。（p.20）

チャンネルを切り換える

【チャンネル】や数字ボタンを押して、チャンネルを切り換えることができます。

ポイント

- パソコン本体左側面の、チャンネル切換つまみ/放送波切換ボタンを上下にまわしてチャンネルを切り換えることもできます。
- リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。（p.22）

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

【放送波切換】を押して、BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えることができます。押すごとに、次のように切り換わります。

地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル→…（以降繰り返し）

ポイント

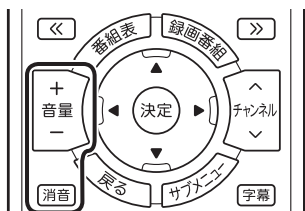
パソコン本体左側面の、チャンネル切換つまみ/放送波切換ボタンを押し込んで、BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えることもできます。

画質を切り換える

【彩り】を押して画質を切り換えることができます。【彩り】を押すと、次のように切り換わります。

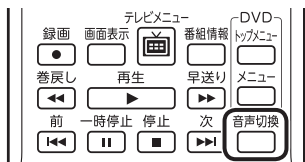
ダイナミック→スタンダード→シネマ→オフ→ダイナミック→…（以降繰り返し）

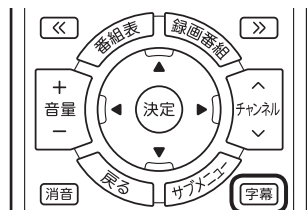
音量を調節する

【音量】を押して音量を調節できます。また【消音】を押すと音量が最小になります（ミュート）。【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

ポイント

パソコン本体左側面の、音量調節つまみ/消音ボタンを上下にまわして音量を調節することもできます。音量調節つまみ/消音ボタンを押し込むと消音（ミュート）され、もう一度押し込むと消音する前の音量に戻ります。

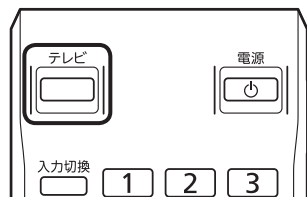
音声を切り換える

音声多重放送を見ているときは【音声切換】を押して音声を切り換えることができます。【音声切換】を押すごとに音声が切り換わります。切り換わり方は放送によって異なります。

字幕を切り換える

字幕放送を見ているときは【字幕】を押して、字幕表示のオン/オフを切り換えることができます。

画面の明るさを調節する

VALUESTAR Wではパソコン本体左側面の、VALUESTAR Nではパソコン本体右側面の、明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを上下にまわしてディスプレイの明るさを調節できます。明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押し込むと、画面消灯ランプが点灯して画面消灯モードがオンになり、一時的に映像と音を消すことができます。

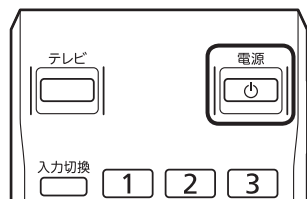
ぱっと観テレビを消す

1 リモコンの【テレビ】を押す

ぱっと観テレビの電源が切れます。
パソコンの電源が入っているときはパソコンの画面に切り換わります。

ポイント

パソコン本体上部のテレビボタンを押して、ぱっと観テレビを消すこともできます。

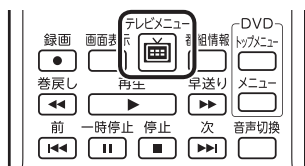
パソコンの画面に切り換える

1 リモコンの【電源】を押す

パソコンの画面に切り換わります。

ポイント

- パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、パソコンの画面に切り換わります。
- パソコン本体の電源ボタンを押して、パソコンの画面に切り換えることもできます。

SmartVisionに切り換える

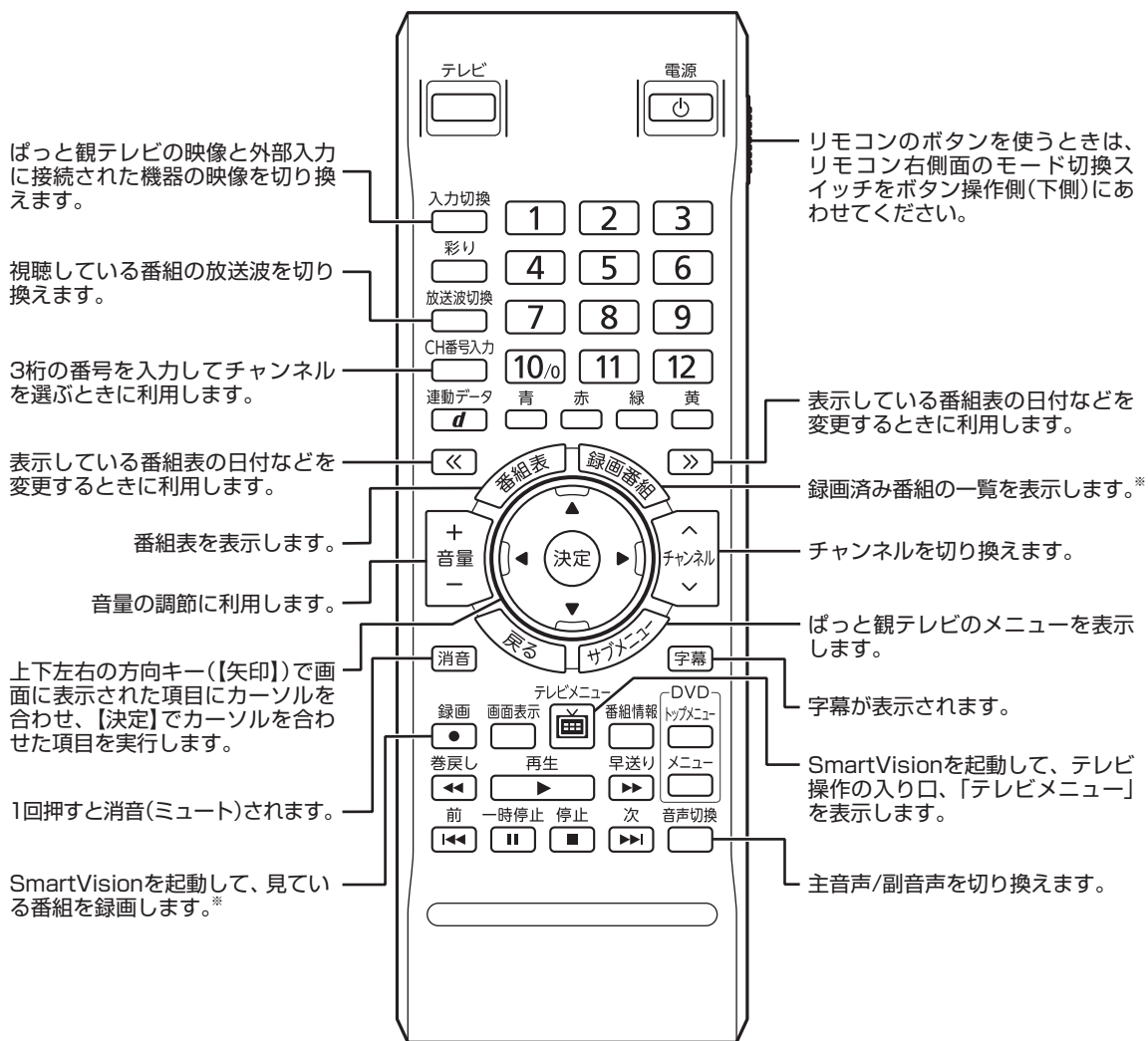
1 【テレビメニュー】を押す

「準備中です」と表示された後、SmartVisionのテレビメニューが表示されます。

ポイント

パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、続けて自動的にSmartVisionが起動します。

リモコンのボタンについて(ぱっと観テレビ)

■ 基本的な操作

リモコンで、ぱっと観テレビの基本的な機能を使うことができます。

※パソコンが起動していないときは
利用できません。

■ 基本的な操作

ここでは、ぱっと観テレビ※6を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	ぱっと観テレビをつける(ぱっと観テレビモデルの場合)※5
【電源】	パソコンを起動/終了する。ぱっと観テレビを見ているときは、ぱっと観テレビが消えてパソコンが起動する。
【彩り】	彩りプラスex機能を切り換える。(p.18)
【1】〜【12】※4	チャンネル(p.17)を切り換える。また、数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【録画番組】	SmartVisionを起動し、録画済みの番組一覧を表示する。※7
【番組表】	番組表を表示する。
【入力切換】	ぱっと観テレビの映像と外部入力に接続された機器の映像を切り換える。
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.17)
【矢印】※3	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。
【決定】※3	選択した項目を決定する。
【≪】、【≫】	「番組表」の日付を切り換える。(p.23)
【サブメニュー】	ぱっと観テレビのメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.18)
【テレビメニュー】	SmartVisionを起動し、テレビメニューを表示する。(p.20)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.19)
【音量】	音量を調節する。(p.18)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.18)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.17)
【録画】	見ている番組を録画する。※7(p.25)

※1: パソコンで使用するほかのソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2: 【CH番号入力】を押し、数字ボタン(【1】〜【10】)を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【決定】を押します(入力を中止するときは【戻る】を押します)。
※3: ぱっと観テレビのメニューで項目を選ぶときに使用します。
※4: 【1】〜【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【11】〜【12】では、数字を入力することができません。
※5: 【テレビ】を押すとぱっと観テレビまたは外部入力に接続された機器の映像が表示されます。SmartVisionを起動するときは【テレビメニュー】を押してください。
※6: SmartVisionの操作については、「PART3 テレビを見る」(p.35)以降の説明をご覧ください。
※7: パソコンが起動していないときは利用できません。

ぱっと観テレビで録画予約する

ぱっと観テレビを見ているときは、パソコンを起動しなくても、ぱっと観テレビの番組表で録画予約することができます。これを「ぱっと予約」と呼びます。

「ぱっと予約」するときのご注意

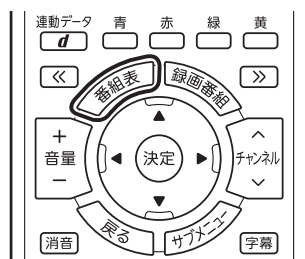
「ぱっと予約」をするときは、次のことにご注意ください。

- ●同じ時刻に入っていた予約があれば削除され、新しい予約で上書きされます。この際、重複を示すメッセージは表示されません。
- ●複数の予約が入っていたときは、優先度の低い予約(p.98)が削除されます。
- ●同じ優先度の予約が入っていたときは、チャンネル番号が小さい方の録画が優先されます。

ポイント

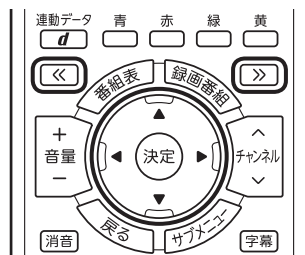
録画予約するときは、PART4の「録画について」(p.64)もあわせてご覧ください。

「ぱっと予約」する

1 【番組表】を押す

ぱっと観テレビの番組表が表示されます。

2 予約する番組を決める

①リモコンの【«】【»】で日付を選ぶ

②予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。

ポイント

【赤】【緑】を押して日付を選ぶこともできます。

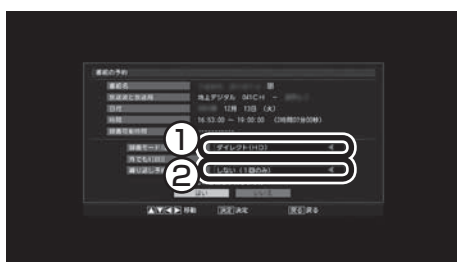
3 予約内容を設定する

①「録画モード」を選ぶ

【矢印】の左右ボタンで録画モード(画質)を選びます。録画モードの設定はSmartVisionでの録画と同様です。詳しくはPART4の「録画モードについて」(p.66)をご覧ください。

②「繰り返し予約」を設定する

【矢印】の左右ボタンで次のいずれかを選びます。

- 「しない(1回のみ)」
  番組表で選んだ番組のみを予約します。通常はこちらを選んでください。
- 「する(シリーズ)」
  シリーズものの番組を続けて予約します(次回以降の放送も自動的に録画)。シリーズ録画の設定はSmartVisionでの録画と同様です。詳しくはPART4の「シリーズ録画のご注意」(p.81)をご覧ください。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

ぱっと観テレビの番組表に戻ります。

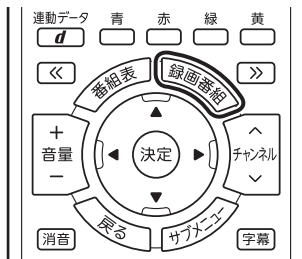
テレビ画面に戻るときは【戻る】を押してください。

PART 2 ぱっと観テレビを使う

SmartVisionに切り換える

パソコンが起動しているときは、ぱっと観テレビからSmartVisionに切り換えて、録画してある番組を再生したり、視聴中の番組を録画したりすることができます。

SmartVisionに切り換えて録画番組を楽しむ(ぱっと再生)

1 【録画番組】を押す

「準備中です」と表示された後、SmartVisionの「録画番組一覧」が表示されます。
番組の再生については、PART5の「録画した番組を再生する」の手順3(p.103)以降をご覧ください。

ポイント
パソコンの電源が入っていないときは、「この機能は現在使用できません」と表示されます。

SmartVisionに切り換えて見ている番組を録画する(ぱっと録画)

1 【録画】を押す

「準備中です」と表示された後、SmartVisionのテレビ映像が表示され、録画が始まります。
録画開始後の操作については、PART4の「視聴中の番組を録画する」の手順2(p.72)をご覧ください。

ポイント
パソコンの電源が入っていないときは、「この機能は現在使用できません」と表示されます。

PART 2 ぱっと観テレビを使う

より便利に使う

ぱっと観テレビをより便利に使うための設定について説明します。

ぱっと観テレビを省電力モードに設定する

ぱっと観テレビの待機電力(テレビをつけていないときの消費電力)が少なくなるように設定できます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「起動/映像/音声の設定」を選んで【決定】を押す

3 「ぱっと観テレビ起動モード」で「省電力」を選ぶ

「省電力」を選ぶと「クイック」よりも起動に時間がかかりますが、待機電力は少なくなります。「クイック」は待機電力が多くなりますが「省電力」より高速で起動できます。

4 【決定】を押す

ポイント

ご購入時の状態では「クイック」が選ばれています。

ぱっと観テレビをつけたときにパソコンを起動しない

ご購入時の状態では、ぱっと観テレビをつけると同時にパソコンが起動します。節電したい場合など、必要に応じてパソコンが同時に起動しないように設定できます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「起動/映像/音声の設定」を選んで【決定】を押す

3 「ぱっと観テレビと同時にパソコンを起動」で「しない」を選ぶ

4 【決定】を押す

ポイント

テレビとパソコンをすばやく切り換えて使いたいときや、「ぱっと再生」や「ぱっと録画」などSmartVisionと連携した機能を使いたいときは、ご購入時の状態のまま、パソコンを同時に起動する設定にしておくことをおすすめします。

ポイント

ご購入時の状態では「する」が選ばれています。

ぱっと観テレビを楽しむときの音質を指定する

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「起動／映像／音声の設定」を選んで【決定】を押す

3 「音声モード」で音質を選ぶ

TV、Cinema、Music、Offのいずれかを選ぶことができます。

4 【決定】を押す

ポイント

ご購入時の状態では「TV」が選ばれています。

「ワイドモード(D端子)」の設定について(VALUESTAR Wのみ)

ぱっと観テレビのメニューの「起動／映像／音声の設定」に表示される「ワイドモード(D端子)」では、パソコンの外部入力端子(D端子)の映像について設定できます。
詳しくは、「外部入力映像に切り換える」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93192020 で検索)をご覧ください。

その他の設定について

ぱっと観テレビのメニューから、次のことができます。

- テレビの受信状態を確認する。
- ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす。
- ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる。
- ぱっと観テレビの設定をご購入時の状態に戻す。
- 字幕や文字スーパーの表示設定を変更する。
- ぱっと観テレビを視聴するときの年齢制限を設定する。
- ぱっと観テレビの設定を変更する際の暗証番号を設定する。
- ぱっと観テレビの情報や放送局からのメッセージを表示する。

ぱっと観テレビの設定に暗証番号(p.32)が設定されているときは、操作の途中で暗証番号の入力画面が表示されます。リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力し、「決定」を選んで【決定】を押してください。

■ テレビの受信状態を確認する

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の、電波の受信状況を確認できます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「受信レベル」を選んで【決定】を押す

受信レベルの画面が表示されます。

5 受信レベルを確認する

①「放送波」を選び、【矢印】の左右ボタンで次のいずれかを選ぶ
地上デジタル放送/BSデジタル放送/CSデジタル放送

②「受信周波数」を選び、【矢印】の左右ボタンで周波数(チャンネル)を選ぶ

アンテナレベルに受信状態が表示されます。

受信レベルがすべて0の場合、アンテナケーブルがパソコンのアンテナ端子に正しく接続されているか確認してください。正しく接続されている場合は、お近くの電器店やアンテナを設置した事業者などに、次の点を確認してください。

・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
・地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
・BSデジタルのアンテナに給電が必要か

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

ポイント

●アンテナレベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。アンテナレベルが56以上になるようにアンテナを調整(p.269)してください。

●正常に視聴できない場合は、PART9の「テレビが映らない」(p.241)をご覧ください。

■ ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす

引っ越しした場合など、必要に応じてチャンネルスキャンをやりなおしてください。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャンの画面が表示されます。

5 チャンネルスキャンの設定をする

①「スキャン種別」を選び、【矢印】の左右ボタンで「再スキャン」を選ぶ

②「対象周波数」を選び、【矢印】の左右ボタンでスキャンの対象とする周波数を選ぶ

③「受信地域」を選び、【矢印】の左右ボタンでお住まいの都道府県を選ぶ

6 「スキャン実行」を選び、【決定】を押す

チャンネルスキャンが始まります。完了するとチャンネルスキャンの結果が表示されます。

7 「はい」を選び、【決定】を押す

チャンネルスキャンの結果が保存されます。

■ ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる

ぱっと観テレビのチャンネルを、リモコンの数字ボタンに割り当てなおすことができます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「リモコン選択」を選んで【決定】を押す

リモコン選択の画面が表示されます。

5 各放送波のチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる

① 放送波を選ぶ

② 放送局(チャンネル)を選ぶ

③ そのチャンネルに割り当てるリモコンの数字ボタンを押す

「リモコン番号」に、割り当てたボタンの数字が表示されます。

6 【決定】を押す

■ ぱっと観テレビの設定をご購入時の状態に戻す

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「機器設定」を選んで【決定】を押す

機器設定の画面が表示されます。

4 「設定初期化」を選んで【決定】を押す

設定初期化の画面が表示されます。

5 「はい」を選び、【決定】を押す

ぱっと観テレビの設定がご購入時の状態に戻ります。

■ 字幕や文字スーパーの表示設定を変更する

ぱっと観テレビの字幕や文字スーパーの表示のしかたを設定します。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

ポイント

- ●チャンネルは放送波ごとに割り当てることができます。
- ●特定のチャンネルを受信しないように設定することができます。この場合は、放送局(チャンネル)を選び、【矢印】の左右ボタンで「スキップ」を選んでください。

3 「視聴設定」を選んで【決定】を押す

視聴設定の画面が表示されます。

4 「字幕／文字スーパー」を選んで【決定】を押す

字幕／文字スーパーの画面が表示されます。

5 字幕と文字スーパーの表示方法を設定する

① 「字幕」を選んで、【矢印】の左右ボタンで表示する字幕を選ぶ
　字幕を表示しないときは、「表示しない」を選んでください。

② 「文字スーパー」を選んで、【矢印】の左右ボタンで表示する文字スーパーを選ぶ
　文字スーパーを表示しないときは、「表示しない」を選んでください。

6 【決定】を押す

■ ぱっと観テレビを視聴するときの年齢制限を設定する

年齢による視聴制限(パレンタルロック)を設定できます。設定した年齢以下の視聴者を対象としていないテレビ番組は、ぱっと観テレビで視聴できなくなります。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「視聴設定」を選んで【決定】を押す

視聴設定の画面が表示されます。

4 「年齢制限設定」を選んで【決定】を押す

暗証番号を入力する画面で、暗証番号を入力して【決定】を押すと、年齢制限設定の画面が表示されます。

ポイント

ぱっと観テレビの設定を変更する際の暗証番号(p.32)も、あわせて設定しておいてください。

5 「制限年齢」を選んで、【矢印】の左右ボタンで年齢を選ぶ

年齢制限を解除するときは「無制限」を選んでください。

6 【決定】を押す

■ ぱっと観テレビの設定を変更する際の暗証番号を設定する

必要に応じてぱっと観テレビの設定を変更するための暗証番号を設定することができます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「視聴設定」を選んで【決定】を押す
視聴設定の画面が表示されます。

4 「パスワード設定」を選んで【決定】を押す
暗証番号を入力する画面で、暗証番号を入力して【決定】を押すと、パスワード設定の画面が表示されます。

5 暗証番号を設定する
① 「暗証番号」を選んで、数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する
② 「再入力」に、数字ボタンで4桁の暗証番号をもう一度入力する

6 【決定】を押す

ポイント

ぱっと観テレビの「年齢視聴制限」(p.31)を設定した場合は、こちらもあわせて設定してください。

■ ぱっと観テレビの情報や放送局からのメッセージを表示する

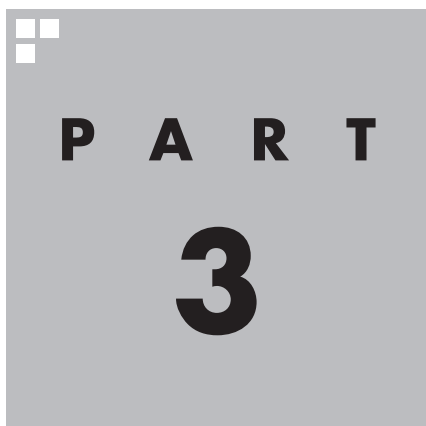
ぱっと観テレビのシステム情報や、放送局からのメッセージなどを表示できます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「システム情報」を選んで【決定】を押す

システム情報の画面が表示されます。

4 各種情報を表示する

①「システム情報」を選んで【決定】を押す
ぱっと観テレビのシステム情報が表示されます。

②「お知らせ」を選んで【決定】を押す
ぱっと観テレビや放送局からのメッセージが表示されます。

③「CS掲示板」を選んで【決定】を押す
CS掲示板からのメッセージが表示されます。

（上の画面は「システム情報」が表示された状態です）

テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ（SmartVision）を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠注意

- 映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
- テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。

PART 3 テレビを見る

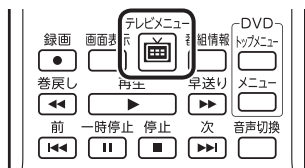
基本的な使い方

ここでは、テレビ(SmartVision)を見るための基本操作を説明します。一般のテレビと同じように、リモコンで操作できます。

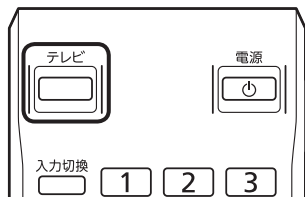
テレビをつける

■ テレビ映像を表示する

●ぱっと観テレビモデルの場合

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビメニューが表示されます。もう一度【テレビメニュー】を押すとテレビの映像が表示されます。
パソコンが省電力状態、または電源が切れている状態でも、【テレビメニュー】を押すと電源が入り、SmartVisionでテレビが見られます。
なお、ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとぱっと観テレビ(p.16)が起動します。

●ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合

1 リモコンの【テレビ】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビが表示されます。パソコンが省電力状態、または電源が切れている状態でも、【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

チェック

●次の方法でも、テレビ(SmartVision)を起動することができます。

・スタート画面の「SmartVision テレビを見る」をクリック

●ハンドパワー機能(p.227)やSmartリモコン(p.222)を使ってテレビ(SmartVision)を起動することもできます。それぞれ使用する前に設定が必要です。

チェック

次の場合は【テレビメニュー】または【テレビ】(ぱっと観テレビモデル以外)を押すとロック画面が表示され、ロックを解除するとサインインの画面が表示されます。

1. パソコンをマルチユーザー環境で使用していて、電源が切れているとき
2. パソコンのサインインや省電力状態からの復帰時にパスワードを設定していて、パソコンが省電力状態のとき、または電源が切れているとき

■ 操作パネル

テレビ機能を使っているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。
テレビの基本操作は主にリモコンでおこないますが、操作パネルを使ってマウスでも操作できます。

テレビの映像や録画した番組の映像が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

「録画番組一覧」や「番組表」など、テレビや録画番組の映像以外の画面が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
マウスで使う画面に切り換えるためのボタン(「スリム」･「ノーマル」･「アドバンスト」)が表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。

ポイント

- 番組表(p.53)やテレビメニュー(p.45)から、見たい番組を選ぶ方法もあります。
- チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。

■ チャンネル番号を入力して切り換える

リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。

1 リモコンの【CH番号入力】を押す

チャンネル番号の入力欄が表示されます。

2 数字ボタン(【1】〜【10】)を使って、3桁のチャンネル番号を入力する

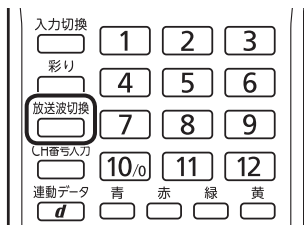
ポイント

「0」を入力するときは【10】を押してください。

3 【決定】を押す

チャンネルが切り換わります。

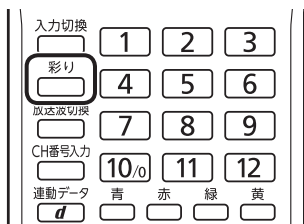
BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えるには、リモコンの【放送波切換】を押します。

押すごとに、次のように切り換わります。
地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル→…(以降繰り返し)

ポイント

テレビメニュー(p.45)から、放送波を切り換える方法もあります。

画質を切り換える

画質を切り換えるときは、リモコンの【彩り】を押します。

【彩り】を押すと、次のように切り換わります。

「彩りプラスex」機能を搭載しているモデル
ダイナミック→スタンダード→シネマ→無効→ダイナミック→…(以降繰り返し)

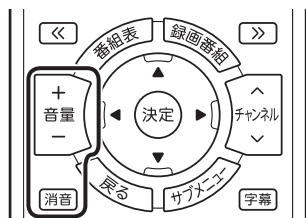
「彩り」機能を搭載しているモデル
有効→無効→有効→…(以降繰り返し)

参照

●「彩りプラスex」について
→「彩りプラスの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071119 で検索

●「彩り」について
→「彩りの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071920 で検索

音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。
【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

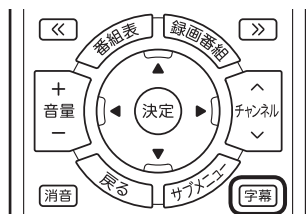
外国映画などの音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、【音声切換】を押します。

【音声切換】を押すごとに、音声が順番に切り換わります。
切り換わり方は放送により異なります。

チェック

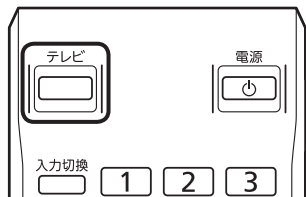
- L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
- このパソコンでは、5.1chサラウンドの音声を、ステレオ2chに変換して出力しています。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
リモコンの【字幕】を押して字幕表示のオン/オフを切り換えます。

テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

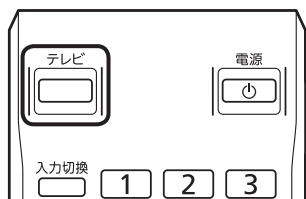
●ぱっと観テレビモデルの場合

1 【テレビ】を押す

テレビ(SmartVision)が終了した後、ぱっと観テレビ(p.16)が起動します。

2 もう一度【テレビ】を押す

ぱっと観テレビが終了して、パソコンのデスクトップが表示されます。

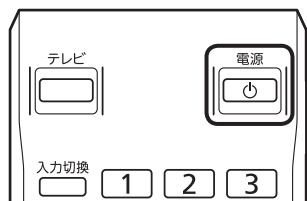
●ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合

1 【テレビ】を押す

テレビ(SmartVision)が終了してパソコンのデスクトップが表示されます。

なお、テレビ(SmartVision)がウィンドウ表示のときや「マウスで使うための画面」(p.134)のときは、【テレビ】を押すと、テレビが画面いっぱいに表示されます。

もう一度【テレビ】を押すと、テレビ(SmartVision)が終了し、パソコンのデスクトップが表示されます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

1 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、パソコンがクイックモードで終了します)。

チェック

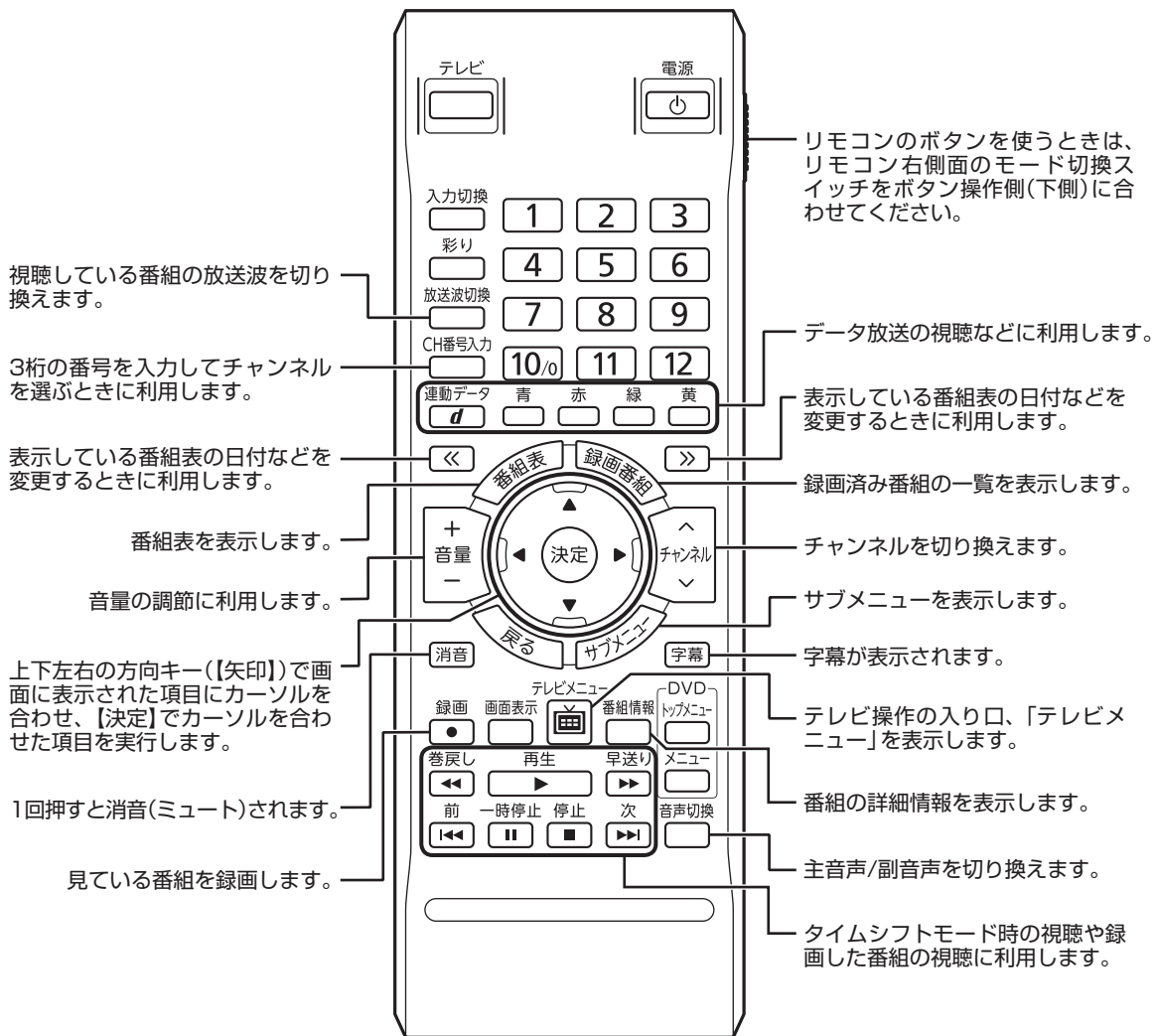
- 【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒〜 1分程度かかる場合があります。
- ご購入時の状態では、録画(予約および終了時刻が設定された録画)、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、ホームネットダビング、簡易編集した番組の保存、デジタル放送の関連データのダウンロードをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、上記の動作が完了してから、パソコンが終了します。

SmartVision利用時の注意事項

- テレビを視聴するとき、USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなどは使用できません。
- テレビ視聴や録画の際、インテル® ワイヤレス･ディスプレイを同時にご利用になると、画質が低下したり映像がコマ落ちすることがあります。テレビ視聴や録画の際は、インテル® ワイヤレス･ディスプレイを終了しておくことをおすすめします。
- Luiリモートスクリーン接続とテレビの視聴を同時におこなうことはできません。
- SmartVisionは、クローンモードによる画面出力には対応していません。
- SmartVisionは、Thunderbolt™ コネクタに接続したディスプレイ(Thunderbolt™に対応したモデルのみ)への画面出力には対応していません。
- スタート画面から「SmartVision テレビを見る」のピン留めを外すと、スタート画面やWindowsストアアプリの使用中に、予約録画などのSmartVisionからのお知らせ(トースト)が表示されなくなります。「SmartVision テレビを見る」のピン留めは外さないことをおすすめします。

リモコンのボタンについて(SmartVision)

■ 基本的な操作

【テレビメニュー】、および【矢印】と【決定】で、テレビ(SmartVision)の基本的な機能を使うことができます。

■ 基本的な操作

ここでは、テレビ(SmartVision)※6を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	テレビをつける(ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合)※5。(p.36)
【電源】	パソコンを起動/終了する。
【彩り】	彩りまたは彩りプラスex機能を切り換える。(p.38)
【1】~【12】※4	チャンネル(p.37)を切り換える。また、数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【録画番組】	録画済みの番組一覧を表示する。
【番組表】	番組表を表示する。
【番組情報】	番組の詳細情報を表示する。
【画面表示】	チャンネルや番組名などを表示する。
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.38)
【矢印】※3	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。また、左右ボタンでコマ送り(一時停止中)(p.103)、上下ボタンで「きこえる変速再生」をする。(p.107)
【決定】※3	選択した項目を決定する。
【≪】、【≫】	「番組表」の日付(p.56)や、「録画番組一覧」のジャンル(p.103)などを切り換える。また、チャプタースキップする。(p.105)※7
【戻る】	テレビや再生中の録画番組の映像に戻る(p.57)。ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.39)
【テレビメニュー】	テレビメニューを表示する。(p.45)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.39)
【音量】	音量を調節する。(p.39)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.39)
【連動データ】(【d】)	データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.50)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.37)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ガイダンス領域やデータ放送に表示される各色のボタンと対応した機能を使う。

(次ページに続く)

ボタン	機能※1
【巻戻し】	巻き戻しする（押すごとにスピードが4段階で速くなる）。（p.49、103）
【再生】	再生する。（p.49、103）
【早送り】	早送りする（押すごとにスピードが4段階で速くなる）。（p.49、103）
【前】	チャプタースキップする。（p.105）
【一時停止】	一時停止する。（p.49、103）
【停止】	再生を停止する。（p.49、103）
【次】	チャプタースキップする。（p.105）
【録画】	見ている番組を録画する。（p.72）

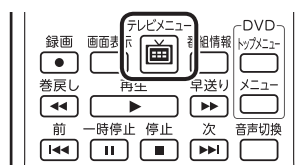
※1: テレビ（SmartVision）以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2: 【CH番号入力】を押し、数字ボタン（【1】～【10】）を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【決定】を押します（入力を中止するときは【戻る】を押します）。
※3: フルスクリーンモードでタイムシフト視聴または再生をおこなっているとき、リモコンが「再生操作モード」であれば、【矢印】の左右ボタンで巻き戻しと早送りを、【決定】で一時停止/再生の切り換え操作ができます。
※4: 【1】～【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【11】･【12】では、数字を入力することができません。
※5: ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとぱっと観テレビまたは外部入力に接続された機器の映像が表示されます。テレビをつける（SmartVisionを起動する）ときは【テレビメニュー】を押してください。
※6: ぱっと観テレビの操作については、「PART2 ぱっと観テレビを使う」（p.15）をご覧ください。
※7: 「リモコンの設定」（p.287）で、【≪】を押すと30秒前から、【≫】を押すと30秒後から再生する機能（30秒スキップ）を割り当てることができます。

PART 3
テレビを見る

テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

テレビメニューって何？

テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。
見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。
リモコンの【テレビメニュー】を押すと表示されます。もう一度押すと、テレビメニューの背景に見えている映像の表示に戻ります。

テレビ機能がまとめられています。各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約、設定などがあります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで動かして選びます。
モデルによってメニューの表示が異なります。
- 地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデル
  放送波のアイコン(地デジ/BS/110度CS)がそれぞれ二重に表示されます。
- 地デジ/BS/110度CS･シングルチューナーモデル
  放送波のアイコン(地デジ/BS/110度CS)がそれぞれ1つだけ表示されます。

見ている番組にはテレビのマークが表示されます。また、録画している番組には赤い丸、タイムシフトモードで受信している番組には緑の三角が表示されます。

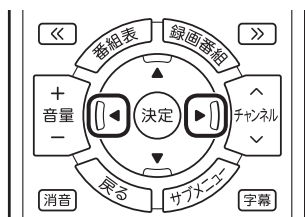
各機能の下のメニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで動かし、【決定】で決定します。

テレビメニューの使い方

ここでは、地上デジタル放送の番組を見る手順を例に、テレビメニューの操作を説明します。

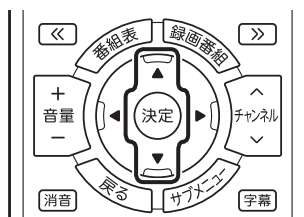
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「地上デジタル」のアイコンを選ぶ

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

チェック

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組が表示されます。

■ レコーダーを切り換える(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ)

テレビメニューで、「レコーダー切換」のアイコンを選び、操作するレコーダーを選んで【決定】を押し、レコーダーを切り換えることができます。
たとえば、ドラマを録画しながら見ているときに野球の中継を見たくなったら、レコーダーを切り換えて、チャンネルを選びなおしてください。ドラマの録画を中断せずに、野球中継を楽しむことができます。

ポイント

リモコンの【サブメニュー】を押し、「レコーダー切換」でレコーダーを選んで切り換えることもできます。

PART 3 テレビを見る

タイムシフトモードで見る

ツーアウト満塁のシーンで電話のベル！そんなときはタイムシフトモードの出番です。今見ている番組を一時停止して、用事を済ませてから続きを楽しみましょう。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」は、見ている番組を自動的に録画する機能です。リアルタイムで見ていた番組を、いったん録画してから再生するため、一時停止したり、巻き戻しや早送りができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。
ご購入時には、「ライブモード」になっています。
タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。

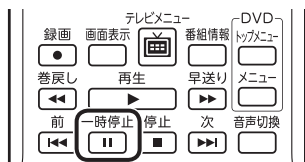
・ タイムシフトモード:
視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
・ ライブモード:
さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

ポイント

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了すると、自動的にライブモードに戻ります。機能の組み合わせについては、PART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)の表をご覧ください。

タイムシフトモードに切り換える

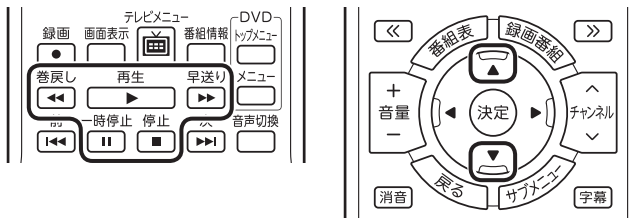
ライブモードでテレビを見ているときは、次の操作でタイムシフトモードに切り換えることができます。

1 リモコンの【一時停止】を押す

タイムシフトモードに切り換わり、番組が一時停止します。続きを見るときは【再生】を押してください。

ポイント

タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で速くなります※。

●早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で速くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●きこえる変速再生
音声付きで、早め、またはゆっくり再生できます。
「お急ぎモード」:【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階で速くなります。リアルタイムの放送に追いつくと、「お急ぎモード」は使えなくなります。
「じっくりモード」:【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階で遅くなります。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.136)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。

●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

ポイント

「リモコンの設定」で、【≪】【≫】に30秒スキップ機能を割り当てることもできます(p.287)。

チェック

●きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。

●一時停止後に続きを再生する場合、一時停止する前のスピードで再生されます。

●タイムシフトモードでさかのぼれる時間は、ご購入時の状態で60分です。「じっくりモード」で番組を視聴していると、再生位置がリアルタイムの放送からだんだん遅れていきます。この遅れが、さかのぼれる時間の限界に達すると、「じっくりモード」は解除され、通常の再生スピード(1倍)に戻ります。

タイムシフトモードを終了する

1 リモコンの【停止】を押す

タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

ポイント

特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、PART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)の表をご覧ください。

PART 3 テレビを見る

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

データ放送を表示する

1 リモコンの【連動データ】を押す

データ放送の画面が表示されます。

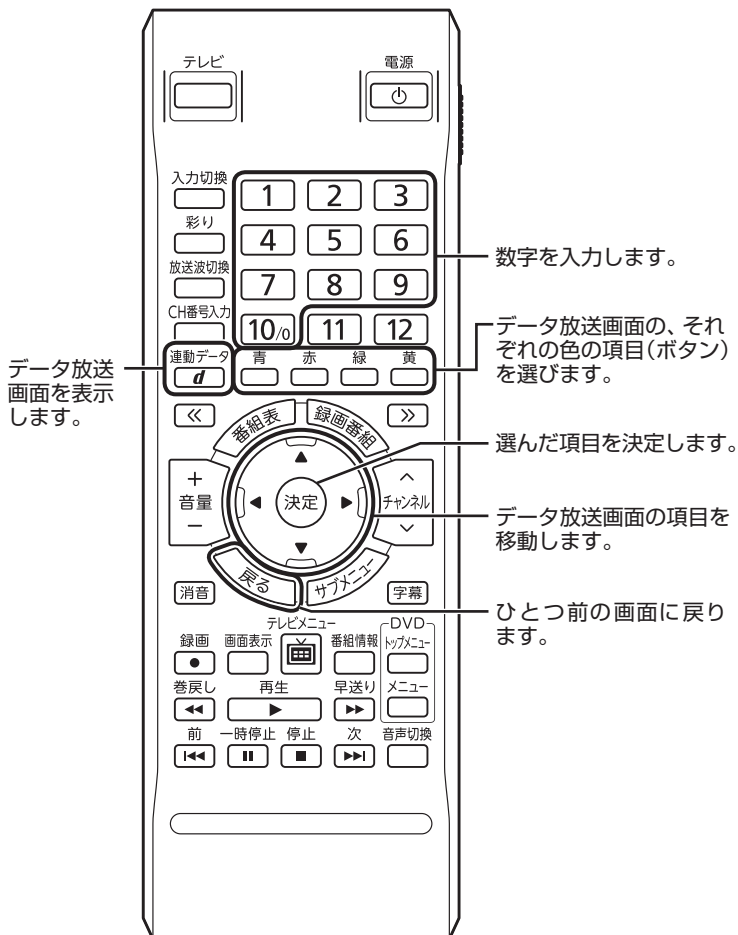
チェック

- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、ライブモード(p.49)に切り換えてください。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。

ポイント

番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

チェック

●データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。

●リモコンを「データ放送固定モード」にしないと操作できない場合があります。必要に応じて、リモコンの【サブメニュー】を押し、リモコンの設定を「自動切換」から「データ放送固定モード」に変更してください。

●数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

●リモコンで「0」を入力するときは【10】を押してください。

キーボード	操作の内容
【D】※	データ放送画面を表示します。
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。
【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
【B】※ 【R】※ 【G】※ 【Y】※	データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)を選びます。 【B】:青 【R】:赤 【G】:緑 【Y】:黄
【0】～【9】※	数字を入力します。

※マウスで使うための画面(p.134)でのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。
文字を入力するときは、マウスで使うための画面に切り換えてください(p.134)。

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

データ放送を見るときの注意

- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモード(p.48)でデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
  映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- ダイレクト以外の録画モード(p.66)で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。
- 録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻し、きこえる変速再生などをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

PART 3
テレビを見る

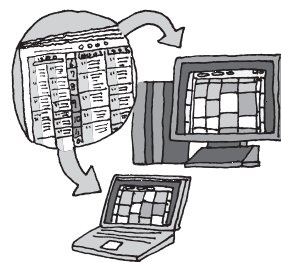
番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。自分の好みにあわせた「マイ番組表」を作ることもできます。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？
新聞やテレビ情報誌？
新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。
番組表は、テレビの電波で更新できます。
番組表は最大8日分が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

■ マイ番組表

地上デジタル、BS･110度CSデジタルの放送波に関係なく、お好みのチャンネルだけを表示できる便利な機能です。「お父さん用」、「お母さん用」など家族それぞれの番組表や、「アニメ」「週末のみ」などジャンル別、用途別の番組表を作ることができます。作成した番組表は、テレビメニューの番組表から表示させることができます。
マイ番組表を使うためには、最初にチャンネルの登録が必要です。
登録については「マイ番組表を作る」(p.61)をご覧ください。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。
テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

■ 番組表の受信に関する注意

番組表を受信するには、パソコンのレコーダー(チューナー)を1つ使用します。そのため、番組表の受信中は次のことに注意してください。

●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。

●地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルの場合
番組表受信に使用していないレコーダーは通常と同じように使用できます。

次の場合は、番組表の受信ができません。
・ 2つの番組を同時に録画しているとき

ポイント

ご購入時の状態では、番組表を次の時刻に受信する設定になっています。

10･12･14･16時

いずれかの時刻に番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません。
録画予約などと重ならないよう、自動的に受信の時刻が設定されます。
番組表の受信時刻を変更する場合は、このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、PART10の「予約実行前後の動作を設定する」(p.267)をご覧ください。

次の場合は、番組表の自動受信ができません。
・ テレビを見ながら別の番組を録画しているとき
・ 2つの番組を同時に録画しているとき

番組表を受信中は、次の動作をします。
・ 番組表の受信をするレコーダーがタイムシフトモードだった場合は、ライブモードに切り換わります
・ 番組表の受信をするレコーダーのチャンネルが自動的に切り換わります
・ 番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。
・ 番組表の受信をするレコーダーのチャンネルを切り換えたとき
・ 番組表の受信をするレコーダーで録画を開始したとき
・ 番組表の受信をするレコーダーをタイムシフトモードに変更したとき

●地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合

次の場合は、番組表の受信ができません。
・ 録画をしているとき

次の場合は、番組表の自動受信ができません。
・ テレビを見ているとき
・ 録画をしているとき

番組表を受信中は、次の動作をします。
・ タイムシフトモードで番組を見ていた場合は、ライブモードに切り換わります
・ チャンネルが自動的に切り換わります
・ 番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。
・ テレビを起動したとき
・ チャンネルを切り換えたとき
・ 録画を開始したとき
・ タイムシフトモードに変更したとき

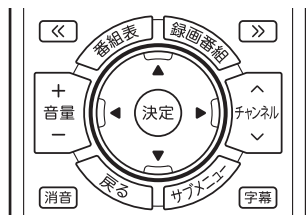
●ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更(p.58)してください。

●クイックパワーオンを使用するときは、PART10の「予約実行前後の動作を設定する」(p.267)をご覧になり、必要に応じて予約実行前の動作(予約録画、予約視聴、番組表の受信の前の動作)を設定しなおしてください。

番組表を見る

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**

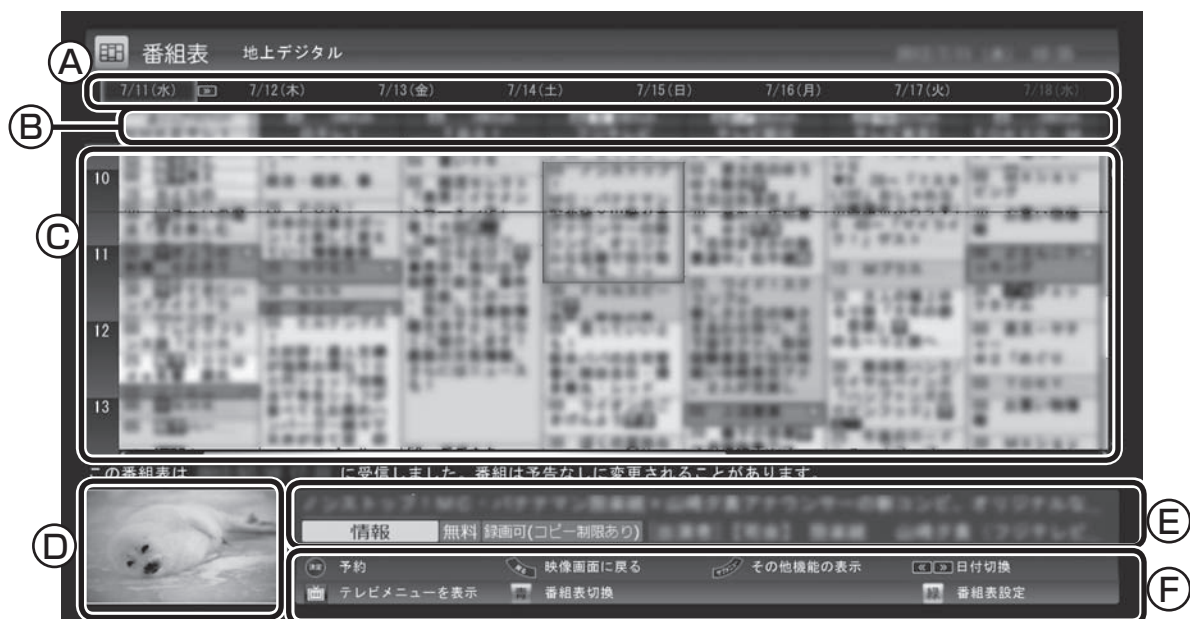
テレビメニューが表示されます。

2 **「番組表 」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す**

番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手動で番組表を受信するには」(p.60)をご覧いただき、番組表を手動で受信してください。
マイ番組表については、「マイ番組表を作る」(p.61)をご覧ください。

ポイント

リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。

■ 番組表の使い方

Ⓐ日付
リモコンの【《】【》】を押して日付を移動すると、その日の番組表が表示されます。

Ⓑ番組表チャンネル
チャンネルと放送局が表示されます。

Ⓒ番組表
現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組を選ぶと、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、選んだ番組を予約(または視聴)する画面に移ります。

Ⓓプレビュー領域
選局中の番組が表示されます。
リモコンの【戻る】を押すと、ここに表示されている番組が全画面表示されます。

Ⓔ番組情報
番組表で選んだ番組の情報が表示されます。
リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。

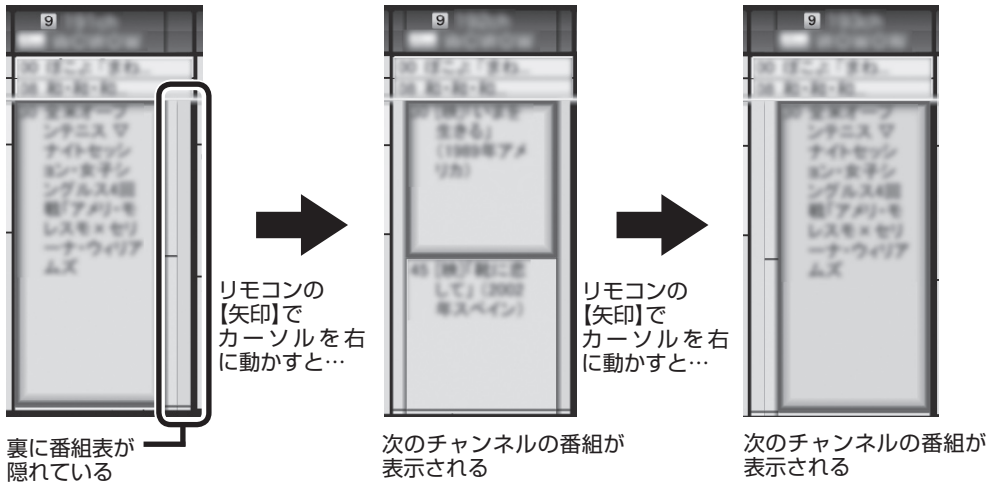
Ⓕガイダンス領域
「予約」や「番組表切換」など、番組表で使う機能が表示されます。それぞれの機能に対応するリモコンのボタンを押して、その機能を使用することができます。
ガイダンス領域は番組表以外の画面にも表示されます。表示されるボタンは画面によって異なります。

デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。

リモコンの
【矢印】で
カーソルを右
に動かすと…

裏に番組表が
隠れている

次のチャンネルの番組が
表示される

次のチャンネルの番組が
表示される

■ 番組表から見たい番組を選ぶ

番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。
見たい番組を選んで【決定】を押すと表示される番組を予約する画面で、「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。

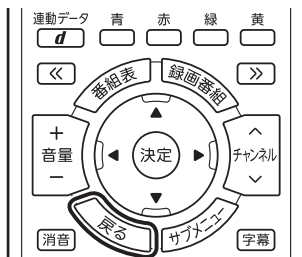
現在の時刻

現在の番組

録画予約について詳しくは、PART4の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.77)をご覧ください。

> ポイント
>
> 別の番組表に切り換えるときは、【青】を押して、表示されたメニューから選んでください。【テレビメニュー】を押してテレビメニューから選ぶこともできます。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表からテレビを見る画面に戻るには、リモコンの【戻る】を押します。

テレビを見る画面が表示されます。

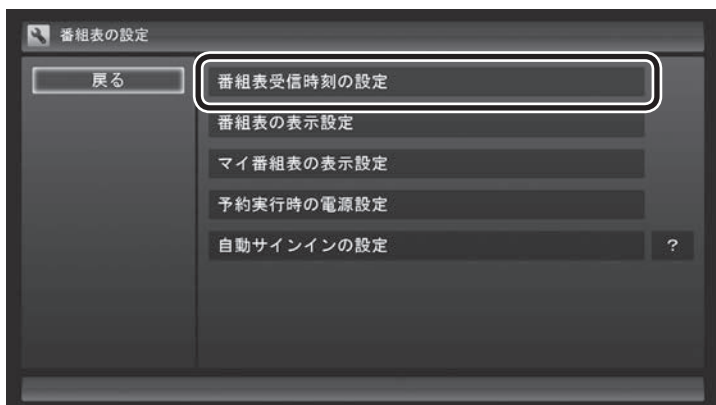
番組表の受信時刻を変更する

番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。
番組表受信時刻を変更する前に、「番組表の受信に関する注意」(p.53)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「番組表の設定」を選んで【決定】を押す

3 「番組表受信時刻の設定」を選んで【決定】を押す

「番組表受信時刻の設定」画面が表示され、設定できます。

チェック

地デジ/BS/110度CS·ダブルチューナーモデルは、番組の視聴や録画に使用するレコーダー(チューナー)を2つ搭載しています。番組表の受信は、視聴や録画に使われていないレコーダー(チューナー)を使って自動的におこなわれます。

受信時刻と動作
「ー」にすると、その時刻には番組表を受信しません。
「受信」にすると、その日にすでに番組表を受信していても、その時刻に番組表を受信します。
「自動」にすると、その日に一度も番組表を受信していなければ、その時刻に番組表を受信します。

受信する番組表
どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

- ●「受信する番組表」で「受信」にした放送波の番組表を、「受信時刻と動作」の設定にしたがって受信します。
- ●番組表を受信したくないときは、「受信する番組表」ですべての放送波を「ー」にしてください。
- ●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルは、SmartVisionを起動した時点で次の条件をいずれも満たしているとき、自動的に番組表の受信が始まります。
  - ・その日に一度も番組表を受信していない。
  - ・搭載されている2つのレコーダー(チューナー)のうち、少なくともどちらか1つが使用されてない。
    (視聴や録画でレコーダーが2つとも使われているときは、番組表が受信されません)

4 設定を変更したら「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、「受信する番組表」の「CS」を「受信」に変更してください。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

1 「番組表を見る」(p.55)の手順1 ～ 2の操作をおこない、受信したい放送波の番組表を表示させる

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

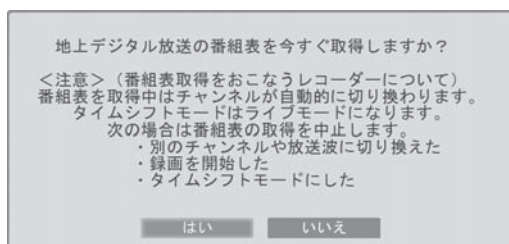
2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで【決定】を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合の例

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか？

＜注意＞（番組表取得をおこなうレコーダーについて）
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
タイムシフトモードはライブモードになります。
次の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした

はい　いいえ

3 「はい」を選んで【決定】を押す

番組表の受信が始まります。
受信が完了すると、「番組表を取得しました」というメッセージが表示されます。

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

受信された番組表が表示されます。

- 番組表をインターネットから取得することもできます。詳しくはPART8の「G-GUIDE for Windowsで予約する」(p.230)をご覧ください。
- 手動で番組表を受信するときは、番組表の基本的な情報のみを取得します。これはBSデジタル放送の番組表のデータが多く、詳細な情報を含めて取得すると約1時間ほどかかるためです。
また、この際、すでに取得されていた詳細情報もクリアされます。このため、番組表の手動受信後に「ウェブ検索」(p.150)の「人名検索」をおこなっても、人名の情報が表示されないことがあります。

マイ番組表を作る

お好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。マイ番組表は4つまで作ることができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」を選び、マイ番組表を選んで【決定】を押す

ここでは、ご購入時の状態であらかじめ登録されている「マイ番組1」を選びます。

マイ番組表(ここでは「マイ番組1」)が表示されます。

3 【緑】を押す

「マイ番組表の表示設定」が表示されます。

ポイント

ご購入後、はじめて「マイ番組1」を選んだときは、「放送局が未選択です」というメッセージが表示されます。

ポイント

作成済みのマイ番組表を選んで【緑】を押すと、次の操作ができます。

- マイ番組表の編集
  選択しているマイ番組表を編集できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- マイ番組表の追加
  新たにマイ番組表を追加できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- マイ番組表の削除
  選択しているマイ番組表を削除できます。

4 マイ番組表を設定する

① 設定するマイ番組表を選ぶ

「設定するマイ番組表」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで設定したいマイ番組表の番号(1 ～ 4)を選んでください。

② マイ番組表の名前を設定する

「マイ番組表の名称」を選んで【決定】を押し、キーボードで名前を入力して【Enter】を押してください。

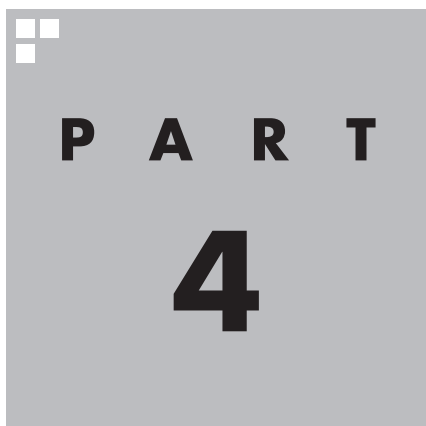
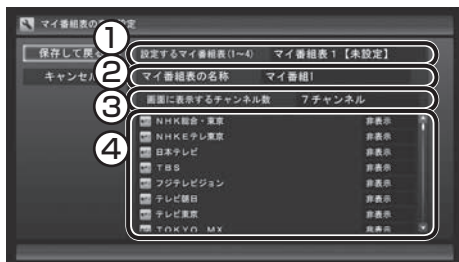
③ 画面に表示するチャンネル数を選ぶ

「画面に表示するチャンネル数」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで1画面に表示するチャンネルの数を選んでください。

「9チャンネル」・「7チャンネル」・「5チャンネル」のいずれかを選択できます。

④ マイ番組表に登録するチャンネルを選ぶ

チャンネルが表示されている部分を選んで【決定】を押します。

マイ番組表に登録するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「表示」を選んでください。

登録を解除するときは、解除するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「非表示」を選んでください。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

設定が保存され、マイ番組表が表示されます。

録画・予約する

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、キーワードから番組を探して自動的に録画する「おまかせ録画」、アニメやドラマの新番組を自動的に録画する「新番組おまかせ録画」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4
録画・予約する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

- ●録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。
- ●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- ●頻繁に録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週に1回程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは、スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「管理ツール」-「ドライブのデフラグと最適化」で実行します。
- ●録画中に、パソコンをシャットダウンしたときや、パソコンが休止状態になったときなどは、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- ●録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
- ●「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
- ●録画した番組はこまめにDVDなどに保存(p.123)したり、不要な番組を削除(p.113)したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。
- ●テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ●テレビ番組を録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。録画した番組の映像が一部乱れる場合があります。
- ●一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- ●このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- ●短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

チェック

- ●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。映像が乱れるときの対処について詳しくは、PART9の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.244)をご覧ください。
- ●ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

チェック

SSDを搭載したモデルでは、SSDにディスクデフラグを実行しないでください。

●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで録画モード変換と録画を同時におこなうときは、一部の機能に制限があります。詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)をご覧ください。

●このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかのパソコンおよび、ほかの動画再生ソフトでは再生できません。また、外付けハードディスク(p.142)に録画番組を移動した場合も、このパソコン以外のパソコンでは番組を再生することはできません。
ただし、次の場合は再生可能です。
・DVDなどに保存(p.123)して、対応したソフトやプレーヤーで再生する場合
・ホームネットワークで、録画した番組をホームネットダビングしたり配信する場合(対応モデルのみ)(p.182)
・ホームネットワークに接続されているSmartVision/PLAYERが搭載されたパソコンで再生する場合(対応モデルのみ)(p.192)

●録画中にWindowsバックアップをおこなうと、番組の映像や音声が乱れた状態で録画されることがあります。バックアップスケジュールを設定しているときは、予約録画の時刻と重ならないようご注意ください。

●インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使用中にテレビ番組の録画をおこなうと、映像が乱れたり録画ができなくなることがあります。録画の際は、インテル® ワイヤレス・ディスプレイを終了しておくことをおすすめします。

●独立データ放送(データ放送サービスのみの放送)は録画できません。

●「おまかせ録画フォルダー」と「録画フォルダー」のすべてを含めて録画できる番組の総数は10,000件までです。10,000件を超えてしまう場合は、録画した番組を削除してください。

録画モードについて

録画モードはモデルによって異なります。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

録画モード		最大解像度	用途と特徴
ダイレクト		ハイビジョン(HD)※2	放送された画質で番組を録画するモードです。すべてのモードの中で録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を保存するのに適しています。このモードのみデータ放送が保存されます。
長時間モード※1	ファイン	ハイビジョン(HD)※2	録画できる時間と画質とのバランスが取れたモードです。フルハイビジョンで録画できます。「ダイレクト」に近い画質で、地上デジタルは「ダイレクト」の約2倍、BS・110度CSデジタルは約3倍録画できます。
	ファインロング	ハイビジョン(HD)※2	フルハイビジョンで長時間録画できるモードです。「ファイン」より画質が低下しますが、地上デジタルは「ダイレクト」の約4倍、BS・110度CSデジタルは、「ダイレクト」の約6倍録画できます。
	セミファインロング	ハイビジョン(HD)※2	フルハイビジョンで、もっとも長時間録画できるモードです。スタジオで撮影されたドラマなど、映像の動きが激しくない番組であれば、解像度にこだわったまま長時間録画できます。 地上デジタルは「ダイレクト」の約11倍、BS・110度CSデジタルは「ダイレクト」の約16倍録画できます。
	ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。映像の動きが激しい番組では、「セミファインロング」に比べてブロックノイズが目立ちにくくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約8倍、BS・110度CSデジタルは約12倍録画できます。
	スーパーロング	標準(SD)	標準解像度に変換して録画するモードです。すべてのモードの中で、録画に必要なハードディスク容量がもっとも少なくなります。地上デジタルは「ダイレクト」の約14倍、BS・110度CSデジタルは約20倍録画できます。ハードディスクの容量が少なくなってきたときなどに便利です。

※1：長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

※2：標準(SD)で放送された番組を録画した場合、標準(SD)となります。

● 「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。

● 「ダイレクト」、「ファイン」以外の録画モード(p.273)に関するご注意
「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、「スーパーロング」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。
また、スポーツ番組や音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をこれらのモードで録画すると、再生時にブロックノイズが目立つことがあります。このような番組は「ダイレクト」や「ファイン」で録画することをおすすめします。

ポイント

録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」(p.170)の機能を使うときは、放送されている音声のうち1つだけ録画できます。

■ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

録画モード		解像度	用途と特徴
ダイレクト		ハイビジョン(HD)※2	放送されたままの画質で番組を録画するモードです。5つのモード中、録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を録画するのに適しています。また、このモードのみデータ放送が保存されます。
長時間モード※1	ファイン	ハイビジョン(HD)※2	録画できる時間と画質のバランスがとれたモードです。「ダイレクト」に近い画質で、地上デジタル放送は「ダイレクト」の約2倍、BS・110度CSデジタル放送は約3倍録画できます。
	ファインロング	ハイビジョン(HD)※2	ハイビジョン解像度で長時間録画できるモードです。地上デジタル放送は「ダイレクト」の約4倍、BS・110度CSデジタル放送は約6倍録画できます。
	セミファインロング	ハイビジョン(HD)※2	ハイビジョンで、もっとも長時間録画できるモードです。スタジオで撮影されたドラマなど、映像の動きが激しくない番組であれば、解像度にこだわったまま長時間録画できます(最大解像度:1280×1080)。 地上デジタル放送は「ダイレクト」の約7倍、BS・110度CSデジタル放送は「ダイレクト」の約10倍録画できます。 ＜光ディスク保存時＞ ・CPUによる画質変換対応モデル:最大解像度が1440×1080になります。 ・CPUによる画質変換非対応モデル:「ロング」モード(標準解像度)に変換されます。
	ロング	標準(SD)	標準解像度に変換して保存するモードです。地上デジタル放送は「ダイレクト」の約8倍、BS・110度CSデジタル放送は約12倍保存できます。映像の動きが激しい番組では、「セミファインロング」に比べてブロックノイズが目立ちにくくなります。解像度にこだわらずできるだけ長時間録画したいときは、このモードがおすすめです。

※1: 長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

※2: 標準(SD)で放送された番組を録画した場合、標準(SD)となります。

●「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。

●「ダイレクト」、「ファイン」以外の録画モード(p.273)に関するご注意
「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、「ダイレクト+外でもVIDEO(ワンセグ画質)」、および「ダイレクト+外でもVIDEO(SD画質)」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。
また、スポーツ番組や音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をこれらのモードで録画すると、再生時にブロックノイズが目立つことがあります。このような番組は「ダイレクト」や「ファイン」で録画することをおすすめします。

●録画中の番組を視聴するときのご注意
録画中の番組を視聴するときは、録画している画質(録画モード)の映像が表示されます。たとえば、「ファイン」で録画中の番組を視聴するときは、画質が「ファイン」の映像が表示されます。

ポイント

「セミファインロング」では、最大解像度が1280×1080となります。

録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル 標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル 標準テレビ(SD)	約4.7Gバイト
ファイン	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
セミファイン ロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル 約650Mバイト 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 約1.0Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約900Mバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
スーパーロング (地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ)	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約520Mバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

チェック

「外でもVIDEO」を同時に録画するときは、各録画モードで必要なハードディスク容量に加えて、1時間あたり、「外でもVIDEO(ワンセグ画質)」では約258MB、「外でもVIDEO(SD画質)」では約562MBの容量が必要です。

ダブル録画をおこなうときのご注意

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルは、2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。
ただし、同時に使用する機能によって、一部制限があります。ご注意ください。

●タイムシフトモードで視聴するとき
　タイムシフトモードは、放送されている番組を録画しながら視聴することで、巻き戻しや早送りの機能を実現しています。このため、タイムシフトモードでの視聴には、録画と同様の制限があります。

チェック

●同時に実行できない機能が重なったとき、実行する機能を選ぶ画面が表示されることがあります。その際は、表示されたメッセージにしたがい、いずれかの機能をキャンセルするなどの操作をしてください。

●CPUによる画質変換に対応したモデルと非対応のモデルでは、同時に使える機能が一部異なります。詳しくは、次の「同時に使える機能の組み合わせについて」をご覧ください。

●録画モード変換をおこなっているとき※

・ダブル録画するときは、どちらか一方の番組を「ダイレクト」で録画してください。
・携帯電話用のデータを作成しながらダブル録画をするときは、2番組とも「ダイレクト」で録画してください。このとき携帯電話用のデータを作成できるのは1番組のみとなります。

※：次の3つが含まれます。
・「録画モード変換」の機能を使用しているとき
・携帯電話用のデータが作成されていない録画番組を、携帯電話に転送しているとき
・録画番組を光ディスクに保存する際、「デジタル放送画質の変換」で「変換しない」以外を選択したとき（CPUによる画質変換に非対応のモデルのみ）

■ 同時に使える機能の組み合わせについて

●CPUによる画質変換対応モデル

レコーダー 1とレコーダー 2の機能の組み合わせ		同時動作	録画モード変換との同時動作	
			光ディスク保存以外	光ディスク保存
ダイレクト録画	―	○	○	○
ダイレクト以外の録画	―	○	○	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	―	○	○	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	―	○	×	○
ダイレクト録画	ダイレクト録画	○	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト録画	○	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト以外の録画	○	×	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	○※	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	×	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	○	×	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	○	×	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	○	×	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	○	×	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	○	×	○

●CPUによる画質変換非対応モデル

レコーダー 1とレコーダー 2の機能の組み合わせ		同時動作	録画モード変換（光ディスク保存時含む）との同時動作
ダイレクト録画	―	○	○
ダイレクト以外の録画	―	○	○
ダイレクト録画・携帯データ作成	―	○	○
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	―	○	×
ダイレクト録画	ダイレクト録画	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト録画	○	○
ダイレクト以外の録画	ダイレクト以外の録画	○	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	○※
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画	○	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	○	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画	○	×
ダイレクト録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	○	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト録画・携帯データ作成	○	×
ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	ダイレクト以外の録画・携帯データ作成	○	×

※この組み合わせのとき、ライブモードで視聴していたテレビは自動的にタイムシフトモードに切り換わります。
表中のいずれかの動作が終了するとライブモードに戻ります。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- ●録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ●ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- ●放送休止状態になったとき
- ●番組の受信ができなくなったとき
- ●番組が、録画不可属性になったとき
- ●受信状態が不安定なとき

PART 4
録画・予約する

いろいろな録画予約機能

このパソコンには、いろいろな録画予約機能が搭載されています。
ここでは、それらの機能について簡単にご紹介します。

録画予約機能一覧

こんなときは、どの録画機能を使えばいいのかかな？
次の一覧をご覧いただき、さまざまな録画機能を使いこなしてください。

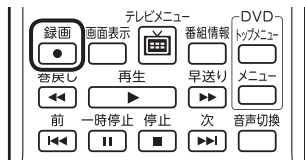
機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
録画の自動停止	視聴中の番組を録画する場合、番組の終了時や、指定した時間が経過した時点で、自動的に録画を停止させることができます。	録画を自動的に停止する（p.73）
おてがる予約（番組表からの予約）	画面に表示された番組表から番組を選ぶだけで録画予約できます。 また、ジャンルやキーワードを指定して、好みの番組を検索して録画予約できます。	おてがる予約をする（p.77） 番組を検索して予約する（p.82）
シリーズ録画	連続ドラマなどのシリーズ番組を、一度の操作で次回以降の放送も自動的に録画予約できます。	シリーズ録画する（p.81）
時間指定予約	まだ番組表には表示されていないずっと先の番組でも、チャンネルや日時を指定して録画予約できます。	番組表を使わないで予約する（p.84）
おまかせ録画	好きなジャンルやお気に入りタレントなど、あらかじめジャンルやキーワードを登録しておくと、それをもとに番組を検索して、自動的に録画予約します。	おまかせ録画をする（p.87）
新番組おまかせ録画	アニメやドラマなどの新番組を自動的に検索して録画予約します。	新番組おまかせ録画をする（p.93）

●「おてがる予約」や「時間指定予約」では、録画だけでなく視聴を予約することもできます。
●予約には優先度があります。詳しくは、このPARTの「予約の優先度について」（p.98）をご覧ください。

PART 4 録画・予約する

視聴中の番組を録画する

見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す

録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、PART5の「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

■ 録画ランプについて(VALUESTAR Wのみ)

VALUESTAR Wでは、録画が始まると録画ランプ(録画中であることを示すランプ)が点灯します。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

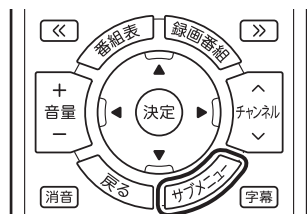
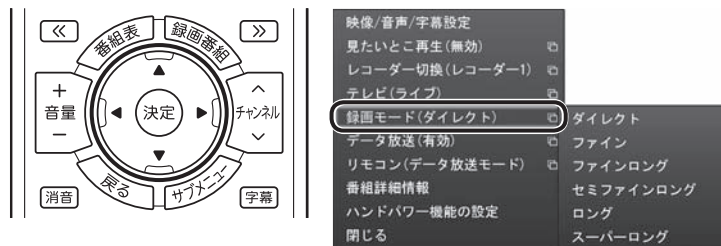
- 【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.74)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
さかのぼり録画をするには、あらかじめタイムシフトモードにしておく必要があります。
- 録画中の番組を再生することもできます(p.108)。

チェック

録画ランプについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

録画の前に録画モード(p.66)を変更することができます。設定できる録画モードはモデルによって異なります(ここでは、地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルの画面を例に説明しています)。

1 【サブメニュー】を押す

2 「録画モード」を選んで【決定】を押す

3 設定する録画モードを選んで【決定】を押す

■ 録画を自動的に停止する

【録画】を連続して押すと、録画終了時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし･･･(以降繰り返し)。
録画中に【電源】を押すなど、パソコンをクイックモードまたはスリープ状態にする操作をおこなうと、画面が消えて録画を継続します。録画が終了すると、パソコンはクイックモードまたはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。なお、「時間指定なし」で録画しているときにパソコンをクイックモードまたはスリープ状態にする動作をおこなうと、画面が消えた後、録画中の番組が終了するまで録画を継続し、その後クイックモードまたはスリープ状態になります。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- タイムシフトモードで視聴している番組を録画するときは、録画モードが変更できません。
- この方法で録画するときは、録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」(p.162)の機能が使えません。

ポイント

録画モードの「スーパーロング」は、地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルでのみ選択できます。

ポイント

- 録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。
- ご購入時の状態では、【電源】を押すとパソコンがクイックモードで終了するように設定されています。

PART 4

録画・予約する

タイムシフトモードの番組を録画する（さかのぼり録画）

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

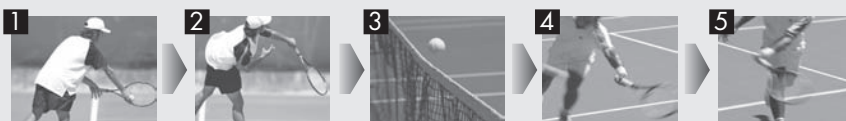
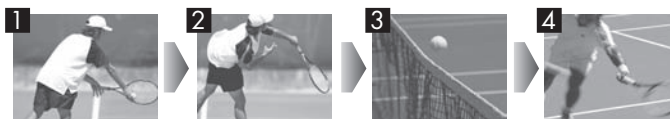
タイムシフトモード(p.48)で見ている番組は、巻き戻してから録画をすることができます。これを「さかのぼり録画」と呼びます。

■ さかのぼり録画

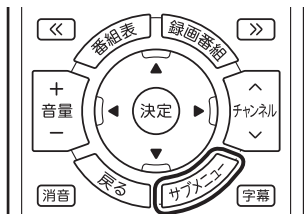
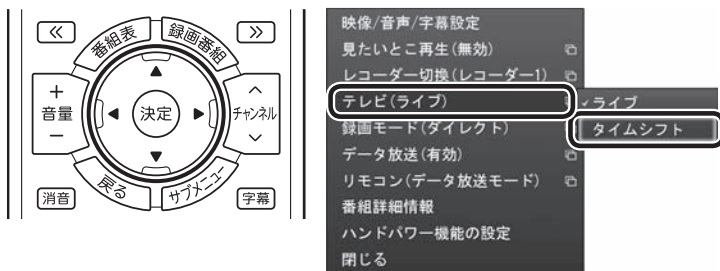
タイムシフトモードで見ている番組なら、「あ、この番組録画しておけばよかった！」というときでも大丈夫。「タイムシフト」機能を使った「さかのぼり録画」で、今見ている番組をさかのぼって録画することができます。

※さかのぼれる時間は、1分～ 90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは画質（録画モード）が変更できません。

■ タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。

1 【サブメニュー】を押す

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

ポイント

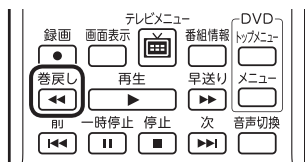
- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

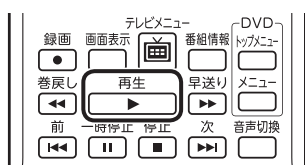
ポイント

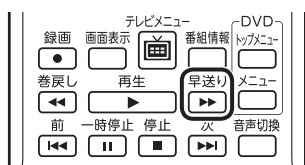
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合、特定の機能を組み合わせて使うとき、視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)の表をご覧ください。

■ さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す

3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す

4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す

5 録画を終了するときは、【停止】を押す

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画を開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし…（以降繰り返し）

PART 4 録画・予約する

おてがる予約をする（番組表で予約する）

番組表から番組を選んで予約する「おてがる予約」を使ってみましょう。

おてがる予約って何？

「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。「シリーズ録画」機能を使って、お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。

おてがる予約をする

番組表(p.53)から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上デジタル放送の番組を予約します。

地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルは、2つのレコーダー(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。
同時に使用する機能によって、一部制限があります。詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)をご覧ください。

ポイント

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

① リモコンの【≪】【≫】で日付を選ぶ

② 予約したい番組を選んで【決定】を押す

番組を予約する画面が表示されます。

4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② 予約する動作(予約視聴または予約録画)を選ぶ
「予約録画/予約視聴」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から予約する動作を選んでもう一度【決定】を押してください。

●「予約視聴」
放送開始に合わせ、自動的に番組の映像を表示します。録画はおこないません。

●「予約録画(通常録画フォルダーに保存)」
予約した番組を録画し、通常録画フォルダーに保存します。

●「予約録画(録画フォルダー 2に保存)」
予約した番組を録画し、録画フォルダー 2に保存します。

③「録画モード(画質)」を選ぶ
「録画モード(画質)」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モード(p.66)を選んでもう一度【決定】を押してください。

④「外でもVIDEO録画」
「する」を選ぶと、録画する番組を外でもVIDEOの候補(携帯電話に転送する候補)として設定できます。スマートフォン以外の携帯電話に転送するためのデータを、録画と同時に作成することもできます。

⑤「繰り返し予約」を設定する
「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでもう一度【決定】を押してください。

●「しない(1回のみ)」
番組表で選んだ番組のみを予約します。通常はこちらを選んでください。

●「する(シリーズ)」
シリーズものの番組を続けて予約します(次回以降の放送も自動的に録画)。シリーズ録画の設定について詳しくは、「シリーズ録画のご注意」(p.81)をご覧ください。

●「する(時間指定)」
予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し予約します。番組の放送時間の変更には追従しません。

- ●放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。
- ●番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。
- ●放送の種類(放送波:地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル)を切り換えたいときは、【青】を押して選びなおしてください。

- ●外付けハードディスクを登録するなど、あらかじめ録画フォルダーが追加登録されているときは、「予約録画/予約視聴」でそれらの録画フォルダーを選択することもできます。ここではご購入時の状態(追加登録した録画フォルダーがない状態)を例に説明しています。
- ●番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。
- ●「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。
- ●地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、録画モードがダイレクトモードの場合のみ携帯電話用のデータが作成できます。

⑥「詳細設定」をおこなう

「詳細設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面でさらに詳細な設定をおこなうことができます。

●録画する曜日の設定

繰り返し予約を「する(時間指定)」に設定したとき、録画する曜日を追加設定できます。

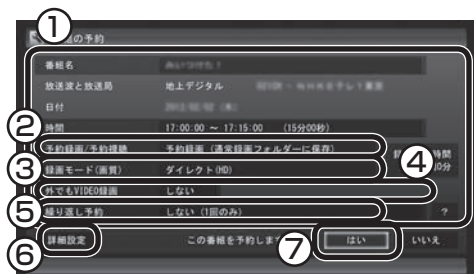
●録画する音声の設定(複数の音声が含まれる番組の場合)

「外でもVIDEO録画」を「する」にしたときや、録画モードで「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、または「スーパーロング」を選んだとき、録画する音声を選択できます。

・録画する音声の設定は、複数音声を含む番組を予約したときだけ表示されます。

・1つの音声に主音声と副音声を含むデュアルモノラル音声放送の場合、音声選択のメニューは表示されませんが、主音声と副音声の両方が録画できます。

設定が完了したら、「保存して戻る」を選んで【決定】を押し、「番組の予約」画面に戻ってください。

⑦「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルの場合、同じ時間帯に複数の録画予約をするときは、次のことに注意してください。

●同じ時間帯に2つの録画予約が入っているとき、新たに3つめの予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、残す予約と取り消す予約を選んでください。

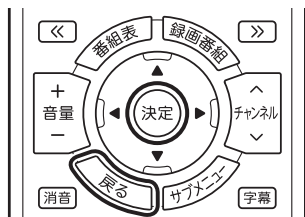
●同時に使用する機能によっては、一部制限があります。
予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画モードをダイレクトに切り換えたり、録画や携帯電話用のデータ作成を取り消してください。
詳しくは「同時に使える機能の組み合わせについて」(p.69)をご覧ください。

ポイント

録画モードの「スーパーロング」は、地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルでのみ選択できます。

ポイント

予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、シリーズごとにおこないます。

5 【決定】を押す

番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

- ●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。電源コードを抜くと、予約が実行されません。
- ●予約後、パソコンの電源を切ったり省電力状態にしても、予約した時刻になるとパソコンが自動的に起動して予約を実行します。なお、パソコンが自動的に起動したときは、予約視聴を除いて画面に何も表示されず音声も出力されません。これを「ナイトモード」(p.266)と呼びます。
- ●予約録画した番組の再生方法については、PART5の「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

■ 視聴予約について

録画の予約(p.77)と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。
視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。
予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

- ●「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面で「自動サインインの設定」を選んで【決定】を押して、自動サインインユーザーの設定とテストをおこなってください。
- ●スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」をにしてください。
- ●スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」-「スクリーンセーバー」で「再開時にログオン画面に戻る」をにしてください。
- ●クイックパワーオンを使用するときは、PART10の「予約実行前後の動作を設定する」(p.267)をご覧になり、必要に応じて予約実行前の動作(予約録画、予約視聴、番組表の受信の前の動作)を設定しなおしてください。

自動サインインで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にサインインできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動サインインしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

シリーズ録画する

■ シリーズ録画について

シリーズ録画は、連続ドラマなどのシリーズものの番組を自動的に録画し続ける機能です。
番組表を使って録画予約する「おてがる予約」の操作中に、次回以降の放送も自動的に録画するよう設定できます。
シリーズ録画した番組は、「録画番組一覧」画面でまとめて表示することができます(p.105)。また、光ディスクにまとめて保存したり(p.123)、携帯電話などの機器にまとめて転送したり(p.165)、メディアサーバにまとめて転送することもできます(p.182)。

■ シリーズ録画のご注意

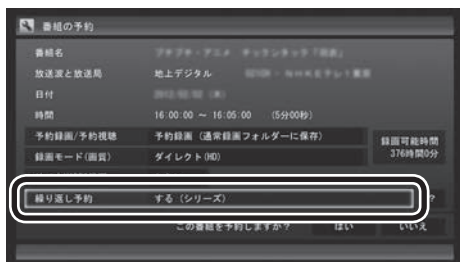
シリーズ録画をおこなう場合は、次のことにご注意ください。

- 番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合や、番組の開始時間が2時間以上異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。
- 自動的に予約される番組は、同じチャンネルで同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。
- ある連続ドラマが終わった後、その続編としてよく似た名前の連続ドラマが始まった場合などには、2つの連続ドラマがひとつのシリーズの番組として録画されることがあります。同じシリーズとして録画された番組は「録画番組一覧」でまとめて表示されます。

■ シリーズ録画する

1 「おてがる予約をする」(p.77)の手順1 〜手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「する(シリーズ)」を選んで【決定】を押す

必要に応じて、録画モードを設定してください。

> **ポイント**
> 「予約録画/予約視聴」が「予約録画」になっていることを確認してください。

3 「おてがる予約をする」の手順4(p.78)〜手順5をおこなう

PART 4

録画・予約する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

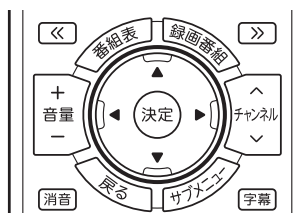
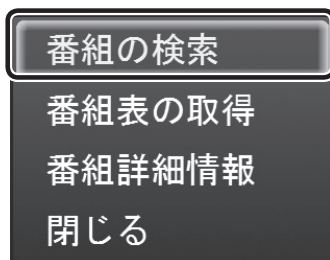
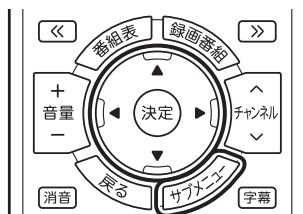
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」の、予約する放送(検索する放送)の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

次の①〜④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、もう一度【決定】を押します。

② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。

③ 番組表の種類を選ぶ
「番組表の種類」を選んで【決定】を押し、検索する放送波やマイ番組表を選んで、もう一度【決定】を押します。

④ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。

⑤「検索実行」を選んで【決定】を押す

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.78)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

●キーワードはキーボードを使って入力してください。
●キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

ポイント

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 4 録画・予約する

番組表を使わないで予約する（時間指定）

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

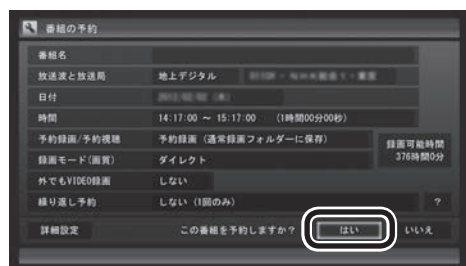
放送波（放送の種類）、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す（HD）や（SD）が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 4
録画・予約する

予約の変更や予約結果の確認をする

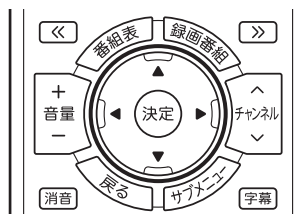
すでに予約した内容を変更したり、確認する方法を説明します。

予約の確認や変更

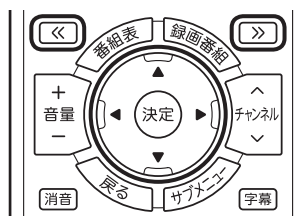
予約をした後で、次の操作ができます。
・ 予約の確認
・ 予約の変更
・ 予約の取り消し

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す

予約一覧が表示されます。

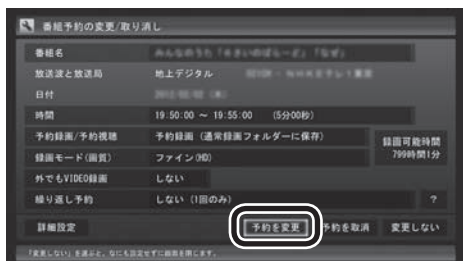
3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

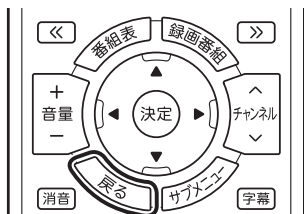
【«】【»】を押して、予約の種類を切り換えることができます。

予約の内容が表示されます。

ポイント

表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

- :ハードディスクの容量不足
- :繰り返し予約
- :おまかせ録画
- :ハードディスクに録画
- :予約視聴
- :新番組おまかせ録画

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す

予約一覧に戻ります。

5 【戻る】を押す

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

チェック

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す

「予約結果一覧」が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。
結果一覧に表示された番組を選んで【決定】を押すと、録画に失敗した原因などが表示されます。

ポイント

- 【≪】【≫】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。
  - ：ハードディスクの容量不足
  - ：繰り返し予約
  - ：おまかせ録画
  - ：ハードディスクに録画
  - ：予約視聴
  - ：新番組おまかせ録画

PART 4

録画・予約する

おまかせ録画をする

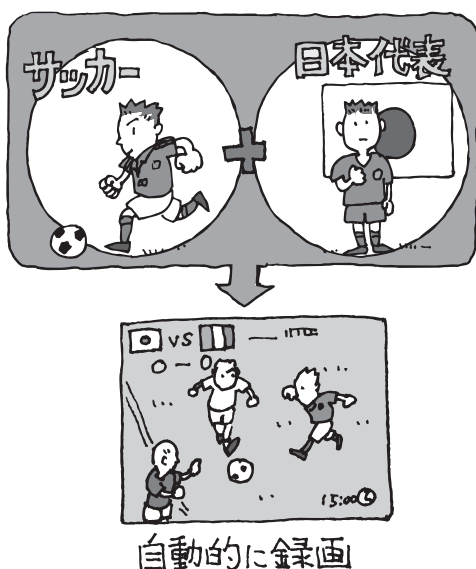
ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
　おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
　おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

●番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。
●おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.136)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

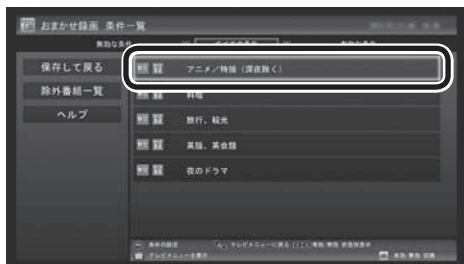
おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録(p.89)することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

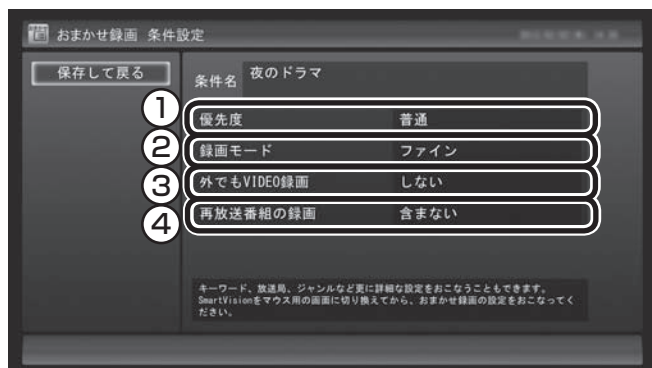
3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す

条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

① 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。

② 録画モード
番組を録画するときの録画モードを選びます。

③ 外でもVIDEO(地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルのみ)
録画と同時に外でもVIDEOの設定をするかどうかを選びます。(p.162)

④ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

6 【緑】を押して「有効」にする

7 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

マウスで使うための画面(p.134)で、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

チェック

地デジ/BS/110度CS･シングルチューナーモデルでは、おまかせ録画するとき、外でもVIDEOの設定をすることができません。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。
キーワードなどの入力は、マウスで使うための画面(p.134)でおこないます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (予約&結果一覧)をクリック

4 「予約一覧」タブの おまかせ (おまかせ)をクリック

「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック

「条件入力」画面が表示されます。

ポイント

リモコンで使う画面に戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

6 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度、録画画質を指定します。また、録画と同時に携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)を作成するかどうか、作成するときはその画質(SD画質またはワンセグ画質)を選びます。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
»をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせ録画で録画されなくなります。
なお、おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前

ポイント

- □のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)。
- 「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

- ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組を右クリックし、表示されたメニューで「送る」-「キーワード1」をクリックすると、キーワードのエリアに選んだ番組名を簡単に入力することができます。

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

9 「閉じる」をクリック

- 深夜0:00 ～ 6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、おまかせ録画するとき、外でもVIDEOの設定をすることができません。

参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.136)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

PART 4

録画・予約する

新番組おまかせ録画をする

新しく始まった番組を自動的に探して録画してくれる「新番組おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画は、番組表の情報から新しく始まった番組を探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、2話目以降も自動的に録画されます。
新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

- ●同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が無作為に選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。
- ●新番組おまかせ録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

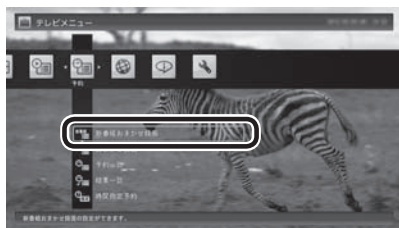
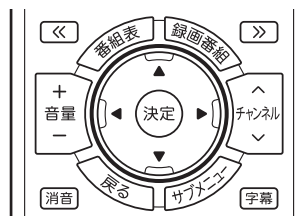
新番組おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約(p.77)などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダーに保存されます。

新番組おまかせ録画を有効にする

ご購入時は新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「新番組おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

新番組おまかせ録画の設定画面が表示されます。

ポイント

- ●予約内容は「予約一覧」画面(p.85)で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- ●予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。ほかの項目は変更できません。

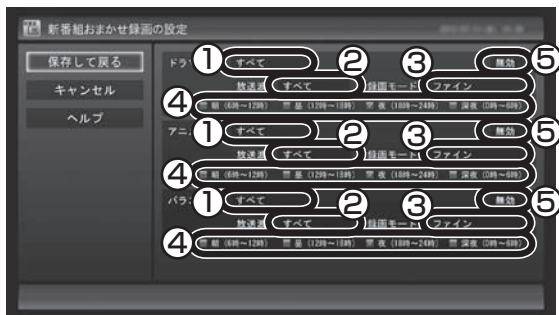
3 新番組おまかせ録画の条件を設定する

① ここ(ご購入時は「すべて」)を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画したいサブジャンル(「ドラマ」であれば「国内ドラマ」や「時代劇」など)を選んで【決定】を押す

② 放送波を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画の対象とする放送波(地デジ/BS/110度CS)を選んで【決定】を押す

③ 録画モードを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで画質(録画モード)を選んで【決定】を押す

④ 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークを付ける

⑤ 録画したいジャンルの「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す

4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、新番組おまかせ録画の機能が有効になりました。

ポイント

●ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～ 24時)」にチェックマークが付いています。

●チェックマークを外すときは、チェックマークの付いた時間帯を選んで【決定】を押してください。

●新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。

・「朝 6時～ 12時」
6:00から11:59の間に始まる番組

・「昼 12時～ 18時」
12:00から17:59の間に始まる番組

・「夜 18時～ 24時」
18:00から23:59の間に始まる番組

・「深夜 0時～ 6時」
0:00から5:59の間に始まる番組

新番組おまかせ録画を無効にする

新番組おまかせ録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組おまかせ録画を有効にする」(p.93)の手順1 ～手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンルの「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、選んだジャンルの新番組おまかせ録画の機能が無効になりました。

ポイント

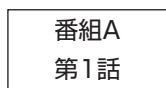
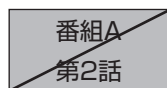
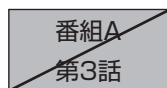
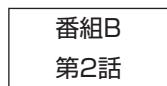
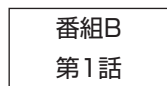
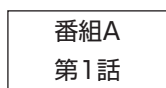
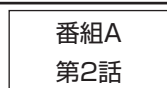
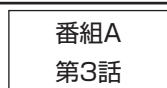
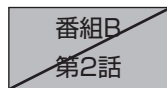
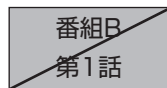
新番組おまかせ録画を無効にしても、すでに録画予約が入っている番組(新番組)はそのまま録画されます。録画を中止したいときは、予約一覧で予約を削除してください(p.85)。また、すでに録画された番組については、録画済み番組一覧で番組を削除するとき、次回以降を録画しないよう設定することで、すでに入っている予約が自動的に削除されます(p.97)。

新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する

新番組おまかせ録画機能で録画された番組は、第2話目以降も継続して録画されます。ただし、同じ曜日の同じ時刻に別のテレビ局で新たな連続ドラマがスタートすると、そちらを新番組として録画するため、以前から録画していた番組が録画できなくなってしまいます。
気に入った新番組は「シリーズ録画」に変更してください。
シリーズ録画は新番組おまかせ録画より優先度が高いため、新たに放送が重複する新番組が見つかっても、お気に入りの番組が優先して録画されます。

ポイント

すでに放送が終了した番組を選んだときや、番組表のデータから対象となる番組が見つからないときは、シリーズ録画に変更することができません。

新番組Aの翌週に新番組Bがスタート・・・

番組Aをシリーズ録画に変更しておけば・・・

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

1 「予約の確認や変更」(p.85)の手順1 〜手順2をおこなう

予約一覧が表示されます。

2 シリーズ録画に変更したい番組を選んで【決定】を押す

同じシリーズの番組をまとめて変更するかどうか確認するメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

5 「予約を変更」を選んで【決定】を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止する

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで【決定】を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、次回の予約の内容が表示されます。

3 「予約を変更」を選んで【決定】を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

ポイント

手順2で「いいえ」を選ぶと、次回以降の予約録画(新番組おまかせ録画)はおこないません。

■ 録画した番組を再生せずに削除したときは

「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除したときは、そのシリーズの番組は今後も録画しないように設定できます。

1 「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除(p.114)する

次回以降の録画をするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで【決定】を押す

次回以降の録画予約(新番組おまかせ録画の予約)が停止されます。すでに予約が入っているときは、自動的に削除されます。

ポイント

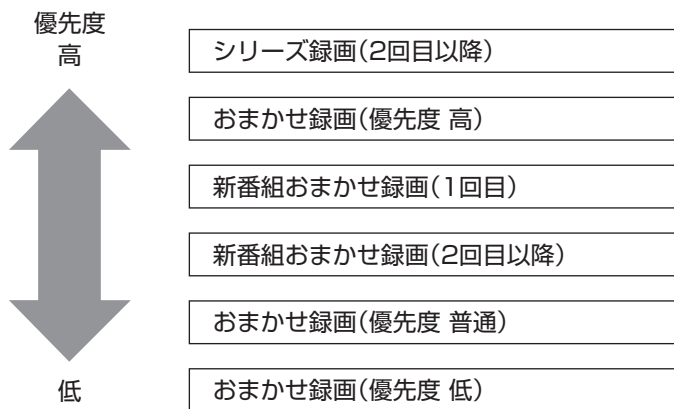
手順2で「いいえ」を選ぶと、次回以降はシリーズ録画として録画予約されます。

予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組おまかせ録画」および「シリーズ録画」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。

- 「おてがる予約」(p.77)と、自動的に登録される予約が重複した場合は、「おてがる予約」が優先されます。
- 「シリーズ録画」、「新番組おまかせ録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「シリーズ録画」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は無作為に選ばれます。録画したい番組があらかじめ決まっているときは、「おてがる予約」の「繰り返し予約」を「しない(1回のみ)」で予約してください。

予約についてのご注意

録画予約や視聴予約をするときに、注意していただきたいことについて説明します。

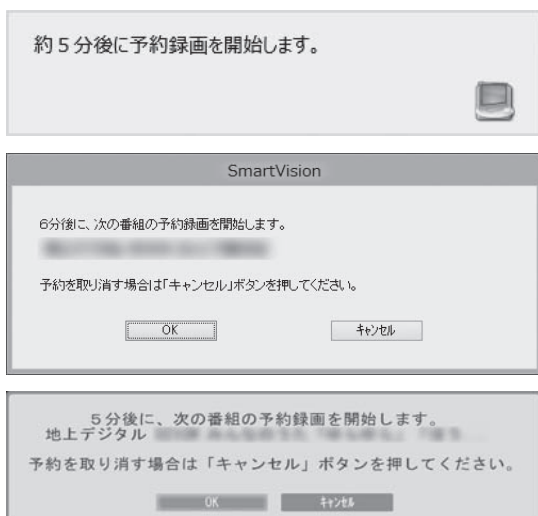
予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

- 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合、同じ時間帯の番組を3つ以上予約することはできません。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合、同じ時間帯の番組を2つ以上予約することはできません。
- 200件まで予約できます(番組表受信予約、新番組おまかせ録画、シリーズ録画、おまかせ録画を含む)。
- パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。
- スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。
- 録画は、開始時刻より若干(2 ～ 6秒)遅れて開始される場合があります。
- 予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。
- 予約(録画、番組表受信)実行の直前に、パソコンの電源を入れたりスリープ状態から復帰すると、起動後にすぐ画面が暗くなる場合があります。その場合は、マウスなどを操作してください。画面が表示されます。
- 1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。
- 予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。
- 放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
  録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
  録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。
- 「繰り返し予約」を「する(時間指定)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。
- 「時間指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

●録画予約するとき、自動的に録画に必要な空き容量の確認がおこなわれます。予約を入れた後、大量のデータを保存するなどして、ハードディスクの空き容量が不足すると、予約していた録画ができなくなることがあります。インターネットから音声や動画などの容量の大きなファイルをダウンロードしたときなどは、特にご注意ください。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

このときサインインユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

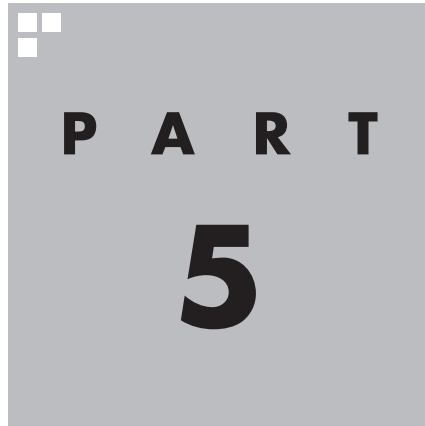
予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。

●予約視聴の場合
テレビの映像が表示され音声が出力されます。予約していた番組が終わると、クイックモードで終了するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときはャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にクイックモードで終了します。

●予約録画や番組表の自動受信の場合
パソコンの画面になにも表示されず音声も出力されない状態で、予約録画や番組表の自動受信が実行されます。これを「ナイトモード」(p.266)と呼びます。終了するとそのままクイックモードで終了します。

ポイント

●SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもクイックモードで終了するメッセージは表示されません。

●予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.267)。

再生する

録画した番組を再生しましょう。録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。また、途中まで録画された放送中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5
再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

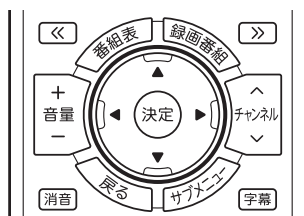
再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。
なお、ご購入時の状態では、シリーズものの番組が1つにまとめて表示されます。まとめられた番組には番組名の右側に「まとめ表示」と表示されます。
「まとめ表示」されていない番組と、「まとめ表示」されている番組(シリーズものの番組)では、再生の手順が異なります。

■「まとめ表示」されていない番組を再生する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合:番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合:「番組名なし」になります
- 番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
  - ・「未」:まだ一度も再生していない番組
  - ・「新」:「新番組おまかせ録画」(p.93)した番組
  - ・「お」:「おまかせ録画」(p.87)した番組
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときや、追加した録画フォルダーの番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダーを選んでください。
- 短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

3 番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【《】【》】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、コマ送り（一時停止中）、スキップの操作ができます。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す

「録画番組一覧」に戻ります。

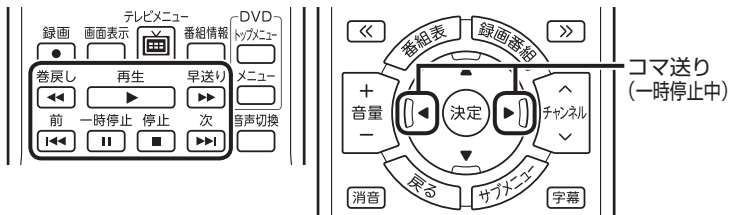
次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

●テレビを見る画面に戻る

「録画番組一覧」画面から、テレビを見る画面に戻るには、【戻る】を押してください。
視聴するチャンネルを選ぶときは、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 視聴したい放送波とチャンネルを選んで【決定】を押す

ポイント

早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

■「まとめ表示」されている番組を再生する

まとめて表示されているシリーズものの番組は、次の手順で再生してください。

1 「「まとめ表示」されていない番組を再生する」(p.102)の手順1 ～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 「まとめ表示」されている番組を選び、【矢印】の右ボタンを押す

まとめて表示されていたシリーズ番組の一覧が表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す

再生が始まります。

再生中の操作については、「「まとめ表示」されていない番組を再生する」の手順3(p.103)～手順4をご覧ください。

ポイント

シリーズ番組の一覧を閉じて録画番組一覧に戻るときは、【矢印】の左ボタンを押してください。

ポイント

「まとめ表示」された番組を選んで、シリーズものの番組をまとめて削除することができます。また、まとめて光ディスクに保存したり、携帯電話に転送したり、ホームネットワークに接続されたメディアサーバに転送することもできます。

「まとめ表示」と「個別表示」を切り換える

ご購入時の状態では、シリーズものの番組はまとめて表示されるように設定されています(まとめ表示)。
シリーズものの番組を「まとめ表示」せず、すべての番組を一覧で表示(個別表示)することもできます。

●「まとめ表示」のとき
【青】を押すと、「個別表示」に切り換わり、すべての番組が一覧で表示されます。
●「個別表示」のとき
【青】を押すと、「まとめ表示」に切り換わり、シリーズものの番組がまとめて表示されます。

オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいとこ再生」)

オートチャプターとは、番組を録画するときに、番組の本編と本編以外を検出して自動的にチャプターを作る機能です。この機能で作られたチャプターの情報を活用して、録画番組を再生するときに、視聴したいチャプターだけ連続して再生することができます。
再生などの操作をしたとき、チャプターの情報や再生している位置が画面右下に表示されます。番組の長さを表すバーを区切っている線がチャプターマークの位置です。
※番組構成によっては、本編と本編以外を正しく検出できない場合や、チャプターが作られない場合があります。

■ チャプタースキップ

リモコンの【前】【次】、または【≪】【≫】で次の操作ができます。

●再生中のチャプターをスキップして本編の続きを再生する
CMが始まったとき、【次】または【≫】を押すと、CMチャプターがスキップされて本編の続きが再生されます。

●再生中のチャプターの先頭に移動する
【前】または【≪】を押します。
●ひとつ前のチャプターの先頭に移動する
【前】または【≪】を2回続けて押します。
●お好みのチャプターの先頭に移動する
ボタンを連続して押すことで、前後お好みのチャプターの先頭に移動できます。

ポイント

●チャプターとは、録画した番組を区切ったひとかたまりのシーンのことです。チャプターの始点(シーンの先頭部分)をチャプターマークと呼びます。
●手動でチャプターマークを追加することもできます。(p.106)
●オートチャプター機能で自動的に追加されるチャプターマークは黒い線で表示されます。手動で追加したチャプターマークは赤い線で表示されます。オートチャプター機能で追加されたチャプターマークと同じ位置に手動でチャプターマークを追加したときは、下半分が黒で上半分が赤い線となります。
●番組を編集するとき、チャプターの情報を活用することができます。(p.160)

ポイント

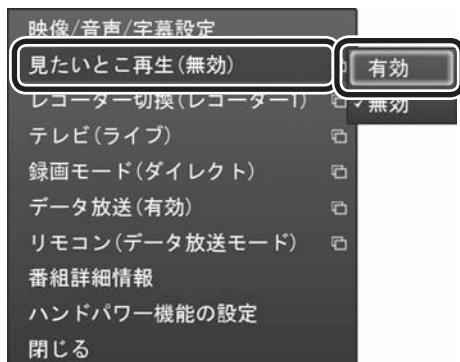
チャプタースキップ操作直後に逆方向のボタンを押すと、スキップ直前の再生位置に戻すことができます。

■「見たいとこ再生」を有効にする

「見たいとこ再生」は、オートチャプター機能で作ったチャプターの情報を使って、録画番組を再生するときに、番組の本編チャプターだけを連続して再生する機能です。
ご購入時の状態では、この機能が無効になっています。「見たいとこ再生」機能を使うときは、次の操作で有効にしてください。

1 テレビの映像が表示されているとき、【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

2 「見たいとこ再生(無効)」-「有効」を選んで【決定】を押す

「見たいとこ再生」が有効になります。一度有効にすれば、ほかの番組を再生するときも、「見たいとこ再生」で再生されます。
無効にするときは、手順2で「無効」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

- 番組の本編と本編の間に、一瞬、本編以外のチャプターが表示されることがあります。
- 番組構成によっては、オートチャプター機能で本編と本編以外を正しく検出できないことがあります。このような場合は「見たいとこ再生」で本編以外の部分が再生されたり、本編の一部がスキップされることがあります。

チェック

簡易編集機能を使って編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいとこ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。

手動でチャプターマークを追加する(マイチャプター)

■ チャプターマークを追加するときは

オートチャプター機能で自動的に作られるチャプターのほかに、手動でチャプターマークを追加することができます。お気に入りの場面にチャプターマークを追加しておけば、チャプタースキップ機能ですばやくそこから再生することができます。

1 録画した番組を再生する(p.102)

2 チャプターマークを追加したい場面で【一時停止】を押す

3 【青】を押す

その場面にチャプターマークが追加されます。画面右下の番組の長さを表すバーにチャプターマークを示す線が追加され、そこに旗のアイコンが表示されます。

ポイント

- チャプターマークを追加する場面の近く(前後約0.6秒の範囲内)に、すでにチャプターマークがあったときは、既存のチャプターマークを削除して新しいチャプターマークに統合してよいかどうか確認する画面が表示されます。問題なければ「はい」を選んで【決定】を押してください。
- CMチャプターの始点および終点にあるチャプターマークには、CMチャプターの区切りとしての情報が含まれています。これらの近くに新しいチャプターマークを追加したときは、そこにCMチャプターの区切りの情報が引き継がれます。
- 操作パネルの をクリックして、チャプターマークを追加することもできます。

■ チャプターマークを削除するときは

1 録画した番組を再生し、【一時停止】を押す

2 【前】または【次】を押してチャプタースキップし、チャプターマークを削除したい場面を表示させる

チャプターマークが表示されていることをご確認ください。

3 【赤】を押す

その場面のチャプターマークが削除されます。

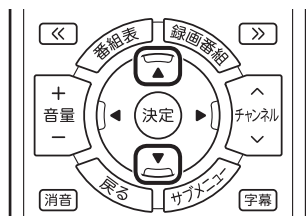
ポイント

【前】と【次】の代わりに、【≪】と【≫】を押してチャプタースキップすることもできます。

ポイント

操作パネルの をクリックして、チャプターマークを削除することもできます。

きこえる変速再生

「きこえる変速再生」を使うと、録画番組を音声付きで、速くまたはゆっくり再生できます。たとえば、「お急ぎモード」でニュース番組を短時間で視聴したり、「じっくりモード」でゆっくり言葉を聞き取りながら、外国語映画を視聴したりする際に便利です。

●お急ぎモード
通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階(1.2倍→1.4倍→1.6倍→1.8倍→2.0倍)で速くなります。再生のスピードを遅くする場合は、【矢印】の下ボタンを押します。

●じっくりモード
通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階(0.9倍→0.7倍→0.5倍)で遅くなります。再生のスピードを速くする場合は、【矢印】の上ボタンを押します。

チェック

●きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。

●早送りや巻き戻し、一時停止などの操作をおこなっても、「きこえる変速再生」機能は解除されません。視聴を再開すると、それぞれの操作をおこなう前のスピードで再生されます。

PART 5
再生する

追っかけ再生する

録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。
早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

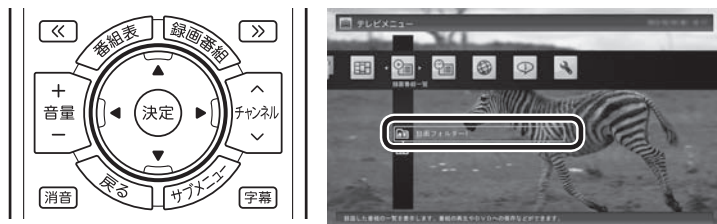
ポイント

追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

録画中の番組を再生する(追っかけ再生)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【«】【»】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - 番組表データがある場合:番組情報の番組名になります
  - 番組表データがない場合:「番組名なし」になります
- 「おまかせ録画」(p.87)の番組を再生するときは、「おまかせ」の録画フォルダーを選んでください。

チェック

タイムシフトモードでの操作(p.49)とは異なり、【停止】を押しても録画は継続します。

PART 5
再生する

おまかせ録画した番組を再生する

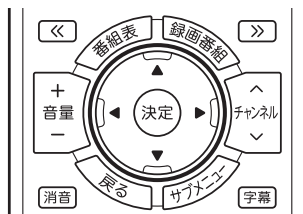
おまかせ録画で録画した番組は、そのほかの録画番組とは保存されるフォルダーなどが異なります。
また、録画番組が一定の容量以上になると、ハードディスクの空き容量にかかわらず、古い番組から順番に削除されます。

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは別の、「おまかせ」録画フォルダー 2に保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときのご注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前
これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

ポイント

おまかせ録画した番組が見つからないときは、PART9の「録画フォルダーに録画した番組が見あたらない」(p.250)をご覧ください。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画した番組には、ほかの録画番組と区別するために「おまかせ属性」が付き、お のマークが表示されます。必要に応じておまかせ属性を解除して、このマークを消すことができます。
おまかせ属性を解除すると、番組名や番組情報を変更できるようになります。変更の手順については、PART8の「録画ファイルのプロパティを変更する」(p.235)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「 録画フォルダー」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

4 「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

お の表示が消えます。

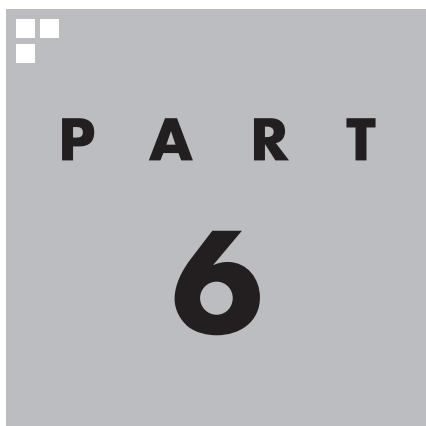
■ おまかせ録画フォルダーにある番組の自動削除について

「おまかせ録画フォルダー」にある番組は、容量が指定されたサイズ以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。番組の移動については、PART8の「録画した番組を整理する」(p.145)をご覧ください。

ポイント

手順5で「すべての番組」を選んで、「おまかせ録画フォルダー」内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。

参照

「おまかせ録画フォルダー」の容量について→オンラインヘルプ(p.136)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」

削除する

視聴済みで、もう必要のない番組はこまめに削除して、ハードディスクの容量が不足しないように注意しましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 6
削除する

録画した番組を削除する

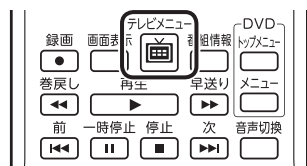
不要になった録画番組を削除する手順を説明します。

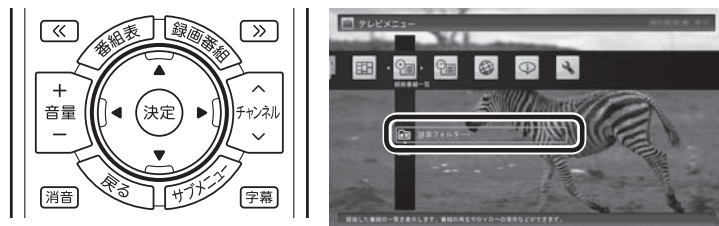
録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画番組は削除しましょう。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

ポイント

録画フォルダーを作って、録画番組を整理することができます。（p.145）

番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」で、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【赤】を押す

② 表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

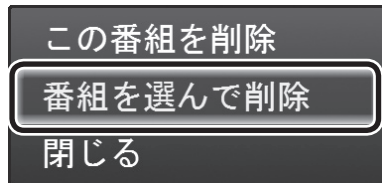
複数の番組をまとめて削除する

1 「番組をひとつずつ削除する」(p.114)の手順1 ～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【赤】を押す

② 表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

「まとめ表示」(p.105)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて削除の対象になります。

4 【赤】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 7

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を保存できる光ディスク(DVDなど)について

録画した番組は、画質(保存形式)によって、保存できる光ディスクが異なります。

保存できる光ディスク

番組を光ディスクに保存するときの光ディスクの種類、録画モードなどについては、PART10の「録画モードについて」(p.273)で詳しく説明しています。このページとあわせてご覧ください。

保存できる光ディスク	保存形式
BD-RE(1層/2層)/BD-RE XL(3層)※1※2 BD-R(1層/2層)/BD-R XL(3層)※1※2	BDAV
CPRM対応のDVD-RAM (片面/両面)	AVCREC※1※3 DVD-VR※4
CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	AVCREC※1※3 DVD-VR※4

※1: BD-RE、BD-Rに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。
※2: BD-R XL(3層)、およびBD-RE XL(3層)に保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。
※3: 録画画質がダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。
※4: 自動的に録画モード変換されます。

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BDAV	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。 DVD-VRよりも高画質で保存できます。
DVD-VR	アナログ放送用のDVDプレーヤなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。 AVCRECよりも画質が落ちます。

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤなどで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できる光ディスクについて
→「使用できるディスク」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070020 で検索

光ディスクのフォーマットとファイナライズについて

SmartVisionの光ディスクのフォーマットとファイナライズ動作については、次のとおりとなります。

●DVD-R
録画番組を書き込む前に自動的にフォーマットをおこないます。フォーマットされていないDVD-Rをご用意ください。
また、録画番組書き込み後に自動的にファイナライズします。SmartVisionの番組を保存したDVD-Rには、追記をすることはできません。

●DVD-RAM、BD-R、BD-RE
自動的にフォーマットしません。フォーマットされていない場合、録画番組を保存する前にあらかじめフォーマットする必要があります。SmartVisionで番組を保存した光ディスクに追記することができます。

PART 7 録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存するための準備

光ディスクに保存するときの録画モード変換や、CPRMアップデート、および光ディスクのフォーマットについて説明します。

光ディスクに保存するときの録画モードの変換について

録画モード「ダイレクト」で録画した番組は、そのままの画質でCPRM対応のDVD-RAMやDVD-Rに保存することができません。光ディスクに保存するとき、自動的に画質が変換されます。
「ダイレクト」以外の録画モードで録画した番組は、光ディスクに書き込む形式としてAVCRECを選択することで、画質を変換せずにDVD-RAMやDVD-Rに保存できます。
録画モード(画質)はあらかじめ手動で変換しておくことができます。操作についてはPART8の「録画モード変換をする」(p.139)をご覧ください。
録画モードについて詳しくは、PART10の「録画モードについて」(p.273)をご覧ください。

CPRMのアップデートをする

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。

CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存するには、ソフトのアップデートが必要です。
CPRMアップデートをおこなっていない状態でDVD-RAM/DVD-Rに保存する操作をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。
画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

ポイント

CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

光ディスクをフォーマットする

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、フォーマットをする必要があります。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

ここでは、Windows 8の機能を使って光ディスクをフォーマットする手順について説明します。
番組を光ディスクに保存する操作の途中で、光ディスクをフォーマットすることもできます。(p.125)

なお、DVDスーパーマルチドライブモデルは、Windowsの機能でのフォーマットのみとなります。

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ Windows 8の機能で光ディスクをフォーマットする

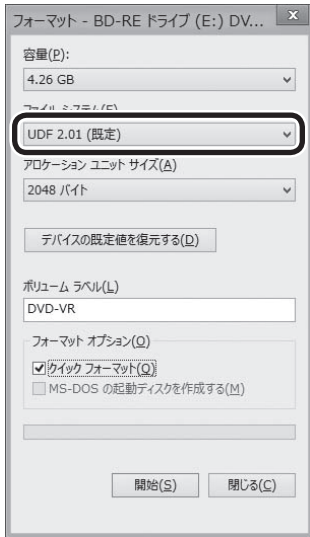
この操作はマウスでおこないます。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 チャーム バーの「検索」-「アプリ」-「コンピューター」をクリック

3 DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

「フォーマット」画面が表示されます。

4 「ファイル システム」の右の をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.50
BD-R	BDAV	UDF2.60
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.00または UDF2.01
	AVCREC	UDF2.50

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.118)をご覧ください。

5 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

PART 7

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存する

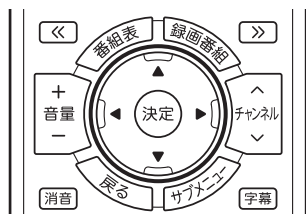
デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

※ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー1」を選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

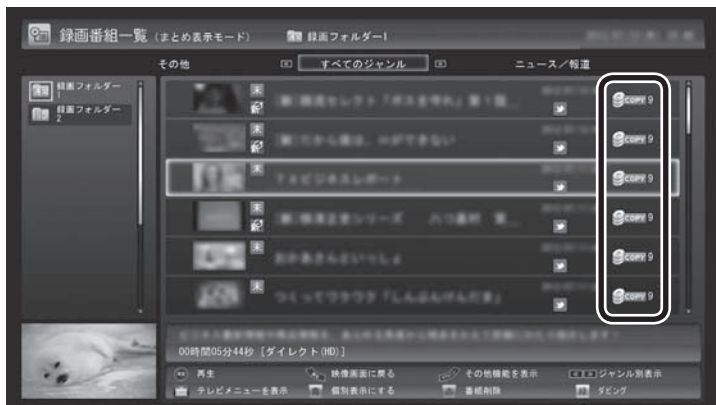
チェック

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、CyberLink PowerDVD 3Dが起動した場合は、表示されたウィンドウを閉じてください。

ポイント

- move が表示された番組を光ディスクに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- オートチャプター機能(p.105)や簡易編集(p.156)で作られたチャプターの情報も、録画番組と一緒に光ディスクに保存されます。

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

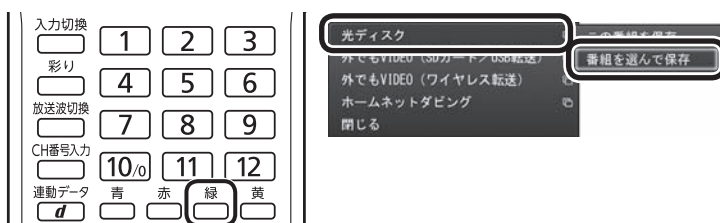
〜

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、光ディスクにコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに光ディスクに9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は光ディスクにムーブ(移動)することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも光ディスクにコピーできます。

4 保存する番組を選んで【緑】を押し、「光ディスク」-「番組を選んで保存」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

チェック

- ●ムーブ(移動)すると、もとの番組は削除されます。
- ●番組を携帯電話(SDカード)やメディアサーバに転送したときも、コピーできる残り回数が減ります。

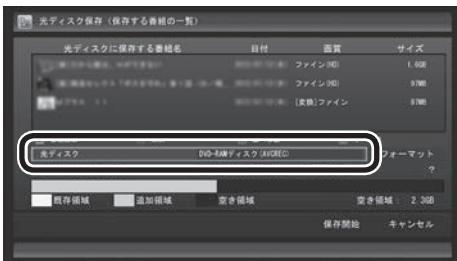
5 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

保存する番組の一覧が表示されます。

7 「光ディスク」にセットした光ディスクが表示されていることを確認する

DVD-RやDVD-RAMをセットしたときは、書き込み形式(AVCRECまたはVRモード)を選択できます。
「光ディスク」を選んで【決定】を押し、書き込み形式を選んでください。

光ディスクのフォーマット

ここで「フォーマット」を選んで【決定】を押し、光ディスクをフォーマットすることもできます。
表示された画面でフォーマットの「形式」を選び、「実行」を選んで【決定】を押してください。

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.5
BD-R	BDAV	UDF2.6
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0(VR形式)
	AVCREC	UDF2.5(AVCREC形式)

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.118)をご覧ください。

ポイント

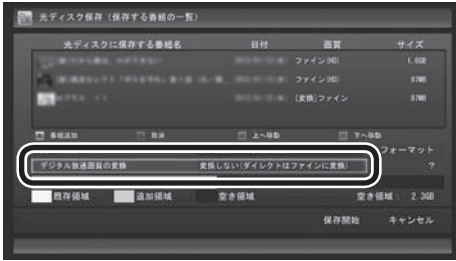
「まとめ表示」(p.105)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて保存の対象になります。

チェック

- 選択したフォーマットで使用できない光ディスクがセットされている場合は、メッセージが表示されます。その場合は、光ディスクを交換するか、「フォーマット」を選んで、光ディスクをフォーマットしてください。
- BD-Rをセットしたときは、「既存領域(すでに書き込み済みの領域)」が表示されません。

チェック

「物理フォーマット」で「する」を選ぶと、フォーマットに1時間～1時間30分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

8 「デジタル放送画質の変換」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから、光ディスクに保存する画質を選んで【決定】を押す

光ディスクに保存する画質を変換するとき

●地デジ/BS/110度CS･ダブルチューナーモデルの場合
CPUによる画質変換に対応していないモデルは、番組の録画や携帯電話用のデータ作成などで映像の変換がおこなわれていると、光ディスクに保存するときの画質の変換(録画モード変換)が制限されることがあります。
機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画などのほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、携帯電話用のデータ作成の予約などを取り消してください。

●地デジ/BS/110度CS･シングルチューナーモデルの場合
CPUによる画質変換に対応していないモデルでは、デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をするとき、次のことができなくなります。
･番組の視聴
･番組の録画
･番組表の受信

ポイント

●DVD-RAMディスクまたはDVD-RディスクにVRモードで保存するときは、画質(録画モード)が自動的に変換されます。変換する画質を選ぶこともできます。

●地デジ/BS/110度CS･シングルチューナーモデルの場合、セミファインロングで録画した番組は、ブルーレイディスクに保存するときやAVCREC形式でDVDに保存するとき、CPUによる画質変換に対応したモデルは解像度が1440×1080に、対応していないモデルはロングに、それぞれ変換されます。

チェック

映像フォーマット「480p」または「720p」の番組は、VRモードで保存できません。

次の画質が選べます。

「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間(1層※5／2層／3層※1)
BD-RE(ブルーレイ)ディスク BD-R(ブルーレイ)ディスク	変換しない	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD) 約3時間／約6時間／約12時間
		地上デジタル標準テレビ(SD) 約6時間30分／約13時間／約26時間
		BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD) 約2時間10分／約4時間20分／約8時間30分
		BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD) 約4時間40分／約9時間30分／約19時間
	ファイン (約8Mbps)	約6時間30分／約13時間／約26時間
	ファインロング (約4Mbps)	約13時間／約27時間／約54時間
	セミファインロング※7 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル (約1.5Mbps) 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル (約2.4Mbps)	地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル 約34時間／約70時間／約141時間 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 約22時間／約45時間／約92時間
	ロング (約2Mbps)	約27時間／約55時間／約111時間
	スーパーロング※8 (約1.2Mbps)	約41時間／約79時間／約168時間
	1ディスクダビング (＊Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-RAMディスク (AVCREC)※6	ファイン (約8Mbps)	約1時間10分
	ファインロング (約4Mbps)	約2時間30分
	セミファインロング※7 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル (約1.5Mbps) 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル (約2.4Mbps)	地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル 約6時間30分 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 約4時間10分
	ロング (約2Mbps)	約5時間
	スーパーロング※8 (約1.2Mbps)	約7時間30分
	1ディスクダビング (＊Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2

「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間(1層※5/2層/3層※1)
DVD-Rディスク (AVCREC)※6	ファイン (約8Mbps)	約1時間10分/約2時間10分
	ファインロング (約4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	セミファインロング※7 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル (約1.5Mbps) 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル (約2.4Mbps)	地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル 約6時間30分/約12時間 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 約4時間10分/約8時間
	ロング (約2Mbps)	約5時間/約9時間30分
	スーパーロング※8 (約1.2Mbps)	約7時間30分/約14時間30分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-RAMディスク (VRモード)	高画質 (約7.5Mbps)	約1時間10分
	標準画質 (約4Mbps)	約2時間20分
	長時間 (約2Mbps)※3	約5時間
	1ディスクダビング (*Mbps)※4	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2
DVD-Rディスク (VRモード)	高画質 (約7.5Mbps)	約1時間20分/約2時間20分
	標準画質 (約4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	長時間 (約2Mbps)※3	約5時間/約9時間
	1ディスクダビング (*Mbps)※4	光ディスクの空き容量に合わせ、選択した番組が保存できるように画質を変換します。※2

※1:「3層」は、BD-R XL(3層)およびBD-RE XL(3層)のこと。これらに保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみ。
※2:必要に応じて番組の解像度をHDからSDに変換して保存します。また、選択した番組の総録画時間が長すぎるときは、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。
※3:番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。
※4:ディスク1枚(片面/1層)あたり3時間以上保存すると、番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。
※5:DVD-RAMディスクは1層のみ。
※6:AVCRECで保存できるのはブルーレイディスクドライブモデルのみ。
※7:地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、セミファインロングで録画した番組を光ディスクに保存するとき、次のようになります。
・CPUによる画質変換対応モデル:最大解像度が1440×1080になります。
・CPUによる画質変換非対応モデル:「ロング」モード(標準解像度)に変換されます。
※8:スーパーロングに対応しているのは地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみです。

9 光ディスクに書き込む順序を指定する

「保存する番組の一覧」の上から順に光ディスクに書き込まれます。必要に応じて書き込む順序を指定してください。

① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ

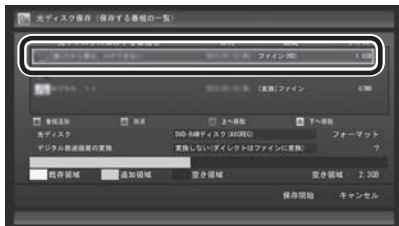
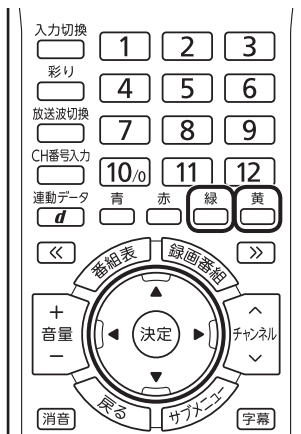
② リモコンの【緑】(上へ移動)または【黄】(下へ移動)を押す

③ 【決定】を押す

ポイント

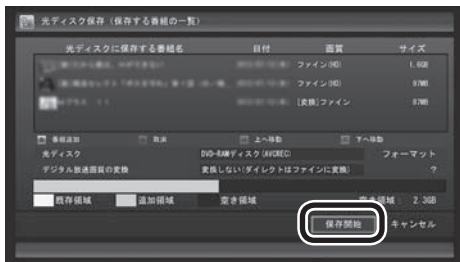
特に指定しない場合は、手順5の画面でチェックマークを付けた順番に光ディスクに書き込まれます。

チェック

- 保存する番組を削除するときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 保存する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。

10 「保存開始」を選んで【決定】を押す

光ディスクへの書き込みが始まります。

チェック

下段に光ディスクの空き領域(容量)が表示されます。空き領域が不足しているときは、「保存開始」が表示されません。

11 書き込みが完了すると「光ディスクへの保存が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

ポイント

- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
- コピーできる残り回数(ムーブ含む)を超えて番組を選んだときは、「書き込むことができません」というメッセージが表示されます。必要に応じて番組を選びなおしてください。同じ番組から録画モード変換した番組や編集した番組を複数選んだときは特にご注意ください。
  詳しくは、「光ディスクに保存するときのご注意」(p.130)をご覧ください。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に書き込みの進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。

光ディスクに保存するときのご注意

●CPUによる画質変換に対応したモデルで光ディスクに保存した番組は、同じ画質が設定されても次の1と2で異なって見えることがあります。

1. ダイレクト以外の画質(ファイン/ファインロング/セミファインロング/ロング/スーパーロング)でハードディスクに録画し、そのまま光ディスクに保存した番組。
   および、ダイレクトで録画した後、ハードディスク上で「録画モード変換」をおこなって光ディスクに保存した番組。
2. 光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」で画質を変換した番組。

●地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの、CPUによる画質変換に対応していないモデルでは、VR形式でDVDに書き込む場合および録画モード変換して光ディスクに書き込む場合は、書き込み中に映像表示できません。

●録画時の電波の状況が悪いと、番組のデータに不備(データの異常や取りこぼしなど)がある状態で録画されてしまうことがあります。このような番組を光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」をおこなうと、画質の変換に失敗することがあります。

●書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。

●書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。

●書き込み中はスリープ状態にできません。

●光ディスクに保存した番組を再生するとき、番組名の一部が正しく表示されないことがあります。

●このパソコンは著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。光ディスクに番組を保存するとき、AACSのモジュール(AACSキー)の更新を促すメッセージが表示されることがあります。「モジュールの更新が必要です」と表示されたときは、パソコンがインターネットに接続されていることを確認し、「はい」をクリックしてください。

●録画番組に含まれるチャプターの情報も光ディスクに保存されます。保存できるチャプターの最大数は次のとおりです。

- ・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合
  1番組あたり:98チャプター
  光ディスク1枚あたり:800チャプター
- ・DVD(DVD-VR形式)の場合
  1番組あたり:無制限
  光ディスク1枚あたり:999チャプター

これを超えるチャプターの情報は、光ディスクには保存されません。

●保存されたチャプターの合計が1000を超えているブルーレイディスクやAVCREC形式のDVD-RAMには、ディスクの容量に空きがあっても、録画番組を追加して保存することができません。

●セミファインロング、ロング、スーパーロングの番組を光ディスクに保存すると、チャプターの位置が最大で約2秒前にずれることがあります。
SmartVisionで作成したチャプターと同じ位置で光ディスクに保存したいときは、ファインロングかファインで録画することをおすすめします。

ポイント

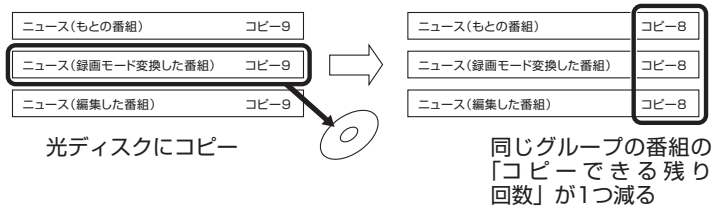
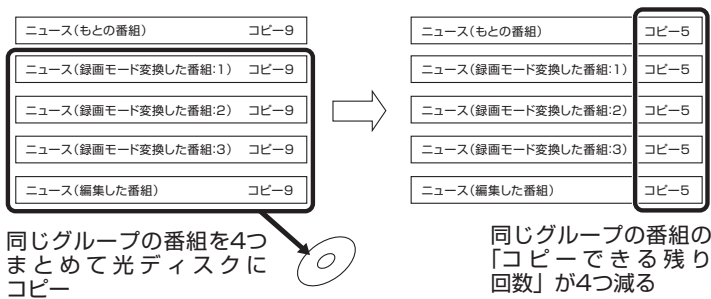
このパソコン以外の機器で作成された光ディスクには、1000を超えるチャプターが保存されていることがあります。

●光ディスク1枚に保存できる番組の最大数は次のとおりです。
・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合:200番組
・DVD(DVD-VR形式)の場合:99番組

ディスクの容量に空きがあっても、これを超える数の番組は保存できません。

●光ディスクに番組を保存するとき、番組の始まりまたは終わりの部分の映像や音声が、わずかに短くなることがあります。

光ディスクに保存するときの番組グループについて

ダビング10やコピーワンスの番組を録画モード変換した番組や編集した番組は、もとの番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、録画モード変換した番組や編集した番組を光ディスクにコピーすると、もとの番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

ポイント

このパソコンでは、録画モード変換された番組を光ディスクにコピーしたときも、コピーできる残り回数が減ります。

光ディスクに保存した番組を再生する

光ディスクに保存した番組は、対応したパソコンや、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、または CyberLink PowerDVD 3Dで再生できます。

■「CyberLink PowerDVD BD」について

「CyberLink PowerDVD BD」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162302 で検索)をご覧ください。

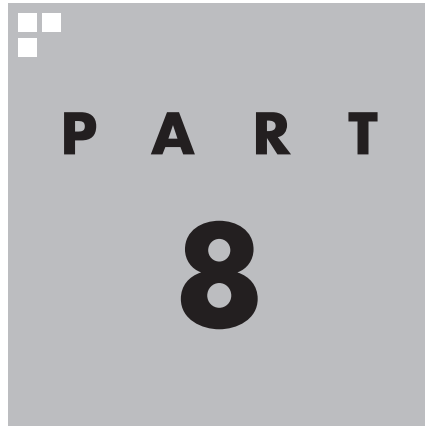
■「CyberLink PowerDVD 3D」について

「CyberLink PowerDVD 3D」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162304 で検索)をご覧ください。

■「CyberLink PowerDVD AVC」について

「CyberLink PowerDVD AVC」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162301 で検索)をご覧ください。

ポイント

CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BD、またはCyberLink PowerDVD 3Dを起動するときは、SmartVisionを終了してください。

一歩すすんだテレビ操作

SmartVisionには、録画番組を携帯電話で楽しめる「外でもVIDEO」など、テレビをより楽しむための機能があります。また、マウスで使うための画面に切り換えると、簡易編集やウェブ検索などの機能が使えるようになります。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

マウスで使うための画面

マウスで使うための画面では、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

リモコンで使う画面からマウスで使う画面に切り換える

今までの操作はおもにリモコンでおこなっていましたが、マウスで使う画面に切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面（ノーマルモード）が表示されます。
リモコンで使う画面（フルスクリーンモード）に切り換えるには、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

リモコンで使う画面

「ノーマル」ボタンをクリック

マウスで使う画面

「フルスクリーン」タブをクリック

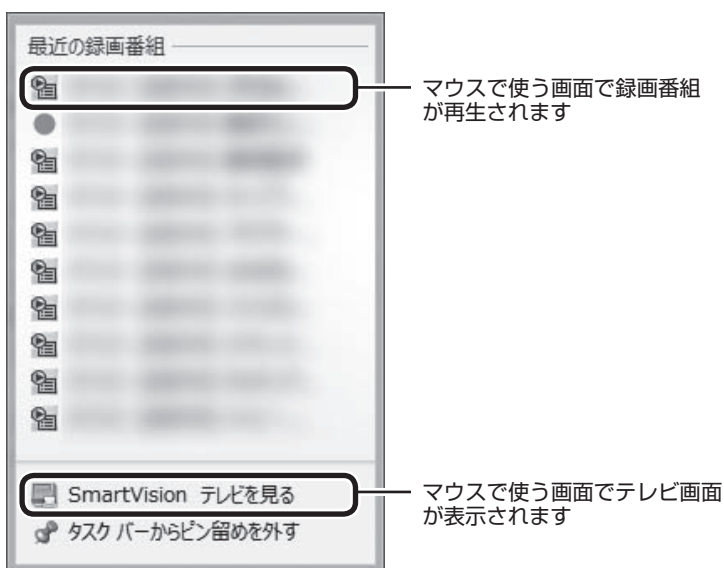
「ノーマル」ボタンの両隣にある「スリム」ボタンや「アドバンスト」ボタンをクリックして、用途の異なるマウスで使う画面を表示させることもできます。
マウスで使う画面のモードについては、このPARTの「マウスで使う画面のモードを切り換える」（p.136）をご覧ください。それぞれの画面の詳しい説明については、PART10の「各モードの画面説明」（p.279）をご覧ください。

マウスで使う画面を直接起動する

■ デスクトップのタスク バーから起動する

デスクトップのタスク バーからは、SmartVisionの起動や、最近の録画番組の再生ができます。

1 デスクトップのタスク バーのSmartVisionアイコンを右クリック

2 表示されたメニューを目的に合わせてクリック

「最近の録画番組」の表示について

・「おまかせ録画」または「新番組おまかせ録画」で録画された番組名の前には、「(おまかせ)」と表示されます。
・録画中の番組には赤い●アイコンが表示されます。

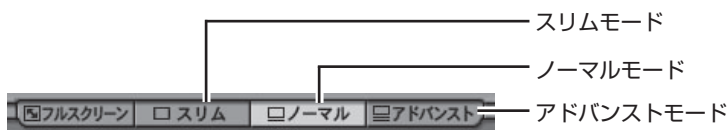
参照

デスクトップのタスク バーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは→PART9の「タスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない」(p.258)

チェック

●「最近の録画番組」に表示された番組を、「いつも表示する」に設定すると、その番組が削除されてもリストに表示が残ったり、録画が終了しても録画中を示す赤い●アイコンが表示されたままになります。
●デスクトップのタスク バーのなにもないところを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、「タスク バーのプロパティ」が表示されます。この画面の「ジャンプリスト」タブに表示される「ジャンプリストに表示する最近使った項目の数」で、「最近の録画番組」に表示される番組の数を変更できます。ご購入時は表示数が10に設定されています。最大で13番組が表示できます。

マウスで使う画面のモードを切り換える

マウスで使う画面には、スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。インターネットを利用しながらテレビを視聴するとき便利です。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

それぞれのモードの画面説明は、PART10の「各モードの画面説明」(p.279)をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウスで使う画面に切り換えたときの操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面が表示されます。

3 ?（オンラインヘルプ）をクリック

オンラインヘルプが起動します。

ポイント

●画面右上の をクリックすると、マウスで使う画面のまま最大化できます。

●スリムモードのときは、テレビの画面(SmartVision)をほかのウィンドウよりも常に手前に表示させることができます。この機能は、ご購入時には無効になっています。必要に応じて画面を右クリックし、表示されたメニューで「常に最前面に表示」をクリックして有効/無効を切り換えてください。なお、この機能はスリムモードのときのみ切り換えることができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

録画した番組のデータ量を減らす（録画モード変換）

録画モード変換をして、番組データの容量を減らすことができます。

録画モード変換について

録画した番組はとてもデータ量が多いため、ハードディスクに大きな空き容量が必要です。
録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ハードディスクの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

●録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間の半分から同じ程度の時間がかかります。
●録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
●録画モード変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない（録画データが正常に作成されない）ことがあります。

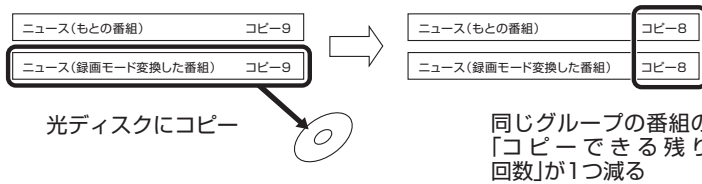
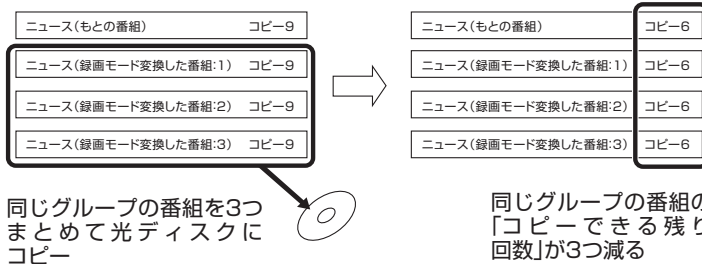
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは
●番組の録画や携帯電話用のデータ作成などで映像の変換がおこなわれていると、録画モード変換の動作が制限されることがあります。録画モード変換と同時に実行できる機能について詳しくはPART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」（p.68）の表をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは
●録画モードが「ダイレクト」で録画された番組のみ録画モード変換ができます。録画モードが「ファイン」、「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」の番組は録画モード変換できません。
●録画モード変換中は、番組を視聴および録画することができません。また、番組を視聴および録画中は、録画モード変換をすることができません。
●録画モード変換中は、番組表を受信することができません。

ポイント
録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、デスクトップの通知領域のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルをあわせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換したダビング10の番組について

録画モード変換すると、録画番組一覧にもとの番組と録画モード変換した番組が並んで表示されます。

もとの番組と録画モード変換した番組は1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

もとの番組を残す設定にしておけば、1つの番組を何度でも録画モード変換することができます(異なる録画モードで変換しなおす場合など)。
なお、同じ番組から録画モード変換した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

チェック

- 「録画モード変換」したダビング10の番組にも、光ディスクにコピーできる残り回数が表示されます。
- 番組を光ディスクに保存するとき、自動的に録画モード変換された番組のデータは、録画番組一覧には表示されません(コピーまたはムーブが終了した後、自動的に削除されます)。

チェック

「録画モード変換」したコピーワンスの番組を光ディスクにムーブすると、もとの番組も同時に削除されます。

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると録画モード変換ができません。

録画モード変換をする

■ 録画済み番組を録画モード変換する

録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
録画モード変換を含め、映像の変換を含む機能を複数使用するときは、その組み合わせによって一部の動作に制限があります。予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、ほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、録画などの予約を取り消してください。
詳しくはPART4の「同時に使える機能の組み合わせについて」(p.69)をご覧ください。

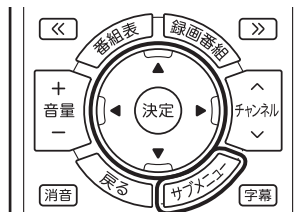
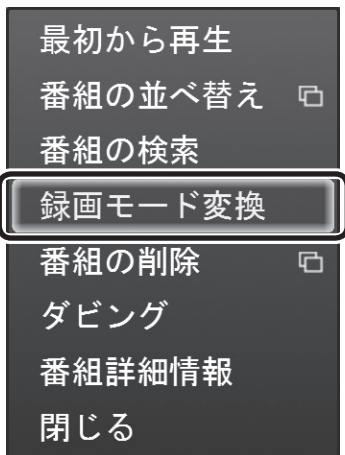
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
録画モード変換を実行中は、録画ができません。録画モード変換の予測時間の間に、録画予約が入っている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。

3 録画モード変換したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 「録画モード変換」を選んで【決定】を押す

5 ほかにも録画モード変換したい番組がある場合は、番組を選んで【決定】を押す

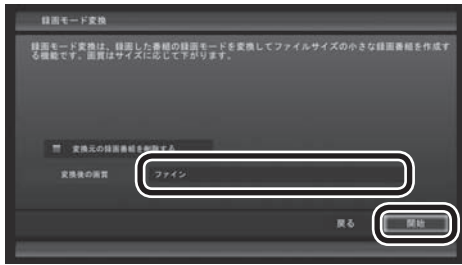
選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す

「録画モード変換」画面が表示されます。

ポイント

- 変換中に【サブメニュー】を押して「録画モード変換の中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に変換の進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。
- 録画モード変換するとき、同時にもとの番組を削除することができます。もとの番組を削除したいときは、手順7で「変換元の録画番組を削除する」を選んで【決定】を押し、チェックマークを付けてください。録画番組のデータは容量が大きいため、必要に応じてもとの番組を削除することをおすすめします。

7 「変換後の画質」で録画モード(画質)を選び、「開始」を選んで【決定】を押す

録画モード変換が始まります。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、録画モード変換が完了しました。

チェック

- 「変換後の画質」で、録画された番組の録画モード(画質)と同じ画質や、より高い画質を選んで変換することはできません(録画モードについて詳しくはPART4の「録画モードについて」(p.66)をご覧ください)。
- 複数の録画番組を選んだときは、「変換後の画質」を個別に設定することができません。また、この場合、「変換後の画質」で選んだ録画モード(画質)が、もとになる録画データと同じだったり、より高い画質となる番組は変換されません。
- 録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を継続します。SmartVision以外に動作中のソフトがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。
- 録画モード変換中に映像表示をした場合、見ている番組によっては、映像がコマ落ちしたり微動して見えることがあります。

PART 8 一歩すすんだテレビ操作

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVisionに増設したハードディスクドライブを登録してください。

外付けハードディスクをSmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。
また、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)の空き容量を増やしたいときに便利です。

チェック

Cドライブを再セットアップすると、Cドライブに保存されたデータは録画番組も含めてすべて消去されます。Windowsのリフレッシュやパソコンを初期状態に戻す操作をしたときも同様です。これらの操作をおこなうときは、あらかじめ録画番組を外付けハードディスクに移動しておいてください。

登録できるハードディスクについて

USB 2.0およびUSB 3.0接続と、Thunderbolt™接続の外付けハードディスクドライブ(NTFSフォーマット)が利用できます。
サポート対象機種について詳しくは、次のURLをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/hddlist/
※USB 3.0、Thunderbolt™は対応モデルのみ

パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

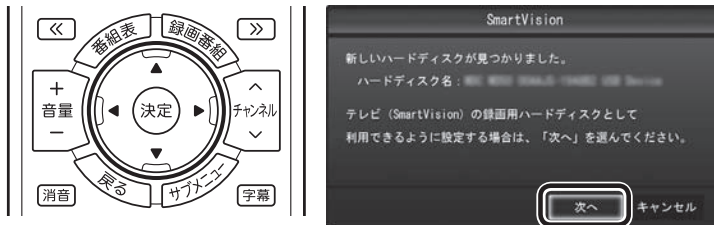
ハードディスクを登録する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

3 「次へ」を選んで【決定】を押す

録画フォルダー作成画面が表示されます。

参照

マウスで使う画面が表示されているときの操作について
→マウスで使う画面：オンラインヘルプ(p.136)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「増設したハードディスクを登録して、録画をしよう」

ポイント

ここで「キャンセル」を選択すると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。
この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダーを作成する手順(p.146)で、増設したハードディスクを登録することができます。

4 録画フォルダーを作成する

① ハードディスクのドライブ(ボリューム)を確認する
② 録画番組を保存する録画フォルダーのフォルダ名を確認する
③「次へ」を選んで【決定】を押す

登録完了画面が表示されます。

ここで作成したフォルダ名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要になります。フォルダ名を控えておいてください。

フォルダ名:

5「閉じる」を選んで【決定】を押す

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

チェック

●ここで作成した録画フォルダーは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。

●フォルダ名は、キーボードで変更することができます。

●ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用に選択することができます。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスク(p.142)に、番組を直接録画するよう設定します。なお、ここで説明している操作が完了すると、録画した番組は、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)ではなく登録したハードディスクに保存されるようになります。
必要な場合のみ、この操作をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

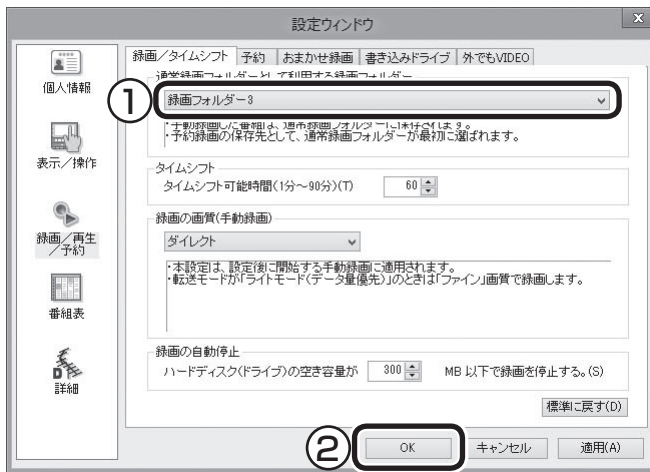
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 （設定）をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

4 録画番組の保存先を選ぶ

①「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」の ▼ をクリックし、番組を保存する録画フォルダーをクリックする

②「OK」をクリックする

これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

チェック

- 一度録画番組保存先に設定したハードディスクを取り外した場合、それ以降に予約録画された番組は、ご購入時に録画番組の保存先に設定されていたハードディスクに保存されます。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の１回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。
- パソコンを再セットアップした場合は、テレビ初期設定を終了した後に、テレビの映像が表示されている状態で、登録済みの外付けハードディスクをパソコンに接続して、再登録をしてください。この操作をおこなわずに、録画番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなる場合があります。

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダーを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

ご購入時の録画フォルダー

ご購入時には、次の録画フォルダーが用意されています。

・「通常」録画フォルダー 1
ご購入時の設定では、手動録画した番組やおてがる予約で録画した番組などが保存されます。
・「おまかせ」録画フォルダー 2
おまかせ録画で録画された番組が保存されます。「おまかせ」録画フォルダーに保存された番組の容量が指定されたサイズを超えると、「おまかせ」録画フォルダー内の番組が古い順に削除されます。
また、通常の予約録画をするとき、「おまかせ」録画フォルダーを保存先に指定することもできます。

●マウスで使う画面の録画番組一覧で表示されたこれらの録画フォルダーを右クリックすると、情報(プロパティ)を確認したり、フォルダー名を変更することができます。
●「通常」録画フォルダーを別のフォルダーに変更することができます。詳しくはオンラインヘルプ(p.136)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」をご覧ください。
●「おまかせ」録画フォルダーを別のフォルダーに変更したり、最大保存容量を変更することができます。詳しくはオンラインヘルプ(p.136)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

ポイント

「通常」録画フォルダーや「おまかせ」録画フォルダーとして設定されているフォルダーを、別のフォルダーに変更することもできます。この場合は、次の「録画フォルダーを作成する」をご覧いただき、あらかじめ録画フォルダーを追加しておいてください。

録画フォルダーを作成する

Cドライブや Dドライブ、登録済みの外付けハードディスク内に、録画フォルダーを作成します。録画フォルダーは最大200個まで作成できます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

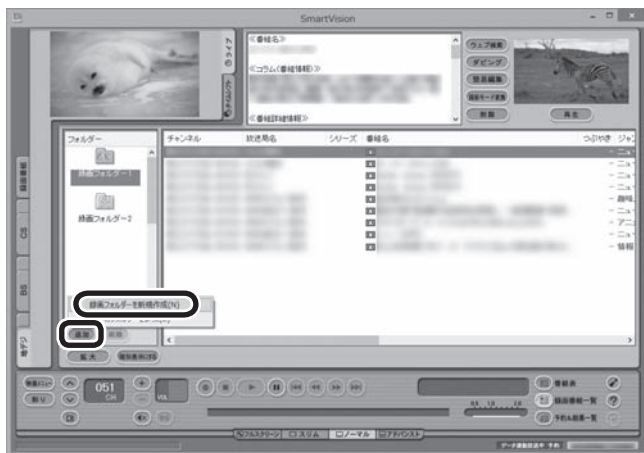
2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 追加(追加)をクリックして表示されるメニューから、「録画フォルダーを新規作成」を選ぶ

新規録画フォルダー作成画面が表示されます。

ポイント

SSDを搭載したモデルでは、Cドライブ(SSD)以外のドライブに録画フォルダを作成されることをおすすめします。

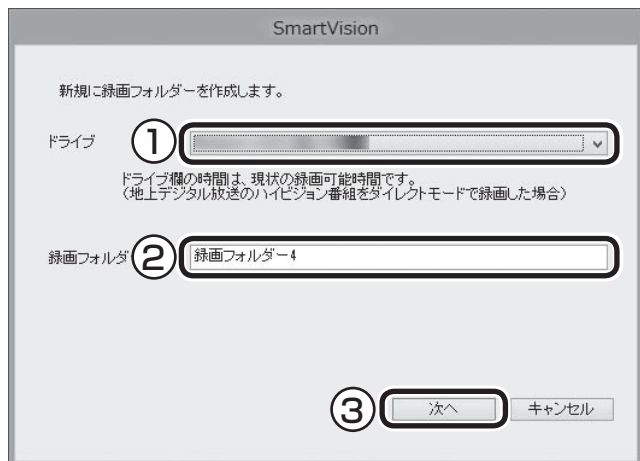
ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

- エクスプローラーで作成した既存のフォルダを追加することもできます。
  追加(追加)をクリックして「既存フォルダー参照」を選び、フォルダを追加してください。
- 録画フォルダーを右クリックして表示されるメニューで、録画フォルダーの情報(プロパティ)を変更したり、名前を変更することができます。そのフォルダーがパソコンのハードディスク上にあるのか、外付けハードディスク上にあるのかを確認することもできます。

5 録画フォルダーを作成する

①録画フォルダーを作成したいハードディスクを選ぶ
外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
②必要に応じてフォルダ名を変更する
変更するときは、ここをマウスでクリックして、フォルダ名を入力しなおしてください。
③「次へ」をクリックする

作成完了画面が表示されます。

6 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダーが作成されました。作成した録画フォルダーは、予約するとき選択できるようになります。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダーに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダーを作っておいてください(p.146)。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

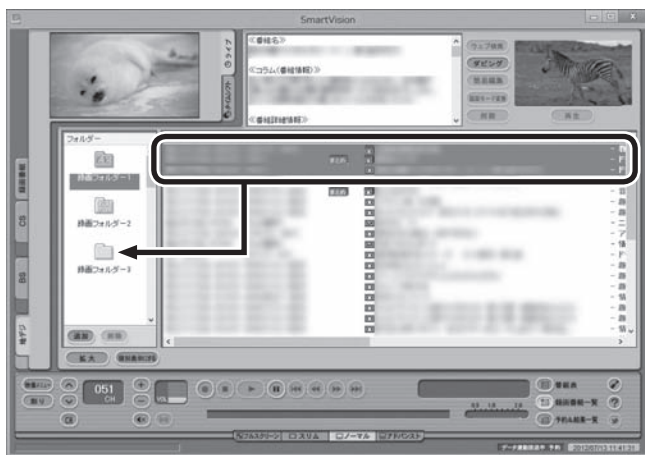
画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダーにドラッグ&ドロップする

番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「番組の移動」画面が表示されます。「番組の移動が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。

これで、番組の移動ができました。
なお、移動先の録画フォルダーに外付けハードディスクの録画フォルダーを指定すると、外付けハードディスクへ番組を移動することができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- 複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。
- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか?」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか?」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダーに移動されたのか、わからなくなります。
- 光ディスクにムーブ中の番組(コピーの残り回数が1回の番組)は、移動できません。

ポイント

- ご購入時の状態では録画した番組は、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。
- この画面で、番組を選んで画面右上の 削除 (削除)をクリックすると番組を削除できます。
- 録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、その録画フォルダーの情報が表示されます。「ハードディスク上のフォルダーの場所」などを確認することができます。

録画フォルダーを削除する

録画フォルダーを削除しても、データは残ります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 左の「フォルダー」内で削除したい録画フォルダーを選んで、(削除)をクリック

削除画面が表示されます。

5 「はい」をクリック

これで、録画フォルダーが削除できました。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- SmartVision側から録画フォルダーが参照できなくなりますが、ハードディスク内のフォルダと録画番組は削除されません。
- ここで削除した録画フォルダーを再度SmartVisionで利用するには、マウスで使う画面で「既存フォルダー参照」をクリックし、フォルダを指定して追加する必要があります。この際、手順5の画面に表示される次の情報が必要になります。控えておいてください。
  - ・削除する録画フォルダー名
  - ・ハードディスク上のフォルダ名
  - ・ハードディスク上のフォルダの場所

PART 8
一歩すすんだテレビ操作

番組の情報をインターネットで探す

気になる番組や人物(出演者など)、番組の主題歌について、インターネットを使って検索することができます。

「ウェブ検索」について

「ウェブ検索」は、テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できる機能です。検索サイトでキーワードを入力する必要はありません。マウスの操作だけで検索することができます。
番組表や録画番組一覧で面白そうな番組を見つけたとき、テレビ放送や録画番組を見ていて気になる新人が出てきたとき、手軽に検索してみましょう。

チェック

- 「ウェブ検索」機能を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- Internet Explorerが無効になっているときは、「ウェブ検索」機能が利用できません。

番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する

■ 番組表から検索する

ここでは、番組表の画面から、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

2 (番組表)をクリック

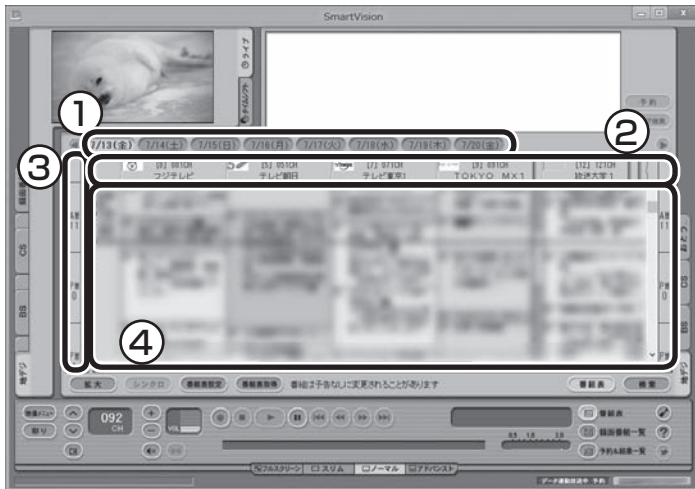
番組表が表示されます。

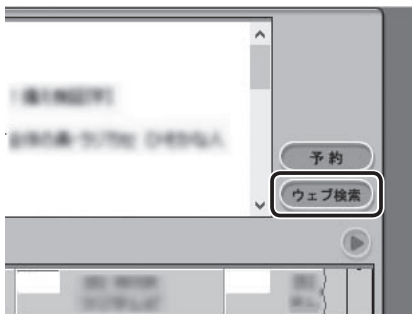
3 情報を調べたい番組を選ぶ

① 日付を選ぶ

② 放送局を表示する

③ 時間を合わせ、調べたい番組を表示する

④ 調べたい番組をクリック

画面上の詳細情報欄に、番組情報が表示されます。

4 「ウェブ検索」をクリック

5 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名(出演者など)をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

6 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

ポイント

- 手順5で「番組名検索」をクリックすると、手順6の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順5で「主題歌検索」をクリックすると、手順6の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- 「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorer のみです。
Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

■「録画番組一覧」から検索する

「ウェブ検索」機能は、「録画番組一覧」に表示されている番組の情報を調べることもできます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選んで情報を検索する

① 調べたい番組をクリック

② 「ウェブ検索」をクリック

この後の操作は、「番組表から検索する」の手順5以降(p.151)をご覧ください。

テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する

■ テレビを見ているときに検索する

ここでは、ライブモードでテレビを見ながら、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 「ライブモード」タブをクリック

放送中の番組がライブモードで表示されます。必要に応じて、チャンネルを切り換えてください。

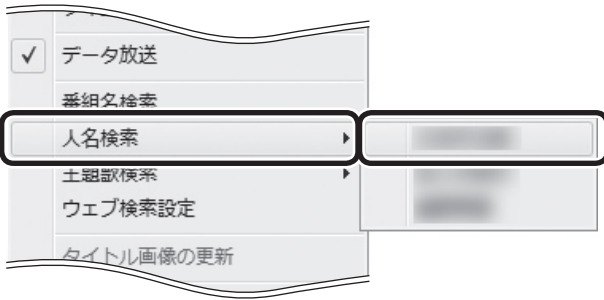
3 「映像メニュー」をクリック

ポイント

タイムシフトモードでテレビを見ているときは、「ウェブ検索」の機能が使えません。

ポイント

画面上を右クリックして、映像メニューを表示させることもできます。

4 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名(出演者名など)をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

5 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

■ 録画番組を見ているときに検索する

録画した番組を再生しているときも、その番組の情報を「ウェブ検索」することができます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 録画番組一覧で視聴する番組をダブルクリック

録画番組が再生されます。

4 「テレビを見ているときに検索する」の手順3(p.153)以降の操作をおこなう

テレビを見ているときと画面に表示されている内容が一部異なりますが、操作の流れは同じです。

ポイント

- 手順4で「番組名検索」をクリックすると、手順5の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順4で「主題歌検索」をクリックすると、手順5の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- 「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorerのみです。Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する

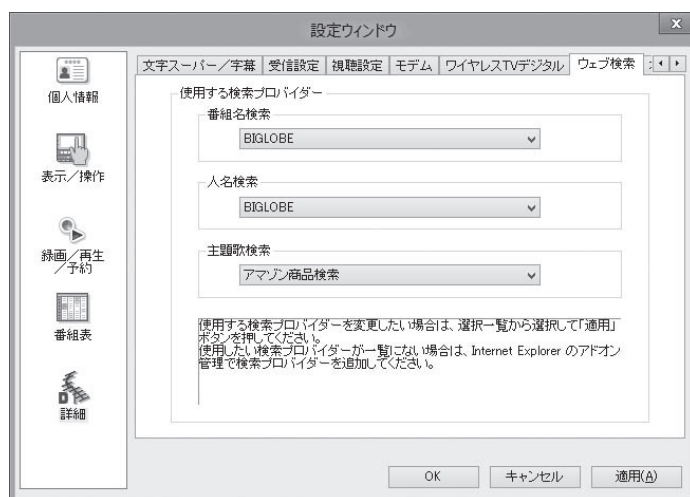
検索結果を表示する検索プロバイダー(検索サイト)を変更することができます。

1 マウスで使う画面(ノーマルモードまたはアドバンストモード)で、(設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ウェブ検索」タブをクリック

3 検索プロバイダーを選ぶ

「番組名検索」･「人名検索」･「主題歌検索」の をクリックし、表示されたメニューから使用する検索プロバイダーを選んでクリックします。

4 「OK」をクリック

これで検索プロバイダーの変更は終了です。

PART 8
一歩すすんだ
テレビ操作

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いらない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、もとの番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

ここでは、基本的な簡易編集の流れを説明しています。
必要に応じて次の説明もご覧いただき、SmartVisionの編集機能をより便利に使いこなしてください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.159)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.159)

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「アドバンスト」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(アドバンストモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「アドバンスト」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 編集したい番組をクリックし、簡易編集(簡易編集)をクリック

「簡易編集」タブが表示されます。

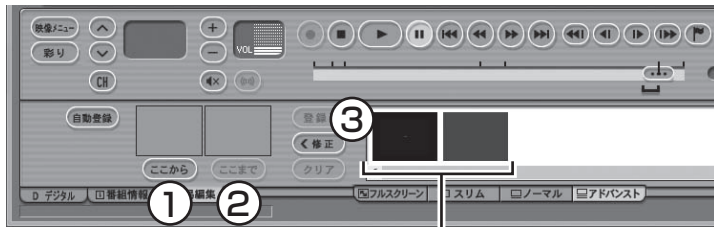
ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

ポイント

登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

5 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。
①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック

登録された場面

①〜③を繰り返して、必要な場面を登録します。
登録した場面の範囲(開始／終了)を指定しなおすときは、その場面をクリックして選び、「修正」をクリックしてください。「ここから」と「ここまで」をあらためて指定できるようになります。指定しなおした後、あらためて「登録」をクリックしてください。

なお、「ここから」や「ここまで」の上に表示された画像をダブルクリックすると、それぞれで指定した場面が一時停止した状態で表示されます。登録する場面の開始点と終了点を選びなおすときに便利です。

より高度な使い方について
切り取る場面を細かく指定したり、登録していない場面を一覧表示しながら編集することができます。
必要に応じて次の説明もご覧ください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.159)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.159)

必要な場面をすべて登録したら、手順6に進んでください。

- 同じ場面を複数回登録することはできません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 登録した場面の順番を変更することはできません。
- 編集で切り取った場面の先頭には新しいチャプターマークが作られます。また、切り取った場面の中に、オートチャプター機能で作られたチャプターや、以前の編集で作られたチャプターが含まれているときは、それらのチャプターも引き継がれます。
- 録画番組を光ディスクに保存するときは、オートチャプター機能や編集で作られたチャプターの情報もあわせて保存されます。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。
- 登録できる場面(「ここから」から「ここまで」の間)の最大数は300です。
- 編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいとこ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。
- 時間指定予約による録画をしているときなど、録画中に放送局のチャンネルの数が変わる(増減する)ことがあります。録画した番組を編集するとき、チャンネルの数が変わるタイミングの前後5秒から10秒程度の範囲で登録する場面の微調整をおこなうと、画面に表示されている映像がちらつくことがあります。

6 「保存」をクリック

編集した番組がもとの番組と同じ録画フォルダーに保存されます(もとの番組は編集前の状態で残ります)。「編集が完了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。編集した状態で、光ディスクに保存したり(p.123)、携帯電話などの機器(p.165)やメディアサーバ(p.182)に転送することもできます。
なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、もとの番組と同じグループとして扱われており、光ディスクや携帯電話、メディアサーバにコピーできる回数がまとめて制御されています。詳しくは「光ディスクに保存したり、携帯電話などの機器やメディアサーバに転送するときのご注意」(p.161)をご覧ください。

参照

光ディスクへの保存について→マウスで使うための画面:オンラインヘルプ(p.136)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「録画した番組でDVDを作成しよう」

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。

■ より精密な編集をするときは

再生しながら切り取る範囲を指定したり、プログレスバーを使って編集すると、切り取った場面に不要な場面が少しだけ入ってしまうことがあります。
「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.158)で、切り取る場面の「ここから」や「ここまで」をより精密に指定したいときは、次のように操作してください。

① 「ここから」または「ここまで」を登録したいタイミングで「一時停止」をクリック
② 次のいずれかの操作で、登録する位置を微調整する
- 1フレーム単位で調整:◀︎|または|▶︎をクリック
- 15フレーム単位で調整:◀︎◀︎|または|▶︎▶︎をクリック

③ 「ここから」または「ここまで」をクリック

ポイント

編集している番組によっては、微調整用のボタン(◀︎◀︎|、◀︎|、|▶︎、|▶︎▶︎)をクリックしたとき、1フレームまたは15フレームとは異なるフレーム数分、映像が進んだり戻ったりすることがあります。

■ 登録していない場面も確認しながら編集する

登録した場面とあわせて未登録の場面も一覧表示し、それぞれを確認しながら編集できます。

「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.158)で、「全シーン表示」をクリックしてください。
「全シーン表示モード」に切り換わり、画面下段に登録した場面(有効な場面)および未登録の場面(無効な場面)が一覧で表示されます。

すべての場面※が表示されます。無効の場面は淡く表示されます。

- 場面を登録する
  場面をクリックして選び、「有効」をクリックしてください。
- 場面を無効にする
  場面をクリックして選び、「無効」をクリックしてください。

※:各チャプターの最初の映像が表示されます。オートチャプター機能で作成されたチャプター、手動で作成したチャプター、編集された番組に記録されていたチャプターが、いずれも個別の「場面」となります。

ポイント

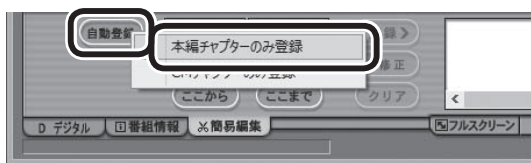
- ●元の状態(有効シーンのみ表示モード)に戻すときは、もう一度「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。
- ●オートチャプターの情報を使って場面を登録する「自動登録」(p.160)の機能を使うと、自動的に「全シーン表示モード」に切り換わります。

オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)

オートチャプター機能(p.105)によって、番組を録画したとき自動的に番組の本編と本編以外が検出され、チャプターが作られています。
録画番組を簡易編集するとき、オートチャプターの情報を使って、本編チャプターのみ、または本編以外のチャプター(CMチャプター)のみを登録することができます。
ここでは本編チャプターのみを登録する手順を説明します。

1 「録画番組を簡易編集する」の手順1(p.156)から手順4までの操作をおこなう

「簡易編集」タブが表示されます。

2 「自動登録」-「本編チャプターのみ登録」をクリック

自動的に「全シーン表示モード」(p.159)に切り換わり、本編チャプターが登録されます。
本編以外のチャプターを登録したいときは、ここで「CMチャプターのみ登録」をクリックしてください。

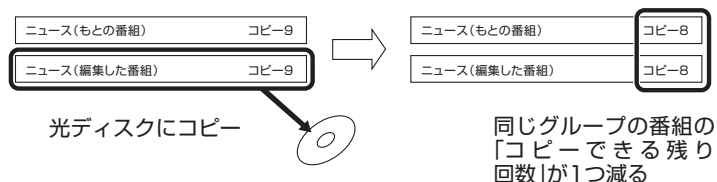
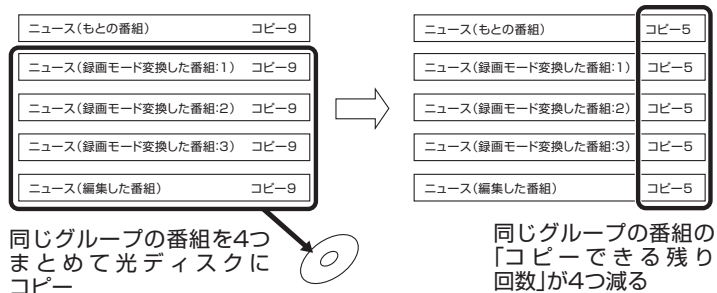
3 「保存」をクリック

編集した番組が保存されます。
淡く表示された無効の場面は保存されません。

ポイント

- 「自動登録」をクリックすると、すでに登録された「ここから」や「ここまで」の情報が削除されます。これらの情報を削除してよいかどうか確認するメッセージが表示されたときは、状況に応じて「OK」または「キャンセル」をクリックしてください。
- 番組の最初または最後に放送されるCMは、本編以外のチャプター(CMチャプター)として検出されないことがあります。
- 本編チャプターがない番組や、本編以外のチャプター(CMチャプター)がない番組を自動登録するときは、その状況を報告するメッセージが表示されます。
- 「全シーン表示モード」を「有効シーンのみ表示モード」に切り換えるときは、「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。

■ 光ディスクに保存したり、携帯電話などの機器やメディアサーバに転送するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を簡易編集した番組は、もとの番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクや携帯電話などの機器、メディアサーバにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、編集した番組を光ディスクなどにコピーすると、もとの番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、編集したダビング10の番組を光ディスクなどに1回コピーすると、その番組はもちろん、もとの番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

なお、同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクなどにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

PART 8
一歩すすんだ
テレビ操作

録画番組を携帯電話で楽しむ（外でもVIDEO）

パソコンで録画した番組を携帯電話などの機器に転送（ダビング）して、外出先で楽しむことができます。

外でもVIDEO って何？

録画した番組を携帯電話などの機器へ転送し、外出先などでも楽しむ機能、それが「外でもVIDEO」です。
何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまう連続ドラマを、携帯電話に入れて持ち出しましょう。

■ パソコンとの接続について

2つの接続方法があります。

SDカード/USB転送の場合

・USBケーブルを使ってパソコンと接続する。
・携帯電話のSDカードを取り出し、パソコンにセットする。

ワイヤレス転送の場合（スマートフォンやタブレットPC）

・DLNAおよびDTCP-IPに対応したスマートフォンなどのワイヤレス通信機能を使い、ホームネットワークでパソコンと接続する。

このマニュアルでは、上のいずれの接続方法についても「携帯電話などの転送先の機器をパソコンに接続する」と表記します。

ポイント

USBケーブルでの接続やSDカードの取り出し方などについては、携帯電話などの転送先の機器の取扱説明書をご覧ください。

参照

パソコンにSDカードをセットする方法について
→「デュアルメモリースロット」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020030 で検索

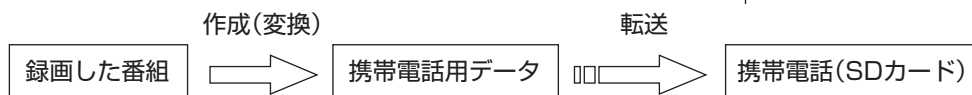
ポイント

●ワイヤレス転送をご利用になるときは、あらかじめホームネットワークへの接続などの準備が必要です。詳しくは「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.183)をご覧ください。
●ワイヤレス転送の場合、転送先機器（スマートフォン、タブレットPC）とパソコンの接続の設定によっては、通信圏内（電波が届く範囲）に転送先機器が入った時点で、自動的にパソコンに接続されることがあります。
●ワイヤレスで転送する機能を「外でもVIDEO ワイヤレス」と呼びます。

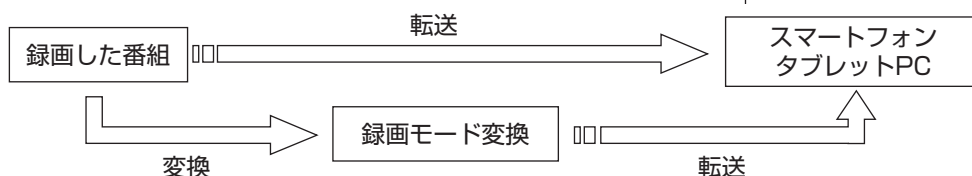
■ 携帯電話に番組を転送する仕組み

転送先の機器によって、転送の仕組みが一部異なります。

SDカード/USB転送の場合

番組を転送する前に、携帯電話用のデータが作成されます。

・録画した番組を選んで、パソコンに接続した携帯電話に手動で転送することができます。(p.165)
・録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(転送する候補)として設定することができます。設定した番組は、録画と同時に携帯電話用のデータが作成されます。(p.170)
・番組の転送先としてあらかじめ携帯電話を登録しておくことができます。また、録画した番組が自動的に転送されるよう設定することができます。(p.174)

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)

番組をそのまま転送することができます。手動で転送するときは、必要に応じて録画モードを変更することもできます。

・録画した番組を選んで、パソコンに接続したスマートフォンやタブレットPCに手動で転送することができます。(p.165)
・録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(転送する候補)として設定することができます。なお、ワイヤレス転送の場合は、携帯電話用のデータは作成されません。(p.170)
・番組の転送先としてあらかじめスマートフォンやタブレットPCを登録しておくことができます。また、録画した番組が自動的に転送されるよう設定することができます。(p.174)

■ 携帯電話用のデータについて

SDカード/USB転送の場合は、転送前に携帯電話用のデータが作成されます。
携帯電話用のデータの録画モード(画質モード)は、「ワンセグ画質(320×180)」と「SD画質(640×360)」の2種類から選ぶことができます。

画質モード	1時間の番組を保存するために必要なSDカード容量	特徴
ワンセグ画質(320×180)	約258MB	ワンセグ放送を録画できる多くの携帯電話で再生できます。解像度は320×180です。
SD画質(640×360)	約484MB	ワンセグ画質の4倍の解像度でより高画質の映像が楽しめるモードです。しかし、再生できる携帯電話がかぎられます。解像度は640×360となります。

なお、ワイヤレス転送の場合は、録画番組のデータをそのまま携帯電話に転送することができます。手動で転送するときは、必要に応じて録画モードを変更することもできます。

■ 録画番組が転送できる携帯電話について

対応している携帯電話について詳しくは、次のURLをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/sotodemo/

SDカード/USB転送の場合
番組のデータは、携帯電話にセットされたSDカードに転送されます。

転送に対応しているSDカードは次のとおりです。
・ microSDカード
・ microSDHCカード
・ SDXCカード

なお、携帯電話とパソコンを接続するケーブルや、携帯電話からSDカードを取り出す方法などについては、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)
ワイヤレス転送をご利用になるときは、転送元のパソコンと転送先のスマートフォンやタブレットPCをあらかじめホームネットワークに接続する準備が必要です。詳しくは「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.183)をご覧ください。

●一部の携帯電話ではUSBケーブルで接続しても録画番組が転送できないことがあります。この場合は、携帯電話からSDカードを取り出し、パソコンにセットして転送してください。
●長時間番組は次の単位に分割して転送されます。
・ワンセグ画質:約6時間30分
・SD画質:約3時間30分
●microSDカードは、必ず市販のSDカード変換アダプタに装着してから、パソコンのスロットにセットしてください。

■ CPRMアップデートについて

録画した番組を転送する前に、CPRMのアップデートが必要です。SmartVisionのアップデートの画面が表示されたときは「はい」を選んで【決定】を押し、画面の説明にしたがってアップデートをおこなってください。
CPRMとは、転送先の機器やDVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。録画番組の転送のほか、光ディスクに保存する際にも、この技術が使われます。

ポイント

CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

録画した番組を携帯電話に転送する

ここでは、録画済みの番組を携帯電話などの機器に転送する手順について説明します。
なお、外でもVIDEOで録画した番組の中で、視聴(転送)していないものを、細かい設定を省いて転送する「簡単転送」の機能を使うこともできます。詳しくは「簡単転送を使う」(p.178)をご覧ください。

チェック

転送先の機器とパソコンを接続するときは、転送先の機器の設定(microSDモードやカードリーダモードの設定や、ホームネットワークの設定)の変更が必要になる場合があります。転送先の機器の設定については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。パソコン(転送元)の設定については、「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.183)をご覧ください。

1 携帯電話などの転送先の機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

一歩すすんだテレビ操作

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

〜

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、転送先にコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに転送先に9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は転送先にムーブ(移動)することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも転送先にコピーできます。

4 転送する番組を選んで【緑】を押し、次のいずれかの操作をおこなう

SDカード/USB転送の場合

「外でもVIDEO(SDカード/USB転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)

「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。

チェック

- MOVE が表示された番組を転送先の機器に転送すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- 番組を光ディスクに保存したり、メディアサーバに転送したときも、コピーできる残り回数が減ります。
- すでに携帯電話用のデータが作成されているときは、番組のコピー制御方式を示すアイコンの下に、SD画質またはワンセグが表示されます。

ポイント

- 「簡単転送」を選んで【決定】を押すと、録画予約するときに外でもVIDEOが設定された未視聴の番組を、細かい設定を省いて転送することができます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.179)をご覧ください。
- 「まとめ表示」されているシリーズ番組を選んだときは、「シリーズすべてを転送」を選んで、そのシリーズのすべての番組を転送の対象にすることができます。

5 転送する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

6 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。接続した機器によって画面が一部異なります。

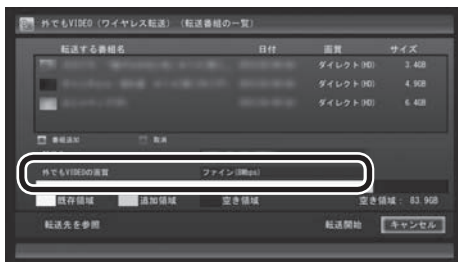
7 「外でもVIDEOの画質」を選んで【決定】を押し、転送する画質を選ぶ

接続した機器によって操作が異なります。

SDカード/USB転送の場合

表示されたメニューから「SD画質」または「ワンセグ画質」を選んで【決定】を押し、手順8に進んでください。

ワイヤレス転送の場合（スマートフォンやタブレットPC）

表示されたメニューから転送する画質（録画モード）を選んで【決定】を押し、手順9に進んでください。

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組(p.105)を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

チェック

転送先の機器によって、再生できる録画モード(画質モード)が異なります。対応している機器について詳しくは、NECサポートサイト(http://121ware.com/)をご覧ください。

ポイント

「外でもVIDEOのデータが作成済みの番組は、その画質のまま転送する。」を選んで【決定】を押し、チェックを付けると、すでに携帯電話用のデータが作成されている番組については、そのデータが指定した画質でなくてもそのまま転送されます。たとえば、すでにSD画質のデータが作成されているときは、「ワンセグ画質」を選んでも、ワンセグ画質のデータは作成されず、既存のSD画質のデータが転送されます。

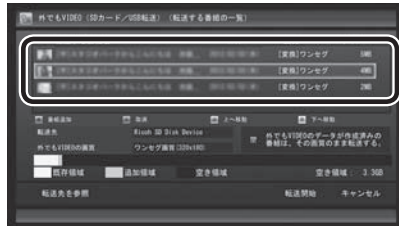
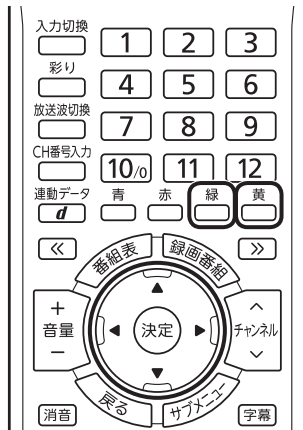
ポイント

- ●録画された番組の録画モード(画質)より高い画質を選ぶことはできません。録画モードについて詳しくはPART4の「録画モードについて」(p.66)をご覧ください。
- ●転送先の機器が選択した画質に対応していないときは転送できません。

8 転送する順序を指定する（SDカード/USB転送の場合のみ）

一覧の上から順に転送されます。必要に応じて転送する順序を指定してください。

① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ

② リモコンの【緑】（上へ移動）または【黄】（下へ移動）を押す

③【決定】を押す

9 「転送先」を選んで【決定】を押し、接続した機器を選んで【決定】を押す

10 「転送開始」を選んで【決定】を押す

チェック

●転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。

●転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。

●ここで表示される番組のサイズは予測値です。SDカードに転送された番組のサイズとは異なる場合があります。

チェック

録画番組を転送している間は、パソコンと転送先の機器の接続を解除しないでください。

ポイント

ムーブされる番組（コピーの残り回数が1回の番組）が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧（ハードディスクから削除される番組の一覧）が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
携帯電話用データの作成を含め、映像の変換を含む機能を複数使用するときは、その組み合わせによって一部の動作に制限があります。予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、ほかの動作が完了するまでお待ちいただくか、録画などの予約を取り消してください。
詳しくはPART4の「同時に使える機能の組み合わせについて」(p.69)をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
携帯電話用のデータの作成を含め、録画モード(画質)の変換中は録画ができません。録画モードの変換が終了すると予測される時間より前に録画予約が入っている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで操作してください。

転送が始まり、通知領域に転送を示すアイコンが表示されます。

11 「転送が完了しました」と表示されたら、ほかの転送が始まっていないことを確認し、【決定】を押す

12 携帯電話とパソコンの接続を解除する

SDカード/USB転送の場合
USBで接続した携帯電話またはパソコンにセットしたSDカードを取り外します。
SDカードなどの取り扱いについては、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第3章の「メモリーカード」をご覧ください。取り外すときは、マウスを使って、デスクトップの通知領域を操作する必要があります。必要に応じてテレビ画面右上の をクリックし、SmartVisionをウィンドウ表示に切り換えてください。

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)
必要に応じてホームネットワークとの接続(パソコンとの接続)を解除してください。

チェック

予約の際に外でもVIDEOの設定で録画(p.170)された番組があり、転送先の機器に自動的に転送される設定(p.174)になっているときは、ここでの操作の直後にそれらの番組の転送が始まることがあります。転送先の機器とパソコンの接続を解除する前に、番組の転送が始まっていないかご確認ください。転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。
- テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(SDカード/USB転送)」または「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
- テレビ(SmartVision)のアイコンをデスクトップの通知領域に表示するように設定しているときは、通知領域に または が表示されます。

録画するとき外でもVIDEOの設定をする

録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(携帯電話などの機器へ転送する候補)として設定しておくことができます。
これらの番組は、転送先として登録された機器がパソコンに接続されたとき自動的に転送されたり(p.174)、「簡単転送」(p.178)を使ったとき転送の候補となります。
SDカード/USB転送のときは、録画と同時に携帯電話用のデータも作成されます。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
おてがる予約で録画するときやおまかせ録画をするとき、また、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
おてがる予約で録画するときや、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

■ 録画予約と同時に外でもVIDEOの設定をするときのご注意

●新番組おまかせ録画やさかのぼり録画をするとき、また、視聴中の番組を手動で録画するときは、録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることができません。また、G-GUIDE for Windowsで予約録画するときも、録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることはできません。
●録画番組が複数音声の番組であっても、記録できる音声は1つだけになります。必要に応じて「詳細設定」にて、記録する音声を指定してください(p.79)。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
●同時に使用する機能によっては、一部制限があります。
予約や機能の重複を示す画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって、録画モードをダイレクトに切り換えたり、録画や携帯電話用のデータ作成を取り消してください。
詳しくはPART4の「同時に使える機能の組み合わせについて」(p.69)をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
●携帯電話用のデータ(「SDカード/USB転送」用のデータ)は、録画モード(画質)が「ダイレクト」の場合のみ作成することができます。
●おまかせ録画で録画するときは、録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることができません。
●すでにほかの番組の録画予約が入っているときは、確認画面が表示されます。表示されたメッセージにしたがって、いずれかの機能をキャンセルするなどの操作をしてください。

■ おてがる予約で録画するとき

1 「おてがる予約をする」(p.77)の手順1 ～手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 「外でもVIDEO録画」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押す

「外でもVIDEO録画」が有効になり、設定されている内容が表示されます。変更する必要がなければ手順5に進んでください。

3 「変更」を選んで【決定】を押す

「外でもVIDEO録画の詳細設定」画面が表示されます。

4 設定内容を変更する

①「転送方法」を選んで【決定】を押し、接続方法に合わせて次のどちらかを選んで【決定】を押す。

・「SDカード/USB転送」
・「ワイヤレス転送」

②「転送方法」で「SDカード/USB転送」を選んだときは、「画質」を選んで【決定】を押し、次のどちらかを選んで【決定】を押す。

・「SD画質」
・「ワンセグ画質」

③「保存して戻る」を選んで【決定】を押す。

ポイント

「転送方法」で「ワイヤレス転送」を選んだときは「画質」が変更できません。録画予約の画面で選んだ録画モードと同じ画質になります。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました。」というメッセージが表示されます。

6 【決定】を押す

外でもVIDEOの候補として設定された録画番組を自動転送するように設定(p.174)していると、録画終了後に、パソコンに接続された機器へ転送が始まります。

ポイント

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、録画と同時に携帯電話用のデータを作成するとき、同時に特定の機能を組み合わせて使うと視聴している番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合は、その機能(たとえば「録画モード変換」)の処理が完了するまで、ライブモードに切り換えることはできません。機能の組み合わせについては、PART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.68)の表をご覧ください。

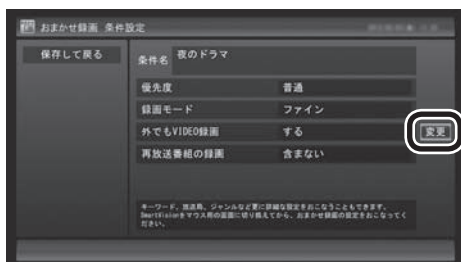
■ おまかせ録画するとき

1 「おまかせ録画を有効にする」(p.88)の手順1 ～手順3をおこなう

おまかせ録画の条件を決める画面が表示されます。

2 「外でもVIDEO録画」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押す

「外でもVIDEO録画」が有効になり、設定されている内容が表示されます。変更する必要がなければ手順5に進んでください。

3 「変更」を選んで【決定】を押す

「外でもVIDEO録画の詳細設定」画面が表示されます。

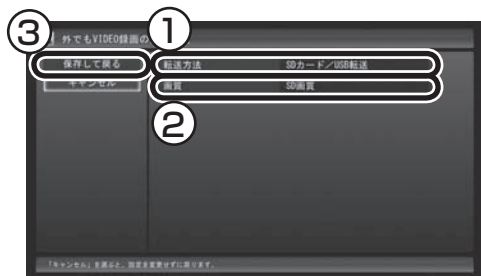
ポイント

マウスで使うための画面で、おまかせ録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることもできます。詳しくはPART4の「おまかせ録画を登録する」(p.89)をご覧ください。

4 設定内容を変更する

①「転送方法」を選んで【決定】を押し、接続方法に合わせて次のどちらかを選んで【決定】を押す。
・「SDカード/USB転送」
・「ワイヤレス転送」

②「転送方法」で「SDカード/USB転送」を選んだときは、「画質」を選んで【決定】を押し、次のどちらかを選んで【決定】を押す。
・「SD画質」
・「ワンセグ画質」

③「保存して戻る」を選んで【決定】を押す。

5 「おまかせ録画を有効にする」の手順5(p.89)以降をおこなう

> **ポイント**
> 「転送方法」で「ワイヤレス転送」を選んだときは「画質」が変更できません。おまかせ録画の条件設定の画面で選んだ録画モードと同じ画質になります。

自動転送を使う

録画の予約をするときに外でもVIDEOの設定をしておいた番組が、転送先の機器に自動的に転送されるよう設定できます。
自動転送するために、パソコンをタイマーで起動させることもできます。

次のとき、自動転送がおこなわれます。

SDカード/USB転送の場合

1. 携帯電話がパソコンに接続されているとき、外でもVIDEOの番組の録画が完了した。
2. 録画済みの外でもVIDEOの番組があり、携帯電話がパソコンに接続された状態で、自動転送のためのタイマーが働きパソコンが起動した。

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)

1. 転送先の機器がパソコンに接続されているとき、外でもVIDEOの番組の録画が完了した。
2. 録画済みの外でもVIDEOの番組があるとき、転送先の機器がパソコンに接続された。
3. 録画済みの外でもVIDEOの番組を自動転送するためにパソコンがタイマーで起動し、スマートフォンやタブレットPCがホームネットワークでパソコンに接続された。

> **チェック**
> コピーワンスで放送された番組は自動転送できません。必要に応じて手動で転送(p.165)してください。

■ 自動転送を手軽に設定する

自動転送の転送先が未設定のとき、転送可能な機器を接続すると、「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されます。
メッセージにしたがって操作するだけで、接続した機器を転送先として設定できます。

なお、この方法で転送先の設定をおこなうときは、次の操作が必要になることがあります。

・「SmartVisionのアップデートについて」の画面が表示されたときは、インターネットに接続してCPRMアップデートをおこなってください。(p.120)
・「外でもVIDEO 簡単転送」(p.178)の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面で「いいえ」を選ぶと「「外でもVIDEO」の自動転送先に設定しませんでした。」とのメッセージが表示され、次回以降、同じ機器を接続しても「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されなくなります。

■ 自動転送の詳細な設定をする

1 携帯電話など転送先に指定する機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

自動転送の設定は、簡単転送(p.178)の設定と共通です。

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「設定」の「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」を選んで【決定】を押す

「外でもVIDEOの設定」が表示されます。

4 自動転送の設定をする

① 「転送する番組」を選んで【決定】を押し、転送する番組の転送方法を選んで【決定】を押す。
ご購入時の設定では「最近1週間の番組」が選ばれています。必要に応じて、「最近の10番組」または「すべての番組」を選んでください。

② 「自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押す。

③ 転送方式を選ぶ。

SDカード/USB転送の場合

「転送先(SDカード/USB)」を選んで【決定】を押し、接続した携帯電話またはセットしたSDカードを選んで【決定】を押してください。

ポイント

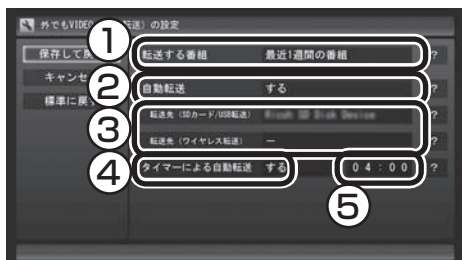
転送先に「転送先を検索」と表示されたときは、「転送先を検索」をクリックし、画面に表示されたメッセージにしたがって次のいずれかの操作してください。
「SmartVisionをアップデートしてください。」と表示された場合は、PART7の「CPRMのアップデートをする」(p.120)をご覧になり、SmartVisionをアップデートしてください。(SDカード/USB転送の場合)
「ライセンスを取得する必要があります。」と表示された場合は、PART8の「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.183)をご覧になり、ライセンスを取得してください。(ワイヤレス転送の場合)

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンやタブレットPC)
「転送先(ワイヤレス)」を選んで【決定】を押し、接続した機器を選んで【決定】を押してください。

④ 番組を転送するためにパソコンを自動で起動するかどうか設定する。
パソコンを自動で起動するときは「タイマーによる自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押してください。

⑤「タイマーによる自動転送」で「する」を選んだときは、パソコンが起動する時刻を指定する。
表示されている時刻を選んで【決定】を押し、【矢印】の左右ボタンで時または分を選び、【矢印】の上下ボタン(または数字ボタン)で時刻を指定して【決定】を押してください。

ポイント

「タイマーによる自動転送」でパソコンが起動するのは、未転送の録画番組があるときだけです。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで設定が完了しました。必要に応じて転送先の機器とパソコンの接続を解除してください。

■ 自動転送中の表示について

自動転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

- テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(SDカード/USB転送)」または「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
- テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、デスクトップの通知領域に[SD]または[アイコン]が表示されます。

ポイント

Windowsのスタート画面でも同様のメッセージが表示されます。

■ 自動転送の結果を確認するときは

自動転送の結果に問題があったときは、次の操作で転送の状況を確認できます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わって、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

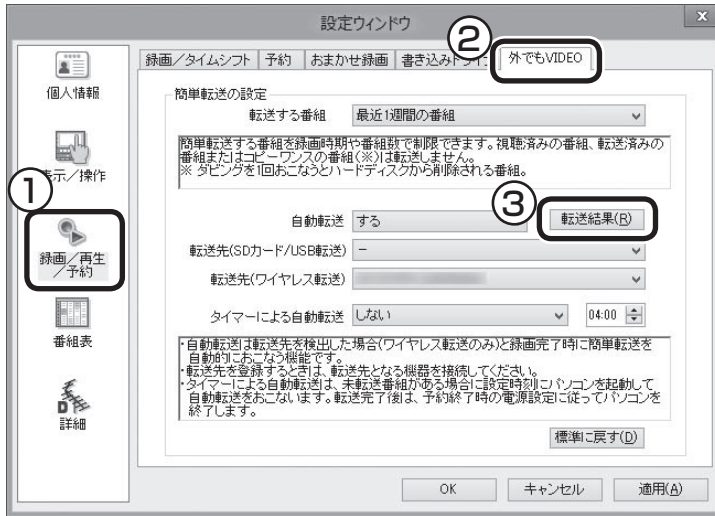
ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

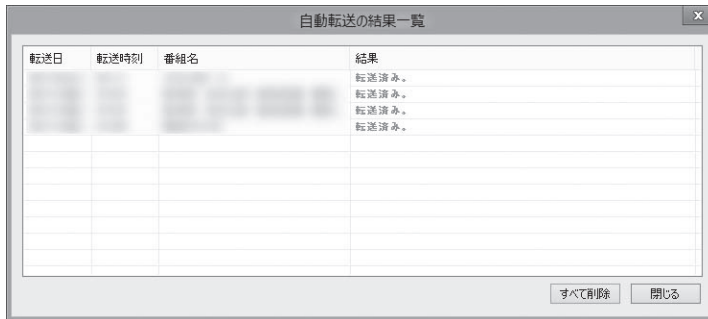
4 自動転送の結果を表示する

①「録画／再生／予約」アイコンをクリック
②「外でもVIDEO」タブをクリック
③「転送結果」をクリック

「自動転送の結果一覧」が表示されます。

5 自動転送の結果を確認する

一覧で転送結果を確認してください。

ポイント

「すべて削除」をクリックして、転送結果を削除することができます。

6 「閉じる」をクリック

「自動転送の結果一覧」が閉じます。

7 「OK」をクリック

「設定ウィンドウ」が閉じます。

簡単転送を使う

外でもVIDEOで録画した番組のうち、まだ携帯電話などの機器に転送されていないものを手動で転送する機能です。
あらかじめ転送先の機器を設定しておくと便利です。簡単転送の設定は、自動転送の設定と共通です。必要に応じて、ここでの操作の前に、「自動転送を使う」(p.174)をご覧いただき、設定をおこなってください。
なお、ワイヤレス転送では、この機能は使えません。

1 携帯電話など転送先に指定する機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されます。

ポイント

- 転送先が設定されていない状態で手順1の操作をすると、接続した機器を自動転送先として登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてから手順2に進んでください。なお、ここで「いいえ」を選ぶと、以降、その機器を接続してもこのメッセージは表示されなくなります。
- コピーの残り回数が1回の番組は転送の対象になりません。
- 録画番組一覧の画面から簡単転送することもできます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.179)をご覧ください。

2 「簡単転送」を選んで【決定】を押す

簡単転送が始まり、画面に転送を示すアイコンが表示されます。
ご購入時の設定では、「最近1週間の番組」が転送されます。

ポイント

- 簡単転送についての説明画面が表示されたときは、内容を確認して「転送開始」を選んで【決定】を押してください。
- 「ムービーフォトメニュー起動」を選んで、ムービーフォトメニューを起動することができます。なお、ムービーフォトメニューの設定によって、「ムービーフォトメニュー起動」をクリックしたときの動作が異なることがあります。

3 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順11(p.169)以降の操作をおこなう

ポイント

- コピーの残り回数が1回の番組は転送されません。また、転送先の機器の空き容量によっては、すべての番組が転送されないことがあります。
- 転送された番組、および転送されなかった番組は、「転送が完了しました」の画面で確認できます。

■ 転送の条件を設定して簡単転送する

録画番組一覧の画面から簡単転送することができます。この際、番組を絞り込む条件を変更したり、転送する番組を指定することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.165)の手順1から手順3までの操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

2 【緑】を押し、次のいずれかの操作をおこなう

SDカード/USB転送の場合

「外でもVIDEO(SDカード/USB転送)」-「簡単転送」を選んで【決定】を押す。

ワイヤレス転送の場合(スマートフォンのみ対応)

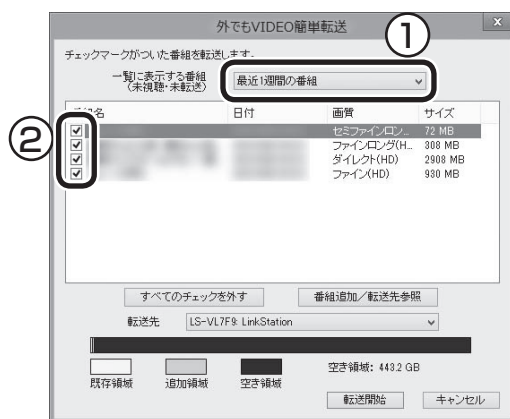
「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。

転送される番組の一覧が表示されます。ここからはマウスで操作してください。

3 転送の条件を設定する

チェックの付いている番組が転送されます。設定の必要がなければ、そのまま手順4に進んでください。

①番組を絞り込む条件を選んでクリック

②転送しない番組をクリックしてチェックを外す
最初の状態ではすべての番組にチェックが付いています。

4 「転送開始」をクリック

転送が始まり、デスクトップの通知領域に転送中を示すアイコンが表示されます。

5 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順11(p.169)以降の操作をおこなう

ポイント

●転送先の機器の空き容量によっては、すべての番組にチェックが付かないことがあります。

●接続した機器によって画面が一部異なります。ここでは、SDカード/USB転送の場合の画面を記載しています。

ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認して「実行」をクリックしてください。

■ その他の転送方法について

SmartVisionを起動していない状態で外でもVIDEOの転送対象機器をパソコンに接続すると、「ムービーフォトメニュー」の画面が表示されます。ここで「録画番組を携帯電話に転送する」をクリックすると、録画番組を接続した機器に転送することができます。操作については、「簡単転送を使う」(p.178)の手順2以降をご覧ください。

携帯電話に転送したデータを確認する

携帯電話などの転送先の機器に番組を追加するときに、転送済みの番組のデータを確認することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.165)の手順1 ～ 手順7をおこなう

ここでは「SDカード/USB転送」の画面を例に説明しています。

2 「転送先を参照」を選んで【決定】を押す

転送されている番組の一覧が表示されます。

3 転送先の機器内の番組を確認する

ここで番組を選んで【赤】を押し、不要な番組を削除することができます。

チェック

- ワイヤレス転送のときは、「フォーマット」が表示されません。
- SDカード/USB転送のときは、「フォーマット」を選んで【決定】を押し、転送先の機器またはこのパソコンにセットされたSDカードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、SDカードに保存されているすべてのデータが消去されます。なお、この画面にはSmartVisionから転送された番組の情報のみが表示されます。ほかのデータがSDカードに保存されていても確認することはできません。必要なデータを誤って消去しないようご注意ください。
- テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

■ 転送に失敗する場合

●SDカード/USB転送の場合

SDカードに不良があると転送に失敗することがあります。手動で転送(P.165)してみてください。何度か試して転送の失敗が続くようであれば、SDカードを交換してください。

●ワイヤレス転送(外でもVIDEO ワイヤレス)の場合

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。
また、次の場合は転送を完了できません。

・転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
・転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている

このような場合は、録画モードを変換(p.139)してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して(番組の数を減らして)ください。
転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

PART 8 一歩すすんだテレビ操作

ホームネットワークを使って録画した番組を楽しむ

ホームネットワークを使うと

●**このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って共有できます。**
このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークに接続されたメディアサーバ(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)にダビング(転送)することができます。
これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

●**メディアサーバに保存されている番組を、このパソコンで楽しむことができます。**
メディアサーバ(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)に保存されている番組は、それがほかのテレビレコーダーなどで録画した番組であっても、ホームネットワークを使ってこのパソコンで視聴することができます。

●**このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信できます。**
このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信することができます。
これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

ポイント

SmartVision/PLAYERに対応した別のパソコンがあれば、パソコンで録画した番組だけでなく、このパソコンで受信中の番組(放送中の番組)も、ホームネットワークを使って楽しむことができます。詳しくは「SmartVision/PLAYERを使ってテレビを楽しむ」(p.192)をご覧ください。

チェック

あらかじめホームネットワークを構築(「プライベート ネットワーク」に設定)しておく必要があります。詳しくは「ホームネットワーク」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100194 で検索)の「ホームネットワークを作る」をご覧ください。

ホームネットワークの準備について

ホームネットワークを使って番組をダビングしたり配信(転送)するため、パソコンおよび接続機器の準備をしてください。

■ リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備

リモートパワーオン(Wake on LAN)機能とは、ネットワークに接続された機器を遠隔操作で起動させる機能です。ホームネットワーク上のメディアサーバなどを自動で起動させることができます。リモートパワーオン(Wake on LAN)機能の設定は、メディアサーバ側でおこなってください。
このパソコンをメディアサーバとして使うときは、必要に応じて

ポイント

無線LANでホームネットワークに接続する機器の周波数帯(2.4GHz帯または5GHz帯)は、接続先の無線LANルーターの周波数帯と同じにしてください。

チェック

サインイン(ログオン)パスワードが設定されているメディアサーバは、電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動することができません。メディアサーバを電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動したいときは、サインイン(ログオン)パスワードを設定しないでください。

リモートパワーオン機能を有効にしてください。詳しくは「LANネットワークの設定」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100030 で検索)の「リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する」をご覧ください。

■ 外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備

1. パソコン(配信/転送元)の準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。詳しくは「ホームネットワーク」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100194 で検索)の、「ホームネットワークで『テレビ番組』を楽しむ方法」をご覧ください。

2. 転送先の機器(スマートフォンやタブレットPC等)の準備

次の準備が必要です。

・ホームネットワークへの接続、およびパソコン(配信/転送元)からのアクセスの許可
・DLNAサーバーアプリケーションを起動
　詳しくは、利用する転送先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

■ ホームネットダビングの準備

1. パソコンの準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。詳しくは「ホームネットワーク」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100194 で検索)の、「ホームネットワークで『テレビ番組』を楽しむ方法」をご覧ください。

2. ダビング先の機器(NASやHDDレコーダーなど)の準備

次の準備が必要です。

・ホームネットワークへの接続、およびパソコンからのアクセスの許可
　詳しくはダビング先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

■ メディアサーバーから配信された番組を視聴(録画番組を受信)する準備

1. メディアサーバー(HDDレコーダーなど)の準備

配信を許可する設定が必要となる場合があります。設定が必要かどうか、および設定が必要な場合の手順については、配信元となるメディアサーバー(HDDレコーダーなど)に添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ 番組をホームネットワークで配信する準備

このパソコン(SmartVision)で録画した番組や放送中の番組※を、ホームネットワークを使ってDLNA/DTCP-IPに対応した機器(スマートフォン、タブレットPC、テレビ、SmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンなど)に配信するには次の準備が必要です。

※放送中の番組(ライブ視聴番組)が配信/視聴できるのは次の機器の組み合わせのみです。

配信側:2012年夏モデル以降のVALUESTAR Wシリーズ、

VALUESTAR Nシリーズ(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルとぱっと観テレビモデル)
受信側:SmartVision/PLAYERが搭載されたモデル

1. 配信先の機器の準備

配信先の機器をホームネットワークに接続します。
詳しくは配信先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

2. このパソコン(配信元)の準備

次の準備が必要です。

・ ホームネットワークに接続されている配信先の機器(スマートフォンやSmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンなど)からのアクセスを許可します。
詳しくは「ホームネットワーク」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100194 で検索)の、「ホームネットワークを作る」をご覧ください。
・ 著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。
詳しくは「ホームネットワーク」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100194 で検索)の、「ホームネットワークで『テレビ番組』を楽しむ方法」をご覧ください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

ホームネットダビング

■ ホームネットダビングとは

ホームネットワークに接続されたメディアサーバ(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスクなど)に、パソコンで録画した番組をダビング(転送)する機能です。
転送された番組は、パソコンを起動していなくても、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

■ 録画番組が転送できるメディアサーバについて

対応しているメディアサーバについて詳しくは、次のURLをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/nashddlist/
なお、メディアサーバの仕様や使い方などについては、メディアサーバに添付されたマニュアルをご覧ください。

■ ホームネットダビングするときのご注意

ホームネットダビングは、次の機能と同時に使用することはできません。

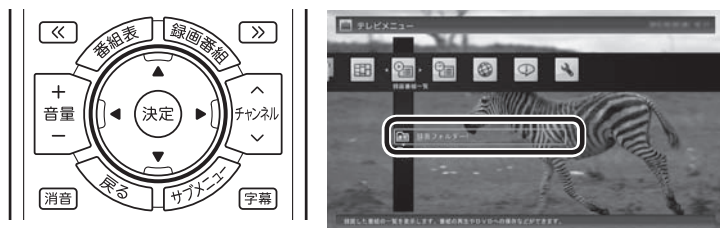
・ 光ディスクに録画番組を保存
・ SDカードに録画番組を転送
・ 録画モードの変換
・ 光ディスクのフォーマット
・ SDカードのフォーマット
・ ホームネットワークを使った番組の配信

また、ホームネットダビング中の番組は、パソコンで再生したり削除することはできません。

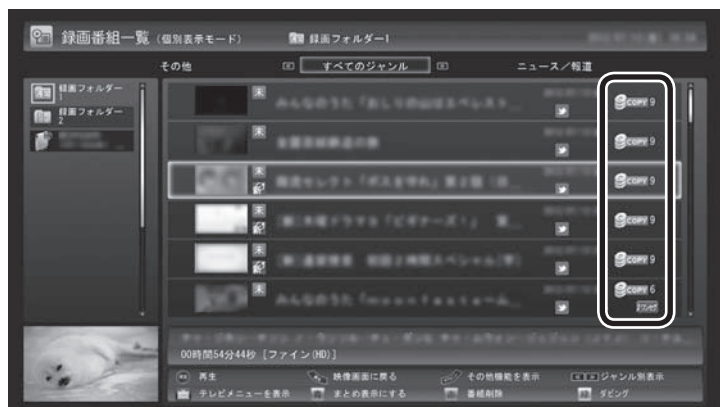
■ ホームネットダビングする

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の転送したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで【決定】を押す

録画番組一覧が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

⟆

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、メディアサーバにコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組はメディアサーバにムーブ(移動)することができます。

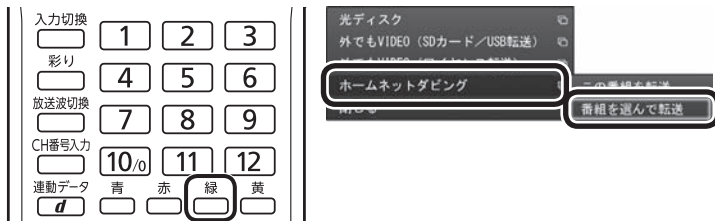
：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でもメディアサーバにコピーできます。

ポイント

MOVEが表示された番組をメディアサーバに転送すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。

チェック

- ムーブ(移動)すると、もとの番組は削除されます。
- 番組を光ディスクに保存したり、携帯電話などの機器に転送したときも、コピーできる残り回数が減ります。

3 転送する番組を選んで【緑】を押し、「ホームネットダビング」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

4 転送する番組を選んで【決定】を押す

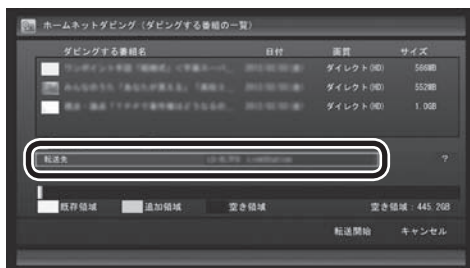
選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順4を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

「まとめ表示」(p.105)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

5 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。

6 「転送先」を選んで【決定】を押し、番組を転送したいメディアサーバを選んで【決定】を押す

ポイント

- 転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順4の画面に戻ってください。
- メディアサーバを検索中は「転送先を検索しています」と表示されます。
- メディアサーバによっては、空き領域の情報が取得できないことがあります。この場合は、空き領域に「不明」と表示されます。

7 「転送開始」を選んで【決定】を押す

転送が始まり、画面にホームネットダビングを示すアイコンが表示されます。

8 「ホームネットダビングが完了しました。」と表示されたら、【決定】を押す

■ ホームネットダビング（番組の転送）に失敗する場合

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。
また、次の場合は転送を完了できません。

・転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
・転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている

このような場合は、録画モードを変換（p.139）してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して（番組の数を減らして）ください。
転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

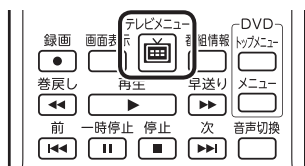
ポイント

●デジタル録画番組を配信するためのライセンスの取得を促すメッセージが表示されたときは、画面の指示にしたがって操作し、ライセンスを取得してください。
●ムーブされる番組（コピーの残り回数が1回の番組）が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧（ハードディスクから削除される番組の一覧）が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
●次のようなネットワーク環境では、番組の転送に時間がかかることがあります。
・複数のハブが直列に接続（多段接続）されている
・10BASE-Tなど、通信速度の遅い機器が接続されている

ポイント

●メディアサーバの空き領域が不足していたときは、転送できた番組とできなかった番組がそれぞれ一覧表示されます。
●メディアサーバの空き容量が少ないと、転送する番組のデータがメディアサーバの空き容量より小さくても転送に失敗することがあります。必要に応じて視聴済み番組などのメディアサーバに保存されたデータを削除し、空き容量を増やしてください。メディアサーバに転送した番組の削除については、「メディアサーバに保存された番組を削除するには」（p.190）をご覧ください。

メディアサーバに保存された番組を楽しむ

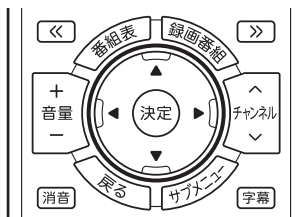
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

ポイント

●メディアサーバは録画フォルダーの下に表示されます。アイコンはメディアサーバによって異なります。

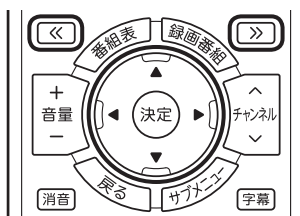
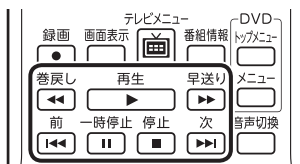
●「録画番組一覧」を選んでから、ホームネットワーク上のメディアサーバの検索が始まります。このため、メディアサーバが見つかるまでに時間がかかることがあります。

●検索中、以前接続したことがあるメディアサーバは、「！」がついた状態で表示されています。メディアサーバが見つかると「！」が消えます。ホームネットワークから外されたり、電源が入っていないメディアサーバは「！」がついたままとなります。なお、メディアサーバによっては「！」がついた状態のアイコンを選ぶと、自動的に電源が入るものもあります。

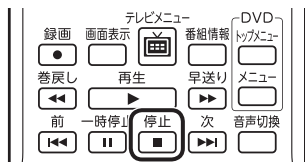
2 「録画番組一覧」のメディアサーバを選んで【決定】を押す

メディアサーバの「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 番組を選んで【決定】を押す

Ⓐリモコンの【«】【»】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓑ再生したい番組を選びます。

再生が始まります。
再生中は、このパソコンで録画した番組と同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

ポイント

- 【録画番組】を押して「録画番組一覧」を表示させ、画面左側でメディアサーバを選ぶこともできます。
- ホームネットワークを経由して番組の情報を取得するため、録画番組の一覧が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- メディアサーバから取得した情報によっては、録画番組のサムネイル(小さく表示されている画面)がテレビの映像ではなく、番組のジャンルを示すアイコンになることがあります。
- メディアサーバに保存された番組は、光ディスクに保存したり、携帯電話に転送したり、編集したりすることはできません。
- ホームネットワークをワイヤレスLANで接続している場合、電波環境によっては、番組の再生中に映像が乱れたり(コマ落ちなど)、音声が途切れたりすることがあります。このような場合は、有線LAN(LANケーブル)で接続してください。
- メディアサーバの状態などによって、番組が再生できないことがあります。メディアサーバの状態や動作の制限事項などについては、ご使用になっているメディアサーバの取扱説明書をご覧ください。
- メディアサーバに保存された番組を「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」で再生しているとき、SmartVisionでメディアサーバの番組を再生すると映像が表示されません。
  なお、「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」で番組を再生できるのは、「デジタル録画番組」という項目(カテゴリ)が表示されるモデルのみです。
- メディアサーバに保存された番組を再生しているとき、インテル®ワイヤレス・ディスプレイ機能やHDMI出力切り換えで画面を出力するディスプレイを切り換えると、再生が停止します。
- リモートパワーオンに対応しているメディアサーバであれば、電源が切れていたりスタンバイ状態であっても、SmartVisionで選択したときに自動的に起動され、番組の一覧が表示されます。リモートパワーオンについて詳しくは「リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備」(p.182)をご覧ください。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す

メディアサーバの「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

ポイント

●チャプタースキップはできません。リモコンの【前】を押すと30秒前から、【次】を押すと30秒後から再生されます。

●リモコンの【音声】で出力する音声を切り換えることができますが、このパソコンで録画した番組を再生するときとは動作が異なることがあります。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

■ メディアサーバに保存された番組を削除するには

1 「メディアサーバに保存された番組を楽しむ」(p.188)の手順1 ～手順2をおこなう

メディアサーバの「録画番組一覧」が表示されます。

2 削除する番組を選ぶ

●番組をひとつだけ削除するときは

削除したい番組を選んで【赤】を押し、表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押してください。

●複数の番組を削除するときは

【赤】を押し、表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押します。

続けて削除したい番組を選んで【決定】を押して、チェックマークをつけてください。チェックマークを外すときはもう一度番組を選んで【決定】を押します。

番組を選び終えたら【赤】を押してください。

確認のメッセージが表示されます。

ポイント

メディアサーバによっては、この操作で番組を削除できないものがあります。削除できないというメッセージが表示されたときは、画面の指示にしたがって操作してください。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

メディアサーバから番組が削除されます。

映像をホームネットワークで配信する

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークに接続された映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)に配信して楽しむことができます。
配信するための準備については、「番組をホームネットワークで配信する準備」(p.183)をご覧ください。録画した番組を配信先で見る方法については、配信先の機器の取扱説明書などをご覧ください。
また、番組を配信するときは、このパソコンを起動しておいてください。リモートパワーオン機能を有効にして、自動的に起動するよう設定することもできます。
リモートパワーオン機能について詳しくは「LANネットワークの設定」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100030 で検索)の「リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する」をご覧ください。

チェック

簡易編集機能を使って編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

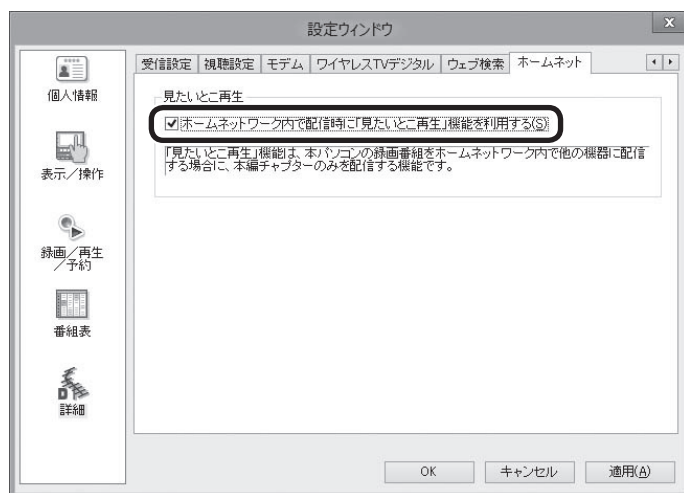
■ 本編チャプターだけを配信したいときは

録画番組をほかの映像機器に配信するとき、「見たいとこ再生」(p.105)機能を有効にして、本編チャプターだけを配信するように設定できます。

1 マウスで使う画面(ノーマルモードまたはアドバンストモード)で (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ホームネット」タブをクリック

3 「ホームネットワーク内で配信時に「見たいとこ再生」機能を利用する」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる

4 「OK」をクリック

これで録画番組を配信するときの、「見たいとこ再生」機能が有効になりました。

PART 8
一歩すすんだ
テレビ操作

SmartVision/PLAYERを使ってテレビを楽しむ

「SmartVision/PLAYER」は、このパソコンをTVサーバー（メディアサーバ）として、テレビ機能がない別のパソコンでテレビ番組を楽しむためのソフトです。

SmartVision/PLAYERについて

「SmartVision/PLAYER」は、ホームネットワークに接続されたテレビの受信機能がないパソコンでテレビを楽しむためのソフトです。
このパソコンのモデルによって、「SmartVision/PLAYER」がインストールされた別のパソコンで利用できる機能が異なります。

●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
このパソコンで受信した放送中の番組を「SmartVision/PLAYER」で視聴することができます。このパソコンに保存されている録画番組を再生することもできます。
また、このパソコンで取得した番組表を「SmartVision/PLAYER」で確認したり、録画の予約を入れることもできます。

●地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
このパソコンで録画した番組を「SmartVision/PLAYER」で再生することができます。

■ ホームネットワークの準備について

ホームネットワークを使って番組を配信するためには、ホームネットワークとの接続などの準備が必要です。配信するための準備については、「番組をホームネットワークで配信する準備」(p.183)をご覧ください。

チェック

このパソコンにはSmartVision/PLAYERが搭載されていません。

SmartVision/PLAYERを利用できるパソコンについて

「SmartVision/PLAYER」が搭載されているパソコンで利用できます。
「SmartVision/PLAYER」は、2012年夏モデル以降のLaVieシリーズ、VALUESTARシリーズの一部モデルに搭載されています。
SmartVision/PLAYERの使い方について詳しくは、PDFマニュアル『SmartVision/PLAYER操作ガイド』(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201210/etv/v1/mst/853_811064_240_a.pdf)をご覧ください。

エラーメッセージについて

「SmartVision/PLAYER」がインストールされた別のパソコンの画面にメッセージが表示されたときは、次の一覧をご覧いただき、このパソコン(テレビを受信してホームネットワークに配信しているパソコン)の状態を確認して対処してください。

エラーメッセージ※1	表示される条件と対処の方法
TVサーバーが利用中のためTV番組を視聴できません。	表示条件:(放送中の番組を視聴中) TVサーバー※2で次の機能が実行されている。 予約録画の開始・番組表の受信・ひかりTVの視聴・省電力モードへの移行・チャンネルスキャンやテレビ初期設定の実行・個人情報の初期化・その他 対処方法: TVサーバー※2で上記の機能が終了するまでお待ちいただくか、終了させる操作をおこなってください。
TV番組を視聴できません。TVサーバーの状態を確認してください。 ・ B-CASカードは正しく接続されていますか? ・ アンテナケーブルは接続されていますか? ・ HDDの空き領域は400MB以上ありますか?	表示条件:(放送中の番組を視聴中) TVサーバー※2がテレビを受信できない状態になった。 対処方法: 画面に表示された内容を確認し、TVサーバーがテレビを受信できる状態にしてください。
TV番組を視聴できません。次の点を確認してください。 ・ 放送が休止中ではありませんか? ・ 録画できないテレビ番組(未契約など)ではありませんか?	表示条件:(放送中の番組を視聴中) 次の理由でTVサーバー※2が放送波を受信できない。 番組の放送終了・放送休止中・未契約のチャンネルを選局している 対処方法: 放送が開始されるのをお待ちいただくか、視聴できるチャンネルに切り換えてください。
録画番組を視聴できません。メディアサーバーの状態を確認してください。 ・ 録画番組を光ディスクへ書き込んでいませんか? ・ 他の機器へ録画番組を配信していませんか?	表示条件:(録画番組の再生中) メディアサーバ※2の状態により、録画番組が配信できない。 対処方法: 画面に表示された内容を確認し、それぞれの機能が終了するまでお待ちいただくか、終了させる操作をおこなってください。

※1:このパソコンではなく、SmartVision/PLAYERを使用しているパソコンに表示されるエラーメッセージです。
※2:TVサーバー、メディアサーバはいずれもこのパソコン(テレビを受信してホームネットワークに配信しているパソコン)を指します。

PART 8
一歩すすんだ
テレビ操作

つぶやきプラスを活用する

ここでは、ツイッターを利用して、テレビをより楽しめる「つぶやきプラス」について説明します。

つぶやきプラスの主な機能

ここでは、つぶやきプラスで使う主な機能について説明します。

■ 視聴番組のツイートを表示する

つぶやきプラスでは、放送局ごとに設定されたハッシュタグを使って、今見ている番組に関連したツイートを抽出して表示します。さらに、任意のハッシュタグやキーワード、ツイッターIDをテーマタグとして追加することにより、目的に合った多くのツイートを表示させることができます。
詳しくは、「視聴番組のツイートを表示する」(p.200)をご覧ください。

●ハッシュタグとは
ツイート内容のキーワードや、要約した言葉の頭に「#」をつけた文字列です。ツイートの文中で、文字列の前後に半角スペースを入れることで、ハッシュタグとして認識されます。

■ ツイートする

ツイートとは、ツイッターの投稿、または投稿することで、「つぶやき」ともいいます。1ツイートの文字数は140文字以内です。
つぶやきプラスでは、テレビを見ながらツイートすることができます。
詳しくは、「テレビを見ながらツイートを投稿する」(p.213)をご覧ください。

■ 返信(リプライ)する

返信とは、特定の相手に対して投稿するツイートのことです。その相手のタイムラインと、その相手と自分(返信を送られた側と送った側)を両方フォローしている人のタイムラインにツイートが表示されます。ツイートの先頭に「@」に続けて相手のツイッターIDを入れて、半角スペースを空けて文章を書きます。
つぶやきプラスでは、自動的に「@」と「相手のツイッターID」、「:本文」が入力エリアに入ります。詳しくは、「ツイートに返信する」(p.214)をご覧ください。

●タイムラインとは
自分のツイートやフォローしている人のツイートが新しいものから表示される一覧のことです。

ポイント

ツイッターのサービス、用語について詳しくは、ツイッターの公式サイトのヘルプなどをご覧ください。

●フォローとは
特定の相手のツイートが自分のタイムラインに表示されるよう、その相手を登録することです。

■ リツイートする

リツイートとは、ほかの人が投稿したツイートを、自分をフォローしている人のタイムラインに表示させる機能です。
つぶやきプラスで、視聴中の番組の最新情報などを見つけたら、フォローしているみんなのタイムラインに表示させることができます。
詳しくは、「リツイートする」(p.202)をご覧ください。

■ お気に入りに登録する

お気に入りとは、気に入ったツイートを登録しておく機能です。お気に入りに登録したツイートは、後でまとめて読み返すことができます。
つぶやきプラスで視聴者プレゼントのツイートなど、後で読み返したいツイートをお気に入り登録しましょう。
詳しくは、「ツイートをお気に入りに登録する」(p.203)をご覧ください。

■ 裏番組に関連するツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。また、チャンネルごとのツイート数をバーで表示する「つぶやきメーター」機能で、今一番ツイートされている番組がわかります。
詳しくは、「裏番組に関連するツイートを表示する」(p.204)をご覧ください。

■ リモート録画予約

外出先などから、つぶやきプラスにユーザー登録したツイッターIDで録画の内容をツイートしたり、ユーザー登録したツイッターID宛てに録画の内容をダイレクトメッセージで送ると、番組の録画予約ができます。
詳しくは、「ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)」(p.215)をご覧ください。

●ダイレクトメッセージとは
フォローしている人同士でのみ、やりとりができるメッセージのサービスです。メッセージの内容は、送った人と送り先の相手のみが見ることができます。

■ つぶやきシーン検索

番組を録画するとき、その放送局に関連するツイートや、指定したテーマタグのツイートが同時に保存されるように設定できます。
つぶやきシーン検索では、キーワードを入力して録画した番組に保存されたツイートを検索できます。また、検索結果のツイートをダブルクリックすることで、ツイートされたシーンが再生されます。

詳しくは、「ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)」(p.205)をご覧ください。

ポイント

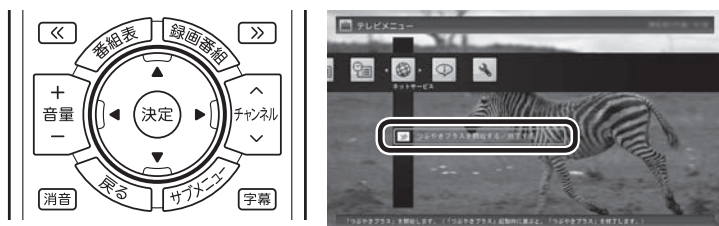
つぶやきプラスでは「フォロー」の機能をサポートしていません。

つぶやきプラスの基本操作

■ つぶやきプラスを起動する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで【決定】を押す

つぶやきプラスのツイート表示画面、ツイート投稿画面が表示されます。

ツイート投稿画面：自分のツイートを入力します。

ツイート表示画面：番組に関連したツイートやおすすめ番組のダイレクトメッセージが表示されます。

ポイント

● ツイートを保存するかどうか確認する画面が表示されたときは、メッセージの内容を確認して操作してください。

● ツイートするときや設定の変更などをするときは、マウスやキーボードを使って操作してください。

■ つぶやきプラスを終了する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで【決定】を押す

つぶやきプラスが終了します。

ポイント

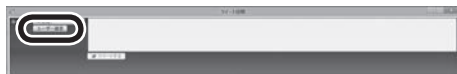
ツイート表示画面右上の x をクリックして終了させることもできます。

つぶやきプラスを使う前の準備

つぶやきプラスでは、ツイッター IDがなくても視聴中のツイートを表示(p.200)したり、チャンネル別にツイート数が多い番組を確認(p.205)することができます。
ツイートを投稿したり、外出先から録画予約する(p.215)など、つぶやきプラスのすべての機能を利用するときは、ツイッター ID(アカウント)をつぶやきプラスに登録してください。

■ ツイッター IDを取得する

すでにツイッター IDをお持ちの場合は、「つぶやきプラスにツイッター IDを登録する」(p.198)に進みます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック

ユーザー設定画面が表示されます。

2 「ツイッターのホームページを開く」をクリック

ツイッターのホームページが表示されます。ホームページの画面の指示にしたがって、名前、ユーザー名、パスワード、メールアドレスを入力します。ホームページでの操作は、マウスとキーボードでおこないます。

ツイッター IDの取得操作が終わったら、 x をクリックしてホームページの画面を閉じます。

ポイント

つぶやきプラスはTwitterの機能を利用しているため、Twitterの仕様に変更があったときは、使用する際の条件が変更になったり、一部の機能が使えなくなることがあります。

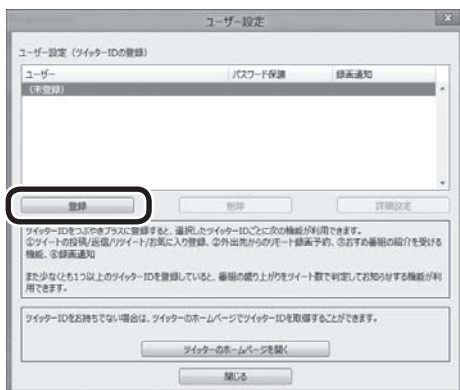
ポイント

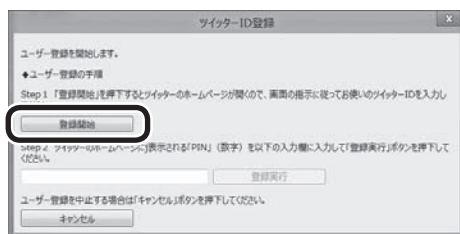
ここで登録するユーザー名とパスワードは、つぶやきプラスにツイッター IDを登録する際に使います。

■ つぶやきプラスにツイッター IDを登録する

ツイッター IDを、つぶやきプラスに登録します。登録するには、ツイッター IDのユーザー名とパスワードが必要となります。

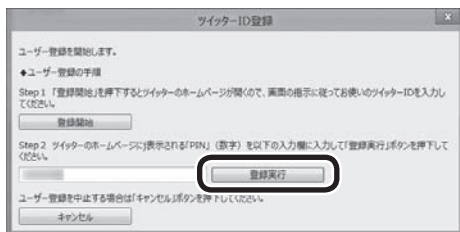
1 「ツイッター IDを取得する」(p.197)の手順1の操作をおこない、ユーザー設定画面を表示させる

2 「登録」をクリック

ツイッター ID登録画面が表示されます。

3 「登録開始」をクリック

ツイッターのホームページ(連携アプリ認証画面)が表示されるので、ツイッター ID(ユーザー名)とパスワードを入力します。

4 「連携アプリを認証」をクリック

ツイッターのホームページに、PIN(数字)が表示されます。

5 表示されたPIN(数字)をツイッター ID登録画面の入力欄に入力して、「登録実行」をクリック

「登録しました」というメッセージが表示されます。

チェック

ツイッターのホームページを開いている場合は、画面を閉じてから登録をおこなってください。

ポイント

複数のツイッター IDを登録することもできます。

6 「OK」をクリック

盛り上がり通知についてのメッセージが表示されます。

7 「OK」をクリック

8 「閉じる」をクリック

これで、つぶやきプラスにツイッター IDを登録できました。
登録が終わったら、[x]をクリックしてホームページの画面を閉じます。

■ 登録したツイッター IDを削除する

1 「ツイッター IDを取得する」(p.197)の手順1の操作をおこない、ユーザー設定画面を表示させる

2 削除するツイッター IDを選んで「削除」をクリック

確認のメッセージが表示されます。

3 「はい」をクリック

つぶやきプラスからツイッター IDが削除されました。

ポイント

ツイートするときや、ほかのツイートに返信したりリツイートしたりするときは、ツイート投稿画面の「ユーザー」をクリックして、ここで登録したツイッター IDを選んでください。

視聴番組のツイートを表示する

視聴中の番組に関連したツイートが表示されます。番組の進行にあわせて自動更新されます。また、タイムシフト再生時や録画再生時には、再生中の番組が放送された時間に投稿されたツイートを読むことができます。

1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「視聴番組のツイート」タブを選ぶ

視聴番組のツイート画面が表示されます。

Ⓐ チャンネルタグ(視聴中の放送局のハッシュタグ)が表示されます。放送局によってはふたつのチャンネルタグが表示されることがあります。

Ⓑ テーマタグ(キーワードやハッシュタグ)を入力してツイートを検索し、一致したツイートを追加して表示できます。詳しくは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.201)をご覧ください。

Ⓒ ツイートが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンを押すとツイートがスクロールします。
放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや録画番組を再生しているときは、ツイートを選択して【決定】を押すと、そのツイートが投稿されたときのシーンに移動します。

チェック

視聴中の放送局にハッシュタグが設定されていない場合は、ツイートが表示されません。
ハッシュタグの設定について詳しくは、「ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)」(p.219)をご覧ください。

ポイント

再生時にツイートを表示するには、「録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する」(p.218)でツイートを保存する設定をおこなってください。

ポイント

チャンネルタグやテーマタグの左側のアイコン をクリックして にすると、それぞれのタグを無効にすることができます。なお、両方のタグを無効にしたり、テーマタグになにも入力されていないときにチャンネルタグを無効にすると、ツイートが表示されなくなります。

ポイント

ツイートを選び、その相手に返信(リプライ)することができます。詳しくは「ツイートに返信する」(p.214)をご覧ください。

■ テーマタグに一致したツイートを追加表示する

テーマタグとは、ツイートの検索用として追加で設定できるハッシュタグやキーワード、アカウントのことです。視聴中のチャンネルに関するツイートとは直接関係ない話題についても、自由に設定することができます。
テーマタグ入力欄にテーマタグを追加すると、視聴中のチャンネルに関するツイート(チャンネルタグによって検索されたツイート)と、テーマタグによって検索されたツイートが同時に表示されます。

1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「視聴番組のツイート」タブを選ぶ

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「テーマタグ」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードやハッシュタグを入力する

3 【Enter】を押す

視聴中の番組に関連したツイート(チャンネルタグに対応したツイート)に加えて、入力したキーワードまたはハッシュタグが含まれたツイートが表示されます。

●ツイートからテーマタグを入力する

選択したツイートに含まれるハッシュタグや、ツイートしたユーザーのツイッター IDを、テーマタグとして入力することができます。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、次のいずれかのツイートを右クリック

・テーマタグに入力したいハッシュタグが含まれているツイート
・テーマタグに入力したいユーザーのツイート

2 表示されたサブメニューで「テーマタグを選択」をクリックし、テーマタグに入力したいハッシュタグまたはツイッターID(@なし)をクリック

「テーマタグ」にクリックしたハッシュタグまたはツイッター IDが入力されます。

●録画用のテーマタグを設定する

放送中の番組を視聴しているときは、「履歴」に残っているテーマタグから、録画用のテーマタグを選択することができます。録画用のテーマタグがついたツイートは、録画するとき、チャンネルタグがついたツイートとともに保存されます。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、「履歴」をクリック

履歴の一覧が表示されます。

チェック

録画再生時は、テーマタグに新しいキーワードやハッシュタグを追加することはできません。

ポイント

- 半角スペースを入れて、複数のキーワードやハッシュタグを指定することもできます。この場合は、いずれかのキーワードまたはハッシュタグを含むツイートが検索対象になります(OR検索)。
- 「履歴」をクリックするといままでに入力したキーワードやハッシュタグの一覧が表示されます。表示されたキーワードやハッシュタグをクリックして、「テーマタグ」の入力欄に追加できます。
- テーマタグはチャンネルを切り換えてもそのまま残ります。消去するときは「クリア」をクリックしてください。

ポイント

ハッシュタグやツイッター IDを直接クリックして、テーマタグに入力することもできます。

ポイント

左側に赤い●が表示されているのが録画用のテーマタグです。

2 録画用に指定したいテーマタグをクリック

テーマタグの左側に赤い○が表示されます。

3 テーマタグの左側の○をクリック

○が●に切り換わります。必要に応じてこの操作を繰り返し、ほかの録画用のテーマタグを指定してください。

ポイント

「履歴」に適切なテーマタグが残っていないときは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.201)の操作でテーマタグを入力してください。

ポイント

- 録画用のテーマタグを解除するときは、●をクリックして○にしてください。
- 手順2の操作で、テーマタグの右側にはゴミ箱のアイコンが表示されます。これをクリックすると履歴の一覧からテーマタグを削除することができます。
- 録画用のテーマタグは複数指定することができますが、登録できるタグの文字数の合計は140文字までです。

■ 文字のサイズを変更する

表示されるツイートの文字のサイズを設定できます。

1 ツイート表示画面でツイートまたはダイレクトメッセージを選択し、右クリック

サブメニューが表示されます。

2 「文字の大きさ」をクリックし、文字サイズを選んでクリック

■ リツイートする

選択したツイートをリツイートすることができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 リツイートしたいツイートを右クリックし、表示されたメニューで「リツイート」をクリック

リツイートするかどうか確認するメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

これで選んだツイートがリツイートされました。

チェック

つぶやきプラスにツイッター IDを登録していないときは、リツイートすることができません。必要に応じてツイッター IDを登録してください(p.197)。

■ ツイートをお気に入りに登録する

気に入ったツイートをお気に入りに登録することができます。お気に入りに登録したツイートは、後で読み返すことができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 お気に入りに登録したいツイートを右クリックし、表示されたメニューで「お気に入りに登録」をクリック

これで選んだツイートがお気に入りに登録されました。

■ 登録されたお気に入りを読む

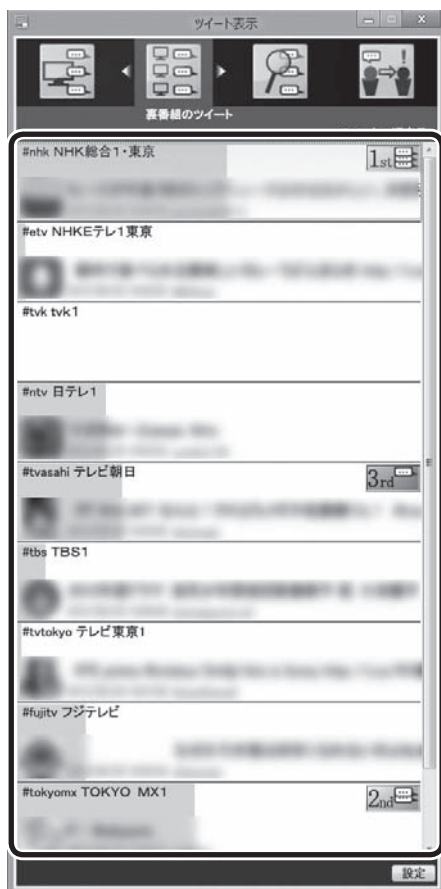
登録されたお気に入りを読み返すときは、右クリックして表示されたメニューで「お気に入りを読む」をクリックしてください。なお、お気に入りはツイッターのホームページに表示されます。

つぶやきプラスにツイッター IDを登録していないときは、ツイートをお気に入りに登録することができません。必要に応じてツイッターIDを登録してください。(p.197)

裏番組に関連するツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。ツイートを選択するとそのチャンネルに切り換えることができます。

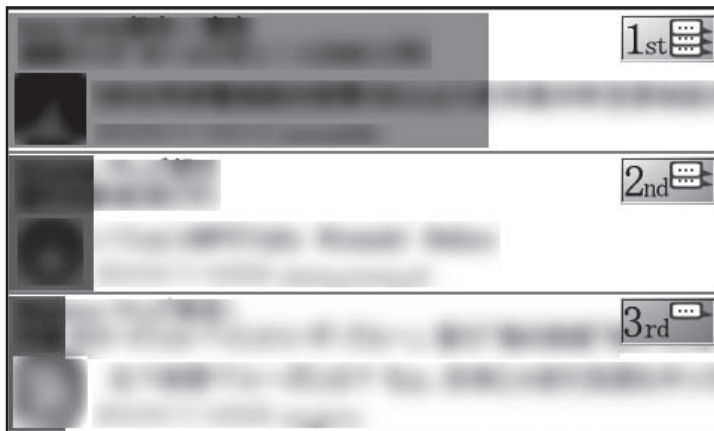
1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「裏番組のツイート」タブを選ぶ

裏番組も含めたツイートの画面が表示されます。

ツイートを表示します。リモコンの【矢印】の上下ボタンでツイートを選んで【決定】を押すと、そのツイートに関連するチャンネルに切り換わります。

ポイント

- 視聴している放送波の裏番組(例:地上デジタル視聴中は地上デジタルの裏番組)のみを表示します。
- 録画番組を再生しているときには「裏番組のツイート」タブが選択できません。
- ハッシュタグが設定されていない放送局では、ハッシュタグが未設定であることが表示されます。
- 「裏番組のツイート」タブを表示しているとき、ほかのソフトを起動すると、テレビの映像が乱れることがあります。

■ 話題の裏番組をチェックする(つぶやきメーター)

それぞれのツイートの背景に、その放送局に対するツイートの数を示すバーが表示されます。
これを「つぶやきメーター」と呼びます。

バーが長いほどたくさんのツイートが投稿されています。
「つぶやきメーター」で話題の裏番組をチェックしましょう。

ポイント

- 5分ごとに最大200のツイートを取得し、放送局ごとのツイートをカウントしてバーを表示します。
- ツイートの数の1位から3位までは、順位を示すアイコンも表示されます。
- ツイートが100件でバーが最長(右端に到達)となります。もし100件を超えた場合でも、バーの長さはそれ以上変化しません。
- チャンネルタグの設定(p.219)で「チャンネルタグ2」を設定したときは、タグ1(チャンネルタグ1)のツイート数が緑色のバーで、タグ2(チャンネルタグ2)のツイート数がピンク色のバーで、それぞれ表示されます。

ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)

録画された番組や視聴中の番組に関するツイートを検索することができます。

■ 録画された番組のツイートを検索する

番組を録画するとき、その番組に投稿されたツイートが同時に保存されるように設定できます。
キーワードを入力して、録画番組に関するツイートを検索できます。また、検索したツイートが投稿されたときのシーンから、該当する番組を再生することができます。

ポイント

録画する番組に関するツイートを保存するときは、「録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する」(p.218)でツイートを保存する設定をおこなってください。

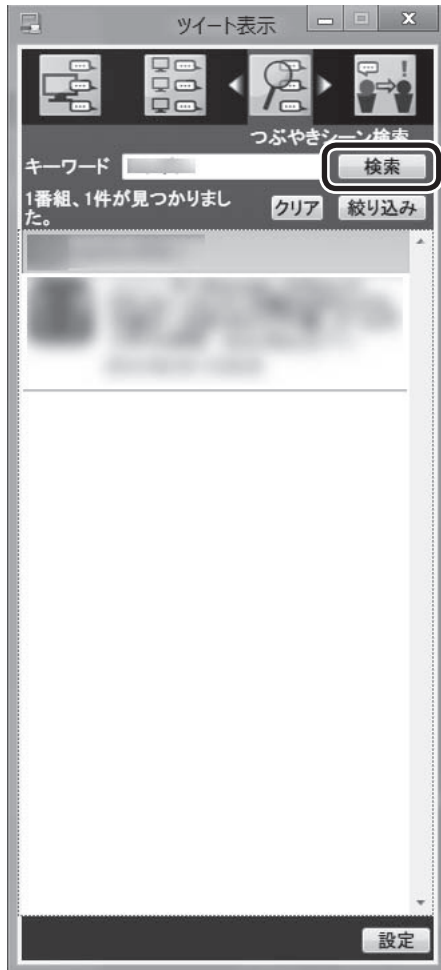
1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「つぶやきシーン検索」タブを選ぶ

2 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す

ポイント

- 半角スペースで区切って複数のキーワードを入力することもできます。この場合は、すべてのキーワードを含むツイートが検索対象となります(AND検索)。
- 「絞り込み」をクリックすると、より詳細な条件(録画番組、録画日、ジャンル)を追加設定することができます。

3 「検索」をクリック

キーワードが含まれるツイートが番組ごとに表示されます。

4 目的のツイートをダブルクリックする

そのツイートが投稿されたときのシーンから、録画番組の再生が始まります。

ポイント

- 検索されたツイートがひとつの番組に複数あるときは、番組ごとにまとめて表示されます。右端の▼をクリックすると個々のツイートが表示されます。まとめた状態に戻したいときは、▲をクリックするか、右クリックして表示されたメニューで「まとめ表示に戻る」をクリックしてください。
- キーワードをクリアするときは「クリア」をクリックしてください。

■ 視聴中の番組のツイートを検索する

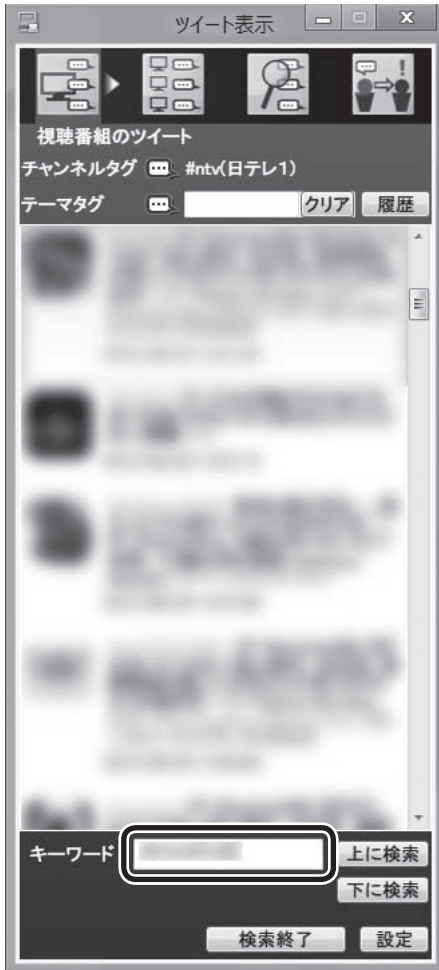
キーワードを入力して、視聴している番組のツイートを検索することができます。
放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索したツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「視聴番組のツイート」タブを選ぶ

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「キーワード検索」をクリック

ツイートの一覧の下に、「キーワード」の入力欄が表示されます。

3 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す

ポイント

半角スペースで区切って複数のキーワードを入力することもできます。この場合は、すべてのキーワードを含むツイートが検索対象となります(AND検索)。

4 「上に検索」または「下に検索」をクリック

いま選択されているツイートの上(投稿が新しい)または下(投稿が古い)にあるツイートが検索され、表示されます。

放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索されたツイートをダブルクリックすると、そのツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

ポイント

- 入力したキーワードに一致するツイートが見つからなかったときは、「ツイートが見つかりませんでした」と表示されます。必要に応じて、別のキーワードを入力して検索しなおしてください。
- キーワードをクリアするときは、「クリア」をクリックしてください。
- 検索を終了するときは、「検索を終了する」をクリックしてください。

特定のツイートを非表示にする

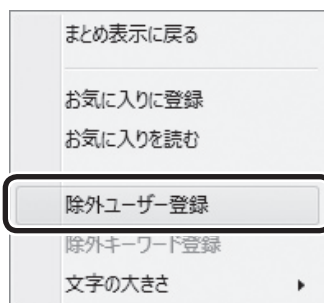
ユーザー(投稿者)やキーワードを指定して、ツイートが表示されないように設定することができます。

■ ユーザー(投稿者)を指定してツイートを非表示にする

ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.205)の手順1～3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 表示させたくないユーザーのツイートを右クリックし、表示されたメニューで「除外ユーザー登録」をクリック

指定したユーザーのツイートが非表示になります。

ここで指定したユーザーは「設定」画面の「除外登録」タブ(p.220)に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

ポイント

- ●「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したユーザーのツイートを非表示にすることができます。
- ●「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のユーザーのツイートを非表示にするよう設定(除外ユーザー登録)することができます(p.220)。

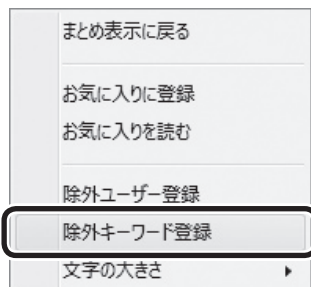
■ キーワードを指定してツイートを非表示にする

ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.205)の手順1～3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 キーワードとして指定する文字列をドラッグして選ぶ

3 選択した文字列を右クリックし、表示されたメニューで「除外キーワード登録」をクリック

指定したキーワードが含まれるツイートが非表示になります。

ここで指定したキーワードは「設定」画面の「除外登録」タブ(p.220)に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

ポイント

- 「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したキーワードが含まれるツイートを非表示にすることができます。
- 「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のキーワードが含まれるツイートを非表示にするよう設定(除外キーワード登録)することができます(p.220)。

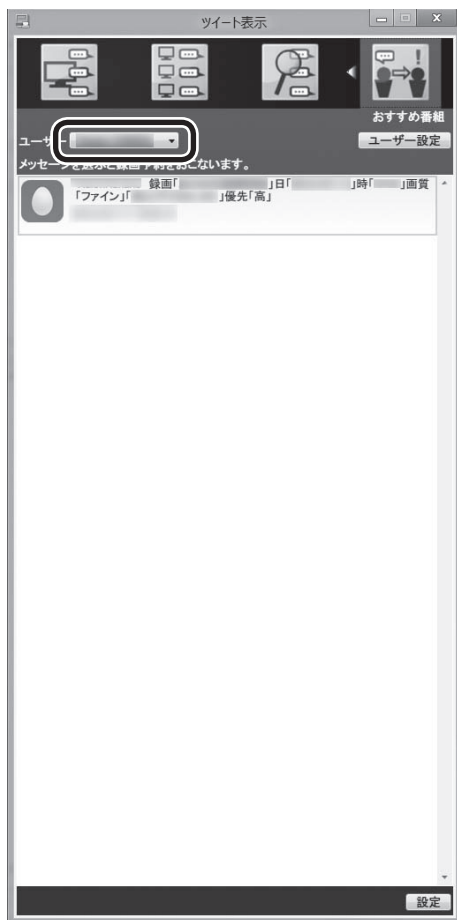
おすすめ番組を利用して録画予約する

つぶやきプラスに登録したツイッターIDに対して送られたおすすめ番組のダイレクトメッセージを、時系列に並べて表示します。

●ダイレクトメッセージを選択すると、記載されているおすすめ番組を検索し、そのまま録画予約できます。

●おすすめ番組のダイレクトメッセージとは、リモート録画予約(p.215)と同じ書式で、ほかのツイッターIDからつぶやきプラスに登録しているツイッターID宛てに送信されたダイレクトメッセージのことです。

1 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「おすすめ番組」タブを選ぶ

2 「ユーザー」をクリックし、ツイッターIDを選ぶ

おすすめ番組のダイレクトメッセージが表示されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンでダイレクトメッセージを選んで【決定】を押す

おすすめ番組リストが表示されます。

つぶやきプラスにツイッターIDを登録していない場合は、ユーザー選択の欄に「(未登録)」と表示され、おすすめ番組を利用できません。「ユーザー設定」をクリックし、「つぶやきプラスにツイッターIDを登録する」の手順2以降(p.198)をおこなってツイッターIDを登録してください。

おすすめ番組のダイレクトメッセージは、録画予約しない場合、送られた日を含め8日間表示されます。

4 録画予約したい番組をクリックし、「決定」をクリック

5 「おてがる予約をする」の手順4(p.78)以降をおこなう

(p.78)

録画予約の画面が表示されたダイレクトメッセージは、背景の色が変更されます。また、SmartVisionを終了したときに削除されます。

テレビを見ながらツイートを投稿する

1 ツイート投稿画面の「ユーザー」をクリックし、ツイートするツイッター IDをクリック

2 ツイート入力欄をクリックして、キーボードでツイートを入力する

3 入力が終わったら、「ツイートする」をクリック

ツイートが投稿されます。視聴中の放送局のハッシュタグは自動で入力されます。

チェック

- つぶやきプラスにツイッター IDを登録していない場合は、ユーザー選択の欄に「(未登録)」と表示されます。「ユーザー設定」をクリックし、「つぶやきプラスにツイッター IDを登録する」の手順2以降(p.198)をおこなってツイッター IDを登録してください。
- タイムシフト再生中、録画番組再生中はツイートを作成できません。

ポイント

- あと何文字入力できるかは、「ツイートする」の右側に表示されます。
- 視聴番組のツイートを表示している状態で「テーマタグ」が入力されているときは、放送局のハッシュタグとともに、テーマタグも自動入力されます。

■ ツイートに返信する

表示されているツイートを選び、その相手に返信(リプライ)することができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 返信したいツイートを右クリックし、表示されたメニューで「返信」をクリック

ツイート投稿画面のツイート入力欄に、選択したツイートの内容が、次の書式で入力されます。

@相手のツイッター ID：ツイート本文

3 ツイートを編集し、「ツイートする」をクリック

返信のツイートが投稿されます。

つぶやきプラスにツイッター IDを登録していないときは、ツイートに返信することができません。必要に応じてツイッター IDを登録してください(p.197)。

ツイッターを使って外出先などから録画予約する（リモート録画予約）

つぶやきプラスの機能を使って、外出先などから録画予約できます。

■ 番組の録画予約をする

1 携帯電話などから、次のいずれかの操作をする

・登録したツイッターIDで録画の内容をツイートする
・登録したツイッターID宛てにダイレクトメッセージで録画の内容を送る

録画予約の内容は以下の書式となります。

ポイント

●リモート録画予約として送ったダイレクトメッセージやツイートは、送った日を含め8日間有効です。
●あらかじめリモート録画予約の受け付け設定(p.218)を有効にしてください。

●録画予約内容の入力例

入力例1：番組名のみを指定するシンプルな書式です。次のように入力してください。

録画「XX」（番組名）

入力例2：録画するときの画質や優先度など詳細な予約内容を指定する書式です。次のように入力してください。

録画「XX」（番組名） 日「2012/11/11」（日付） 時「19:00」（開始時刻） 画質「ロング」（画質） 「地デジ　011」（放送局） 優先「高」（予約優先度）

項目	入力する書式	
	録画	録画予約の場合は、必ず先頭に"録画"と入力します。
番組名	「」内に番組名を入力 (取得した番組表に掲載されている番組名と同じ番組名を入力した場合、ほかの情報の入力は不要)	・番組名を入力する場合は、必ず"録画"の次に入力します。 ・日付、開始時刻、放送局(放送波名 チャンネル番号)が正しく入力されていれば、番組名が省略されていても録画予約されます。
日付	日「yyyy/mm/dd」 日「yyyy年mm月dd日」 ("日"に続き、「」内に録画する日付を入力)	・yyyy→yy、mm→m、dd→dで入力することも可能です。
開始時刻	時「hh:mm」 時「hh時mm分」 ("時"に続き、「」内に番組開始時刻を入力)	・時刻(hh)は24時間表示で入力します。
画質	画質「ダイレクト」 画質「ファイン」 画質「ファインロング」 画質「セミファインロング」 画質「ロング」 画質「スーパーロング」※1 ("画質"に続き「」内に録画モードを入力)	・画質は必ず全角で入力してください。 ・入力した画質で録画が予約されます。 入力を省略した場合は、あらかじめ設定されている画質で録画されます。あらかじめ設定されている画質については、「録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする」(p.217)をご覧ください。
放送局	「地デジ XXX」 「BS XXX」 「CS XXX」 (XXXの部分にチャンネル番号(リモコン番号もしくは3桁番号)を入力)	・放送波(地デジ、BS、CS)は必ず入力してください。 ・チャンネル番号(XXXの部分)は省略できます。 ・放送波名とチャンネル番号の間にはスペース(半角もしくは全角)を入力してください。
予約優先度	優先「高」	・予約優先度を入力すると、ほかの予約と重複している場合でも優先的に予約され、代わりに重複していた予約が削除されます(ただし、優先度を上げても、必ず予約できるとはかぎりません)。 ・入力を省略した場合は、おまかせ録画／新番組おまかせ録画よりは優先度が高くなりますが、ほかの予約よりは低くなります。

※1：地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ対応

録画予約が登録されると、投稿したツイッターIDへ予約したことを通知するダイレクトメッセージが送られます。
予約時間の重複や、番組が存在しないなどの理由で録画予約ができなかった場合も、理由とともにダイレクトメッセージで通知します。
また、録画が完了したことも、ダイレクトメッセージで通知します。

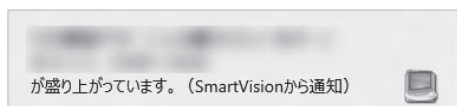
参照

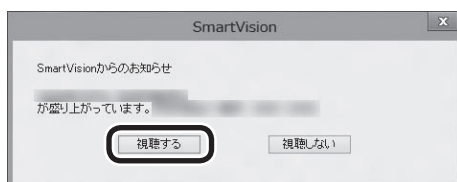
このほかのリモート録画予約の機能などについて→オンラインヘルプ(p.136)の「使ってみよう！」-「つぶやきプラスを活用しよう！」-「ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)」

ツイートの多い番組をお知らせする機能について(盛り上がり通知)

つぶやきプラスには、ツイッターのサーバーに定期的にアクセスして投稿内容を分析し、盛り上がっている番組(ツイートの投稿数が多い番組)があるときは、メッセージを表示してお知らせする機能があります。これを「盛り上がり通知」と呼びます。

■ スタート画面にメッセージ(トースト)が表示されたときは

クリックするとテレビ(SmartVision)が起動して、表示された番組を視聴できます。

■ デスクトップにメッセージが表示されたときは

表示された番組を視聴するときは、「視聴する」をクリックしてください。

チェック

- つぶやきプラスにツイッターIDを登録していないときは、この機能が使えません。必要に応じてツイッターIDを登録してください(p.197)。
- この機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。詳しくはこのPARTの「盛り上がり通知を設定する」(p.221)をご覧ください。
- SmartVisionが起動していないときも話題の番組をチェックすることができます。

ポイント

SmartVisionが起動していないときは自動的に起動します。

一歩すすんだつぶやきプラスの設定

■ パスワードを設定する

つぶやきプラスからツイートするとき、登録したツイッターIDごとにパスワードを入力するよう設定ができます。

1 「ツイッターIDを取得する」(p.197)の手順1の操作をおこなう

ユーザー設定画面が表示されます。

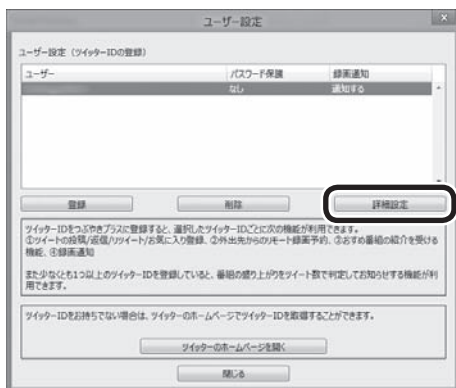
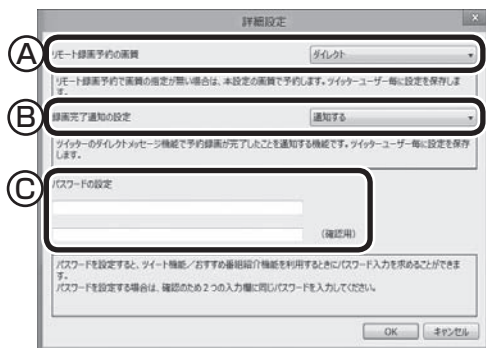
2 パスワードを設定したいツイッターIDをクリックし、「詳細設定」をクリック

3 設定するパスワードをパスワード入力欄、確認用のパスワード入力欄に入力し、「OK」をクリック

■ 録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする

録画完了の通知を受け取る設定や、リモート録画予約で録画するときの画質の設定をおこないます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック

2 「詳細設定」をクリック

3 各項目の設定をおこなう

Ⓐ リモート録画予約で録画するときの画質を設定します。録画予約のリプライまたはダイレクトメッセージで画質が記載されているときは、リプライまたはダイレクトメッセージに記載の画質が優先となります。

Ⓑ 録画が完了したときに、ダイレクトメッセージで通知するかどうかを設定します。

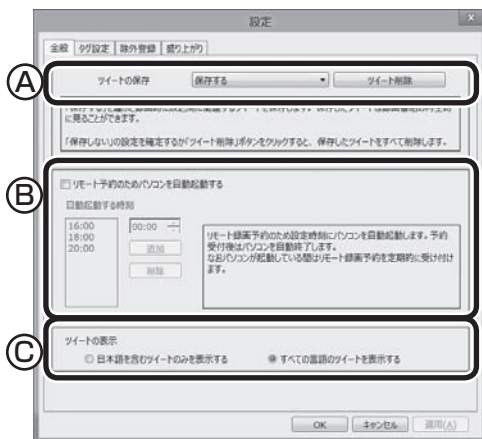
Ⓒ ツイートやおすすめ番組の紹介をするときに、パスワードを入力するよう設定します。設定のしかたについて、「パスワードを設定する」(p.216)の手順3をご覧ください。

4 「OK」をクリック

■ 録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する

次の3つの項目について設定します。
・録画するときのツイートを保存するかどうか
・リモート録画予約を受け付けるかどうか、および受け付けする時刻
・日本語を含むツイートだけ表示するかどうか

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「全般」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう

Ⓐ 録画しているときに、録画しているチャンネルのツイートを保存するかどうかを選択します。ツイートを保存すると、再生時に録画した時点で投稿された番組に関連するツイートを表示することができます。

Ⓑ リモート録画予約の受け付けをおこなうかどうか設定します。おこなうときはチェックボックスにチェックを入れてください。
また、リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を追加して設定できます。ご購入時には「16:00」「18:00」「20:00」が設定されています。追加するときは、時刻を入力して「追加」をクリックしてください。

Ⓒ 日本語を含むツイートだけを表示するかどうか設定できます。海外のユーザーのツイートを非表示にしたいときなど、必要に応じて設定してください。

3 「OK」をクリック

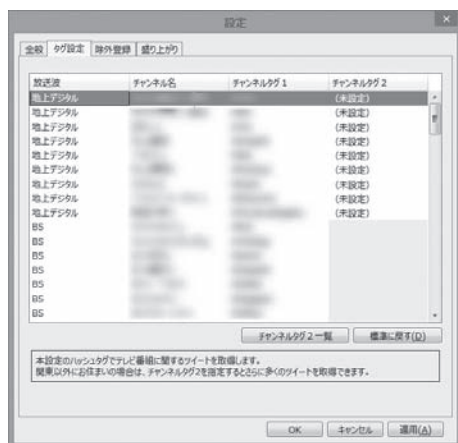
ポイント

- 録画番組に投稿されたツイートが保存されているときは、録画番組一覧にツイッターアイコンとツイートの件数が表示されます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻は50件まで設定できます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を削除するときは、時刻をクリックして選び、「削除」をクリックしてください。
- ハッシュタグの日本語は判断の対象外となります。また、全角のアルファベットや記号は日本語と判断されません。

■ ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)

チャンネルごとに設定されているハッシュタグ(チャンネルタグ1)を設定します。
ほかのハッシュタグに変更したり、ハッシュタグが未設定のチャンネルへ、新たに設定できます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「タグ設定」タブをクリック

2 設定するチャンネルのチャンネルタグ1(設定されていない場合は「未設定」)をダブルクリックし、キーボードでハッシュタグを入力する

チャンネル名またはハッシュタグをクリックし、「標準に戻す」をクリックすると、あらかじめ設定されているハッシュタグに戻ります。

3 「OK」をクリック

●チャンネルタグ2を設定する
ローカル局(お住まいの地域の放送局)のハッシュタグが「チャンネルタグ1」に登録されているとき、民放キー局のハッシュタグを「チャンネルタグ2」に設定すると、より多くのツイートを表示することができます。
設定するときは、「(未設定)」をダブルクリックして、▼をクリックし、表示されたメニューからハッシュタグを選んでください。

- ●チャンネルタグ2を設定するときに表示されるハッシュタグは、「チャンネルタグ2一覧」をクリックして編集することができます。
- ●ツイートの保存(p.218)で「保存する」が選択されているときは、番組の録画時に「チャンネルタグ2」のツイートも保存されます。

■ 特定のユーザー(投稿者)やキーワードを含んだツイートを非表示にする

ツイートを表示させたくないユーザーやキーワードを設定できます。
設定されたユーザーのツイート、キーワードが含まれたツイートが表示されなくなります。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「除外登録」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう

Ⓐ ツイートを表示させたくないユーザーを入力して「登録」をクリックします。

Ⓑ 登録されたユーザーが表示されます。ユーザーを削除するときは、削除するユーザーを選択して「削除」をクリックします。

Ⓒ ツイートを表示させたくないキーワードを入力して「登録」をクリックします。

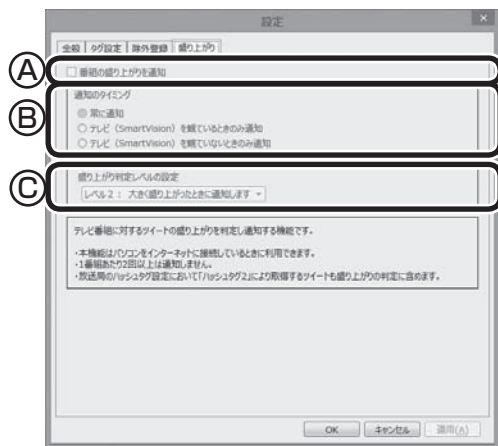
Ⓓ 登録されたキーワードが表示されます。キーワードを削除するときは、削除するキーワードを選択して「削除」をクリックします。

3 「OK」をクリック

■ 盛り上がり通知を設定する

盛り上がり通知の機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「盛り上がり」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう

Ⓐ 盛り上がり通知の機能を使うかどうか設定します。この機能を使うときはクリックしてチェックマークを付けてください。

Ⓑ SmartVisionがどの状態のときに盛り上がり通知の機能を使うか設定します。ご購入時は、「常に通知する」が選択されています。

Ⓒ 通知する際の基準となる盛り上がりのレベルを設定します。

3 「OK」をクリック

PART 8
一歩すすんだテレビ操作

スマートフォンで操作する

スマートフォンやタブレットPCでテレビ(SmartVision)を操作するためのスマートデバイスアプリ、「Smartリモコン」についてご紹介します。

「Smartリモコン」について

スマートフォンやタブレットPC(以降、スマートフォンと表記します)に、テレビ(SmartVision)を操作するためのスマートデバイスアプリ「Smartリモコン」をインストールして、テレビ用のリモコンとして使用することができます。
添付のリモコンと同様の操作はもちろん、スマートフォンならではの便利な機能も搭載しています。

ここでは、スマートフォンをSmartVisionのリモコンとして登録する方法について説明しています。また「Smartリモコン」でできることの概要についてご紹介しています。

■「Smartリモコン」の入手方法や対応機器について

「Smartリモコン」はお手持ちのスマートフォンによって入手方法が異なります。
対応するスマートフォンの情報や「Smartリモコン」の入手方法については、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/remote/

■ スマートフォンとパソコンの接続について

「Smartリモコン」を搭載したスマートフォンはパソコンと同じホームネットワークに接続する必要があります。
スマートフォンをホームネットワークに接続する方法については、スマートフォンのマニュアルをご覧ください。

「Smartリモコン」では、ぱっと観テレビを操作することはできません。(ぱっと観テレビモデルのみ)

リモコンとして登録する

「Smartリモコン」をインストールしたスマートフォンを、パソコンのテレビのリモコンとして登録します。

スマートフォンの操作について
スマートフォンは、指先で画面(タッチスクリーン)に触れることでさまざまな操作をおこないます。
このマニュアルで使用する操作は次の2つです。
タップ:　画面を指で1回だけ軽く叩く(触れる)操作です。
フリック:画面を指で軽く払う(触れてからスライドさせる)操作です。

ポイント

操作の前にスマートフォンに「Smartリモコン」をインストールしておいてください。

1 パソコンを起動する

2 スマートフォンのホーム画面で、「Smartリモコン」アイコンをタップ

「Smartリモコン」が起動し、画面にSmartVisionを搭載したパソコンの名前(コンピューター名)が表示されます。パソコンの名前の右側に「未認証」と表示されていることを確認してください。

3 SmartVisionを搭載したパソコンの名前をタップ

SmartVisionの録画フォルダーの一覧が表示されます。これで登録は完了です。

■ Smartリモコンがパソコンと接続していることを確認するには

Smartリモコンの画面下にある「設定」アイコンをタップし、「機器選択」画面で操作したいパソコンを選択して「更新」をタップしてください。
更新された「機器選択」画面で、パソコンの名前の右側にある「認証済」の文字に緑色のチェックマークが付いていれば、そのパソコンと接続されています。
「認証済」の文字がグレーの場合は接続ができていません。
パソコンとスマートフォンがホームネットワークに接続されていること、およびパソコンが起動していることをご確認ください。

■「操作したいパソコンを選択してください。」の画面にパソコンが表示されていないときは

SmartVisionを搭載したパソコンの名前(コンピューター名)が表示されないときは、まず次の点について確認してください。
・パソコンが起動している
・スマートフォンがパソコンと同じホームネットワークに接続されている
続けて、Smartリモコンの画面右下にある「設定」をタップし、「機器選択」画面の左下の「更新」をタップしてください。
更新された「機器選択」画面で、パソコンの名前が表示されることを確認してください。
上記の操作をおこなってもパソコンの名前が表示されないときは、「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツールを使う」(p.225)の手順にしたがって、ホームネットワークに接続しているネットワークアダプターを選択してください。

■ リモコンとして登録するスマートフォンを制限するときは

SmartVisionに「Smartリモコン」用の認証コードを設定しておくと、スマートフォンをリモコンとして登録するときに、その認証コードの入力が必要になります。

1 添付されたリモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「リモコンの設定」を選んで【決定】を押す

「リモコンの設定」画面が表示されます。

3 「Smartリモコンの設定」の「設定」を選んで【決定】を押す

「設定ウィンドウ」の「SmartVisionリモコン」タブが表示されます。

4 キーボードを使って「認証コード(6桁の数字)」に6桁の任意の数字を入力する

5 「OK」をクリック

これで、「Smartリモコン」用の認証コードの設定は完了です。

ポイント

- ご購入時の状態では、認証コードは設定されていません。
- 一般的な使用環境では認証コードを設定する必要はありません。不特定多数のかたがテレビとして使用するパソコンなど、スマートフォンをリモコンとして登録することを制限したいとき、必要に応じて設定してください。

ポイント

認証コード(6桁の数字)を設定したときは、「リモコンとして登録する」の手順4で「決定」をタップする前に、認証コードの入力が必要になります。

スマートフォンでテレビを操作する

ここでは「Smartリモコン」でできることの概要についてご紹介します。具体的な操作の方法については、「Smartリモコン」のヘルプをご覧ください。

ポイント

「Smartリモコン」のヘルプは、「Smartリモコン」を起動して「設定」をタップし、「ヘルプ」をタップすると表示されます。

■ リモコンとして使う

「Smartリモコン」を起動して「リモコン」をタップすると、画面に添付のリモコンと同様のボタンが表示されます。(リモコンモード)
左右のフリックで3つの画面を切り換えます。添付のリモコンとほぼ同様の操作ができます。

■ 録画番組を楽しむときは

「Smartリモコン」を起動して「見る」をタップすると、画面に録画フォルダーの一覧が表示されます。(見るモード)
画面に表示された項目をタップして、録画されている番組を確認することができます。録画番組を選んでSmartVisionで再生することもできます。

■ 録画された番組をスマートフォンで確認する（新着録画番組の表示）

登録したパソコンで新たに番組が録画されると、スマートフォンにお知らせします。また、お知らせを選択するとSmartリモコンが起動します。
スマートフォンのホーム画面では、「Smartリモコン」アイコンの右上に視聴していない録画番組の数が表示されます。

ポイント

新着録画番組の表示は、iOS版の「Smartリモコン」のみの機能です。

Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツールを使う

スマートフォンがこのパソコンを認識しないときは、「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツール」で、ホームネットワークに接続しているネットワークアダプターを選択してください。
次にパソコンを起動したときから、そのネットワークアダプターが優先的に選択されるようになります。

■ 使用するネットワークアダプターのデバイス名を確認する

1 **スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャームバーの「設定」-「コントロール パネル」をクリック**

「コントロール パネル」が表示されます。

2 **「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」-「アダプターの設定の変更」をクリック**

ネットワークアダプターの一覧が表示されます。

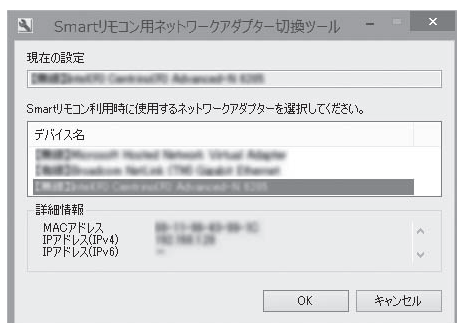
3 **インターネットに接続しているネットワークアダプターのデバイス名を確認する**

- 有線で接続する場合
  「イーサネット」に表示されているデバイス名を確認してください。
- ワイヤレスLANで接続する場合
  「Wi-Fi」に表示されているデバイス名を確認してください。

■ ネットワークアダプターを切り替える

1 チャームバーの「検索」-「アプリ」をクリックし、「SmartVision」の「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツール」をクリック

「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツール」が起動します。

2 一覧から使用するネットワークアダプターを選んでクリックし、「OK」をクリック

選択したネットワークアダプターが優先的に選択されるよう設定されました。

パソコンを再起動すると、この設定が有効になります。

ポイント

「SmartVisionが起動しているため、Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツールの起動を中止します。」と表示されたときは、「OK」をクリックして、SmartVisionを終了してからあらためて操作してください。

ポイント

- 十分な通信速度で安定した通信をおこなうには、有線接続のネットワークアダプタを選ぶことをおすすめします。
- 表示されるネットワークアダプターは、モデルによって異なります。

PART 8 一歩すすんだテレビ操作

ハンドパワー機能で操作する

パソコンの前でジェスチャする(手を動かす)ことでテレビ(SmartVision)を操作することができます。この機能を「ハンドパワー機能」と呼びます。

「ハンドパワー機能」について

「ハンドパワー機能」は、ジェスチャによる操作を実現する機能です。パソコンに搭載されたWebカメラが手の動きを読み取り、その情報がテレビの操作に反映されます。
テレビを楽しむとき、リモコンやマウスを使わなくても、パソコンの前で手を動かすことでチャンネルを切り換えたり、音量を調節したりすることができます。

ポイント

●ハンドパワー機能を搭載したモデルでのみ使用できます。
●ハンドパワー機能は、ぱっと観テレビには対応していません。

ハンドパワー機能を使う

■ ハンドパワー機能を起動する

1 【サブメニュー】を押し、「ハンドパワー機能の設定」を選んで【決定】を押す

SmartVisionを終了し、「ハンドパワー機能の設定」を起動するかどうか確認する画面が表示されます。

2 「はい」をクリック

SmartVisionが終了し、「ハンドパワー機能の設定」が表示されます。

3 「使用する」をクリック

ハンドパワー機能が起動します。ハンドパワー機能を使ったSmartVisionの操作については、次の「ハンドパワー機能でテレビ(SmartVision)を操作する」をご覧ください。

チェック

●はじめてハンドパワー機能を起動したときは、「練習する」をクリックして画面の指示にしたがってハンドパワー機能の操作を練習してください。練習を完了しないと手順3に進むことができません。
●2回目以降に起動したときは練習を省略できます。

ポイント

ハンドパワー機能は「ソフト＆サポートナビゲーター」から起動することもできます。

参照

ハンドパワー機能について
→「ハンドパワー機能の設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94080701 で検索

■ ハンドパワー機能でテレビ(SmartVision)を操作する

ハンドパワー機能が起動しているときは、次の操作ができます。
●ジェスチャ操作欄のアイコンは、ハンドパワー機能のモニターウィンドウに表示される手の動きを表しています。
●ハンドパワー機能のモニターウィンドウに表示される映像は、鏡に映ったように表示されています。

機能	ジェスチャ操作
SmartVisionを起動する	プル※1
SmartVisionを終了する	ウェィブ
チャンネル切り換え(チャンネルダウン)	右フリック
チャンネル切り換え(チャンネルアップ)	左フリック
放送波の切り換え (地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル)	上フリック
音量を上げる	右サークル
音量を下げる	左サークル
一時停止する/再生する	プッシュ※2
停止する	プル※3

※1:ハンドパワー機能が起動している状態であること。
※2:ライブモードで視聴中にプッシュ(一時停止)をすると、タイムシフトモードに切り換わります。
※3:録画番組の再生中やタイムシフト視聴中のみ使用できます。

ポイント

●ハンドパワー機能では、テレビメニューや録画番組一覧、番組表、各種設定画面などで、項目を選んだり設定を変更したりする操作はできません。リモコンまたはマウスを使って操作してください。
●ハンドパワー機能について詳しくは、ハンドパワー機能のヘルプをご覧ください。ハンドパワー機能が起動しているときは、デスクトップの通知領域にハンドパワー機能のアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして「ヘルプ」を選ぶと、ハンドパワー機能のヘルプが表示されます。

■ ハンドパワー機能を使うときは

ハンドパワー機能を使うときは、次の点にご注意ください。

- ハンドパワー機能は、パソコンに搭載されたWebカメラで手の動きを認識します。使用するかたの手が、Webカメラの正面60cmから120cmの位置になるようにして操作してください。
- パソコンを置いた部屋が暗いとき、または明るすぎるとき(逆光の場合など)、Webカメラが手を認識できず、ハンドパワー機能が利用できないことがあります。このような場合は、部屋の明るさやパソコンの向きを変えてください。
- 使用するかたの服装や壁などの模様によっては、Webカメラが手を正しく認識できないことがあります。縦縞の服を着ているときや、背景となる壁に縦縞状の模様があるときは、特に認識しにくくなることがあります。必要に応じて、別の服装で使用したり、パソコンの向きを変えて使用してください。
- 指を少し広げると、Webカメラが手を認識しやすくなります。また、手と顔が重ならない位置で操作していただいた方が認識しやすくなります。練習機能を活用して、指の形や手の位置を確認してください。
- 使用するかたの髪型などによっては、顔を手と誤認識することがあります。練習機能を利用して、手がWebカメラの正面(カメラがとらえた映像の中央)にくるようにしてください。もし、顔または服の一部を手と認識してしまったときは、いったんWebカメラに映らない位置まで動いていただくか、Webカメラを手などで覆って何も映らない状態にすることで認識を解除することができます。
- ハンドパワー機能では、Webカメラで手のひらの形を認識します。このため、Webカメラに対して手が斜めになると動作を認識しにくくなります。練習機能を活用して、認識しやすい手の向きを確認してください。
- 手とWebカメラの位置によっては、動作を認識しにくくなることがあります。また、Webカメラと手のひらが平行でない場合、プッシュやプルの動作を正しく認識できないことがあります。練習機能を活用して、認識しやすい状態を確認してください。
- ほかのソフトがWebカメラを使用しているときは、ハンドパワー機能が使用できません。また、ハンドパワー機能がWebカメラを使用しているときは、Webカメラを使用するほかのソフトが使用できません。
- ハンドパワー機能でWebカメラを使用しているときは、自動でスリープ状態にはなりません。

PART 8 一歩すすんだテレビ操作

G-GUIDE for Windowsで予約する

SmartVisionの番組表のほかに、「G-GUIDE for Windows」というソフトを使って録画予約をすることもできます。

もうひとつの番組表「Gガイド」

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。
また、G-GUIDE for Windowsの番組表からSmartVisionの録画予約ができます。

■ G-GUIDE for Windowsでできること

G-GUIDE for Windowsでは、次の操作ができます。
・番組表を、好きなときにインターネットからダウンロードできる
・SmartVisionの録画予約ができる
・パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約ができる

このほかにも番組を検索したり、外部機器(ディーガ)へ録画予約をするなどの機能があります。
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方については、チャームバーの「検索」-「アプリ」とクリックし、「Panasonic」の「取扱説明書 - G-GUIDE for Windows」をクリックしてください。

チェック

SmartVisionの初期設定が完了していない場合は、G-GUIDE for Windowsで番組表を見ることはできますが、SmartVisionの録画予約をすることはできません。

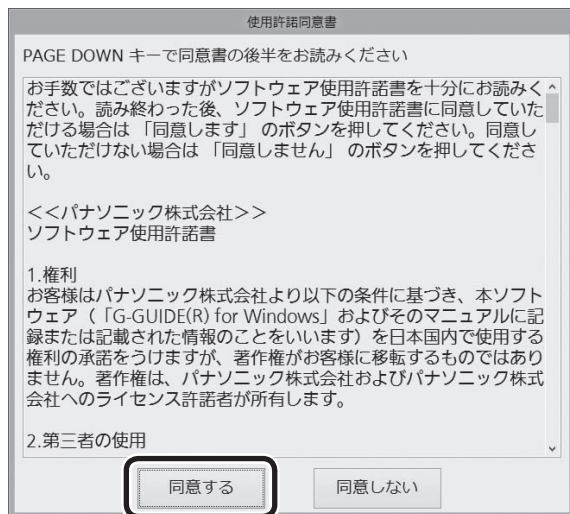
●連携できる「ディーガ」については、次のホームページで確認できます。
(http://panasonic.jp/support/software/)
●予約の取り消しはSmartVisionでおこなってください(p.85)。

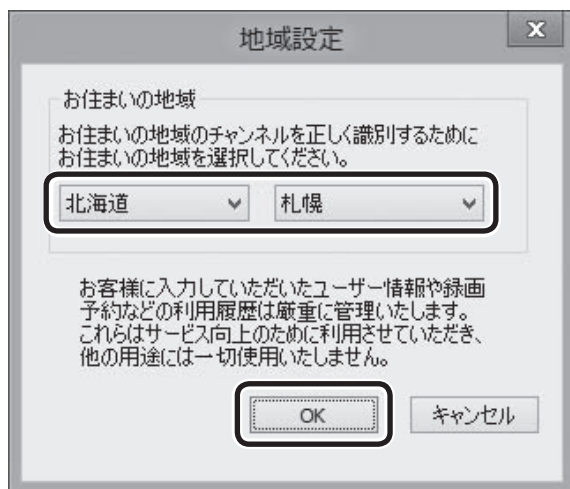
G-GUIDE for Windowsの初期設定をする

G-GUIDE for Windowsはマウスとキーボードで操作します。リモコンでの操作はできません。

1 チャーム バーの「検索」-「アプリ」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、「使用許諾同意書」画面が表示されます。

2 「使用許諾同意書」の内容を読み、「同意する」をクリック

「地域設定」画面が表示されます。

3 お住まいの地域を選んで、「OK」をクリック

番組表データのダウンロード画面が表示されます。

4 「はい」をクリック

番組表データがダウンロードされます。ダウンロードが終わると、番組表が表示されます。

これで初期設定は完了です。G-GUIDE for Windowsを終了するときは、画面右下の「終了」をクリックしてください。

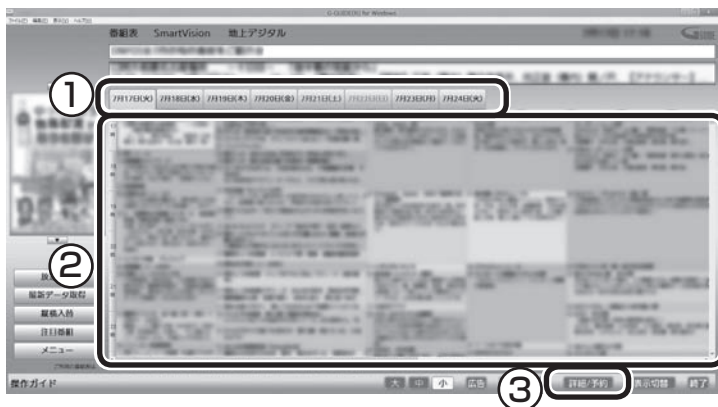
G-GUIDE for Windowsで予約する

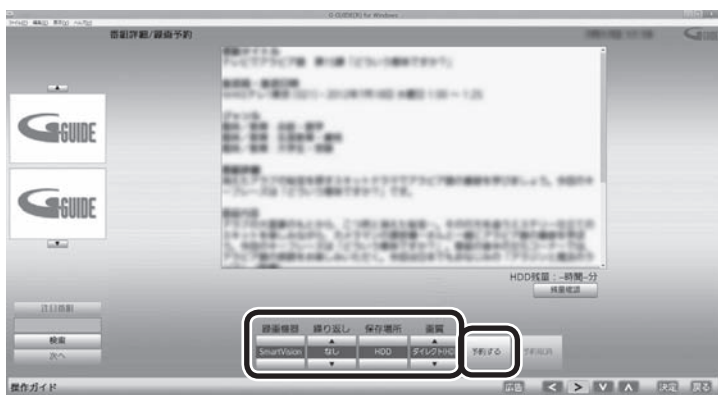
G-GUIDE for Windowsで録画予約をする場合、SmartVisionを起動する必要はありません。

1 チャーム バーの「検索」-「アプリ」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、番組表が表示されます。

2 録画予約をする番組を選ぶ

① クリックして予約する日付を選ぶ
② 予約する番組をクリック
③「詳細/予約」をクリック

「番組詳細/録画予約」画面が表示されます。

3 録画する内容を確認し、「予約する」をクリック

番組表に戻ります。

これで、録画予約は完了です。

ポイント

G-GUIDE for Windowsを起動したときに現在のものよりも新しい番組表がある場合は、自動的に最新の番組表がダウンロードされます。また、G-GUIDE for Windowsの画面左側にある「最新データ取得」をクリックしても、番組表をダウンロードすることができます。

ポイント

予約したい番組をダブルクリックしても「番組詳細/録画予約」画面を表示できます。

チェック

G-GUIDE for Windowsでは、視聴予約をすることはできません。

チェック

- 「繰り返し」の設定内容はG-GUIDE for WindowsとSmartVisionで異なります。
- 予約の時刻が重複していた場合は、予約を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の説明を読んで操作してください。
- 録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」の機能を使うときは、SmartVisionで録画予約してください(p.77)。G-GUIDE for Windowsで録画予約するときは、「外でもVIDEO」の機能が使えません。

ポイント

録画予約がされている番組は、番組名の前に予が表示されます。

PART 8
一歩すすんだテレビ操作

その他の機能

その他の一歩すすんだ機能について紹介します。

通知領域のアイコンについて

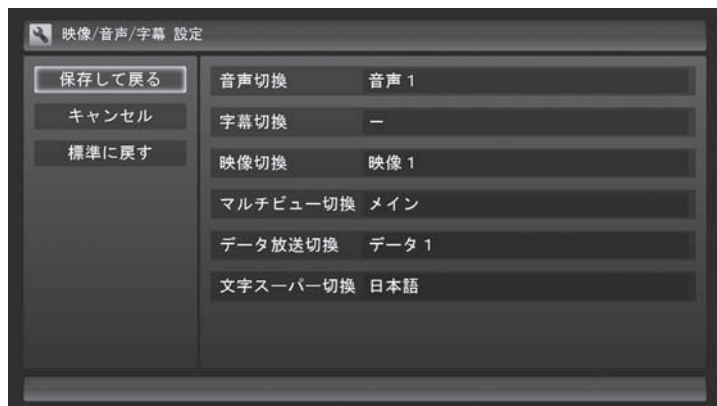
デスクトップの通知領域に、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンを表示させることができます(p.12)。
通常時のアイコン:

予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中、アップデートプログラムやデジタル放送関連データのダウンロード中などもアイコンが変化します。

予約開始5分前	: ←→ (交互に表示)
予約開始1分前	: ←→ (交互に表示)
録画中	: ←→ (交互に表示)
録画モード変換中	: ←→
光ディスクへの書き込み中	: ←→
SDカードへの転送中	: ←→
ホームネットダビング中	: ←→
ダウンロード中	: ←→
番組表データ受信中	: ←→

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.136)の「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

デジタル放送の番組サービスについて

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。
テレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。

録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック

4 変更したい番組を選んで右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

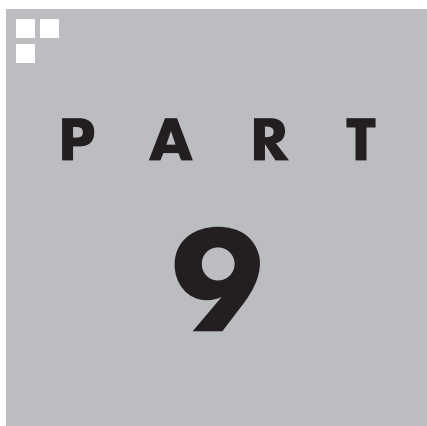
5 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

3D対応モデルでは、「この番組に3Dアイコンをつける」をチェックすると、その番組に3Dアイコン3Dを表示させることができます。

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 9 Q&A

パソコンの起動／終了について

パソコンの起動／終了についての問題は、ここで確認してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画（おまかせ録画を含む）、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART4の「予約の確認や変更」（p.85）をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。

電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定 」-「予約録画の設定」-「予約実行時の電源設定」を選んで「予約実行時の電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「シャットダウンの場合は起動しない」を選んで【決定】を押し、「保存して戻る」を選んで【決定】を押してください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか?

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

この時刻になると、パソコンが自動的に起動して、番組表の受信に備えます。なお、番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません。
番組表を受信する時刻の設定は変更することができます。詳しくは、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」（p.58）をご覧ください。

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

予約録画（おまかせ録画を含む）、予約視聴、番組表受信の予約をおこなっていると、予約動作の完了時にクイックモードで終了するという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にクイックモードで終了します（p.100）。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

（番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません）
番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。
番組表の受信時刻を変更する場合は、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」（p.58）をご覧ください。

予約録画などの後、パソコンの電源が自動で切れない

■ 放送に関連したデータをダウンロードしていませんか？

予約録画などの予約動作が終了した後で、デジタル放送の関連データ（衛星放送の放送局ロゴなど）が自動的にダウンロードされることがあります。このようなときは、データのダウンロードが終了してから、予約動作終了時の設定にしたがってパソコンがスリープ/休止/シャットダウン状態に移行します。データをダウンロードしているときは通知領域のアイコンが変化します。詳しくは、PART8の「通知領域のアイコンについて」（p.234）をご覧ください。

PART 9
Q&A

テレビに関して何か問題があるときは

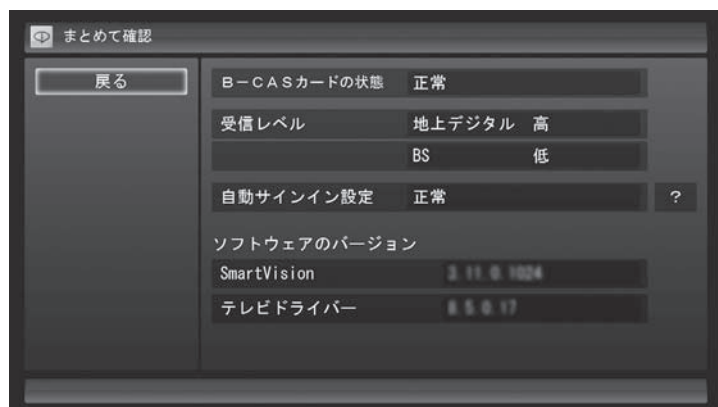
何か問題があるときには、まず「まとめて確認」の画面で確認してみてください。どの設定に問題があるかを確認することができます。

初期設定を確認する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」の「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。

この画面で初期設定の状態が表示されます。
それぞれの項目を選ぶと、設定画面が表示されます。問題のある設定を確認してください。

PART 9 Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか?

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)でご確認ください。

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか?

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ B-CASカードは正しくセットされていますか?

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 接続は正しいですか?

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■「テレビ初期設定」は終わっていますか?

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビ初期設定をする」(p.6)をご覧ください。
初期設定の後にテレビが映らないときは、PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

■ 画面消灯モードになっていませんか?

画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報 」-「受信レベルの確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。
受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合は、お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

・デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
・受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
・衛星アンテナの電源供給が必要かどうか

■ ほかのソフトが起動していませんか?

映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。
また、テレビを快適に視聴するため、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ SmartVisionなどを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか?

テレビ視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能でユーザーを変更すると、切り換えた後のユーザーではテレビを視聴することはできません。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか?(マウスで使う画面の場合)

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか?

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

解像度	色
各モデルの最高解像度※	True Color(32ビット)

※各モデルの最高解像度については、「仕様一覧について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索)から、ご購入されたモデルの仕様一覧をご覧ください。

■ 画質は適切に調節されていますか?

画質の調節では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調節をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■ 「Windowsのデスクトップの画面設定が変更されたため、SmartVisionでテレビ映像を表示できません。」と表示されていませんか?

「個人設定」の「コンピューターの視覚効果と音を変更します」で「ハイコントラストテーマ」を選んだときはテレビの視聴ができません。「Windowsの標準のテーマ」や「インストールされているテーマ」など、「ハイコントラストテーマ」以外のテーマを選びなおしてください。

■ 「現在出力先に設定されているサウンドデバイスに出力できません」と表示されていませんか?

USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなど、USBやBluetooth®を使用した音声出力機器がパソコンに接続されていると、このメッセージが表示され、テレビを見ることができなくなります。
これらの機器を取り外し、画面の指示にしたがって操作してください。

テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎたり、弱すぎる可能性があります

ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合:
「アッテネーターの設定をおこなう」をご覧ください。状況が改善しないときは「電波のレベルを適切に調節する」をご覧ください。
ぱっと観テレビモデルの場合:
「電波のレベルを適切に調節する」をご覧ください。

●アッテネーターの設定をおこなう
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「チャンネル設定」で、設定したい放送波を選んで【決定】を押してください。表示された画面の「アッテネーターの設定」で「有効」を選んで【決定】を押してください。

●電波のレベルを適切に調節する
アンテナと本機の接続にブースターを使用しているときは、ブースターから出力する各電波のレベルが適切になるように、ブースターへの入力レベルや利得などを調節してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネーターの設定を変更したとき、また、ブースターの利得(ゲイン)を調節したときは、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビ初期設定をやりなおしてください(p.6)。

テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう(地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)

■ 番組表を受信中ではありませんか?

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、番組表を受信中はテレビのチャンネルが自動的に切り換わります。番組表の受信は、チャンネルを切り換えるなどの操作で中止されます。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、番組表の受信中にSmartVisionを起動すると、データの受信を中断します。

テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態に)なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャー」をクリックし、「タスク マネージャー」で「SmartVision(32ビット)」を終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください(p.39)。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ 画面消灯モードになっていませんか?

画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

同じ映像が2つ並んで表示される。映像が半分だけ表示される(3D対応モデルのみ)

■ 3D放送の表示モードは正しく設定されていますか?

3D放送の表示モードが正しく設定されていないと、同じ映像が左右に2つ並んで表示されたり、映像の左半分だけが拡大されて表示されることがあります。
『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』をご覧いただき、3D放送の表示モードを正しく設定してください。

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか?

パソコンのCPU使用率が高くなると、映像のコマ落ちや音飛びが発生することがあります。テレビと同時にほかのソフトを使用したり、インターネット接続などをおこなうと、CPU使用率が高くなります。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 デスクトップのタスク バーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャー」をクリック

「タスク マネージャー」が起動します。

2 「詳細」をクリック

3 「パフォーマンス」タブをクリック

4 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで【決定】を押す

2 「無効」を選んで【決定】を押す

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか?

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見ていますか?

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上にほかのウィンドウなどが表示されている

全画面表示でテレビを見ているときに、テレビメニューや、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像が乱れたりコマ落ちすることがあります。
このような場合は、一度SmartVisionをウィンドウ表示にしたり最小化することで、映像の乱れが改善されます。

■ SDカードのフォーマットをおこなっていませんか?

テレビの視聴中や録画中にSDカードのフォーマットをおこなうと、映像が乱れることがあります。テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

■ ウイルスバスターのアップデート中ではありませんか?

ウイルスバスターのアップデート中は、映像が乱れることがあります。また、アップデートが番組の録画時間と重複すると、録画した番組の映像が一部乱れることがあります。

■ インテル® ワイヤレス・ディスプレイを利用していませんか?

テレビ視聴や録画の際、インテル® ワイヤレス・ディスプレイを同時にご利用になると、画質が低下したり映像がコマ落ちすることがあります。テレビ視聴や録画の際は、インテル® ワイヤレス・ディスプレイを終了しておくことをおすすめします。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。

ポイント

画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

データ放送が表示できない

■ データ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

マウスで操作するための画面にすると、データ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください(ぱっと観テレビモデル以外のモデルのみ)

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
次の手順でチャンネルの再スキャンをおこなってください。

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**
テレビメニューが表示されます。

2 **「設定 」の「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す**

3 **「地上デジタル放送のチャンネル設定」を選んで【決定】を押す**

4 **「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す**

5 **「スキャン方法」で「再スキャン」を選び、「次へ」を選んで【決定】を押す**
チャンネルの再スキャンが始まります。

6 **「チャンネルスキャン」が完了したら、「次へ」を選んで【決定】を押す**
これで再スキャンは完了です。

7 **「保存して戻る」を選んで【決定】を押す**

8 **「戻る」を選んで【決定】を押す**

チャンネルスキャンを促すメッセージが表示された

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください(ぱっと観テレビモデル以外のモデルのみ)

地上デジタル放送のチャンネルの変更や、電波の出力の増減による受信状態の改善などがあったときは、画面にチャンネルスキャンを促すメッセージが表示されます。
メッセージの内容を確認し、必要に応じてチャンネルの再スキャンをおこなってください。再スキャンの手順は上の「地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない」をご覧ください。

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い

■ ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般的には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

参照

アンテナケーブルの接続方法について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」

今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。
受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。
また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

まずアンテナを接続し、B-CASカードをセットしてください。続けて、次のいずれかの操作をおこなってください。

ぱっと観テレビモデル:
リモコンの【テレビ】を押して、ぱっと観テレビに切り換えます。外部入力の映像が表示されたときは、リモコンの【入力切換】を何度か押して画面に「テレビ」と表示させてください。この後、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.28)をご覧いただき、チャンネルスキャンをやりなおしてください。
なお、チャンネルスキャンをやりなおすときは次の項目を選択してください。
スキャンの種別:「初期スキャン」
対象周波数:「全周波数」

ぱっと観テレビモデル以外のモデル:
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビの初期設定をやりなおしてください。
テレビ初期設定の流れについては、PART1の「テレビ初期設定をする」(p.6)をご覧ください。

PART 9
Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか?

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。
視聴予約について詳しくはPART4の「視聴予約について」(p.80)をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのサインインパスワードやアカウントを設定・変更していませんか?

新たにWindowsのパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名(アカウント)を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。

■「結果一覧」で予約実行結果を確認してください

「予約結果一覧」に予約実行結果が表示されます(p.86)。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

■「自動サインインの設定」をしていますか?

パソコンの電源を切っている場合、「自動サインイン」の設定(p.272)がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。
リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。

■ 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか?

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。
スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで変更できる詳細設定で、「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ おてがるバックアップでバックアップのスケジュールを設定していませんか？

おてがるバックアップでバックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- ●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- ●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。
「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

■ パスワードが設定された外付けハードディスクを録画用として登録していませんか？

セキュリティを強化した外付けハードディスクにはパスワード機能を搭載しているものがあります。パスワードを設定した外付けハードディスクを録画用として登録している場合、番組が録画できないことがあります。

予約した携帯電話用のデータ（外でもVIDEO）が録画されていない（地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ）

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合、同時に使用される機能によっては、携帯電話用のデータが、録画と同時に作成されないことがあります。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンの動作やWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

参照

●ウイルスバスターについて
→「ウイルスバスター」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索

●Windows Updateについて
→「Windows Updateを使って更新する」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060030 で検索

録画フォルダーに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます(p.86)。

■ 保存先の録画フォルダーを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダーを確認してください。複数の録画フォルダーを使い分けているときは特にご注意ください。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダーに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「おまかせ録画フォルダー」を選んでおまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画した番組は、「おまかせ録画フォルダー」の容量が一定以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。
番組の移動については、PART8の「録画した番組を整理する」(p.145)をご覧ください。

ポイント

「おまかせ録画フォルダー」の最大容量は、マウスで使う画面で変更できます。詳しくはオンラインヘルプ(p.136)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダー」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダーに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

■ 番組を保存した外付けハードディスクを取り外していませんか？

外付けハードディスクに番組を保存している場合は、その外付けハードディスクを接続しなおしてください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組の録画予約を取り消してください(p.85)。

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧(p.91)に登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組は、おまかせ録画の対象外になります(取り消した放送回のみを対象外にするか、それ以降に放送される同じ番組をすべて対象外にするかは、取り消しの際に選択できます)。予約する場合は、おてがる予約などの番組予約で予約しなおしてください(p.77)。

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■「繰り返し予約」の「する(時間指定)」で予約していませんか？

「繰り返し予約」の「する(時間指定)」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定されている同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定して予約することをおすすめします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組おまかせ録画で録画予約する番組が無作為に選ばれます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」(p.77)などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます(p.98)。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

PART 9
Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を取ると、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ テレビの視聴中ではありませんか？（地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合）

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、テレビの視聴中は番組表の予約受信が実行されません。

■ 番組表の受信時刻を深夜や早朝に設定していませんか？

放送局によっては、深夜や早朝などに電波の送信を止めている（停波している）ことがあります。この時間帯に番組表を受信すると、その放送局だけ番組表が取得できなくなることがあります。特定の放送局だけ番組表が取得できないときは、番組表の最初の受信時刻を、その放送局の放送が始まる時刻より後になるよう設定してください。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 9
Q&A

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量(p.68)がないと、録画できないことがあります。
録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。
不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。
録画した番組の削除については、PART6の「録画した番組を削除する」(p.114)をご覧ください。

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、「PART4 録画・予約する」(p.63)をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなおすか、「登録したハードディスクに番組を録画する」(p.143)の手順を参考に、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているハードディスクに変更してください。

PART 9 Q&A

その他

リモコンで操作できない

■ SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていませんか？

SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、リモコンの【テレビ】を押してください。SmartVisionの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコンに電池をセットしましたか？

リモコンで操作するには、リモコンに電池を入れてください。電池の入れ方については、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第3章の「リモコン」をご覧ください。

■ リモコンのスイッチを入れましたか？

リモコンの右側面にあるモード切換スイッチを、ボタン操作側（下側）にあわせてください。

リモコンでデータ放送が操作できない

■ ご購入時の状態では、録画した番組の再生、タイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、また、放送内容によっては、データ放送の一部の操作ができない場合があります

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのテレビの終了には30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

チェック

● 【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行されていないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。

● ご購入時の状態では、録画(予約および終了時刻が設定された録画)、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、ホームネットダビング、簡易編集した番組の保存、デジタル放送の関連データのダウンロードをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、上記の動作が完了してから、パソコンが終了します。

「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示された

CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。
PART7の「CPRMのアップデートをする」(p.120)をご覧になり、SmartVisionをアップデートしてください。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組(保存できない番組)がある

■ 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。
DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART7の「光ディスクをフォーマットする」(p.121)をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionの光ディスクへの保存機能(p.123)を使って、データを光ディスクに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号がない場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。アンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]
B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。

参照

B-CASカードのセットのしかたについて→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」

● [E201 信号レベルが低下しています。]
- アンテナケーブルを確認してください。
- アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]
- アンテナケーブルを確認してください。
- 地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。
- BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]
受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。
- 番組表などで放送時間をお確かめください。
- エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

● [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。

● [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。
保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作をおこなってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。
パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているソフトを終了させてください。また、ソフトの再起動やハードディスクの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていませんか？

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionが他のウィンドウよりも常に手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionから別のソフトを起動したり、別のウィンドウを表示させると、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまう場合があります。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「常に最前面に表示」を「無効」にすれば、この現象は起こらなくなります。

外付けハードディスク以外の機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

外付けハードディスク以外の外部接続機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

「再生不可」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ハードディスクの容量を節約するため、削除することをおすすめします。録画した番組が「再生不可」の状態にならないようにするために、再セットアップをおこなった場合は、録画番組が保存されている外付けハードディスクをSmartVisionに再登録(テレビ映像を表示している状態で、パソコンに外付けハードディスクを接続し、メッセージ表示を確認)(p.142)してください。

再セットアップする前などに録画番組のデータをバックアップしたい

■ 外付けハードディスクにデータを移動してください

外付けハードディスクをSmartVisionに登録(p.142)し、その外付けハードディスクにCドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されている録画番組のデータを移動(p.148)することができます。

タスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない

誤操作やパソコンの再セットアップなどによってタスク バーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは、次の手順でタスク バーにアイコンを追加してください。

1 **スタート画面の「SmartVision テレビを見る」を右クリック**

2 **画面下の「タスク バーにピン留めする」をクリック**

「ウェブ検索」機能を使ったときInternet Explorerが表示されない。マウスでInternet Explorerをクリックしても、テレビ(SmartVision)の手前に表示されない

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていませんか?

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionがほかのウィンドウよりも常に手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionの「ウェブ検索」機能を使ってInternet Explorerを起動すると、そのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「常に最前面に表示」を無効にすれば、この現象は起こらなくなります。

リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない

■ リモコンのモードを変更していませんか?

リモコンが「データ放送固定モード」になっていると「きこえる変速再生」の操作ができません。リモコンの【サブメニュー】を押して、「リモコン(データ放送固定モード)」を選び、「自動切換(再生操作モード)」を選んで【決定】を押してください。

「外でもVIDEO」の番組を携帯電話で視聴できない

■ お手持ちの携帯電話が対応しているかどうか確認してください

お手持ちの携帯電話が「外でもVIDEO」の再生に対応した機種かどうか、121ware.comでご確認ください。なお、SD画質の「外でもVIDEO」は対応する携帯電話がよりかぎられています。この機能をお使いになる前に、対応状況をご確認いただくことをおすすめします。

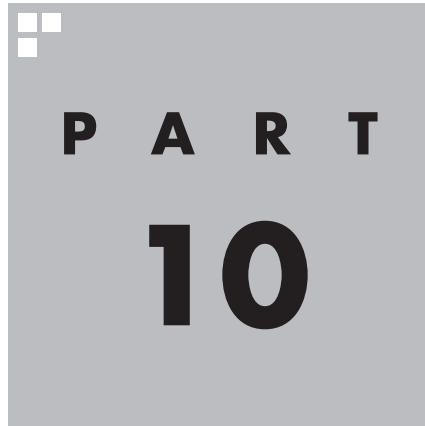
セキュリティソフトを入れ換えてから問題が起こるようになった

ご購入時にインストールされているウイルスバスター以外のセキュリティソフトをご使用になると、次のような問題が発生することがあります。

1. テレビを視聴しているときや録画番組を再生しているときに映像が乱れることがある。
2. オートチャプターが作成されないことがある。
3. ホームネットワークダビングができないことがある。
4. データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができないことがある。

セキュリティソフトを入れ換えたときは、次のファイルに通信許可(アクセス権)を設定してください。
設定方法については、入れ換えたセキュリティソフトのマニュアルやヘルプをご確認ください。
＜通信許可ファイル＞
C: ￥Program Files(x86) ￥NEC ￥SmartVision ￥DtnCtl.exe
C: ￥Program Files(x86) ￥NEC ￥SmartVision ￥SvUI.exe
C: ￥Program Files(x86) ￥NEC ￥SmartVision ￥SVDWrite.exe
C: ￥Program Files(x86) ￥NEC ￥SmartVision ￥twitterAPforSV ￥twitterAPforSV.exe

設定していない時刻に番組表の受信が始まった

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、テレビ(SmartVision)を起動したときに次の2つの条件がそろっていると、自動的に番組表の受信が始まります。
・その日、一度も番組表を受信していない。
・搭載されている2つのレコーダー(チューナー)のうち、どちらか1つが使用されていない。
視聴や録画でレコーダーが2つとも使われているときは、番組表の自動受信はおこなわれません。

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている
個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、各モードのボタンやタブの機能について記載しています。

PART 10 付録

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画ルール「ダビング10」について説明しています。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。
このパソコンはダビング10に対応しており、ハードディスクに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。
また、録画されたコピーワンス(コピー不可)の番組は、光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。
ムーブ(移動)した場合、ハードディスクから当該番組は自動的に削除されます。
なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス/ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組か区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されます。
  番組をハードディスクに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組か確認できます。

チェック

携帯電話(SDカード)に携帯電話用のデータを転送したときや、ホームネットワークを経由してメディアサーバに転送したときも、コピーできる残りの回数が減ります。

ダビング10とコピーワンスの違い

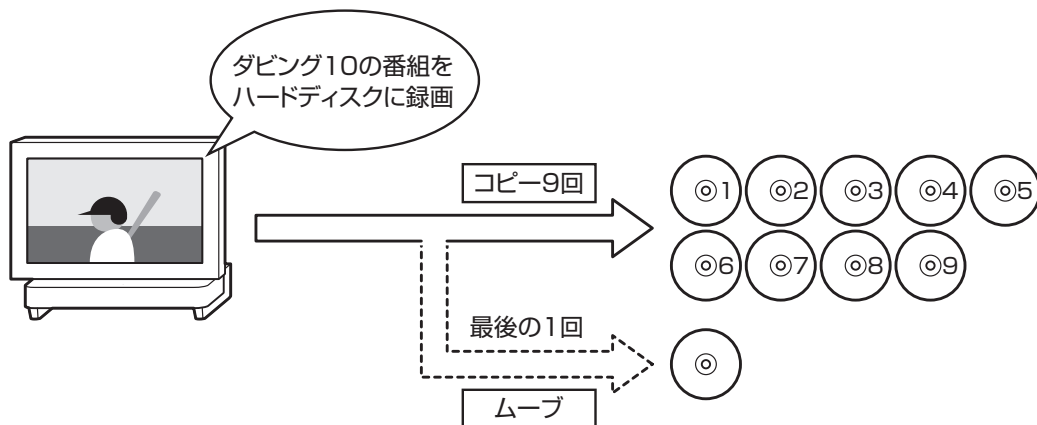
「ダビング10」と「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存/ 携帯電話(SDカード)への転送/ メディアサーバへの転送
ダビング10	コピー可(回数制限)	コピー 9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)
コピーワンス	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)

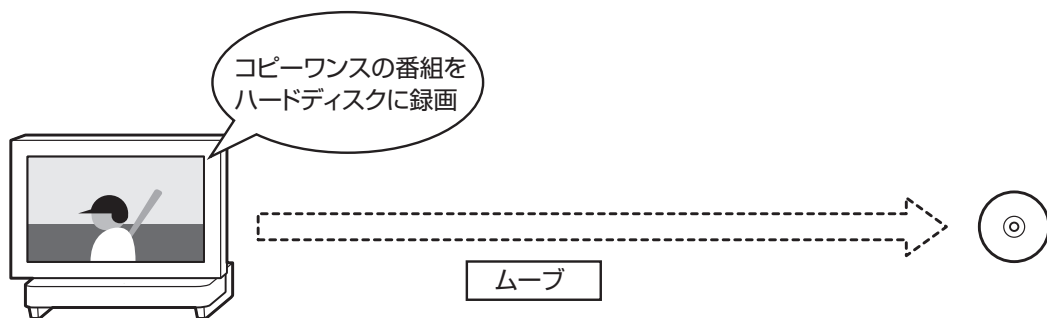
ダビング10でできること

●ダビング10

パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。

コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ(移動)になり、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

●コピーワンス

パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ(移動)され、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

付録

PART 10 付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

●このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。

●B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。

●B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
・分解・加工しないでください。

●裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。

●B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

ポイント

限定受信システム(CAS:Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードの情報を確認する

B-CASカードの情報は次の方法で確認できます。

SmartVisionでテレビを見ているとき

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」の「B-CASカード情報の確認」を選んで【決定】を押す

B-CASカードの情報が表示されます。

ぱっと観テレビでテレビを見ているとき

1 【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「システム情報」を選んで【決定】を押す

システム情報の画面が表示されます。

4 「システム情報」を選んで【決定】を押す

B-CASカードの情報が表示されます。

PART 10 付録

ナイトモードについて

画面と音声をオフにした状態で予約録画ができるナイトモードについて説明します。

ナイトモードについて

このパソコンでは、電源を切ったり省電力状態にしても、予約した時刻になるとパソコンが自動的に起動して予約を実行します。
予約録画や番組表の受信でパソコンが自動的に起動したときは、画面に何も表示されず音声も出力されません。これを「ナイトモード」と呼びます。
就寝中や外出中の録画に便利です。

画面消灯モードについて

ナイトモードとは別に、起動しているパソコンの画面と音声をオフにする機能があります。これを「画面消灯モード」と呼びます。
録画番組を光ディスクにダビングしている場合など、パソコンの機能は使っていても特に操作する必要がないとき、画面と音声を一時的にオフにしておくことができます。

●VALUESTAR W
本体左側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、画面消灯モードとなり、本体前面の画面消灯ランプが白色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

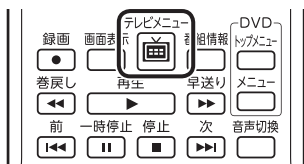
ポイント
明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

●VALUESTAR N
本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、画面消灯モードとなり、本体右側面の画面消灯ランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

PART 10 付録

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

「予約録画の設定」画面が表示されます。

3 「予約実行時の電源設定」を選んで【決定】を押す

「予約実行時の電源設定」画面が表示されます。

参照

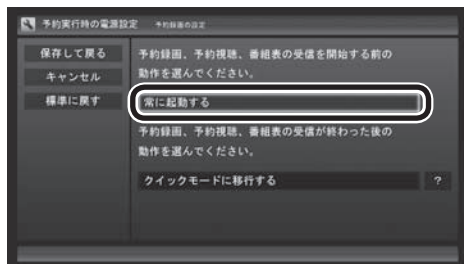
省電力状態について

→「省電力機能」

▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

付録

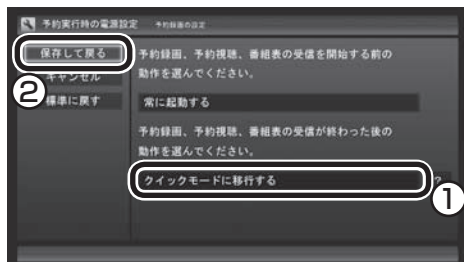
4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。

- 「常に起動する」
  予約録画、予約視聴、番組表の受信、いずれかの予定時間になると、パソコンが自動的に起動します。
- 「シャットダウンの場合は起動しない」
  省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

- 「何もしない」
  予約や番組表受信終了後、パソコンの電源が入ったままとなります。
- 「スリープ状態に移行する」
  予約や番組表受信終了後、自動的にスリープ状態になります。
- 「休止状態に移行する」
  予約や番組表受信終了後に、自動的に休止状態になります。
- 「電源を切る(シャットダウン)」
  予約や番組表受信終了後に、自動的にシャットダウンします。
- 「クイックモードに移行する」
  予約や番組表受信終了後に、自動的にクイックモードになります。

② 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

クイックパワーオンでパソコンの電源が切れている状態であっても、SmartVisionの予約動作でパソコンが自動的に起動し、自動で電源が切れたときは、その次に電源を入れると手順5(予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する)で設定した動作で起動します。

チェック

- ご購入時は「クイックモードに移行する」に設定されています。
- 「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動サインイン」の設定をしてください。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがサインインした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがサインインしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定すると、ほかのアプリケーションでの作成中のデータがあった場合、保存していなかったデータは失われてしまいますので、注意してください。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動サインイン」(p.272)で設定されたユーザーのみです。

ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、そのままテレビを利用できます。

PART 10 付録

アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

アンテナの調節をする

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「受信レベルの確認」を選んで【決定】を押す

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ

受信レベルが表示されます。

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル：中」または「レベル：高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

5 「戻る」を選んで【決定】を押す

これで、アンテナの設定は完了です。

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候・季節・受信している地域（アンテナの設置場所）などによって異なります。

PART 10 付録

個人情報を消去する

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

- ・データ放送で使用していた個人情報やポイント
- ・受信済みのメール／掲示板の内容
- ・しおり一覧の内容
- ・番組表データ(地上デジタル放送)
- ・地上デジタル放送のチャンネル設定

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック

画面が切り換わり、マウスで使う画面(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

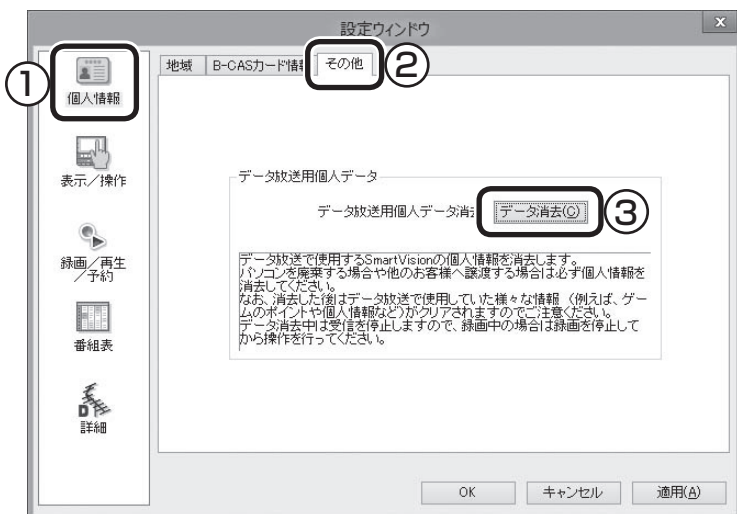
3 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

4 データ消去の設定をする

①「個人情報」アイコンをクリック

②「その他」タブをクリック

③「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

5 「はい」をクリック

SmartVisionが終了します。
その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

チェック

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定(p.6)をおこなう必要があります。

付録

PART 10 付録

自動サインインの設定をする

自動的にサインインするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、サインインするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」から「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

3 「自動サインインの設定」を選んで【決定】を押す

4 「自動サインインのテスト」を選んで【決定】を押す

5 サインインするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動サインインユーザー」を選んで【決定】を押し、ユーザーを選ぶ

6 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで【決定】を押し、キーボードからパスワードを入力する

7 再度「自動サインインのテスト」を選んで【決定】を押す

テスト結果が「正常」と表示されれば、自動サインインの設定が正しくできています。

8 「戻る」を選んで【決定】を押す

ポイント

Windowsのサインインパスワードを変更していて、画面に「パスワード」の入力欄が表示されていないときは、「自動サインインのテスト」をクリックしてください。

PART 10 付録

録画モードについて

番組を録画する場合、録画した番組を光ディスクに保存する場合の録画モードごとの画質や機能について詳しく説明します。
モデルによって対応している録画モードが異なります。

ハードディスクに録画する場合

●ご購入時には、ダイレクトで録画される設定となっています。録画予約ごとに個別に録画モードの設定ができます。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

<table>
<tr><th colspan="2">録画モード</th><th>ダイレクト</th><th>ファイン</th><th>ファインロング</th><th>セミファインロング</th><th>ロング</th><th>スーパーロング</th></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート</td><td>地上デジタルHD放送:約17Mbps
地上デジタルSD放送:約8Mbps
BS・110度CSデジタルHD放送:約24Mbps
BS・110度CSデジタルSD放送:約11Mbps</td><td>約8Mbps</td><td>約4Mbps</td><td>約1.5Mbps</td><td>約2Mbps</td><td>約1.2Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録できる最大解像度※1</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>標準(SD)(720×480)</td><td>標準(SD)(720×480)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイレクトモードを基準とした録画時間の比較</td><td>BS・110度CSデジタルHD放送の場合</td><td>−</td><td>約3倍</td><td>約6倍</td><td>約16倍</td><td>約12倍</td><td>約20倍</td></tr>
<tr><td>地上デジタルHD放送の場合</td><td>−</td><td>約2倍</td><td>約4倍</td><td>約11倍</td><td>約8倍</td><td>約14倍</td></tr>
<tr><td colspan="2">複数音声が含まれる(マルチ音声)番組</td><td colspan="2">2つの音声が保存されます。
外でもVIDEOの同時録画時は1つの音声のみが保存されます。</td><td colspan="4">1つの音声が保存されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">字幕放送が含まれる番組</td><td colspan="6">字幕放送が記録されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">データ放送が含まれる番組</td><td>データ放送が記録されます。</td><td colspan="5">データ放送は記録されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVDへ保存する場合の録画モード変換</td><td>必要</td><td colspan="2">AVCREC形式で保存する場合は不要※2</td><td colspan="3">AVCREC形式で保存する場合は不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブルーレイディスクへ保存する場合の録画モード変換</td><td colspan="3">不要※2</td><td colspan="3">不要</td></tr>
</table>

※1:最大解像度よりも低い解像度で放送された番組は、放送時の解像度で録画されます。
※2:ほかの録画モードに変換して書き込むこともできます。

■ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

<table>
<tr><th colspan="2">録画モード</th><th>ダイレクト</th><th>ファイン</th><th>ファインロング</th><th>セミファインロング</th><th>ロング</th></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート</td><td>地上デジタルHD放送:約17Mbps
地上デジタルSD放送:約8Mbps
BS・110度CSデジタルHD放送:約24Mbps
BS・110度CSデジタルSD放送:約11Mbps</td><td>約8Mbps</td><td>約4Mbps</td><td>約2.4Mbps</td><td>約2Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録できる最大解像度※1</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1920×1080)</td><td>ハイビジョン(1280×1080)</td><td>標準(SD)(720×480)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイレクトモードを基準とした録画時間の比較</td><td>BS・110度CSデジタルHD放送の場合</td><td>—</td><td>約3倍</td><td>約6倍</td><td>約10倍</td><td>約12倍</td></tr>
<tr><td>地上デジタルHD放送の場合</td><td>—</td><td>約2倍</td><td>約4倍</td><td>約7倍</td><td>約8倍</td></tr>
<tr><td colspan="2">複数音声が含まれる(マルチ音声)番組</td><td>2つの音声が保存されます。外でもVIDEOの同時録画時は1つの音声のみが保存されます。</td><td>2つの音声が保存されます。</td><td colspan="3">1つの音声が保存されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">字幕放送が含まれる番組</td><td colspan="5">字幕放送が記録されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">データ放送が含まれる番組</td><td>データ放送が記録されます。</td><td colspan="4">データ放送は記録されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVDへ保存する場合の録画モード変換</td><td>必要</td><td colspan="2">AVCREC形式で保存する場合は不要※2</td><td>CPUによる画質変換対応モデル:
AVCREC形式で保存する場合は不要(ただし、最大解像度が1280×1080から1440×1080に変換されます)
CPUによる画質変換非対応モデル:
必要(ロングに変換されます)</td><td>AVCREC形式で保存する場合は不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブルーレイディスクへ保存する場合の録画モード変換</td><td colspan="3">不要※2</td><td>CPUによる画質変換対応モデル:
不要(ただし、最大解像度が1280×1080から1440×1080に変換されます)
CPUによる画質変換非対応モデル:
必要(ロングに変換されます)</td><td>不要</td></tr>
</table>

※1:最大解像度よりも低い解像度で放送された番組は、放送時の解像度で録画されます。
※2:ほかの録画モードに変換して書き込むこともできます。

ハードディスクからブルーレイディスクへ保存する場合

●光ディスクに保存した番組の再生に関する情報について
ここでは、ご購入時に搭載されている光ディスク再生ソフトで再生したときの動作について説明しています。ほかの光ディスク再生ソフトを使用したときは、機能や制限事項がここでの説明と異なることがあります。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	セミファインロング	ロング	スーパーロング	1ディスクダビング
記録形式	BDAV						
対応する光ディスク	BD-RE、BD-R						
ビットレート	地上デジタルHD放送:約17Mbps 地上デジタルSD放送:約8Mbps BS･110度CSデジタルHD放送:約24Mbps BS･110度CSデジタルSD放送:約11Mbps	約8Mbps	約4Mbps	約1.5Mbps	約2Mbps	約1.2Mbps	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	標準(SD)	※2
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※1						
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。					
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示･非表示の切り換えができます。						
データ放送が含まれる番組	データ放送は記録されません。再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。						
複数の映像が含まれる番組	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。						

※1:ハードディスクに保存されている画質と、ブルーレイディスクに保存するときの画質が同じ場合のみ。
※2:ブルーレイディスクの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。

■ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	セミファインロング※3	ロング	1ディスクダビング
記録形式	BDAV					
対応する光ディスク	BD-RE、BD-R					
ビットレート	地上デジタルHD放送:約17Mbps 地上デジタルSD放送:約8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送:約24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送:約11Mbps	約8Mbps	約4Mbps	CPUによる画質変換対応モデル:約2.4Mbps	約2Mbps	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)※4	標準(SD)	※2
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※1					
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。				
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。					
データ放送が含まれる番組	データ放送は記録されません。再生時に操作パネルの「d」をクリックしてもデータ放送は表示されません。					
複数の映像が含まれる番組	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。					

※1:ハードディスクに保存されている画質と、ブルーレイディスクに保存するときの画質が同じ場合のみ。
※2:ブルーレイディスクの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。
※3:CPUによる画質変換非対応モデルでは、セミファインロングで録画した番組は、自動的にロングに変換されます。
※4:CPUによる画質変換対応モデルでは、最大解像度が1280×1080から1440×1080に変換されます。

ハードディスクからDVDへ保存する場合

●光ディスクに保存した番組の再生に関する情報について
ここでは、ご購入時に搭載されている光ディスク再生ソフトで再生したときの動作について説明しています。ほかの光ディスク再生ソフトを使用したときは、機能や制限事項がここでの説明と異なることがあります。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

録画モード	ファイン	ファインロング	セミファインロング	ロング	スーパーロング	1ディスクダビング	高画質	標準画質	長時間	1ディスクダビング
記録形式	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式
対応する光ディスク	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM
ビットレート	約8Mbps	約4Mbps	約1.5Mbps	約2Mbps	約1.2Mbps	※2	約7.5Mbps VBR	約4Mbps VBR	約2Mbps VBR	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	標準(SD)	※2	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※3						録画モード変換が必要です。			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。								
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。						字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。			
データ放送が含まれる番組	データ放送は記録されません。再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。									

※1:AVCREC形式に対応していないほかの機器では再生することはできません。
※2:DVDの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。
※3:ハードディスクに保存されている画質と、DVDに保存するときの画質が同じ場合のみ。

■ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

録画モード	ファイン	ファインロング	セミファインロング※4	ロング	1ディスクダビング	高画質	標準画質	長時間	1ディスクダビング
記録形式	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR方式
対応する光ディスク	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM
ビットレート	約8Mbps	約4Mbps	CPUによる画質変換対応モデル:約2.4Mbps	約2Mbps	※2	約7.5Mbps VBR	約4Mbps VBR	約2Mbps VBR	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)※5	標準(SD)	※2	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※3					録画モード変換が必要です。			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。							
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。					字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。			
データ放送が含まれる番組	データ放送は記録されません。再生時に操作パネルの「d」をクリックしてもデータ放送は表示されません。								

※1:AVCREC形式に対応していないほかの機器では再生することはできません。
※2:DVDの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます。
※3:ハードディスクに保存されている画質と、DVDに保存するときの画質が同じ場合のみ。
※4:CPUによる画質変換非対応モデルでは、セミファインロングで録画した番組は、AVCREC形式で保存するとき、自動的にロングに変換されます。
※5:CPUによる画質変換対応モデルでは、最大解像度が1280×1080から1440×1080に変換されます。

PART 10 付録

各モードの画面説明

マウスで使うための画面の各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ
表示する映像(放送)を切り換えます。

地デジ:地上デジタル放送
BS:BSデジタル放送
CS:110度CSデジタル放送
録画番組:録画番組一覧

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプボタン
SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

つぶやきプラスボタン
つぶやきプラスの画面を表示します。

番組表ボタン
番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン
録画番組一覧を表示します。

予約&結果一覧ボタン
予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

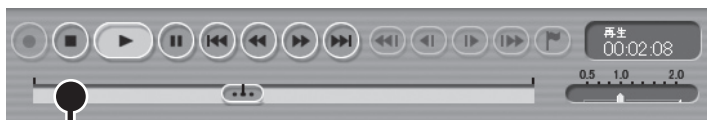
タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー (クリックできません)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

ポイント

- ●番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。
- ●映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

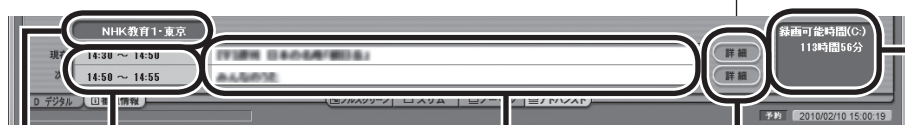
参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプ(p.136)の「設定」

● コントロールパネル

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

●「番組情報」タブ

「番組情報」タブは画面の左下にあります。

●「デジタル」タブ

「デジタル」タブは画面の左下にあります。

●「簡易編集」タブ

「簡易編集」タブは画面の左下にあります。

■有効シーンのみ表示モード

※ここからを指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまでを指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■全シーン表示モード

※ここからを指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまでを指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

ポイント

メディアサーバに保存された番組は編集できません。メディアサーバに保存された番組の一覧を表示しているときは、「簡易編集」タブが表示されません。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

PART 10 付録

SSDを搭載したモデルを再セットアップしたとき、Cドライブの領域を変更した場合は

SSDを搭載したモデルでCドライブの領域を変更して再セットアップすると、SSD上に録画番組が保存されてしまうことがあります。ここでは、そのときの対処方法についてご紹介します。

Cドライブの領域を変更して再セットアップすると

SSDを搭載したモデルは、ご購入時、CドライブがSSD、Dドライブがハードディスクとなっており、録画した番組はDドライブに保存されるよう設定されています。

SSDのドライブ名	ハードディスクのドライブ名	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ (録画番組はここに保存!)	通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2

SSDを搭載したモデルを再セットアップするときにCドライブの領域を変更すると、SSD上にCドライブとDドライブが作成され、ハードディスクがEドライブとなります。
この状態では、録画番組が新たにDドライブとなったSSDに保存されます。

SSDのドライブ名		ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名※2
Cドライブ	Dドライブ (録画番組はここに保存!)	Eドライブ	通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2 録画フォルダー 1 録画フォルダー 2

録画番組はデータのサイズが大きいため、次の表のように、できるだけ容量に余裕のあるハードディスク(この例ではEドライブ)に保存するよう設定しなおすことをおすすめします。

SSDのドライブ名		ハードディスクのドライブ名※1	録画フォルダー名
Cドライブ	Dドライブ	Eドライブ (録画番組はここに保存!)	通常録画フォルダー:録画フォルダー 1 おまかせ録画フォルダー:録画フォルダー 2

※1:ハードディスクのドライブ名は、パソコンの状態により異なります。
※2:SmartVisionの画面には、Dドライブの録画フォルダー 1と2、およびEドライブの録画フォルダー 1と2が表示されます。

おすすめの設定に変更するには

次の手順で設定を変更してください。

1 SmartVisionをマウスで使う画面で起動し、録画番組一覧を表示する

「録画フォルダーを作成する」(p.146)の手順1～手順3の操作をおこなってください。

2 録画フォルダー名を変更する

録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「録画フォルダー名を変更」をクリックして、それぞれの名前を次のように変更してください。

・録画フォルダー 1→録画フォルダー 3
・録画フォルダー 2→録画フォルダー 4

3 録画番組の保存先を変更する

「設定」をクリックし、次の操作をおこなってください。

①「録画/タイムシフト」タブをクリックし、「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 1」を選ぶ
②「おまかせ録画」タブをクリックし、「おまかせ録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」で「録画フォルダー 2」を選ぶ
③「OK」をクリック

4 SSD上の録画フォルダーを削除する

「録画フォルダーを削除する」(p.149)の操作で、SSD上のDドライブにある次の録画フォルダーを削除してください。

・録画フォルダー 3
・録画フォルダー 4

すでにSSD上の録画フォルダーに録画番組が保存されているときは、録画フォルダーを削除する前に、番組を別の録画フォルダーに移動させてください。

PART 10 付録

テレビの初期設定をやりなおす場合は

ここでは初期設定のやりなおし方について説明します。引っ越ししたときやテレビ放送の周波数が変更されたときなど、必要に応じて初期設定をやりなおしてください。

テレビの初期設定をやりなおす

次の手順でテレビの初期設定をやりなおすことができます。

■ ぱっと観テレビモデルの場合

1 リモコンの【テレビ】を押す

2 外部入力の映像が表示されたときは、【入力切換】を何度か押してテレビの映像を表示させる

テレビが映らない状態のときは、【入力切換】を何度か押して画面に「テレビ」と表示させてください。

3 チャンネルスキャンをやりなおす

操作についてはPART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.28)をご覧ください。
なお、チャンネルスキャンをやりなおすときは次の項目を選択してください。
スキャンの種別:「初期スキャン」
対象周波数:「全周波数」

■ ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押す

「初期設定のやりなおし」が表示されます。

以降の操作については、PART1の「ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定」(p.9)の説明をご覧ください。

PART 10 付録

その他の機能・情報

SmartVisionのバージョンを確認する

SmartVisionのバージョンは、次の手順で確認できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」の「バージョンの確認」を選んで【決定】を押す

SmartVisionのバージョンが表示されます。

ぱっと観テレビのバージョンを確認する

ぱっと観テレビのバージョンは、次の手順で確認できます。

■ ファームウェアのバージョンを確認する

1 ぱっと観テレビを見ているときに【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「起動／映像／音声の設定」を選んで【決定】を押す

「起動／映像／音声の設定」のメニューが表示されます。この画面の右下にファームウェアのバージョンが表示されます。

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

1 ぱっと観テレビを見ているときに【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「システム情報」を選んで【決定】を押す

システム情報の画面が表示されます。

4 「システム情報」を選んで【決定】を押す

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

リモコンの設定をする

リモコンのボタンに割り当てられている機能を変更できます。

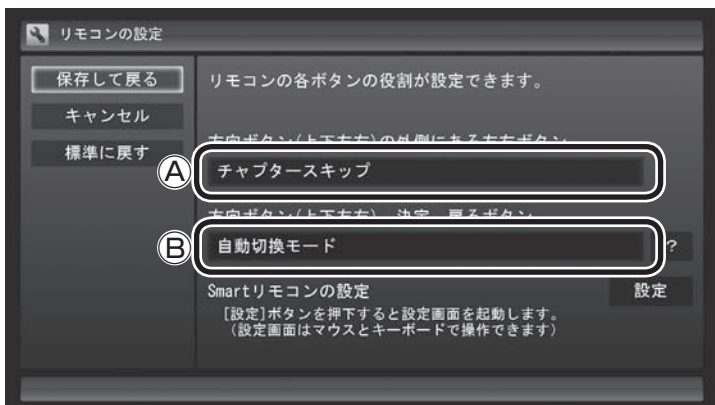
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定 」の「リモコンの設定」を選んで【決定】を押す

「リモコンの設定」画面が表示されます。

3 設定する項目を選ぶ

この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んで、もう一度【決定】を押します。

Ⓐ外側の左右ボタン：「チャプタースキップ」(p.105)、「30秒スキップ」(p.44)

Ⓑ上下左右／決定／戻るボタン：「自動切換モード」、「データ放送固定モード」(p.51)

4 設定を変更したら、「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

ハードディスクの空き容量の制限値を変更する

SmartVisionでは、ハードディスクの空き容量が設定した値を下回ると録画を停止します。空き容量の設定は次の手順で変更できます。

1 マウスで使う画面(ノーマルモードまたはアドバンストモード)で (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 左側の「録画／再生／予約」をクリックし、「録画／タイムシフト」タブをクリック

3 「録画の自動停止」で、録画を自動停止するハードディスクの空き容量(制限値)を設定する

40～4000MBの範囲で設定できます。

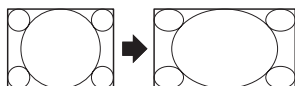
4 「OK」をクリック

全画面表示のときの画面の表示方法を変える

画面サイズが4：3の比率になっている放送では、画面の表示方法を変更することができます。
画面の表示方法は、次の3つから選べます。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

ノーマル

ズーム

【サブメニュー】を押し、「ワイド切換」を選んで、画面の表示方法を選んでください。

チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
  なお、パソコンの画面の比率が16:9以外(16:10など)のモデルでは、画面の上下に黒い部分が表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。

BS・110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について

このパソコンはモデム機能を搭載していないため、電話回線を利用した有料放送の受信契約をテレビの画面からおこなうことができません。
ここでは、受信契約の申し込みをおこなう場合のお問い合わせ先について記載します。

名称	URL	お問い合わせ先
WOWOW [BS9ch]	http://www.wowow.co.jp	0120-580-807 (PHS、IP電話の方は045-683-8080) 受付時間　9:00 ～ 20:00(年中無休)
スター・チャンネル HV [BS10ch]	http://star-ch.jp	0570-013-111 (PHS、IP電話のお客様は045-339-0399) 受付時間　10:00 ～ 18:00 なお、スター・チャンネル HVの加入申込みは下記のスカパー！へお問い合わせください。
スカパー！	http://www.e2sptv.jp/	0570-039-888 (PHS、IP電話のお客様は03-4334-7777) 受付時間　10:00 ～ 20:00 (年中無休)

ひかりTVについて

このPARTでは、ブロードバンド映像サービス「ひかりTV」の概要と、「ひかりTV」を視聴するための準備について説明します。また、基本的な使い方について、簡単にご紹介しています。

PART 11
ひかりTVについて

「ひかりTV」のマニュアルについて

このPARTで説明していること

ここでは、ひかりTVとはどんなサービスか、また、ひかりTVを楽しむために必要な契約やパソコンの設定方法などについて説明しています。あわせて、基本的な操作方法について簡単にご紹介しています。
まず、このPARTをご覧になり、視聴の準備をおこなってください。
ひかりTVの使い方について詳しくは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』をご覧ください。

『ひかりTVを楽しむ本』について

ひかりTVでテレビやビデオサービスを楽しむための詳しい方法は、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』に記載されています。
PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』は、121ware.comからダウンロードできます。詳しくは、「SmartVision」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94192220 で検索)をご覧ください。
インターネットエクスプローラに次のURLを入力して、ダウンロード用のページを表示させることもできます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201210/etv/v1/mst/853_811064_239_a.pdf

ポイント

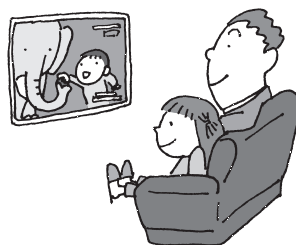
このPARTおよびPDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』では、「ひかりTV」と区別するため、従来の放送波(電波)を使ったテレビを「従来のテレビ」と表記しています。

PART 11
ひかりTVについて

ひかりTVとは

ひかりTVは、光回線を利用した映像サービス(多チャンネル放送、ビデオ・オン・デマンド)です。
SmartVisionを使うと、従来のテレビの視聴に加えて、ひかりTVの視聴ができるようになります。

ひかりTVとは

光回線(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ光)を利用して多チャンネル放送やビデオなどが楽しめる、NTTぷららが提供する有料のブロードバンド映像サービスです。
ひかりTVでは、専門チャンネルのテレビプログラムを見ることができる「テレビサービス」や、映画・ドラマをレンタルビデオ感覚で好きなときに見ることができる「ビデオサービス」(ビデオ・オン・デマンド)などを楽しめます。
「ひかりTVホーム」で情報を入手することができます。

■ 3D放送について

3D対応モデルでは、3D放送(サイドバイサイド方式)をお楽しみいただけます。
3D放送の表示方法などについては『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

ポイント

- このパソコンはひかりTVを録画することはできません。
- このパソコンはひかりTVの提供する地上デジタル放送IP再送信サービスはご覧いただけません。
- このパソコンはひかりTVの番組を視聴予約できません。

PART 11 ひかりTVについて

こんな準備が必要です

回線の準備とひかりTVのテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにひかりTVを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

接続と設定は済んでいますか？

ひかりTVを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。まだ終わっていないかたは、『ユーザーズマニュアル』をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にひかりTVを見るための準備をします。

■ 接続と設定について

●はじめてインターネットに接続するかたは
プロバイダ(インターネット接続事業者)と契約する際、NTT東日本・NTT西日本の「フレッツ光」のコースを選択してください。
プロバイダとの契約について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

●契約が必要なサービスについて
ひかりTVを視聴する場合は、NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ光によるブロードバンド回線との接続と、ひかりTVサービスの契約が必要です。
ブロードバンド回線の契約は、プロバイダとの契約に含まれている場合があります。ご利用の回線事業者が不明の場合には、プロバイダとの契約内容をご確認ください。
回線やサービスについて詳しくは「回線とサービスの準備」(p.294)をご覧ください。

ポイント

ひかりTVを視聴するときは、アンテナケーブルやB-CASカードは不要です。従来のテレビを視聴するときは必要です。

●回線終端装置(ONU)やルータとの接続について
- ひかりTVを快適に視聴いただくために、パソコンを回線終端装置(ONU)やルータと有線(LANケーブル)で接続することをおすすめします。有線での接続については、「LANについて」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)をご覧ください。
- ルータをお使いになる場合は、IPv6対応のルータ(IPv6パススルー機能もしくはIPv6ブリッジ機能などを持つルータ)をご用意ください。お使いのルータのIPv6対応状況や設定方法について詳しくは、ルータのマニュアル、または、プロバイダから入手した説明書や資料をご覧ください。
- ワイヤレスLANで接続するときは、動作確認済みワイヤレスLANアクセスポイントやワイヤレスLANルータを使用いただく必要があります。詳しくは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』のPART3「ワイヤレスLANを使う」をご覧ください。

参照

→「ワイヤレスLAN(無線LAN)について」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100110 で検索

■ ひかりTVを見るまでの流れ

ひかりTVを見るまでの流れは次のとおりです。

回線の準備(契約と事前登録の確認)をする

ひかりTVを視聴する場合は、NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ光によるブロードバンド回線との接続と、ひかりTVのサービスの契約が必要です。
「回線とサービスの準備」(p.294)をご覧ください。

パソコンをブロードバンド回線(光回線)に接続する

有線LANで接続する場合:「LANについて」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)
ワイヤレスLANで接続する場合:PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』のPART3「ワイヤレスLANを使う」

テレビ初期設定(チャンネルや番組表の設定)をする

サービス事業者の設定や、チャンネルや地域などの設定をおこないます。
「テレビ初期設定(ひかりTV)をする」(p.296)をご覧ください。

回線とサービスの準備

ひかりTVでは、サービスの受信にBフレッツなどのブロードバンド回線を使用します。そのため、ひかりTVを利用するには、事前に回線の準備とひかりTVのサービスの契約が必要です。
次の回線とサービスが利用できます。

●回線

・FTTH(光回線):NTT東日本またはNTT西日本「フレッツ光」

詳しくは、次のホームページをご覧ください。
・NTT東日本フレッツ公式　(http://flets.com/)
・NTT西日本フレッツ公式　(http://flets-w.com/)
・NTTぷらら　ひかりTV　(http://www.hikaritv.net/)

NTT東日本では「Bフレッツ」や「フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ、マンションタイプ」などの契約が必要です。NTT西日本では「フレッツ・光プレミアム」や「フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ、マンションタイプ」、または「Bフレッツ」と「フレッツ・v6アプリ」などの光回線が必要となります。各回線エリアの提供エリアであることをご確認ください。NTT西日本「Bフレッツ」ご利用のお客様は、フレッツ・v6アプリの契約が必要です(2012年2月現在)。

●サービス

・NTTぷらら「ひかりTV」

詳しくは、次のホームページをご覧ください。
・NTTぷらら　ひかりTV　(http://www.hikaritv.net/)

お問い合わせ
「ひかりTVカスタマーセンター」

●営業時間 10:00~19:00(年中無休)

■ ご注意

ひかりTVをご覧になるためには、別途契約が必要です。
ひかりTVのお申し込み、ご利用は個人のお客様にかぎります。
お客様のご利用環境やネットワークの混雑状況により、サービスをご利用できない場合があります。

事前登録の確認

ひかりTVをご利用になるためには、あらかじめ前記の回線とサービスを契約してください。
契約が完了すると次の情報が書面で送られてきます。
※実際の書面とは記載の形式が異なる場合があります。

●「お客様ID」または「Sub No.」または「回線ID」
次のいずれかに記載されています。

・NTT東日本
「開通のご案内」

開通のご案内

・NTT西日本
「お申込内容のご案内」

NTT西日本

NTT東日本もしくはNTT西日本より、回線お申し込み時に送付されます。

●「エントリーコード」
次のいずれかに記載されています。

・NTTぷらら
「ひかりTV会員登録証」

ひかりTV
重要書類
ひかりTV会員登録証

・NTTコミュニケーションズ
「ひかりTV＜お申込内容のご案内＞」

ひかりTV
＜お申込内容のご案内＞

・ひかりTVのサービスをプロバイダにお申し込みいただいている場合
お申し込みのプロバイダから入手いただいている、ひかりTVのお申し込み内容のご案内の書面にエントリーコードが記載されています。

これらは、ひかりTVのユーザー登録をおこなうために必要な情報です。登録の操作を始める前に、必要な情報がそろっているかどうか確認してください。

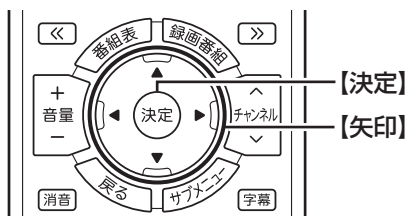
PART 11 ひかりTVについて

ひかりTVの設定をおこなう

ひかりTVを視聴するために、SmartVisionをセットアップします。

ひかりTVの設定をおこなう前に、従来のテレビの初期設定をすませてください。従来のテレビの初期設定については、PART1の「こんな準備が必要です」(p.4)をご覧ください。

テレビ初期設定(ひかりTV)をする

テレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこないます。

■ 操作の前に

操作を始める前に、次の情報がそろっているかどうか、あらためてご確認ください。

●「お客様ID」または「Sub No.」または「回線ID」
次のいずれかに記載されています。
・NTT東日本「開通のご案内」
・NTT西日本「お申込内容のご案内」

●「エントリーコード」
次のいずれかに記載されています。
・NTTぷらら「ひかりTV会員登録証」
・NTTコミュニケーションズ「ひかりTV<お申込内容のご案内>」
・プロバイダから入手いただいているひかりTVのお申し込み内容のご案内の書面

なお、テレビ初期設定は、次の2つに分かれています。
1. ひかりTVへのユーザー登録
2. 居住地の登録やチャンネルの設定

チェック

●セットアップを始める前に、リモコンに乾電池を入れておいてください。

●テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」を選んで【決定】を押してください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。

●内蔵ドライブアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

参照

リモコンの準備および使用範囲について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第3章の「リモコン」

1つめの設定(ユーザー登録)の操作を終えた後、ひかりTV側の登録がおこなわれます(このとき、お客様側での操作はありません)。ひかりTV側の登録が終わってから2つめの設定を始める必要があるため、1つめの設定の操作が終わってから、2つめの操作を始めるまでに、NTT東日本の場合は1時間程度、NTT西日本の場合は最大24時間お待ちいただく必要があります。ご注意ください。

■ テレビ初期設定(ユーザー登録)

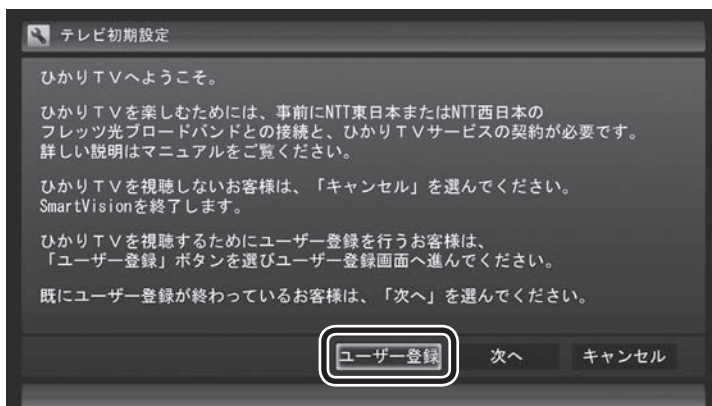
はじめに、ひかりTVのユーザー登録をおこないます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ひかりTV」の「ひかりTV視聴」を選んで、【決定】を押す

ひかりTVの「テレビ初期設定」が表示されます。

3 「ユーザー登録」を選んで【決定】を押す

「ようこそ「ひかりTV」へ」と表示されます。

ポイント

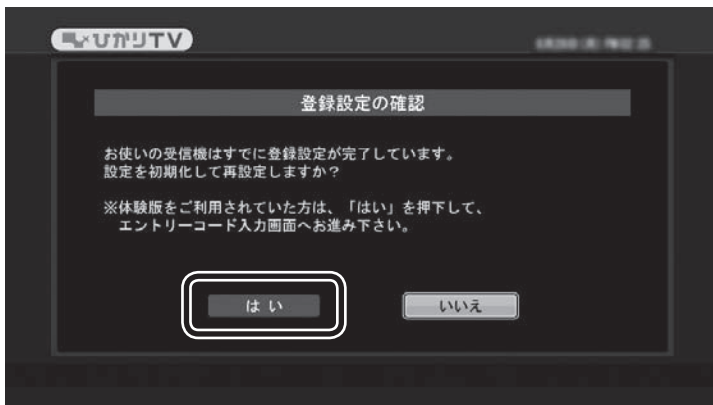
実際に表示される画面とは、一部異なる場合があります。

チェック

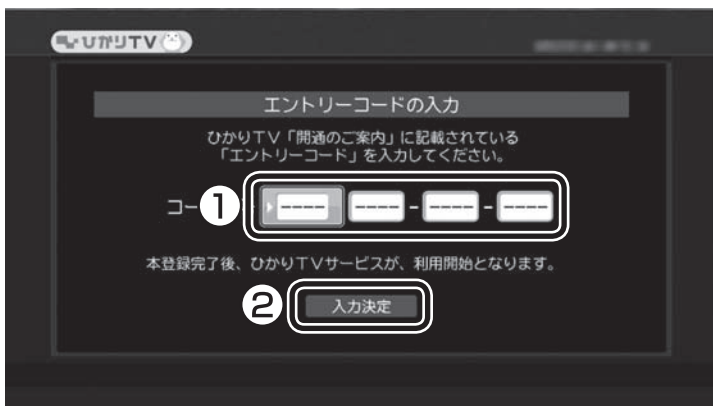
ご購入後にはじめて設定するときは、ここで必ず「ユーザー登録」を選んで「テレビ初期設定(ユーザー登録)」を完了してください。ユーザー登録をする前に、次の「テレビ初期設定(居住地やチャンネルの設定)」(p.301)を完了してしまうと、ここに記載した手順ではひかりTVへのユーザー登録ができなくなります。ユーザー登録が完了しないと、ひかりTVを楽しむことができません。
万が一、先に「テレビ初期設定(居住地やチャンネルの設定)」の操作をしてしまったときは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』のPART3の「ひかりTVホーム画面でユーザー登録する」に記載された手順で、ユーザー登録をしてください。

4 「登録設定する」を選んで【決定】を押す

これまでに「ひかりTV」の体験版をご利用されたことがある場合は、「登録設定の確認」画面が表示されます。ご利用されたことがない場合は、「エントリーコードの入力」画面が表示されますので、手順6に進んでください。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

エントリーコードの入力画面が表示されます。

6 エントリーコードを入力する

①リモコンの数字ボタンでエントリーコード（16 桁）を入力する
②入力が完了したら、「入力決定」を選んで【決定】を押す

回線登録の画面が表示されます。

「ようこそ「ひかりTV」へ」の画面が表示されないときは、次の2点についてご確認ください。

- 契約しているブロードバンド回線がNTT東日本またはNTT西日本の光回線であること(p.294)。
- ルータを使用している場合は、ルータがIPv6対応であること。およびルータのIPv6機能(IPv6パススルー機能やIPv6ブリッジ機能)の設定がオンになっていること。

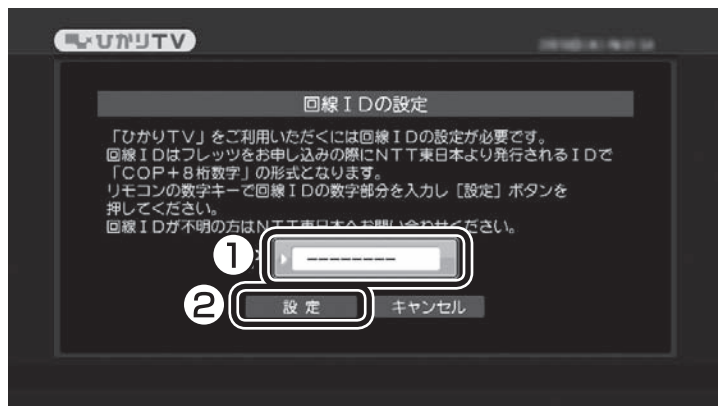
ポイント

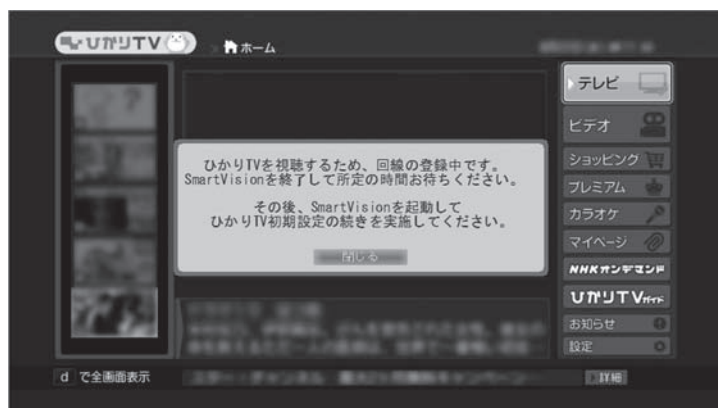
入力を間違えたときは、リモコンの【戻る】を押してください。【戻る】を押すごとに1文字ずつ削除されます。

7 「お客様ID」または「Sub No.」または「回線ID」を入力する

①リモコンの数字ボタンで次のいずれかを入力する

- 画面上に「COP」と表示された場合、書面上の「COP」の後の8桁の番号
- 画面上に「S」と表示された場合、書面上の「S」の後の10桁の番号
- 画面上に「CAF」と表示された場合、書面上の「CAF」の後の10桁の番号

②入力が完了したら、「設定」を選んで【決定】を押す

画面は「COP+8桁」の入力例です。

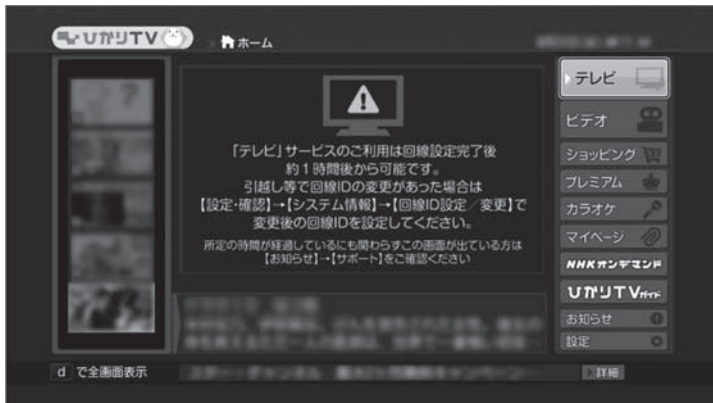
登録作業が正常に完了すると、次のような画面(ひかりTVホーム画面)が表示されます。

ポイント

入力を間違えたときは、リモコンの【戻る】を押してください。【戻る】を押すごとに1文字ずつ削除されます。

ポイント

ホーム画面が表示されてから操作できるようになるまで数分かかることがあります。

8 【決定】を押す

次の画面が表示されます。

ひかりTVのテレビ番組を視聴するためには、次の「テレビ初期設定(居住地やチャンネルの設定)」をおこなう必要があります。
ただし、この設定(ひかりTVチャンネルの検索)をおこなうためには、ひかりTV側の登録が完了するまでお待ちいただく必要があります。

NTT東日本Bフレッツの場合:1時間程度で登録が完了します。

NTT東日本フレッツ光ネクストの場合:1時間程度で登録が完了します。

NTT西日本フレッツ光プレミアムの場合:24時間以内に登録が完了します。

NTT西日本フレッツ光ネクストの場合:1時間程度で登録が完了します。

表示された内容を確認して【テレビ】を押し、ひかりTVの「テレビ初期設定(ユーザー登録)」を終了します。

その後、上記の時間お待ちいただいてから、次の「テレビ初期設定(居住地やチャンネルの設定)」に進んでください。
なお、ひかりTVのビデオサービスは、すぐご利用いただけます。

ポイント

ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すと、ひかりTV(SmartVision)が終了した後ぱっと観テレビ(p.16)が起動します。パソコンを使うときはもう一度【テレビ】を押してください。

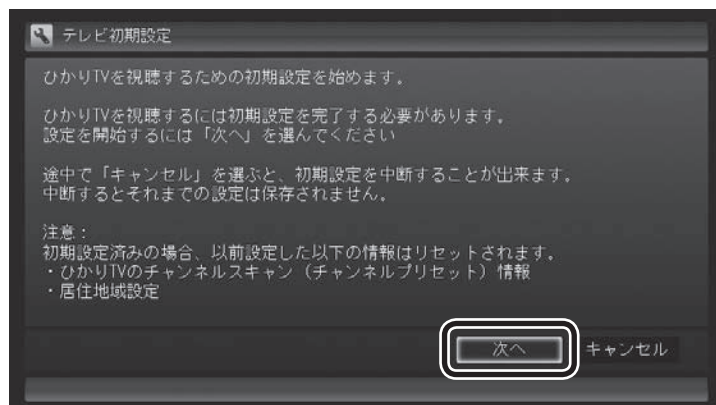
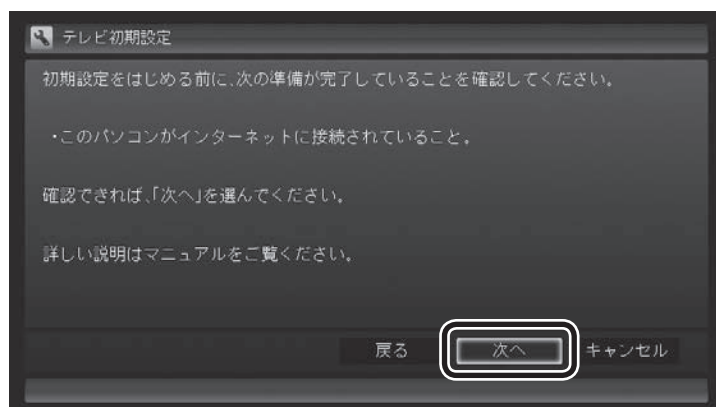
■ テレビ初期設定(居住地やチャンネルの設定)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ひかりTV」の「ひかりTV視聴」を選んで、【決定】を押す

ひかりTVの「テレビ初期設定」が表示されます。

3 「次へ」を選んで【決定】を押す

4 「次へ」を選んで【決定】を押す

それぞれの項目は、マウスでクリックしても選べます。

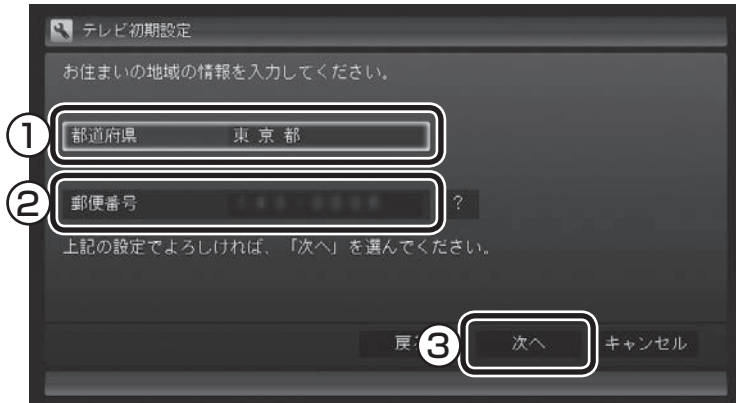
チェック

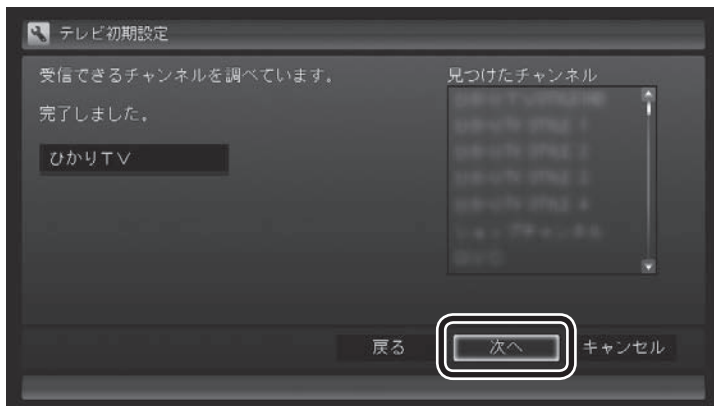
ひかりTVの利用時に使用するネットワークアダプタは、SmartVisionの初回起動時に自動で設定されます。
設定内容を確認したり使用するネットワークアダプタを変更したいときは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』のPART3の「ネットワークアダプタ切換ツールを使う」をご覧ください。

5 チャンネル設定をする

① ここを選んで【決定】を押し、【矢印】を押してお住まいの都道府県を選び、【決定】を押す

② ここを選んで【決定】を押し、【矢印】の上下ボタンで数字を選ぶ。次の数字を入れるときは、【矢印】の右ボタンを押す。
郵便番号をすべて入れたら、【決定】を押す

③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」を選んで【決定】を押す

自動的に、チャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、「完了しました。」と表示され、画面右下に「次へ」が表示されます。

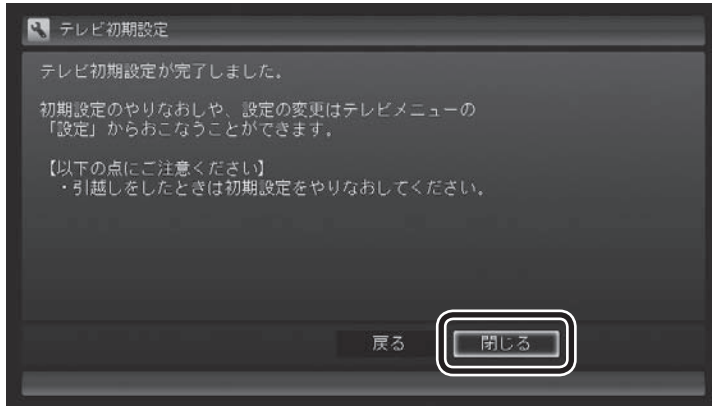
6 「次へ」を選んで【決定】を押す

チェック

画面内に「？」が表示されているときは、「？」を選んで【決定】を押すと、その項目についての説明が表示されます。

チェック

チャンネル情報が取得できなかった場合は、次の点をご確認ください。

- ルータをご利用の場合、ルータのマルチキャストの受信設定が有効であることをご確認ください。設定については、ルータのマニュアルやプロバイダから入手した資料などを参考にしてください。
- ひかりTVのホームページにて、ひかりTVのメンテナンスや障害に関する情報がないかご確認ください。
（http://www.hikaritv.net/）
- NTT東日本／NTT西日本のホームページにて、フレッツの障害やメンテナンスがないかご確認ください。
NTT東日本 工事故障情報
（http://flets.com/customer/const2/）
NTT西日本 工事･故障についてのお知らせ
（http://www.ntt-west.co.jp/info/construction/）

7 「閉じる」を選んで【決定】を押す

ひかりTVの画面が表示されます。

これで、ひかりTVのテレビ初期設定は完了です。

チャンネルが見つからなかった場合、まだサービス事業者側の登録が完了していない可能性があります。

一度、手順7まで進んでひかりTVのテレビ初期設定を終了させてください。

その後しばらく待ってから、テレビメニューの「ひかりTV」-「ひかりTV視聴」を選び、【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、初期設定をやりなおしてください。

PART 11
ひかりTVについて

基本的な操作について

ここではひかりTVの基本的な使い方について、簡単にご紹介します。
ひかりTVの使い方について詳しくは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』をご覧ください。

PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』は、121ware.comからダウンロードできます。詳しくは、「SmartVision」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94192220 で検索)をご覧ください。
インターネットエクスプローラに次のURLを入力して、ダウンロード用のページを表示させることもできます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201210/etv/v1/mst/853_811064_239_a.pdf

視聴する放送を選ぶ

■ テレビメニューを表示する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

従来のテレビのテレビメニューが表示されます。

ポイント

【テレビメニュー】を押したとき、ひかりTVのテレビメニューが表示されるように設定を変更することができます。詳しくは、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』をご覧ください。

■ ひかりTVを見る

従来のテレビのテレビメニューから、ひかりTVに切り換えることができます。

- ひかりTV視聴
  ひかりTVのテレビサービスが視聴できます。
- ひかりTVホーム
  ひかりTVに関する情報を見ることができます。また、テレビサービスやビデオサービス、カラオケサービスなどがご利用いただけます。

リモコンを使った操作については、次の「リモコンのボタンについて」をご覧ください。

リモコンのボタンについて

【テレビメニュー】、および【矢印】と【決定】で、ひかりTV(SmartVision)の基本的な機能を使うことができます。チャンネルの切り換えや音量の調節など、ひかりTVの基本的な操作は、従来のテレビの操作とほぼ同様です。

チェック

詳しい使い方については、PDFマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』をご覧ください。

■ ひかりTVを使うためのボタン

ここでは、ひかりTV(SmartVision)を操作するために使うボタンについて説明しています。
従来のテレビ(SmartVision)で使うボタンについてはPART3の「リモコンのボタンについて(SmartVision)」(p.42)をご覧ください。ぱっと観テレビ(ぱっと観テレビモデルのみ)で使うボタンについてはPART2の「リモコンのボタンについて(ぱっと観テレビ)」(p.21)をご覧ください。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	ひかりTVを見る。
【電源】	パソコンを起動/終了する。
【彩り】	彩りまたは彩りプラスex機能を切り換える。
【1】~【10】	チャンネルを切り換える。および数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【番組表】	番組表を表示する。
【番組情報】	番組の詳細情報を表示する。
【矢印】	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。
【決定】	選択した項目を決定する。
【≪】、【≫】	「番組表」の日付などを切り換える。
【戻る】	ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。
【テレビメニュー】	ひかりTVメニューや従来のテレビのテレビメニューを表示する。
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。
【音量】	音量を調節する。
【消音】	消音(ミュート)する。
【連動データ】(【d】)	ひかりTV画面に表示されるボタンに対応した項目を選ぶ。
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ひかりTV画面に表示されるボタンに対応した項目を選ぶ。
【巻戻し】	ビデオサービスを巻き戻しする。
【再生】	ビデオサービスを再生する。
【早送り】	ビデオサービスを早送りする。
【前】	ビデオサービスを30秒前から再生する(スキップ)。
【一時停止】	ビデオサービスを一時停止する。
【停止】	ビデオサービスの再生を停止する。
【次】	ビデオサービスを30秒後から再生する(スキップ)。

※1:ひかりTV(SmartVision)以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2:【CH番号入力】を押し、数字ボタン(【1】~【10】)を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【決定】を押します。入力を中止するときは【戻る】を押します。

PART 11 ひかりTVについて

ひかりTVが映らないときは

ひかりTVが映らないときは、ここをご覧ください。

■ ひかりTVの「テレビ初期設定」は終わっていますか？

ひかりTVを見るには、あらかじめひかりTVのテレビ初期設定が必要です。設定についてはこのPARTの「テレビ初期設定(ひかりTV)をする」(p.296)をご覧ください。

■ ほかのソフトが起動していませんか？

映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、ひかりTVを見るためのソフト(SmartVision)を起動してください。
また、快適に視聴するために、ひかりTVを見る前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ ほかのユーザーでひかりTVを見るソフト(SmartVision)を起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

ひかりTVを視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能で別のユーザーに切り換えると、そのユーザーではひかりTVを視聴することはできません。

■ 画面消灯モードになっていませんか？

画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

解像度	色
各モデルの最高解像度※	True Color(32ビット)

※各モデルの最高解像度については、「仕様一覧について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号93230010 で検索)から、ご購入されたモデルの仕様一覧をご覧ください。

■ ルータはIPv6対応ですか？また、ルータのIPv6機能の設定はおこないましたか？

ひかりTVを視聴するには、IPv6に対応したルータ(もしくはルータ機能のある機器)が必要です。また、IPv6対応のルータであっても、IPv6機能(IPv6パススルー機能やIPv6ブリッジ機能など)の設定をオンにしないと、ひかりTVを視聴することができません。ルータがIPv6に対応しているかどうか、また、IPv6の機能の設定についてご確認ください。詳しくは、ルータのマニュアルやプロバイダから入手した説明書や資料をご覧ください。

■ 契約しているブロードバンド回線は、NTT東日本またはNTT西日本の光回線ですか？

ひかりTVをご覧いただくためには、NTT東日本の「Bフレッツ」や「フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ、マンションタイプ」、NTT西日本の「フレッツ・光プレミアム」や「フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ、マンションタイプ」、または「Bフレッツ」と「フレッツ・v6アプリ」などの、光回線の契約が必要です（2012年2月現在）。ご利用になっているブロードバンド回線の契約内容をご確認ください。

■ 引っ越しなどにより光回線の契約を変更していませんか？「Bフレッツ」や「フレッツ 光ネクスト」の光回線の契約内容を変更していませんか？

光回線の契約を変更すると、ひかりTVの視聴ができなくなることがあります。
このような場合は、まず、「お客様ID」または「Sub No.」または「回線ID」をご確認ください（p.295）。
ひかりTVホームから「設定・確認」を選び、「お客様ID」または「Sub No.」または「回線ID」を変更してください。

エラーコードが表示された

画面にエラーコードが表示されたときは、「対処法」の内容を確認して対処してください。
ワイヤレスLANで接続している場合は、ワイヤレスLANアクセスポイント（親機）と、このパソコンまたは子機との間のワイヤレス接続が正しく設定されているか、確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処法
IP1001～1005	インターネットに接続できません。接続を確認してください。	ネットワークケーブルがパソコンに接続されているか、確認してください。

索引 INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

キーボードショートカット

マウス用画面モードでは、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【Fn】 + 【PgUp】/【Fn】 + 【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
録画番組一覧拡大表示／非表示 ※2	【:】 または 【*】
予約一覧拡大表示／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
お急ぎモード※4	【↑】
じっくりモード※4	【↓】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
チャプタースキップ※5	【Alt】 + 【←】/【Alt】 + 【→】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】 または 【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

操作	キーボードショートカット
プリセット①	【1】
プリセット②	【2】
プリセット③	【3】
プリセット④	【4】
プリセット⑤	【5】
プリセット⑥	【6】
プリセット⑦	【7】
プリセット⑧	【8】
プリセット⑨	【9】
プリセット⑩	【0】
プリセット⑪	【Ctrl】+【1】
プリセット⑫	【Ctrl】+【2】
ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	【0】
1	【1】
2	【2】
3	【3】
4	【4】
5	【5】
6	【6】
7	【7】
8	【8】
9	【9】

※1

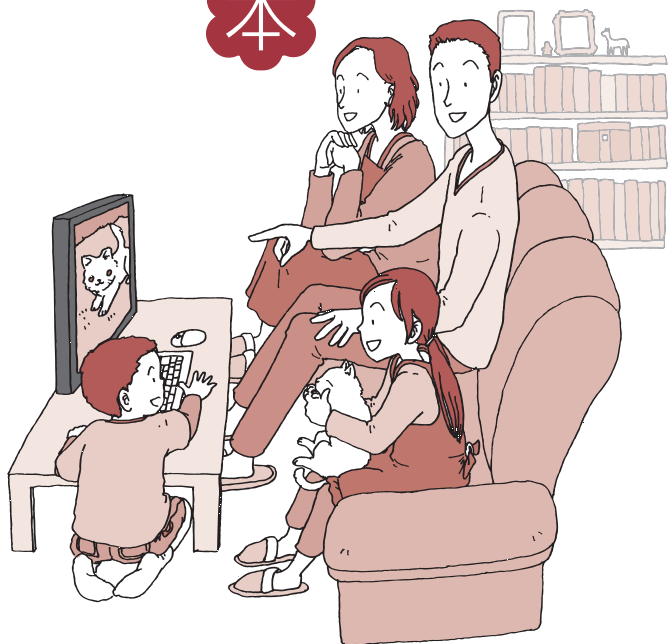
画面モード	【Fn】+【PgUp】	【Fn】+【PgDn】
スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンストモードへ
アドバンストモード時	ノーマルモードへ	アドバンストモード機能変更

※2　文字を入力していない状態で操作してください。

※3　録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

※4　音声付きで再生します。録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。

※5　録画済み番組再生時のみ使用できます。タイムシフト視聴時は使用できません。

VALUESTAR

初版 **2012年10月.**
NEC
853-811064-237-A
Printed in Japan

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。